

ビエラ操作ガイド

まずお読みください

お使いになる前に

録画内容の保管について	15
記録内容などの損害・損失について	16
著作権について	17
ライセンスなどについて	18
個人情報の取り扱いや不正利用を防ぐために	20

こんなことができます（本機の特長）

B S 4 K ・ 1 1 0 度 C S 4 K 放送の視聴	21
4 K 映像の視聴	22
過去未来番組表	23
B l u e t o o t h オーディオ機器	24
写真機能	25
ホーム画面	26
録画（録画予約）、再生	27
エコナビ	28
インターネット	29
お部屋ジャンプリンク	30
スマートアプリ機能	31

ホームを使う

ホーム画面を操作する

ホームについて	32
ホームを操作する	34
ホームに機能を登録する	36
ホーム画面に関する操作をする	37

接続機器一覧画面を操作する

接続した外部機器を使う	38
接続機器一覧画面に関する操作をする	39

アプリ一覧画面を操作する

アプリを使う	40
アプリ一覧画面に関する操作をする	41

テレビ画面を操作する

テレビを視聴する	42
テレビ画面に関する操作をする	43

ギャラリー画面を操作する

ギャラリーを表示する	44
------------	----

テレビを見る

テレビ放送を見るための準備をする

アンテナ線を接続する	46
かんたん設置設定をする	50
無線と映像品質の設定や無線電波状態の通知を設定する	51

テレビ放送を見る

テレビ放送を選局する	52
データ放送を見る	54
ハイブリッドキャストの設定をする	55
番組情報を確認する	57
タイトル表示を設定する	59
番組視聴中に関連機能を設定する	60
字幕の設定をする	62
音声を切り換える	63
スピーカーとイヤホン音声の同時出力を切り換える	64
放送メールやACASチップなどの各種情報を見る	65

タイマー機能を設定する

タイマーで電源を切る（オフタイマー）	66
タイマーで電源を入れる（オンタイマー）	67

テレビの節電機能（エコナビなど）を設定する

テレビの節電機能（エコナビなど）について	69
無操作自動オフを設定する	70
無信号自動オフを設定する	71
エコナビを設定する	72
節電視聴を設定する	73

4 K映像を見る

4 K出力対応機器を接続する	74
HDMI端子で視聴可能な4 K映像の入力信号を設定する	75

視聴可能な4K映像の入力信号について	76
外部機器をつないで見る、聴く	
外部機器を接続する	77
外部機器の映像を見る、音声を聴く	81
本機のリモコンで外部機器を操作する	82
HDMI対応機器の接続について	83
HDMI端子のHDR機能を設定する	84
PC電源連動機能を設定する	85
本機で対応している映像信号 / 音声信号	86
映像（画質）を設定・調整する	
映像モードを設定する	87
画面モードの設定と映像信号について	90
画面モードを設定する	91
映像の基本設定をする	92
環境光センサー設定をする	95
ノイズ低減設定をする	96
画質の詳細設定をする	97
オプション機能を設定する	102
画面の設定をする	107
画質調整のロック設定をする	109
画質設定をコピーする	110
音声（音質）を設定・調整する	
音声出力を設定する	111
音声モードを設定する	112
シアターサウンドを設定する	113
音声の基本設定をする	114
音量設定をする	116
ヘッドホン端子の出力を設定する	117
音声の詳細設定をする	119
番組表の使い方	
番組表について	122
テレビ放送の番組を探して見る	123
番組表の画面の見かた	124
番組表の表示を切り換える	125

番組の詳しい情報や番組説明を見る	126
番組内容から関連のある番組を検索する	128
注目番組一覧から探す	129
キーワードやジャンル、人名などで番組を探す	130

録画する

録画する前に

録画をする前に	131
---------	-----

見ている番組を録画する

見ている番組を録画する	132
-------------	-----

録画予約をする

録画予約について	135
番組を探して録画予約する	136
番組を探して毎週や曜日指定で録画予約する	137
オートチャプターを設定する	138
予約の確認をする	139
予約の取り消しや停止をする	140
お知らせ	141

メディアプレーヤー

メディアプレーヤーを使う

メディアプレーヤーについて	142
機器やコンテンツを選択する	143

写真や動画の取り込み・バックアップをする

写真や撮影ビデオのかんたん取り込み	144
写真や撮影ビデオを取り込む	146
スマートフォンから写真を取り込む	148
取り込んだ写真や撮影ビデオをバックアップする／削除する	149
USB機器一覧を表示する	151

撮影写真・動画を選択する

ファイルを選択する	153
ファイルの種類で分類表示する	154

フォルダから探して選択する

ファイルを選択する	155
-----------	-----

ファイルの種類で分類表示する	156
ファイル名や日付で並べ替える	157
再生・設定する	
写真やビデオ映像、音楽を再生する	158
スライドショーの設定をする	160
ビデオ映像の音声や字幕などを設定する	162
音声出力を設定する	163
録画した番組を再生・編集する	
録画した番組を選択して再生する	164
録画番組を再生・操作する	167
まとめ番組について	168
録画番組をプロテクトする	169
録画番組を削除する	170
録画番組の音声や字幕などを設定する	171
録画番組の番組名を編集する	172
音声出力を設定する	173
接続機器について	
機器の取り扱いについて	174
メディアプレーヤーで再生できるコンテンツ	
写真（画像）のフォーマット	175
動画（ビデオ映像）のフォーマット	176
音楽のフォーマット	178
お知らせ	179
ネットワーク	
インターネットを利用する	
インターネットに接続して利用できるアプリやサービスについて	180
インターネットコンテンツを選択する	182
インターネット上の有害情報へのアクセス制限機能について	183
お知らせ	184
お部屋ジャンプリンク	
お部屋ジャンプリンクについて	185
お部屋ジャンプリンクを使う	187
ディーガに番組をダビングする（お引越しダビング）	189

対応ディーガや対応ビエラでできること	190
お部屋ジャンプリンクサーバー機能で視聴できるコンテンツについて	191
ネットワークに接続する	
インターネット接続をする	192
インターネット接続について	194
お部屋ジャンプリンク接続をする	196
お部屋ジャンプリンク接続について	198
ネットワークを利用するための接続設定をする	
ネットワーク接続設定をする	199
手動で有線（LANケーブル）接続設定をする	201
手動で無線LAN接続設定をする	202
手動でモニターを無線LAN接続・チューナー部を有線（LANケーブル）接続設定をする	204
手動でお部屋ジャンプ機器と直接有線（LANケーブル）接続設定をする	206
無線LAN接続に関する設定をする	207
ネットワークの接続状況を確認する	209
モニターとチューナー部の接続診断をする	210
本機の名称を変更する	211
Wake on LAN / Wireless LAN の設定をする	212
お部屋ジャンプリンク機能を設定する	213
スマートスピーカー設定をする	215
スマートアプリやディモラ機能について	216
スマホアプリ / ディモラの設定をする	218
VODコンテンツ更新を設定する	220
ソフトウェアの確認と更新をする	221
ソフトウェアの更新を通知する	222
サービス利用規約を確認・設定する	223
お部屋ジャンプリンクで写真を再生する	
ファイルを選択して再生する	224
写真をシングル表示で操作する	225
スライドショーで見る	226
お部屋ジャンプリンクでビデオ映像を再生する	
ファイルを選択して再生する	227

ビデオ映像を再生・操作する	228
ビデオ映像の音声や字幕などを設定する	230
音声出力を設定する	231
お部屋ジャンプリンクで音楽を再生する	
ファイルを選択して再生する	233
音楽を再生・操作する	234
繰り返し（リピート）を設定する	235
お部屋ジャンプリンクでディーガやビエラのコンテンツを再生する	
ディーガや本機以外のビエラのコンテンツを再生する	236
DMP・DMR機能で再生できるコンテンツ	
写真（画像）のフォーマット	237
動画（ビデオ映像）のフォーマット	238
音楽のフォーマット	240
お知らせ	241
いろいろな機能	
メニュー画面について	
メニュー画面について	242
くらし機能を使う	
くらし設定をする	243
過去未来番組表を使う	
過去未来番組表を使う	245
過去未来番組表の設定をする	248
ミラーリング機能を使う	
ミラーリング機能を利用する	249
ミラーリング機能の設定をする	250
ビエラリンク（HDMI）を使う	
ビエラリンクの概要	251
ビエラリンクをお使いになる前に	255
電源オン連動	256
電源オフ連動	257
E C Oスタンバイ	258
こまめにオフ	259

ディーガの操作	260
テスト（ディーガ電源）	261
ディーガなどの機器を操作する	262
シアターの音声を切り換える	264
お知らせ	266
制限項目や暗証番号に関する設定をする	
制限項目を設定する	267
地域やチャンネルなど設置に関する設定をする	
設置設定をする	268
電源ランプや表示窓、LEDの表示方法を切り換える	
電源ランプ表示の設定をする	273
チューナー部の表示窓やLEDの設定をする	274
チューナー部に関する設定をする	
チューナー部のホーム画面について	275
チューナー部の初期設定をする	277
チューナー部の放送設定をする	281
チューナー部のメール／情報、診断コードを確認する	284
HDDに関する設定をする	
HDDをフォーマットする	286
お買い上げ時の設定に戻す	
設定をリセットする	287
ソフトウェアの更新	
ソフトウェアの更新について	289
放送ダウンロード予約の方法を設定する	291
文字入力について	
文字を入力する	292
Bluetooth対応機器を使う	
Bluetooth設定をする	294
各種設定	
設定について	
設定方法	298
映像調整	

映像モード	299
映像の基本設定	300
環境光センサー設定	301
ノイズ低減設定	302
画質の詳細設定	303
オプション機能	304
画面の設定	306
画質調整ロック設定	307
画質設定コピー	308
標準に戻す	309
音声調整	
音声を切り換える	310
音声モード	311
シアターサウンドを切り換える	312
音声の基本設定	313
音量設定	314
ヘッドホン端子出力設定	315
音声の詳細設定	316
標準に戻す	317
ネットワーク設定	
ネットワーク接続	318
ネットワーク状態	319
モニターとチューナー部の接続診断	320
無線と映像品質の設定	321
無線電波状態の通知	322
本機の名称変更	323
Wake on LAN / Wireless LAN	324
お部屋ジャンプリンク設定	325
スマートスピーカー設定	326
スマホアプリ / ディモーラの設定	327
ミラーリング設定	328
過去未来番組表設定	329
その他の設定	330
タイマー設定	

オンタイマー	331
無操作自動オフ	332
無信号自動オフ	333

機器設定

エコナビ	334
くらし設定	335
USB機器一覧（モニター・チューナー部）	336
録画設定	337
Bluetooth設定	338
制限項目設定	339
言語 / Language	340
表示の設定	341
HDMI オート設定	342
HDMI HDR設定	343
ビエラリンク（HDMI）設定	344
ハイブリッドキャスト設定	345
かんたん設置設定	346
設置設定	347
ホーム設定	348
システム設定	349
HDDのフォーマット	350
かんたん設定引き継ぎ	351
その他の設定	352

困ったときは / よくあるご質問 / English Guide

サポート情報

ヘルプ機能を使う	353
----------	-----

故障かな！？の前にご確認ください

画質や画面表示がおかしい	354
チューナー部との接続ができない、映像がときどき途切れる、映像にノイズが入る	356
テレビ放送（共通）の映像が乱れる、画面表示がおかしい	360
地上デジタル放送が映らない、映像が乱れる	362
衛星デジタル放送（BS4K・110度CS4K、BS, 110度CS）が映らない、映像が乱れる	364

デジタル放送（共通）が映らない、字幕が出ない	367
音声がおかしい	368
モニター本体から異音がする、モニター本体が熱くなる	370
チューナー部本体から異音がする、チューナー部本体が熱くなる	371
リモコンが反応しない、リモコンで操作できない、誤動作する	372
インターネットに接続できない、接続が切れる	375
VOD（インターネット映像配信サービス）が動かない、つながらない	376
録画ができない、予約が実行されない	377
再生ができない	378
番組表が出ない、表示がおかしい	379
接続した機器の映像や音声が出ない、入力表示が消えない	380
ビエラリンク（HDMI）で接続した機器が操作できない、正しく動作しない	382
お部屋ジャンプリンクで再生できない、映像が途切れる	383
録画や編集ができない、再生映像が乱れる	385
チューナー部に接続したUSB機器が動作しない、認識しない	387
電源ランプが点灯しない	388
よくあるご質問（Q&A集）	
画面の明るさや画質を調整する方法がわからない	389
画面モード（表示サイズ）の切り換え操作がわからない	390
接続した機器の映像や音声が出ない	391
字幕を表示したい／字幕を消したい	393
番組表の表示やチャンネル切換、設定方法がわからない	394
インターネットに接続できない	395
ビエラリンク（HDMI）で接続した機器が操作できない、正しく動作しない	396
お部屋ジャンプリンクの仕様や対応機器について知りたい	397
有料放送の視聴やB-CASカードについて	398
本体の電源ボタンで本機を操作する方法がわからない	399
同時操作について	
録画／録画予約中の同時操作	400
本機を操作中のお部屋ジャンプリンクの同時操作	401
音声出力について	
デジタル出力される音声信号と設定について	402

チューナー部の表示窓について	
こんな表示が出たら	403
インターネットを通じて、サポートサイト（ホームページ）を見る	
本機のサポート情報を見る	404
English Guide	
Remote Control	405
Indicator / Control panel	407
Changing language for on-screen display	410

ビエラ操作ガイドの使い方

[決定]：

[] で表示している文字は、リモコンボタンを示します。

設定：

青色で表示している文字は、モニター画面に表示される文字を示します。

 →：



ビエラ操作ガイド中の参照先を示します。

参照先が選択されているときに [決定] ボタンを押すと、参照先のページに切り換わります。

 ⇨：

紙の取扱説明書の参照先を示します。



- 画面にこの機能を使ってみるが表示されているときに [ (赤)] ボタンを押すと、ビエラ操作ガイドを終了し、実際の操作画面に切り換わります。
- ビエラ操作ガイドの使い方は、 取扱説明書をご覧ください。
- ビエラ操作ガイドでのイラストや画面は、イメージであり、実際と異なる場合があります。
- ビエラ操作ガイドでは、内蔵ハードディスクを「HDD」、USBハードディスクを「USB HDD」、HDDレコーダーを「チューナー部」、モニターとチューナー部を合わせて「本機」と表記しています。
- 当社ホームページ内のサポートサイトから最新の取扱説明書やビエラ操作ガイド（PDF形式）を閲覧したり、ダウンロードすることができます。

お手持ちのパソコンなどをご覧ください。

<https://panasonic.com/jp/support/tv/>

= お知らせ =

- ビエラ操作ガイドの記載内容（URLや動作条件など）は、2022年9月現在の情報に基づいて作成しています。
- 画面や記載内容は予告なく変更する場合があります。

まずお読みください

お使いになる前に

録画内容の保管について

- チューナー部のHDDは録画した内容の一時的な保管場所としてお使いください。
 - チューナー部のHDDにある録画番組をディスクやUSB HDDに保存（バックアップ）することはできません。なお、HDDに取り込んだ写真や動画は、チューナー部に接続したUSB HDDにバックアップすることができます。
 - お引越しダビングに対応したディーガとネットワーク接続すると、チューナー部のHDDに録画された番組をまとめてディーガにダビングすることができます。
 - 大切な録画番組はディーガで録画したあと、ディスクにダビング（または移動）されることをおすすめします。

記録内容などの損害・損失について

- 何らかの不具合により、接続した機器に正常に録画できなかった場合の補償、録画した内容の損失、および直接・間接の損害に対して、当社は一切の責任を負いません。また、本機を修理した場合においても同様です。あらかじめご了承ください。
- メールやデータ放送のポイントなどのデジタル放送に関する情報は、本機が記憶します。万一、本機の不具合によって、これらの情報が紛失した場合、復元は不可能です。その内容の補償についてはご容赦ください。

著作権について

- あなたが録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。

ライセンスなどについて

- YouTube および YouTube ロゴは、Google LLC の登録商標です。
 - © Disney
-

"PlayReady" is a trademark registered by Microsoft. Please be aware of the following.

(a) This product contains technology subject to certain intellectual property rights of Microsoft. Use or distribution of this technology outside of this product is prohibited without the appropriate license(s) from Microsoft.

(b) Content owners use Microsoft PlayReady™ content access technology to protect their intellectual property, including copyrighted content. This device uses PlayReady technology to access PlayReady-protected content and/or WMDRM-protected content. If the device fails to properly enforce restrictions on content usage, content owners may require Microsoft to revoke the device's ability to consume PlayReady-protected content. Revocation should not affect unprotected content or content protected by other content access technologies.

Content owners may require you to upgrade PlayReady to access their content.

If you decline an upgrade, you will not be able to access content that requires the upgrade.

本製品には、以下のソフトウェアが含まれています。

- (1) パナソニック エンターテインメント & コミュニケーション株式会社 (パナソニック) が独自に開発したソフトウェア
- (2) 第三者が保有しており、パナソニックにライセンスされたソフトウェア
- (3) GNU GENERAL PUBLIC LICENSE Version2.0 (GPL V2.0) に基づきライセンスされたソフトウェア
- (4) GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE Version2.1 (LGPL V2.1) に基づきライセンスされたソフトウェア
- (5) GPL V2.0、LGPL V2.1 以外の条件に基づきライセンスされたオープンソースソフトウェア

上記 (3) - (5) に分類されるソフトウェアは、これら単体で有用であることを期待して頒布されますが、「商品性」または「特定の目的についての適合性」についての黙示の保証をしないことを含め、一切の保証はなされません。詳細については、本製品の「[メニュー] > 設定 > 機器設定 > システム設定 > ライセンス情報 > ソフト情報表示」に記載の所定の条件をご参照ください。

パナソニックは、本製品の発売から少なくとも3年間、以下の問い合わせ窓口にご連絡いただいた方に対して、実費にて、GPL V2.0、LGPL V2.1、またはソースコードの開示義務を課すその他の条件に基づきライセンスされたソフトウェアに対応する完全かつ機械読取り可能なソースコードを、それぞれの著作権者の情報と併せて提供します。

問い合わせ窓口 : oss-cd-request@gg.jp.panasonic.com

また、これらソースコードおよび著作権者の情報は、以下のウェブサイトからも自由

に無料で入手することができます。

<https://docs.connect.panasonic.com/oss/tv/JPDTV22.html>

This product incorporates the following software:

- (1) the software developed independently by or for Panasonic Entertainment & Communication Co., Ltd.,
- (2) the software owned by third party and licensed to Panasonic Entertainment & Communication Co., Ltd.,
- (3) the software licensed under the GNU General Public License, Version 2.0 (GPL V2.0),
- (4) the software licensed under the GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2.1 (LGPL V2.1), and/or,
- (5) open sourced software other than the software licensed under the GPL V2.0 and/or LGPL V2.1.

The software categorized as (3) - (5) are distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY, without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. Please refer to the detailed terms and conditions thereof shown in the “[メニュー] > 設定 > 機器設定 > システム設定 > ライセンス情報 > ソフト情報表示” menu on this product.

At least three (3) years from delivery of this product, Panasonic will give to any third party who contacts us at the contact information provided below, for a charge no more than our cost of physically performing source code distribution, a complete machine-readable copy of the corresponding source code covered under GPL V2.0, LGPL V2.1 or the other licenses with the obligation to do so, as well as the respective copyright notice thereof.

Contact Information : oss-cd-request@gg.jp.panasonic.com

The source code and the copyright notice are also available for free in our website below.

<https://docs.connect.panasonic.com/oss/tv/JPDTV22.html>

個人情報の取り扱いや不正利用を防ぐために

- 本機を使用してお客様以外の第三者が権利を有する音楽、映像や画像をテレビで表示するなど、著作権その他の知的財産権を侵害する行為は、行わないでください。また、被写体のプライバシー・肖像権などを害さないように十分ご配慮の上、お客様の責任でご利用ください。
- お客様がテレビの画面で入力・表示する情報（無線ブロードバンドルーターのパスワードなど）は、第三者に見られる可能性がありますので、ご注意ください。

こんなことができます（本機の特長）

BS 4K・110度CS 4K放送の視聴

2018年12月より放送が開始された4K放送を受信して視聴することができます。
ハイビジョン放送の約4倍の画素数を持つ、高精細な4K番組が楽しめます。

- 4K放送は従来のBS・110度CS放送の右旋円偏波の電波とBS・110度CS放送の左旋円偏波の電波で放送されます。



→ [テレビを見る > テレビ放送を見る](#)

- チューナー部からの映像を無線の電波を使用してモニターに送信するため、アンテナ線が近くに無い場所でも4K放送を含めたテレビ放送をモニターで視聴することができます。

4 K 映像の視聴

4 K 出力対応機器をモニターの H D M I 端子に接続して、ハイビジョンの約 4 倍の解像度を持つ 4 K 映像コンテンツを視聴できます。

 → [テレビを見る > 4 K 映像を見る](#)

過去未来番組表

チューナー部に内蔵のHDDに録画している番組や宅内のネットワークに接続されたディーガやビエラに録画している過去の番組、放送予定の未来の番組を1つの番組表にまとめて表示して、再生や録画予約したり、放送中の番組を視聴したりすることができます。

番組表には、最大30日前までの録画番組を表示できます。

 → [いろいろな機能 > 過去未来番組表を使う](#)

B l u e t o o t h オーディオ機器

本機に対応したB l u e t o o t h オーディオ機器（ヘッドホンやスマートフォンなど）を登録（ペアリング）すると、本機の音声をヘッドホンで聴いたり、スマートフォンなどの音声を本機のスピーカーで聴くことができます。

- 本機は、A2DP (Advanced Audio Distribution Profile) や AVRCP (Audio / Video Remote Control Profile) に対応したB l u e t o o t h オーディオ機器などが使用できます。



→ [いろいろな機能 > B l u e t o o t h 対応機器を使う > B l u e t o o t h 設定をする](#)

写真機能

HDDに取り込んだ写真や撮影ビデオ、動画、または宅内のネットワークに接続されたディーガに保存されている写真や動画（ビデオ映像）を再生したり、モニターのUSB端子（AV周辺機器用）に接続したUSB機器などに写真を保存したりすることができます。



→ ホームを使う > ギャラリー画面を操作する > ギャラリーを表示する

ホーム画面

ホームとは、本機の機能やアプリ、外部機器などを使いやすくするための画面です。
テレビ放送やインターネットサービスなどのアプリ、接続した外部機器など、見たいコンテンツを簡単に起動することができます。



→ [ホームを使う](#) > [ホーム画面を操作する](#) > [ホームについて](#)

録画（録画予約）、再生

チューナー部に内蔵のHDDに録画したり、HDDに録画を続けながら、録画開始時点から再生できる「追っかけ再生」に対応しています。



→ 録画する > 見ている番組を録画する



→ 録画する > 録画予約をする



→ メディアプレーヤー > 録画した番組を再生・編集する

エコナビ

視聴環境や使用環境に応じて、本機が自動的に本機および周辺機器を制御して、消費電力を低減します。



テレビを見る > テレビの節電機能（エコナビなど）を設定する > テレビの節電機能（エコナビなど）について

インターネット

インターネットに接続すると、映像配信サービスなどのアプリを利用して映画やドラマを見たり、知りたい情報をWebサイトで閲覧するなどインターネットサービスが利用できます。

 → ネットワーク > インターネットを利用する

お部屋ジャンプリンク

本機をネットワークに接続すると、他の部屋にあるお部屋ジャンプリンクに対応したディーガに記録した録画番組などを本機で楽しむことができます。



ネットワーク > お部屋ジャンプリンク > お部屋ジャンプリンクを使う

スマートアプリ機能

本機をネットワークに接続し、スマートフォンやタブレット端末などにスマートアプリをインストール・設定すると、スマートフォンやタブレット端末などで以下のような機能が利用できます。

- スマートアプリは、予告なく変更・停止・終了する場合があります。詳細については、以下のホームページでご覧になれます。

<https://panasonic.com/jp/support/tv/>

■ どこでもディーガ

外出先や家の中で、現在放送中の番組、本機で録画した番組をスマートフォンやタブレット端末などで視聴したり、本機に取り込んだ写真や動画をスマートフォンなどで楽しんだりできます。録画した番組は、スマートフォンなどにダウンロードすると、ネットが繋がらない場所でも楽しめます。

また、スマートフォンなどで撮った写真や動画を、チューナー部に送ることができます。



→ ネットワーク > ネットワークを利用するための接続設定をする > スマートアプリやディモラ機能について

■ TVシェア

スマートフォンやタブレット端末などを本機のリモコンとして使用することや、スマートフォンやタブレット端末などのコンテンツを本機に転送して視聴できます。



→ ネットワーク > ネットワークを利用するための接続設定をする > スマートアプリやディモラ機能について

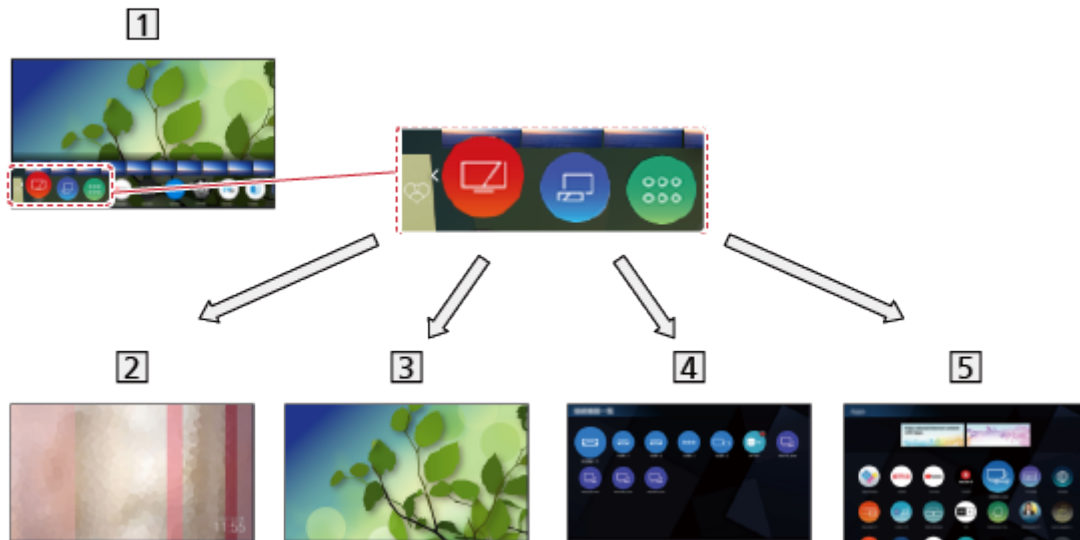
ホームを使う

ホーム画面を操作する

ホームについて

ホームとは、本機の機能やアプリ、外部機器などを使いやすくするための画面です。
ホームでは、以下の例のように、テレビ放送やインターネットサービスなどのアプリ、接続した外部機器など、見たいコンテンツを簡単に起動することができます。

(例)



1 ホーム画面

2 ギャラリー画面

- 本機に内蔵されている写真や動画（ビデオ映像）やHDDに取り込んだ写真や動画（ビデオ映像）、またはディーガやUSB機器などと連携して、デジタルフォトフレームとして使う

 → ホームを使う > ギャラリー画面を操作する

3 テレビ画面

- テレビ放送を視聴する

 → ホームを使う > テレビ画面を操作する

4 接続機器一覧画面

- 接続した外部機器（HDMI機器、USB機器、ネットワーク機器など）を使う

 → ホームを使う > 接続機器一覧画面を操作する

5 アプリ一覧画面

- いろいろなアプリケーション（番組表やインターネットサービスなど）を使う

 → ホームを使う > アプリ一覧画面を操作する

= お知らせ =

- ソフトウェアの更新についてのメッセージが表示された場合は、画面の表示内容に

従ってソフトウェアの更新を行ってください。ソフトウェアの更新を行わない場合は、ホームの機能が一部ご利用いただけないことがあります。

ソフトウェアは、あとから手動で更新することもできます。



→ ネットワーク > ネットワークを利用するための接続設定をする > ソフトウェアの確認と更新をする

ホームを操作する

ホームから、テレビ放送やメディアプレーヤー、インターネットサービス、データサービス、外部機器など見たいコンテンツを選択して各種機能を楽しむことができます。

1. [ホーム] ボタンを押す

(例)



- △ ボタンを押して、テレビ番組や録画番組、おすすめのインターネットコンテンツ（動画）などを選択することができます。
 - 選択している機能により表示されない場合があります。
- ◀ または ▶ ボタンを押して、ホームに登録した機能（チャンネルやアプリ、外部機器など）やおすすめのコンテンツが選択できます。
- インターネットコンテンツを利用するには、本機をインターネットに接続する必要があります。

 → ネットワーク > ネットワークに接続する

 → ネットワーク > ネットワークを利用するための接続設定をする

2. 機能（チャンネルやアプリ、外部機器など）を選び、[決定] ボタンを押す

- テレビ放送を見るには、**テレビ**を選択します。

(例)



= お知らせ =

- 表示できるサービス内容や画面は予告なく変更する場合があります。

■ コンテンツを検索する

キーワードを入力して番組表や録画番組、インターネットなどからコンテンツを検索します。

- インターネットコンテンツを検索するには、本機をインターネットに接続する必要があります。

 → ネットワーク > ネットワークに接続する

 → ネットワーク > ネットワークを利用するための接続設定をする

1. [ホーム] ボタンを押す

2. **検索**を選び、[決定] ボタンを押す

- 検索履歴（キーワード）が表示されているときは、△ ボタンを押して選択することができます。

3. 画面の表示内容に従って検索する

● 検索履歴を削除するには

- 1) 検索を選び、[サブメニュー] ボタンを押す
- 2) 全履歴の削除を選び、[決定] ボタンを押す

■ ホーム設定をする

1. [メニュー] ボタンを押して設定を選び、[決定] ボタンを押す
2. 機器設定 > ホーム設定 > オートピンを選び、[決定] ボタンを押す
3. オン / オフを選び、設定する
 - オンに設定すると、よく使う機能をホームに自動的に追加します。

■ ゲームコントロールボードを使う

HDMI 端子から映像入力しているときに、ゲームに関連した設定や状態の確認などを行うことができます。

1. [ホーム] ボタンを押す
2. アプリ一覧を選び、[決定] ボタンを押す
3. ゲームコントロールボードを選び、[決定] ボタンを押す
4. 画面の表示内容に従って設定する
 - 接続機器や入力信号によって表示される項目は異なります。
 - 入力信号の詳細情報を確認するには

 → テレビを見る > テレビ放送を見る > 番組情報を確認する

= お知らせ =

- HDMI 入力以外の映像を視聴中に、ゲームコントロールボードを選択すると自動的にHDMI 入力に切り換わります。

ホームに機能を登録する

ホーム画面にお気に入りの機能を登録することができます。

1. [ホーム] ボタンを押す
2. [接続機器一覧](#) / [アプリ一覧](#) / [テレビ](#)から選び、[決定] ボタンを押す
3. 登録する機能（チャンネルやアプリ、外部機器）を選び、[サブメニュー] ボタンを押す
4. [ホームに登録](#)を選び、[決定] ボタンを押す
5. 登録する位置を選び、[決定] ボタンを押す
 - ホームに登録した機能を削除するには



⇒ [ホームを使う](#) > [ホーム画面を操作する](#) > [ホーム画面に関する操作をする](#)

ホーム画面に関する操作をする

1. ホーム画面で操作する機能を選び、[サブメニュー] ボタンを押す
 2. 設定したい項目を選び、[決定] ボタンを押す
[ホームから削除](#) / [移動](#) / [表示チャンネル設定](#)
 3. 項目ごとに設定する
-

[ホームから削除](#)

ホームに登録した機能（チャンネルやアプリ、外部機器）を削除します。

[移動](#)

ホームに登録した機能（チャンネルやアプリ、外部機器）の位置を移動します。

- 画面の表示内容に従って操作してください。
-

[表示チャンネル設定](#)

ホームに表示するおすすめ番組のテレビ放送の種類を設定します。

- 画面の表示内容に従って操作してください。

接続機器一覧画面を操作する

接続した外部機器を使う

接続した外部機器（HDMI 機器、USB 機器、ネットワーク機器など）を視聴する

1. [ホーム] ボタンを押す
2. [接続機器一覧](#)を選び、[決定] ボタンを押す

(例)



- 接続機器一覧画面を終了するには [戻る] または [元の画面] ボタンを押します。
- ホームにお気に入りの機器を登録するには

 → [ホームを使う](#) > [ホーム画面を操作する](#) > [ホームに機能を登録する](#)

3. 接続機器を選び、[決定] ボタンを押す

- HDMI 接続などの外部機器

 → [テレビを見る](#) > [外部機器をつないで見る、聴く](#)

- USB 機器やネットワーク機器など

 → [メディアプレーヤー](#) > [メディアプレーヤーを使う](#)

- お部屋ジャンプリンク対応機器

 → [ネットワーク](#) > [お部屋ジャンプリンク](#)

- ミラーリング機能に対応したスマートフォンやタブレット端末、パソコンなどの機器

 → [いろいろな機能](#) > [ミラーリング機能を使う](#)

= お知らせ =

- 利用できる接続機器や画面は予告なく変更する場合があります。

接続機器一覧画面に関する操作をする

1. 接続機器一覧画面で操作する機器を選び、[サブメニュー] ボタンを押す
2. 設定したい項目を選び、[決定] ボタンを押す

[ホームに登録](#) / [情報を見る](#)

3. 項目ごとに設定する
-

ホームに登録

ホームに選択した機器を登録します。



→ [ホームを使う](#) > [ホーム画面を操作する](#) > [ホームに機能を登録する](#)

情報を見る

選択した機器に関する情報を表示します。

アプリ一覧画面を操作する



アプリを使う

ホーム画面からアプリ一覧画面を表示し、番組表、予約一覧、インターネットサービスなどのアプリを操作します。

1. [ホーム] ボタンを押す
2. **アプリ一覧**を選び、[決定] ボタンを押す
 - [アプリ] ボタンを押してアプリ一覧画面を表示することもできます。

(例)



- アプリ一覧画面を終了するには[戻る] または [元の画面] ボタンを押します。
- ホームにお気に入りのアプリを登録するには
 → **ホームを使う > ホーム画面を操作する > ホームに機能を登録する**
- リモコンの[マイアプリ] ボタンにお気に入りのアプリを1つ登録するには
 → **ホームを使う > アプリ一覧画面を操作する > アプリ一覧画面に関する操作をする**

3. アプリを選び、[決定] ボタンを押す
4. 画面の表示内容に従って操作する

= お知らせ =

- 利用できるサービス内容や画面は予告なく変更する場合があります。
- アプリは提供事業者の都合により、予告なく変更・停止・終了する場合があります。
- 本機をインターネット（ブロードバンド環境）に接続したときに利用できるアプリがあります。

アプリ一覧画面に関する操作をする

1. アプリ一覧画面で操作するアプリを選び、[サブメニュー] ボタンを押す
 2. 設定したい項目を選び、[決定] ボタンを押す
[ホームに登録](#) / [マイアプリに設定](#) / [移動](#) / [ロック](#) / [ロックを解除](#) / [削除](#) / [情報を見る](#)
 3. 項目ごとに設定する
-


ホームに登録

ホームに選択したアプリを登録します。

 → [ホームを使う](#) > [ホーム画面を操作する](#) > [ホームに機能を登録する](#)

マイアプリに設定

リモコンの [マイアプリ] ボタンにお気に入りのアプリを1つ登録します。

- 登録したアプリに  が表示されます。
 - マイアプリに登録したアプリを変更するには、変更したいアプリを選び同様に操作してください。
-

移動

アプリ一覧画面でアプリの位置を移動します。

ロック / ロックを解除

アプリの使用を制限したり解除します。

- 使用を制限したアプリを利用するときに、暗証番号の入力画面になります。

 → [いろいろな機能](#) > [制限項目や暗証番号に関する設定をする](#) > [制限項目を設定する](#)

削除

アプリ一覧画面からアプリを削除します。

- 画面の表示内容に従って操作してください。
 - 一部、削除できないアプリがあります。
-

情報を見る

選択したアプリに関する情報を表示します。

テレビ画面を操作する

テレビを視聴する

ホーム画面からテレビ放送を視聴します。

1. [ホーム] ボタンを押す
2. **テレビ**を選ぶ
3. [決定] ボタンを押す

(例)



- テレビ放送の視聴については

 → **テレビを見る > テレビ放送を見る**

- ホームにお気に入りのチャンネルを登録するには

 → **ホームを使う > ホーム画面を操作する > ホームに機能を登録する**

テレビ画面に関する操作をする

1. テレビ画面表示中に [サブメニュー] ボタンを押す
2. 設定したい項目を選び、[決定] ボタンを押す

[ホームに登録](#) / [視聴オプション](#)

3. 項目ごとに設定する
-

[ホームに登録](#)

ホームに視聴中のチャンネルを登録します。



→ [ホームを使う](#) > [ホーム画面を操作する](#) > [ホームに機能を登録する](#)

[視聴オプション](#)

番組視聴中に関連する機能を設定します。



→ [テレビを見る](#) > [テレビ放送を見る](#) > [番組視聴中に関連機能を設定する](#)

- 表示される項目はテレビ番組により異なる場合があります。

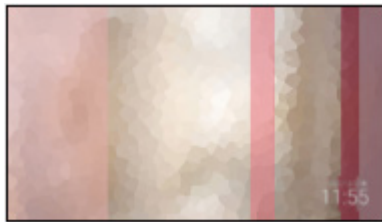
ギャラリー画面を操作する

ギャラリーを表示する

ホーム画面からギャラリーを表示します。

1. [ホーム] ボタンを押す
2. ◀ ボタンを押して**ギャラリー**を選ぶ
3. [決定] ボタンを押す

(例)



- △ / ▽ / ◀ / ▶ ボタンで表示するギャラリーを選び、[決定] ボタンを押すとギャラリーが変更できます。
- ギャラリー画面を終了するには[元の画面] ボタンを押します。

= お知らせ =

- 利用できるサービス内容や画面は予告なく変更する場合があります。
- 本機能では写真・動画データは暗号化されませんので、LAN製品（ルーターなど）のセキュリティ設定を行ってご利用ください。

セキュリティ設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する場合があります。

- 悪意ある第三者により通信内容を傍受される
- ネットワークに不正に侵入され、以下の行為をされてしまう可能性がある
 - 1) 個人情報や機密情報を取得する
 - 2) 特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す
 - 3) 傍受した通信内容を改ざん・書き換えて発信する
 - 4) コンピューターウィルスなどを流してデータやシステムを破壊する
- ギャラリー画面を表示中は、**映像モード**が**ギャラリー**に固定されます。
- ギャラリー画面を表示中に約15分以上本機の操作をしないときは、画面の焼き付き防止のため自動的に明るさを低減します。
- HDDに取り込んだ写真や撮影ビデオ、動画、または宅内のネットワークに接続されたディーガに保存されている写真や動画（ビデオ映像）を再生したり、モニターのUSB端子（AV周辺機器用）に接続したUSB機器などに写真を保存したりすることができます。

また、ホーム画面やアプリ一覧画面で**写真**を選び、[決定] ボタンを押して再生することもできます。

- 写真をUSB機器などに保存する場合は、モニターのUSB端子（AV周辺機器用）にUSB機器を接続したあと、再生中に[決定] ボタンを押して、**ブラウザ画面**を選択して操作してください。
- 以降は画面の表示内容に従って操作してください。

- U S B機器などに保存した写真や動画は、メディアプレーヤーで再生することができます。



→ メディアプレーヤー > メディアプレーヤーを使う

- A V C H Dなど、ファイル形式によっては再生できません。
- ギャラリー機能の準備や操作方法、対象機器（ディーガ、ビエラ）などについては、サポートサイト（ホームページ）をご覧ください。




→ 困ったときは / よくあるご質問 / English Guide > インターネットを通じて、サポートサイト（ホームページ）を見る > 本機のサポート情報を見る

■ ギャラリー画面に関する設定をする

HDDに取り込んだ写真や動画（ビデオ映像）、またはディーガやU S B機器などに保存されている写真や動画（ビデオ映像）を選択したり、タイマーの設定やBGM（バックグラウンド・ミュージック）の選択など、ギャラリー画面に関する設定や、ガイド画面の表示ができます。

1. ギャラリー画面表示中に「決定」ボタンを押す
2. 設定したい項目を選び、「決定」ボタンを押す
 - 以降は画面の表示内容に従って操作してください。
 - 表示される項目は表示するギャラリーにより異なる場合があります。

= お知らせ =

- ファイルサイズによっては、選択した写真（画像）が表示されない場合があります。
- U S B機器の写真や動画（ビデオ映像）は、ルートディレクトリに保存されているファイルのみ選択できます。フォルダ内に保存されているファイルは選択できません。
- HDDに取り込んだ写真、またはディーガやU S B機器などに保存されている写真を回転する場合は、「」ボタンを押してシングル表示にしてから操作してください。スライドショー再生中は回転できません。

操作後、スライドショー再生に戻るには「」ボタンを押します。

テレビを見る

テレビ放送を見るための準備をする


アンテナ線を接続する

接続を行う前に、各機器の電源プラグをコンセントから抜いてください。

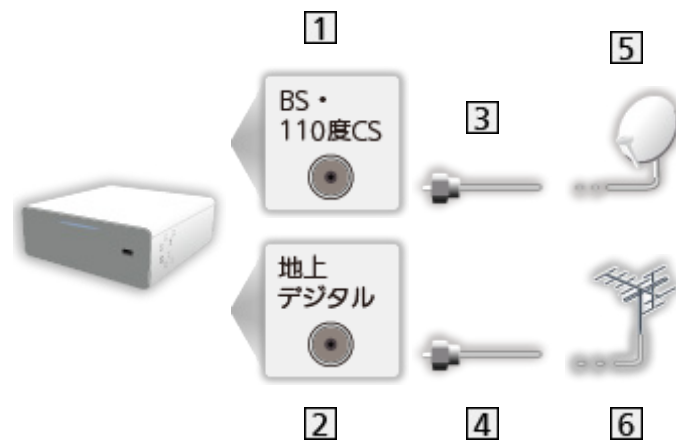
接続図は一般的な例であり、アンテナとの接続方法によって新たにご準備いただくもの（ケーブル・分配器・分波器・アンテナプラグなど）は変わります。詳しくはお買い上げの販売店にご相談ください。

- 地上デジタル放送の電波が強すぎて映像が不安定になる場合は、[地上デジタル受信設定のアッテネーターをオン](#)にしてください。

 → [いろいろな機能](#) > [地域やチャンネルなど設置に関する設定をする](#) > [設置設定をする](#)

- 従来のBS・110度CSアンテナ（右旋円偏波対応）を本機に接続すると、4K放送が視聴できます。
また、左旋円偏波対応のBS・110度CSアンテナを接続することで、さらに多くのチャンネルが視聴できます。
- 左旋円偏波の4K放送を視聴するためには、「SHマーク」が表示された機器など、4K放送に対応した機器をご使用ください。
- 本機以外のテレビでテレビ放送を視聴する場合は、チューナー部のテレビへ出力端子とテレビ側のアンテナ入力端子をアンテナケーブルで接続してください。
- 接続方法の詳細については、 取扱説明書をご覧ください。


■ 一戸建てなど、個別のアンテナで受信する場合



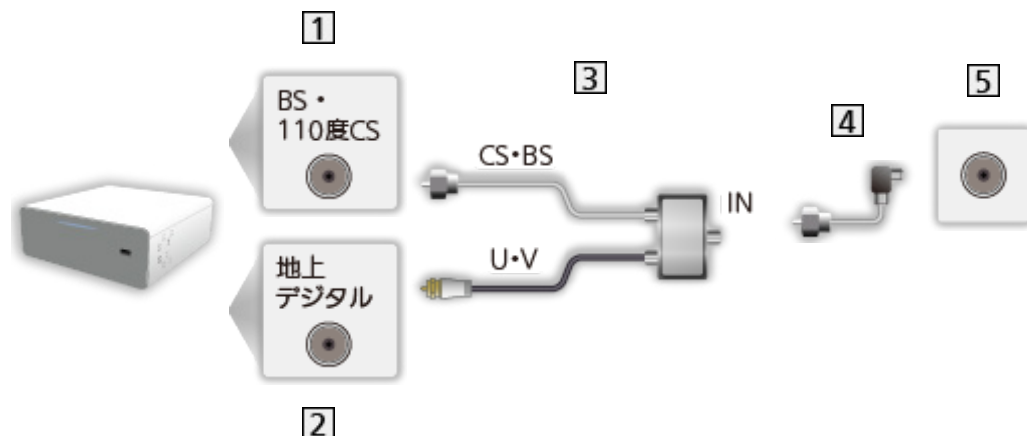
- 1** BS・110度CS－I F入力
- 2** 地上デジタル入力
- 3** 衛星用同軸ケーブル（市販品）
- 4** 同軸ケーブル（市販品）
- 5** BS・110度CSデジタルハイビジョンアンテナ
- 6** 地上デジタル放送用UHFアンテナ

= お知らせ =

- [衛星受信設定のアンテナ電源をオン](#)にして、調整してください。

 → [いろいろな機能 > 地域やチャンネルなど設置に関する設定をする > 設置設定をする](#)

■ マンションなど、共同のアンテナで受信する場合



- ① BS・110度CS－I F入力
- ② 地上デジタル入力
- ③ CS・BS / U・V分波器（別売品）
- ④ 衛星用同軸ケーブル（市販品）
- ⑤ 壁面アンテナ端子

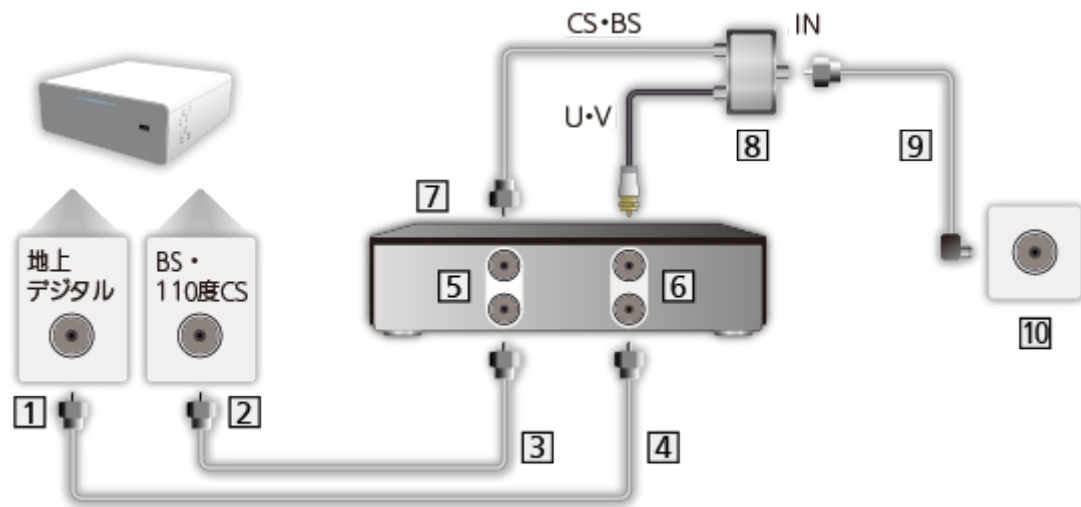
= お知らせ =

- [衛星受信設定のアンテナ電源をオフ](#)にしてください。

 → [いろいろな機能 > 地域やチャンネルなど設置に関する設定をする > 設置設定をする](#)

- ケーブルを接続する前に、端子の形状が一致していることを確認してください。

■ 4 K放送対応の録画機器（ディーガなど）を中継して接続するときの一例
マンションなどの共同受信の場合に、4 K放送対応の録画機器を接続するときの例です。詳しくは接続機器の取扱説明書でご確認ください。



- ① 地上デジタル入力
- ② BS・110度CS-IF入力
- ③ 衛星用同軸ケーブル（市販品）
- ④ 同軸ケーブル（市販品）
- ⑤ BS・110度CS-IF端子
- ⑥ 地上デジタル端子
- ⑦ 4 K放送対応の録画機器
- ⑧ CS・BS / U・V分波器（別売品）
- ⑨ 衛星用同軸ケーブル（市販品）
- ⑩ 壁面アンテナ端子

= お知らせ =

- ビエラリンクの接続については、以下をご参照ください。

 → [いろいろな機能 > ビエラリンク（HDMI）を使う > ビエラリンクの概要](#)

- 接続図に記載されている外部機器やケーブルは、本機には付属されておりません。
- 接続機器の取扱説明書も併せてご覧ください。
- 映像や音の乱れ、誤動作を避けるため、本機を、電子機器や赤外線リモコンで操作する機器から離して設置してください。
- ケーブルを接続する前に、端子の形状が一致していることを確認してください。

かんたん設置設定をする

かんたん設置設定を行うと、テレビ番組を視聴するために必要な設定画面を表示します。

- 引っ越しなどで設定をやり直すときは、かんたん設置設定を行ってください。
- 事前にアンテナ線の接続を確認してください。

1. [メニュー] ボタンを押して**設定**を選び、[決定] ボタンを押す
2. **機器設定** > **かんたん設置設定**を選び、[決定] ボタンを押す
3. 画面の表示内容に従って設定する

＝ お知らせ ＝

- 一般のご家庭の場合、**ご家庭用**と**店頭用**の選択画面では、**ご家庭用**を選択してください。
- 機種によって、**ご家庭用モード**と**店頭用モード**では、同一の**映像モード**を選択した場合でも、初期設定値が異なる場合があります。

[メニュー] ボタンを押したあと**映像モード**を選び、△ または ▽ ボタンで設定値を変更することができます。

- 録画中は設定できません。

■ 画面表示の言語を変更する

お買い上げ時に設定した言語（日本語または English）を、あとから切り換えることができます。

- 一部の表示は、設定にかかわらず日本語表記となります。

1. [メニュー] ボタンを押して**設定**（現在の設定が English のときは、**Main Menu**）を選び、[決定] ボタンを押す
2. **機器設定** > **言語 / Language** > **OSD 言語**を選び、[決定] ボタンを押す
 - 現在の設定が English のときは、**Setup** > **言語 / Language** > **OSD Language** を選び、[決定] ボタンを押します。
3. **日本語 / English** を選び、設定する

無線と映像品質の設定や無線電波状態の通知を設定する

テレビ視聴や録画された番組をチューナー部からモニターへ送信するときに、画質を落とす調整をすることで、映像の途切れや停止を改善します。画質の調整が行われると、チャンネルの切り換えや再生開始までに時間がかかる場合があります。

1. [メニュー] ボタンを押して**設定**を選び、[決定] ボタンを押す
2. **ネットワーク設定** > **無線と映像品質の設定**を選び、[決定] ボタンを押す
3. **自動** / **無線優先** / **画質優先**を選び、設定する

自動：

電波状況が悪い場合に、自動的に**無線優先**に切り換わります。

- 一度切り換わると、チャンネル切り換えや再生を停止するまで**無線優先**のままになります。

無線優先：

通信状態に応じて、最適なレートに変換して送信します。チャンネル切り換えや再生開始までの時間が長くなりますが、映像がとぎれにくくなります。

画質優先：

画質をおとさずに放送画質、録画画質のまま視聴できます。

＝ お知らせ ＝

- 現在の無線と映像品質の状態表示については、以下をご参照ください。

 → **テレビを見る > テレビ放送を見る > 番組情報を確認する**

■ 無線電波状態の通知を設定する

モニターとチューナー部の無線電波状態が悪いとき、本機の画面にノイズが発生する場合があります。テレビ放送視聴中に、無線電波状態が悪くなったとき、自動的に通知するか設定します。

1. [メニュー] ボタンを押して**設定**を選び、[決定] ボタンを押す
2. **ネットワーク設定** > **無線電波状態の通知**を選び、[決定] ボタンを押す
3. **オン** / **オフ**を選び、設定する

オンに設定すると、無線の電波状態が悪くなったときに、自動的に画面下部にメッセージを表示します。

- メッセージが表示された場合は、画面の表示内容に従って操作してください。

テレビ放送を見る

テレビ放送を選局する

1. 放送切換ボタンを押して、放送の種類を選ぶ

[地上]：地上デジタル（地上D）放送

[BS]：BSデジタル放送

[CS]：110度CSデジタル放送（スカパー！）

[BS／CS 4K]：BS 4K・110度CS 4K放送

2. [チャンネル] ボタン、または [1～12] ボタンで選局する



- 3桁のチャンネル番号を入力して選局するときは
 - 1) [サブメニュー] ボタンを押して**視聴オプション**を選び、[決定] ボタンを押す
 - 2) **3桁入力選局**を選び、[決定] ボタンを押す
(例：「101」チャンネルを選ぶときは [1] [10] [1] ボタンを押す)
- 地上デジタル放送で枝番が異なる放送を選局するときは
 - 1) [サブメニュー] ボタンを押して**視聴オプション**を選び、[決定] ボタンを押す
 - 2) **枝番選局**を選び、[決定] ボタンを押す
 - 枝番とは同じチャンネル番号の放送が複数受信できた場合に追加される区別番号のことです。
 - [緑] ボタンを押すと、選択中の放送局に**主選局**を表示します。チャンネル番号入力時は、この**主選局**のある放送局が選局されます。

＝ お知らせ ＝

- 本機では8K放送は受信できません。
- 録画開始直後、一瞬映像が途切れ、これまで表示されていたデータ放送などがリセットされる場合がありますが、故障ではありません。

引き続き、データ放送を表示するには、[データ] ボタンを押してください。

■ チャンネルボタンでの選局対象を設定する

デジタル放送のとき、[チャンネル] ボタンで順送りできるチャンネルを選択します。

1. [メニュー] ボタンを押して**設定**を選び、[決定] ボタンを押す
2. **機器設定** > **その他の設定** > **選局対象**を選び、[決定] ボタンを押す
3. **設定チャンネル / テレビ / すべて**から選び、設定する

設定チャンネル：

リモコンの [1～12] ボタンに設定されているチャンネルと、チャンネル設定で設定したチャンネル。

テレビ：

テレビ放送（映像＋音声）のチャンネルのみ。

すべて：

現在放送されている、すべてのチャンネル。

■ 番組表を使って選局する

1. [番組表] ボタンを押して番組表を表示する
2. 放送切換ボタンを押して、放送の種類を選ぶ
[地上]：地上デジタル（地上D）放送
[BS]：BSデジタル放送
[CS]：110度CSデジタル放送（スカパー！）
[BS/CS 4K]：BS4K・110度CS4K放送
3. 現在放送している番組を選び、[決定] ボタンを押す
- 直前に見ていた番組を画面左上に表示します。
4. **今すぐ見る**を選び、[決定] ボタンを押す



→ [テレビを見る](#) > [番組表の使い方](#) > [番組表について](#)

■ テレビ放送の画面を表示する

リモコンで電源を「切」「入」したときは、電源を切る直前に視聴していたサービス（テレビ放送やインターネットサービスなど）が表示されます。

- テレビ放送以外（インターネットサービスなど）の画面が表示された場合に、テレビ放送を表示するには[元の画面] ボタンを押します。

データ放送を見る

- デジタル放送を見ているときに、画面に表示される説明に従い操作すると、いろいろな情報を見ることができます。
- 本機ではインターネット（LAN）接続による双方向（データ放送）サービスに対応しています。ただし、電話回線を直接本機に接続することによる双方向（データ放送）サービスはご利用になれません。
- 本機はデータ放送のハイブリッドキャストに対応しています。
本機をインターネットに接続し、[データ] ボタンを押すとご利用いただけます。
- 本機でハイブリッドキャストを利用する場合は、[ハイブリッドキャスト機能をオン](#)に設定してください。

 → [テレビを見る](#) > [テレビ放送を見る](#) > [ハイブリッドキャストの設定をする](#)

■ データ放送を見る

1. デジタル放送を見ているときに [データ] ボタンを押す
 - 情報が多いときは、表示に時間がかかります。
 - 番組によっては、データ放送が表示されない場合があります。
2. 見たい項目を選び、[決定] ボタンを押す
 - デジタル放送に戻るときは、もう一度 [データ] ボタンを押す
 - 番組によりカラーボタンなどを使った専用の選択画面や数字入力画面を表示します。表示内容に従って操作してください。
 - データ放送があるか確認するには、番組表や検索結果などから確認したい番組を選び、[決定] ボタンを押す
 - [番組内容](#)画面に「データ」、「+d テレビ」、「d ラジオ」などのアイコンが表示された番組はデータ放送があります。（アイコンが表示されない番組もあります）

ハイブリッドキャストの設定をする

ハイブリッドキャストをご利用になるときや、スマートフォンやタブレット端末などからハイブリッドキャストを起動する場合などに設定します。

1. [メニュー] ボタンを押して設定を選び、[決定] ボタンを押す
2. 機器設定 > ハイブリッドキャスト設定を選び、[決定] ボタンを押す
3. 設定したい項目を選び、[決定] ボタンを押す

ハイブリッドキャスト機能 / リモート電源オン機能 / ペアリング情報削除

4. 項目ごとに設定する

ハイブリッドキャスト機能

(オン / オフ)

オンにすると、ハイブリッドキャストをご利用になれます。

リモート電源オン機能

(オン / オフ)

オンにすると、スマートフォンやタブレット端末などで本機の電源を「入」にして、ハイブリッドキャストを起動することができます。

- この機能をご使用になるときは、リモコンで本機の電源を「切」にしてください。
- 設定によっては、リモコンで電源「切」時、消費電力が増えることがあります。
- リモート電源オン機能をオンに設定している場合、リモコンで電源を「切」にすると、待機状態であることを示すためにモニター本体の電源ランプが橙色になります。

ペアリング情報削除

登録（ペアリング）済みのスマートフォンやタブレット端末などの情報をすべて削除します。

= お知らせ =

- ハイブリッドキャストをご利用になるにはブロードバンド環境に対応したネットワークへの接続と設定が必要です。ネットワーク接続とネットワーク設定ができていることを確認してください。

 → ネットワーク > ネットワークに接続する

 → ネットワーク > ネットワークを利用するための接続設定をする

- ご利用環境や接続回線の混雑状況などにより、表示に時間がかかったり、接続できない場合があります。
- 操作方法は、放送局によって異なる場合があります。画面の表示内容に従って操作してください。
- 画面の操作ガイドは、リモコンの表記と異なる場合があります。
- スマートフォンやタブレット端末などの機器で操作するには、本機の操作ができるアプリをインストールし、本機が接続されているネットワークに無線LANで接続

して、登録（ペアリング）する必要があります。

アプリの操作や登録については、アプリの取扱説明書をご覧ください。

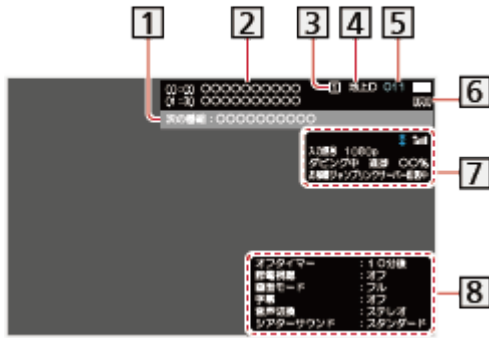


→ 困ったときは / よくあるご質問 / English Guide > インターネットを通じて、サポートサイト（ホームページ）を見る > 本機のサポート情報を見る

番組情報を確認する

- 番組視聴中に「画面表示」ボタンを押して、情報を表示します。
- 番組情報はチャンネル選局したときにも表示します。
- HDMI端子に外部機器を接続して映像を視聴しているときに、「画面表示」ボタンを3秒以上押すと、入力信号の詳細情報（解像度やHDR方式、ALLM情報などの入力信号、メーカーなどの接続機器情報など）を表示します。表示を消すには、表示中に「画面表示」ボタンを押します。

（例）



- 1 次の番組の紹介（3分前から表示）
- 2 視聴中の番組の放送時間・タイトル
- 3 リモコンボタン表示
- 4 放送の種類
- 5 チャンネル番号
- 6 現在時刻
- 7 入力信号の種類や実行中の録画番組、ダビングの進捗、お部屋ジャンプリンクサーバー配信、モニターとチューナー部の無線通信状態などを表示

- モニターとチューナー部の無線通信状態の表示について

- 無線と映像品質の設定が無線優先または自動のときに、チューナー部からレート変換した映像を受信している場合に表示されます。画質優先で受信しているときには表示されません。



（高画質）

（低画質）

- モニターの無線状態（受信レベル）が表示されます。直接接続の場合は、チューナー部との無線状態を表示し、無線LANアクセスポイント接続の場合は、無線ブロードバンドルーターとの無線状態を表示します。
表示本数が多い場合でも、電波干渉などの影響で、映像や音声途切れて停止することがあります。

接続中は「」が点滅し、接続できない場合は「」が表示されます。



（強）

（弱）

- 8 オフタイマー残り時間や画面モード、音声などを表示

= お知らせ =

- 番組情報などの画面表示は数秒で、放送とチャンネル番号などの小さな表示になります。

(画面の焼き付き防止のため約 30 秒で表示が消えます)

タイトル表示を設定する

選局時の番組タイトル文字サイズを設定します。

1. [メニュー] ボタンを押して[設定](#)を選び、[決定] ボタンを押す
2. [機器設定](#) > [表示の設定](#) > [タイトル表示](#)を選び、[決定] ボタンを押す
3. [オン（大）](#) / [オン（標準）](#) / [オフ](#)から選び、設定する

[オン（大）](#)：

チャンネルを変えたときなどに、番組のタイトルなどの文字を大きく表示します。

[オン（標準）](#)：

チャンネルを変えたときなどに、番組のタイトルなどの文字を標準の大きさで表示します。

[オフ](#)：

タイトルを表示しません。（チャンネル番号は表示します）[オフ](#)に設定しても、[画面表示] ボタンを押したときは、タイトル表示します。

番組視聴中に関連機能を設定する

関連する機能を表示します。

1. テレビ放送を視聴中に「サブメニュー」ボタンを押す
 2. [視聴オプション](#)を選び、「決定」ボタンを押す
 3. 設定したい項目を選び、「決定」ボタンを押す
 - 「テレビ放送を見る」に関連する機能項目
[アンテナレベル](#) / [無線電波状態](#) / [信号切換](#) / [データ放送表示オフ](#)
 4. 項目ごとに設定する
-

アンテナレベル

アンテナレベルの信号品質はアンテナ設置方向の最適値を確認するための目安です。表示される数値は、受信している電波の強さではなく、質（信号と雑音の比率）を表します。

アンテナレベルの信号品質は天候、季節、地域、チャンネルなどにより異なります。また、アンテナシステムの条件などによって、変動する場合がありますので、十分な余裕を取ることをおすすめします。

- 受信可能な信号品質の目安
地上デジタル 44以上
衛星デジタル 54以上
 - 地上デジタル放送の場合は、さらに「決定」ボタンを押すと、受信状況の一覧を確認できます。
 - BSや110度CSデジタル放送、BS4K・110度CS4K放送以外の衛星電波を受信中は[他の衛星受信中](#)と表示されます。
 - [アンテナレベル](#)の[信号品質](#)を確認し、必要であればアンテナの向きを調整してください。
 - BSや110度CSデジタル放送、BS4K・110度CS4K放送の場合に表示される[信号強度](#)は、受信信号の強さの目安です。アンテナの調整は、[信号品質](#)の数値を参考にしてください。
-

無線電波状態

受信レベルや映像伝送レベルが確認できます。

- 受信レベルや映像伝送レベルは30以上が安定した受信状態の目安です。30未満の場合はモニターやチューナー部の位置を調整すると改善される場合があります。また、受信レベルが30以上であっても映像伝送レベルが30未満の場合は、ほかの無線機器と干渉している可能性があります。無線設定を変更することで改善される場合があります。

詳しくは、[ネットワーク設定](#) > [ネットワーク状態のヘルプ](#)をご確認ください。

また、設置方法については、 取扱説明書も併せてご覧ください。

- 受信レベルは電波の強さを表し、映像伝送レベルは電波の品質（S / N）を表します。
-

信号切換

(マルチビュー / 映像 / 音声 / 二重音声 / データ / 字幕 / 字幕言語)

- 1つの番組に複数の映像や音声がある放送（マルチビュー放送）のときに番組内の映像を切り換える場合は、マルチビュー / 映像を選び設定します。
 - マルチビュー対応の放送は、2022 年 9 月現在では行われておりません。
- 信号切換で表示される設定項目は番組によって変わります。
- マルチビュー、映像、音声、二重音声、データの設定項目は、番組によって変わります。

データ放送表示オフ

データ放送の表示を中止できるときに表示します。

字幕の設定をする

1. [メニュー] ボタンを押して設定を選び、[決定] ボタンを押す
 2. 機器設定 > 表示の設定 > 字幕の設定を選び、[決定] ボタンを押す
 3. 設定したい項目を選び、[決定] ボタンを押す
字幕 / 字幕言語 / 文字スーパー / 文字スーパー言語
 4. 項目ごとに設定する
-

字幕

(オン / オフ)

オンに設定すると、字幕を表示します。

- 字幕のない番組や設定した言語の字幕がない場合、字幕は表示されません。
 - [メニュー] ボタンを押したあと字幕を選び、△ または ▽ ボタンで字幕のオン / オフを切り換えることもできます。
-

字幕言語

(日本語 / 英語)

字幕で表示したい言語を選択します。

文字スーパー

(オン / オフ)

オンに設定すると、文字スーパーを表示します。

- 文字スーパーのない番組や設定した言語の文字スーパーがない場合、文字スーパーは表示されません。
-

文字スーパー言語

(日本語 / 英語)

文字スーパーで表示したい言語を選択します。

= お知らせ =

- 強制的に表示される字幕や文字スーパーなど、設定しても番組によって無効になる場合があります。

音声を切り換える

2 カ国語放送などの音声を切り換えます。

● [音声切換] ボタンを 1 回押すと、現在の音声を表示します。

- 続けて押すたびに、音声切り換わります。(切り換えのできる音声があるときのみ)
- 2 カ国語 (二重) 放送のときの一例

主 (日本語) → 副 (外国語) → 主 + 副 (日本語 + 外国語) → 主 (日本語) …

= お知らせ =

- 電源を「切」「入」すると、元の音声 (2 カ国語放送のときは主) に戻ります。
- 放送によっては、主で外国語、副で日本語や主で日本語、副で日本語 (解説) などの場合があります。
- 接続した機器で DVD などを見ているときは、接続機器側で切り換えてください。
- チューナー一部からレート変換した映像を受信している場合は、音声の種類にかかわらず選択できる音声は最大 2 種類になります。

スピーカーとイヤホン音声の同時出力を切り換える

ヘッドホン / イヤホンを挿入しているとき、本機スピーカーからも音声出力する設定をします。

1. [メニュー] ボタンを押して**設定**を選び、[決定] ボタンを押す
2. **音声調整** > **スピーカーとイヤホン音声の同時出力**を選び、[決定] ボタンを押す
3. **する** / **しない**を選び、設定する
 - **する**に設定すると、スピーカーとヘッドホン / イヤホンの両方から音声が出力されます。
 - スピーカーの音量は [音量] ボタンで調整できます。
 - ヘッドホン / イヤホンの音量は**ヘッドホン／イヤホン音量**で調整できます。

= お知らせ =

- ヘッドホン / イヤホンを挿入して**スピーカーとイヤホン音声の同時出力をしない**に設定しているときは、リモコンの [音量] ボタンでも、ヘッドホン / イヤホンの音量調整ができます。
- ヘッドホン / イヤホンを挿入して**スピーカーとイヤホン音声の同時出力をする**に設定しているときは、モニター本体の [電源] ボタンで、ヘッドホン / イヤホンの音量調整ができます。

本体の [電源] ボタン操作については、以下をご参照ください。



困ったときは / よくあるご質問 / English Guide > よくあるご質問 (Q & A集) > 本体の電源ボタンで本機を操作する方法がわからない

- リモコンの [音量] ボタンやモニター本体の [電源] ボタンで、ヘッドホン / イヤホンの音量を調整したときは、画面下にヘッドホン / イヤホン音量を表示します。

放送メールやACASチップなどの各種情報を見る

1. [メニュー] ボタンを押して[設定](#)を選び、[決定] ボタンを押す
2. [機器設定](#) > [システム設定](#)を選び、[決定] ボタンを押す
3. 設定したい項目を選び、[決定] ボタンを押す

[放送メール](#) / [ACASチップ](#) / [ボード](#) / [ライセンス情報](#) / [ルート証明書](#)

4. 項目ごとに設定する
-

放送メール

放送局や本機からのお知らせや情報を見ることができます。(インターネットメールではありません)

確認したいメールを選び、[決定] ボタンを押すと放送メールの内容を表示します。

- [未読](#)、[既読](#)を表示します。

= お知らせ =

- 放送メールには、放送局からのお知らせ（最大31通まで保存）や、本機の機能向上のためのダウンロード情報（最新の1通のみ保存）などがあります。
- ダウンロード予約については、以下をご参照ください。



→ [いろいろな機能](#) > [チューナー部に関する設定をする](#) > [チューナー部のメール／情報、診断コードを確認する](#)

ACASチップ

ACASチップの番号などの情報を確認します。

ボード

110度C Sデジタル放送から送られるボードの情報を確認します。

ライセンス情報

本機のソフトウェアライセンス情報を表示します。

ルート証明書

データ放送時のルート証明書の情報を表示します。

- 本機のバージョンなどの情報を確認するには



→ [困ったときは / よくあるご質問 / English Guide](#) > [サポート情報](#) > [ヘルプ機能を使う](#)

タイマー機能を設定する

タイマーで電源を切る（オフタイマー）

自動的に電源を切りたい時間（30分後、60分後、90分後）を選びます。

● [オフタイマー] ボタンを押す

- 押すたびに時間が切り換わります。

- **オフ**を選択すると、オフタイマーは解除されます。
- オフタイマーの残り時間を知りたいときは[画面表示] ボタンを押して情報を表示してください。



→ [テレビを見る](#) > [テレビ放送を見る](#) > [番組情報を確認する](#)

- 電源が切れる3分前から、**3分後**、**2分後**、**1分後**と点滅表示します。

タイマーで電源を入れる（オンタイマー）

タイマーで自動的に電源を入れることができます。

1. [メニュー] ボタンを押して**設定**を選び、[決定] ボタンを押す
2. **タイマー設定** > **オンタイマー**を選び、[決定] ボタンを押す
3. 再度**オンタイマー**を選び、**入**に設定して[決定] ボタンを押す
4. リモコンの[電源] ボタンで電源を切る

■ オンタイマーの設定を変更する

時刻や音量、放送とチャンネルなどを指定して電源を自動的に入れる設定をします。

1. [メニュー] ボタンを押して**設定**を選び、[決定] ボタンを押す
2. **タイマー設定** > **オンタイマー**を選び、[決定] ボタンを押す
3. 再度**オンタイマー**を選び、**切**に設定して[決定] ボタンを押す
4. 設定したい項目を選び、[決定] ボタンを押す

オンタイマー / 繰り返し / 時刻 / 音量 / ギャラリー／放送／入力 / チャンネル

5. 項目ごとに設定する
-

オンタイマー

入に設定すると、オンタイマー機能が働きます。

オンタイマー機能を使わないときや設定を変更する場合は**切**に設定してください。

- **オンタイマー**を**入**に設定している場合、リモコンで電源を「切」にすると、待機状態であることを示すために本体の電源ランプが橙色になります。
-

繰り返し

[決定] ボタンを押して、繰り返しの曜日指定を設定する

- 繰り返しする曜日を選択し、設定します。
 - すべての曜日設定を解除すると、繰り返ししないになります。
-

時刻

電源が入る時刻を設定します。

音量

電源が入ったときの音量を設定します。

ギャラリー／放送／入力

設定しない / ギャラリー / 地上D / BS / CS / BS／CS4K / すべての外部入力から選択する。

- 電源を切る前まで見ていた放送または外部入力は**設定しない**に設定してください。
-

チャンネル

電源が入ったときのチャンネルを設定します。

- 「1～12」に設定されているチャンネル
- **放送／入力**が設定しない外部入力の場合は「—」を表示
- **設定しない**は電源を切る前まで見ていたチャンネル

チャンネル名

設定したチャンネルの放送局を自動的に表示します。

= お知らせ =

- オンタイマーの設定時刻になると電源が入り、自動的に60分のオフタイマーが働いて、電源が切れます。続けてご覧になる場合は、電源が切れる前にオフタイマーを**オフ**にしてください。
- **繰り返し**で曜日を指定している場合は、設定している曜日にオンタイマーが毎週動作します。曜日を指定していないときは、オンタイマーの設定時刻になると**オンタイマー**の設定は**切**になります。
- 本体の「電源」ボタンで電源を「切」にした場合は、オンタイマーは動作しません。
- オンタイマー機能をご利用になるには、デジタル放送用アンテナの接続と設定が必要です。




→ **テレビを見る > テレビ放送を見るための準備をする > アンテナ線を接続する**


テレビの節電機能（エコナビなど）を設定する

テレビの節電機能（エコナビなど）について

視聴環境に応じて、本機の画面の明るさや画質を自動調整したり、接続している機器を制御して、消費電力を低減することができます。

 → テレビを見る > テレビの節電機能（エコナビなど）を設定する > エコナビを設定する

以下の場合、本機の電源が自動的に切れます。

- **エコナビをおすすめ設定**にしている
 - **おすすめ設定**に設定すると、**無操作自動オフ**、**無信号自動オフ**が**入**に設定されます。
- **オフタイマー**を設定している
 -  → テレビを見る > タイマー機能を設定する > タイマーで電源を切る（オフタイマー）
- **無操作自動オフ**を**入**に設定しているとき、約4時間以上本機の手操作をしない
- **無信号自動オフ**を**入**に設定しているとき、約10分間無信号状態が続く

= お知らせ =

- 自動的に電源が切れても、録画には影響ありません。

無操作自動オフを設定する

1. [メニュー] ボタンを押して設定を選び、[決定] ボタンを押す
 2. タイマー設定 > 無操作自動オフを選び、[決定] ボタンを押す
 3. 入 / 切を選び、設定する
-

無操作自動オフ

(入 / 切)

約 4 時間以上、本機の手操作をしないとき自動的に電源が切れます。

- 電源が切れる 3 分前から、切れるまでの残り時間（3、2、1）のメッセージを表示します。
- 設定によっては、リモコンで電源「切」時、消費電力が増えることがあります。
- 以下のときは無操作自動オフ機能は働きません。
 - ビエラ操作ガイドを表示しているとき

無信号自動オフを設定する

1. [メニュー] ボタンを押して設定を選び、[決定] ボタンを押す
2. タイマー設定 > 無信号自動オフを選び、[決定] ボタンを押す
3. 入 / 切を選び、設定する

無信号自動オフ

(入 / 切)

無信号の状態です約 10 分間本機を操作をしないとき、不要な消費電力を削減するため、自動的に電源が切れます。(工場出荷時は入に設定)

- 電源が切れる 3 分前から、切れるまでの残り時間 (3、2、1) のメッセージを表示します。
- メッセージなどを表示中は電源が「切」にならない場合があります。
- 以下のときは無信号自動オフ機能は働きません。
 - ビデオがブルーバックのときや再生が終了した接続機器から映像信号が出力されているとき
 - ビエラ操作ガイドを表示しているとき

エコナビを設定する

視聴環境に応じて、自動的に最適な節電モードになります。

節電に関する各設定項目を表示します。[おすすめ設定](#)を選択すると、各項目が一度に、節電に適した設定になります。

1. [メニュー] ボタンを押して[設定](#)を選び、[決定] ボタンを押す
2. [機器設定](#) > [エコナビ](#)を選び、[決定] ボタンを押す
3. [おすすめ設定](#)を選び、[決定] ボタンを押す
 - [おすすめ設定](#)に設定すると、[無操作自動オフ](#)、[無信号自動オフ](#)も入に設定されます。

また、[ECOスタンバイ](#)、[こまめにオフ](#)が自動的に[オン](#)に設定されます。



→ [いろいろな機能](#) > [ピエラリンク（HDMI）を使う](#) > [ECOスタンバイ](#)



→ [いろいろな機能](#) > [ピエラリンク（HDMI）を使う](#) > [こまめにオフ](#)

■ 省電力モードを設定する

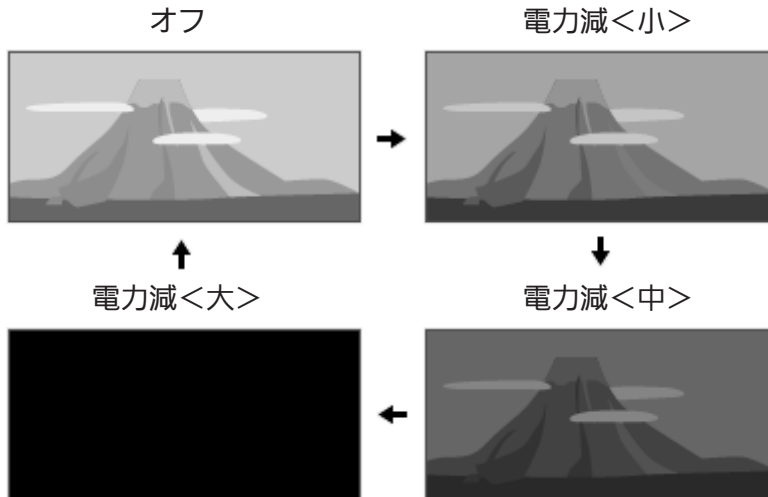
消費電力を抑えるために、画面の明るさを低減します。

1. [メニュー] ボタンを押して[設定](#)を選び、[決定] ボタンを押す
2. [機器設定](#) > [エコナビ](#) > [省電力モード](#)を選び、[決定] ボタンを押す
3. [オン](#)を選び、設定する

節電視聴を設定する

画面表示を暗くすることにより、モニターの消費電力を削減します。

1. [メニュー] ボタンを押す
2. 節電視聴を選び、△ または ▽ ボタンで設定する
 - 選択するたびに切り換わります。



= お知らせ =

- 電力減<大>に設定すると、画面表示が消えた状態になり、音声のみのモードになります。
 - 音量・消音操作以外の操作をすると、オフに戻ります。
 - 電源を「切」「入」した場合、画面表示はオフの設定になります。
- 消費電力削減の測定・評価方法は当社独自の方法です。段階的に画面表示を暗くし（輝度を下げ）、各段階に応じた消費電力の削減の程度を踏まえ、<小><中><大>と評価しております。測定方法および電力減の程度が<小><中><大>となる測定条件は、以下のとおりです。
 - 映像モード：スタンダード（標準）
 - 照度：250ルクス
 - 映像信号：カラーバー
 - 測定時間：本機の電源を入れてから1時間30分後の安定状態
- 同じ設定でも、視聴環境、使用条件などにより、実際の電力減の程度が変わる場合があります。

4 K映像を見る

4 K出力対応機器を接続する


ハイビジョンの約4倍の解像度を持つ4 K映像コンテンツを、本機で視聴することができます。

- 視聴可能な4 K映像の入力信号については、以下をご参照ください。

 → [テレビを見る](#) > [4 K映像を見る](#) > [視聴可能な4 K映像の入力信号について](#)

- BS 4 K・110度CS 4 K放送の視聴については、以下をご参照ください。

 → [テレビを見る](#) > [テレビ放送を見る](#)

- 4 K映像コンテンツを視聴するには、4 K出力対応機器を、本機のHDMI端子に4 K対応のケーブルで接続してください。
- 接続方法の詳細については、 [取扱説明書](#)をご覧ください。

■ 4 K出力対応機器



1 HDMI 端子

2 HDMI ケーブル（別売品）

3 4 K出力対応機器

- チューナー部背面のHDMI端子は、設定用出力のため4 K出力対応機器を接続することはできません。
- ケーブルを接続する前に、端子の形状が一致していることを確認してください。
- HDMI 規格に準拠したケーブルをご使用ください。
 - 4 K映像を視聴するときは、HDMI ロゴのある「High Speed HDMI ケーブル」をご使用ください。
 - HDR対応機器と接続するときは、HDMI ロゴのある「Premium High Speed HDMI ケーブル」をご使用ください。
 - 4 K 120 Hz 対応機器と接続する場合は、HDMI ロゴのある「Ultra High Speed HDMI ケーブル」をご使用ください。

HDMI 端子で視聴可能な 4 K 映像の入力信号を設定する

1. [メニュー] ボタンを押して設定を選び、[決定] ボタンを押す
2. 機器設定 > HDMI オート設定を選び、[決定] ボタンを押す
3. 機器を接続した HDMI 端子を選び、設定する

HDMI オート設定

(モード 1 / モード 2 / モード 3)

本機は、4 K 対応機器接続時に、より高精細、広色域かつ高フレームレートの映像を再生できるよう対応しています。モード 2 はモード 1 より高精細な信号に対応したモード、モード 3 はモード 2 より高フレームレートの信号に対応したモードです。HDMI 端子に入力した 4 K 映像が正しく表示されないときや音声が出力されない場合は、モード 1 から順番に設定してください。(お買い上げ時は、HDMI 1 / 2 端子はモード 3、HDMI 3 / 4 端子はモード 2 に設定)

モード 1 :

接続機器との互換性を優先するモードです。モード 2 (またはモード 3) で映像や音声为正しく出力されない場合に設定します。(映像が赤いときや音声が出ないときなど)

モード 2 :

接続機器の高精細・広色域の 4 K 映像出力に対応するモードです。

モード 3 :

接続機器の高精細・高フレームレートの 4 K 映像出力に対応するモードです。

- HDMI オート設定の設定値は HDMI 入力ごとに記憶されます。
- HDMI 入力の場合のみ設定できます。
- NVIDIA オートゲームモードがオンのときに、HDMI 2.1 VRR をサポートする一部の NVIDIA PC グラフィックカードを検出した場合は設定できません。(HDMI オート設定はモード 3 に固定)

 → テレビを見る > 映像 (画質) を設定・調整する > オプション機能を設定する

= お知らせ =

- 各モード設定時に対応している信号は以下の通りです。
 - モード 1 に設定した場合
24 Hz/25 Hz/30 Hz の信号は、4 : 4 : 4、4 : 2 : 2
50 Hz/60 Hz の信号は、4 : 2 : 0
 - モード 2 に設定した場合
24 Hz/25 Hz/30 Hz の信号は、4 : 4 : 4、4 : 2 : 2
50 Hz/60 Hz の信号は、4 : 4 : 4、4 : 2 : 2、4 : 2 : 0
 - モード 3 に設定した場合
24 Hz/25 Hz/30 Hz の信号は、4 : 4 : 4、4 : 2 : 2
50 Hz/60 Hz/100 Hz/120 Hz の信号は、4 : 4 : 4、4 : 2 : 2、4 : 2 : 0

視聴可能な4K映像の入力信号について

■ 4K映像の入力信号

● 4K UHD

3840 × 2160 (24 Hz/25 Hz/30 Hz/50 Hz/60 Hz/100 Hz/120 Hz)

- 本機ではアスペクトをフルに固定して表示します。
-

= お知らせ =

- これらの入力信号は、本機に最適な映像になるよう、変換して表示します。
- 4K映像のときのアスペクトについて、詳しくは以下をご参照ください。



→ テレビを見る > 映像（画質）を設定・調整する > 画面モードを設定する

外部機器をつないで見る、聴く

外部機器を接続する


これらの接続図は、本機と外部機器を接続する一例です。その他の接続例については、外部機器の取扱説明書をご覧ください。

- 基本的な接続については、以下をご参照ください。

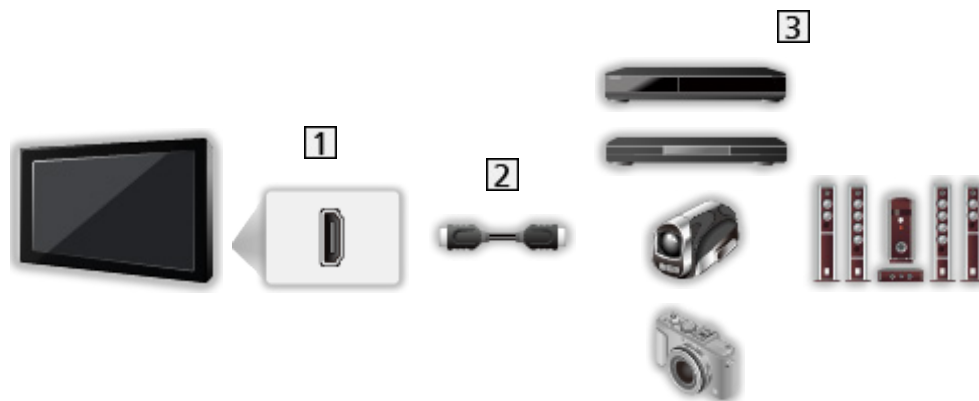
 → [テレビを見る > テレビ放送を見るための準備をする > アンテナ線を接続する](#)

- Bluetooth対応機器を使用するときは、以下をご参照ください。

 → [いろいろな機能 > Bluetooth対応機器を使う](#)

- ケーブルを接続する前に、端子の形状が一致していることを確認してください。
- 接続図に記載されている外部機器やケーブルは、本機には付属されていません。
- 接続方法の詳細については、 取扱説明書をご覧ください。

■ HDMI 対応機器を接続する



① HDMI 端子

② HDMI ケーブル（別売品）

③ レコーダー / プレーヤー / セットトップボックス / ビデオカメラ / アンプ / ゲーム機

= お知らせ =

- チューナー部背面のHDMI端子は、設定用出力のためHDMI対応機器を接続することはできません。
- HDMI規格に準拠したケーブルをご使用ください。
- ビエラリンクの接続については、以下をご参照ください。

 → [いろいろな機能 > ビエラリンク（HDMI）を使う > ビエラリンクの概要](#)

- eARC / ARC対応のアンプを接続するときは、HDMI 2端子に接続してください。
- パソコン（PC）などとHDMI接続した場合に、自動的に電源を連動させるには、以下をご参照ください。

 → [テレビを見る > 外部機器をつないで見る、聴く > PC電源連動機能を設定する](#)

■ U S B機器を接続する



① U S B端子

② U S Bケーブル

③ U S B H D D

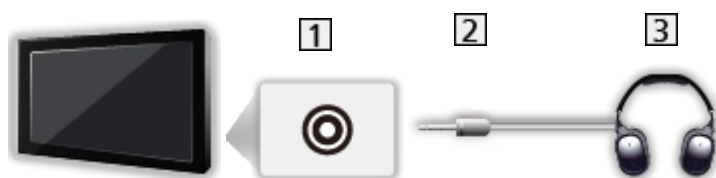
= お知らせ =

- パソコンなどで記録したA V周辺機器用のU S B機器（U S B H D Dなど）を接続して再生するときは、モニター背面のU S B端子（A V周辺機器用）に接続してください。
- 当社製デジタルカメラやデジタルハイビジョンビデオカメラで撮影した写真や撮影ビデオ、U S B機器などに保存されている写真や動画をH D Dに取り込むときは、チューナー部前面のU S B端子（取込用）に接続してください。
- H D Dに取り込んだ写真や撮影ビデオ、動画をU S B H D Dに保存（バックアップ）するときは、チューナー部背面のU S B端子（H D D対応）に接続してください。
- U S B機器は、本機のU S B端子に直接、U S Bケーブルで接続してください。
- 本機のU S B端子は、U S B H D Dなど対応する機器の接続用です。本機に対応していない機器を接続しないでください。
- U S Bハブを使って複数のU S B H D Dを同時に接続することはできません。
- U S B H D Dに電源ボタンがある場合は、電源を「入」にしてください。
- U S B H D Dを本機から取り外すときは、[機器設定のU S B機器一覧（モニター）](#)または[U S B機器一覧（チューナー部）](#)から、接続しているU S B H D Dを選び、[青] ボタンを押してください。
- 無線L A Nをご使用の場合は、U S B 3. 0対応のU S B H D Dを使用すると、2.4 GHz 帯への電波干渉によって通信速度が低下したり、通信が不安定になることがあります。そのため、放送視聴やインターネット接続が不安定になる場合があります。以下のように設置してください。
 - 802.11 ac または 802.11 n（2.4 GHz / 5 GHz 同時使用可）の無線ブロードバンドルーターと接続し、5 GHz で使用する
 - ご使用の無線ブロードバンドルーターが 2.4 GHz のみの場合
 - U S B H D Dはチューナー部の上には置かない
 - U S B H D Dはチューナー部左前にある無線L A Nアンテナ部からできるだけ離して設置する
- 本機で動作確認済みのU S B H D Dについては、サポートサイト（ホームページ）をご覧ください。



→ 困ったときは / よくあるご質問 / English Guide > インターネットを通じて、サポートサイト（ホームページ）を見る > 本機のサポート情報を見る

■ ヘッドホンやイヤホンを接続する



① ヘッドホン / イヤホン / サブウーハー端子

② 3.5 mm ステレオミニプラグ

③ ヘッドホン / イヤホン

- ヘッドホンを接続するときは、**ヘッドホン端子出力**を**ヘッドホン**に設定してください。

 → **テレビを見る > 音声（音質）を設定・調整する > ヘッドホン端子の出力を設定する**

- **ヘッドホン端子出力**を**ヘッドホン**に設定しているときは、サブウーハーを接続しないでください。

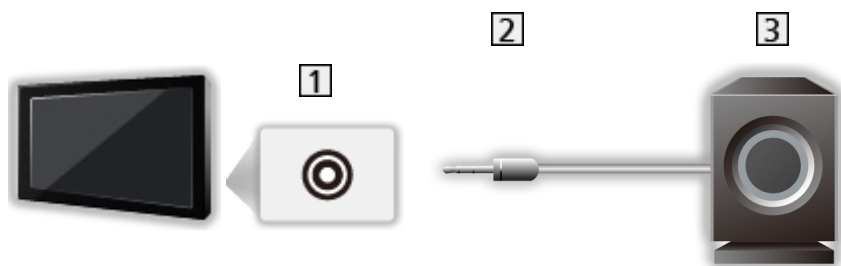
- ヘッドホンの音量を調整するときは、**ヘッドホン / イヤホン音量**を設定してください。

 → **テレビを見る > 音声（音質）を設定・調整する > ヘッドホン端子の出力を設定する**

- ヘッドホン / イヤホン接続時の音声出力を設定するには、**スピーカーとイヤホン音声の同時出力**を設定してください。

 → **テレビを見る > テレビ放送を見る > スピーカーとイヤホン音声の同時出力を切り換える**

■ サブウーハーを接続する



① ヘッドホン / イヤホン / サブウーハー端子

② 3.5 mm ステレオミニプラグ

③ サブウーハー

- サブウーハーを接続するときは、**ヘッドホン端子出力**を**サブウーハー**に設定してください。（本機からのサブウーハー出力は、L、Rとも同じ信号が出力されます。）

 → **テレビを見る > 音声（音質）を設定・調整する > ヘッドホン端子の出力を設定する**

- **ヘッドホン端子出力**を**サブウーハー**に設定しているときは、ヘッドホン / イヤホンを接続しないでください。

- サブウーハーの調整をするときは、**サブウーハー調整**を設定してください。

 → **テレビを見る > 音声（音質）を設定・調整する > ヘッドホン端子の出力を設定する**

る

- リモコンの [音量] ボタンでサブウーハー音量を調整できます。

外部機器の映像を見る、音声を聴く

外部機器を接続し、外部機器のコンテンツを本機で視聴します。

1. [入力切換] ボタンを押して、機器を接続した入力端子を選択する
2. [決定] ボタンを押す
 - 数字ボタンを押して、直接選ぶこともできます。
 - [入力切換] ボタンを押すたびに、入力が切り換わります。
 - **ビデオ入力表示書換／スキップ設定**を設定することによって、[入力切換] ボタンを押したときの表示を、接続した機器に合わせて書き換えたり、本機に接続している機器の入力のみ選べるようにできます。
 - リモコンの外部機器操作ボタンで、外部機器の操作ができます。



→ テレビを見る > 外部機器をつないで見る、聴く > 本機のリモコンで外部機器を操作する

- テレビ放送の画面に戻りたいときは [元の画面] ボタンを押します。

= お知らせ =

- 外部機器がアスペクト切り換えできる場合は、16 : 9に設定してください。
- 詳しくは、外部機器の取扱説明書をご覧ください。

■ ビデオ入力表示書換／スキップ設定

ビデオ入力表示書換／スキップ設定を設定することによって、[入力切換] ボタンを押したときの表示を、接続した機器に合わせて変更したり、本機に接続している機器の入力のみ選べるようにできます。

1. [メニュー] ボタンを押して**設定**を選び、[決定] ボタンを押す
2. **機器設定** > **表示の設定** > **ビデオ入力表示書換／スキップ設定**を選び、[決定] ボタンを押す
3. 入力端子、および表示を選び、設定する
 - 接続機器一覧画面にも、**ビデオ入力表示書換／スキップ設定**で設定した名称を表示します。
 - 接続のない外部入力をスキップしたいときは、**使用しない（スキップ）**を選択してください。

本機のリモコンで外部機器を操作する

以下のリモコンボタンで、メディアプレーヤー、HDDに録画したコンテンツ、外部機器などを操作することができます。

- 外部機器（ディーガなど）によって動作が異なる場合がありますので、操作については外部機器の取扱説明書も併せてご覧ください。



再生を開始します。

- 再生中に3秒以上押すと1.3倍速で再生します。（HDDに録画した番組など、可能な場合）



再生を停止します。



再生中に押すと前にスキップします。



再生中に押すと早戻しをします。

- 押すたびに早戻し速度が速くなります。
- 一時停止中に押すとスロー再生します。（HDDやディーガの場合）



再生中に押すと次にスキップします。



再生中に押すと早送りをします。

- 押すたびに早送り速度が速くなります。
- 一時停止中に押すとスロー再生します。（HDDやディーガの場合）



再生中に押すと一時停止します。



録画を開始します。



→ 録画する > 見ている番組を録画する > 見ている番組を録画する

30秒送り：

1回押すたびに、約30秒飛び越して再生します。（可能な場合）

HDMI 対応機器の接続について

HDMI とは、High-Definition Multimedia Interface（高精細度マルチメディアインターフェース）の略で、映像と音声のデジタル信号を 1 本のケーブルで伝送できる通信インターフェースの標準規格です。

本機の HDMI 端子と HDMI 対応機器※（DVDレコーダーやシアター、セットトップボックス、ゲーム機など）を、HDMI 規格に準拠したケーブルで接続してください。

 → [テレビを見る > 外部機器をつないで見る、聴く > 外部機器を接続する](#)

※：HDMI 対応機器には、HDMI ロゴが表示されています。

■ HDMI 接続で対応している機能

- ビエラリンク：

 → [いろいろな機能 > ビエラリンク（HDMI）を使う > ビエラリンクの概要](#)

- eARC（エンハンスドオーディオリターンチャンネル） / ARC（オーディオリターンチャンネル）
 - eARC / ARC とは、HDMI ケーブルでデジタル音声信号を送る機能です。
 - HDMI 2 端子が対応しています。
- 4K

 → [テレビを見る > 4K 映像を見る > 視聴可能な 4K 映像の入力信号について](#)

- VRR / AMD FreeSync Premium
 - 映像のカクつき、ティアリング（画面が途中で左右にずれる現象）、遅延を低減し、滑らかな動きで表示する機能です。

= お知らせ =

- HDMI の音声入力の設定は、[音声調整](#)の [HDMI 音声フォーマット](#)で行ってください。

 → [テレビを見る > 音声（音質）を設定・調整する > 音声の詳細設定をする](#)

- 外部機器がアスペクト切り換えできる場合は、16：9に設定してください。
- 本機の HDMI 端子は、HDCP の著作権保護技術に適合しています。

HDMI 端子のHDR機能を設定する

1. [メニュー] ボタンを押して[設定](#)を選び、[決定] ボタンを押す
 2. [機器設定](#) > [HDMI HDR設定](#)を選び、[決定] ボタンを押す
 3. 項目ごとに設定する
-

HDR設定

([ダイナミック](#) / [ノーマル](#) / [オフ](#))

HDR対応機器を接続している場合は、[ダイナミック](#)または[ノーマル](#)に設定してください。[ノーマル](#)はダイナミックメタデータを使用したHDMIのHDR入力を無効にします。

- 接続機器や映像などによって映像が不自然に見える場合は[オフ](#)に設定してください。
 - 設定変更時は、映像が数秒間消える場合があります。
 - HDMI入力の場合のみ設定できます。
-

HDRダイナミック設定

ダイナミックメタデータを使用したHDMIのHDR入力を有効にします。[HDR設定](#)を[ダイナミック](#)にしているときに設定できます。

[HDR10+ 機能](#) :

([オン](#) / [オフ](#))

HDMI入力信号のHDR10+ 機能を有効にします。

[Dolby Vision](#) :

([オン](#) / [オフ](#))

HDMI入力信号のDolby Vision 処理モードを選択します。

[オン](#) :

主なDolby Vision 処理をテレビまたは接続機器で行います。

[オフ](#) :

Dolby Vision を無効にします。

PC電源連動機能を設定する

HDMI 端子にパソコン（PC）などを接続した場合に、HDMI 信号の有無による電源連動を設定します。

1. [メニュー] ボタンを押して設定を選び、[決定] ボタンを押す
2. 機器設定 > その他の設定 > PC電源連動設定を選び、[決定] ボタンを押す
3. 設定したい項目を選び、[決定] ボタンを押す

テレビの電源オン連動 / テレビの電源オフ連動 / 連動端子設定

4. 項目ごとに設定する
-

テレビの電源オン連動

(オン / オフ)

接続機器の電源を「入」にしたとき、本機の電源を「入」にします。

テレビの電源オフ連動

(オン / オフ)

対象の入力端子を選択している場合に、接続機器の電源を「切」にしたとき、本機の電源を「切」にします。

連動端子設定

(HDMI 1 / HDMI 2)

電源を連動させるHDMI 端子を設定します。

= お知らせ =

- テレビの電源オン連動をオンに設定している場合、リモコンで電源を「切」にすると、待機状態であることを示すためにモニター本体の電源ランプが橙色になります。
- この機能は接続機器によっては正しく働かない場合があります。

本機で対応している映像信号 / 音声信号

■ H D M I

• 映像入力信号

信号
525 (480) / 60p
750 (720) / 60p
1125 (1080) / 60i
1125 (1080) / 120p, 100p, 60p, 50p, 30p, 25p, 24p
3840 × 2160 / 120p, 100p, 60p, 50p, 30p, 25p, 24p

• 音声入力信号

リニア P C M、サンプリング周波数：48 kHz/44.1 kHz/32 kHz

ドルビーオーディオ（Dolby Digital、Dolby Digital Plus）、サンプリング周波数：48 kHz/44.1 kHz/32 kHz

ドルビーオーディオ（Dolby TrueHD）、サンプリング周波数：48 kHz

- H D M I 入力の音声フォーマットは、[音声調整のH D M I 音声フォーマット](#)で行ってください。



→ [テレビを見る > 音声（音質）を設定・調整する > 音声の詳細設定をする](#)

= お知らせ =

- 外部機器の映像出力信号も合わせて設定してください。
- これら以外の信号は、正しく表示されないことがあります。
- これらの入力信号は、本機に最適な映像になるよう、変換されて表示されます。
- 一部の機器では映像や音声が出ないなど正常に動作しない場合があります。

映像（画質）を設定・調整する

映像モードを設定する

1. [メニュー] ボタンを押して設定を選び、[決定] ボタンを押す
2. 映像調整 > 映像モードを選び、[決定] ボタンを押す
3. 映像モードを設定する

映像モード

(ダイナミック / オート AI / スタンダード / リビング / フォトプロ / シネマ / フィルムシネマ / シネマプロ / ユーザー / キャリブレーション / プロフェッショナル / スポーツ / ゲーム / Dolby Vision ビビッド / Dolby Vision IQ / Dolby Vision ダーク)

ご覧になる番組や外部入力の映像に合わせて、見やすい画質が選べます。

ダイナミック：

明暗がはっきりしたメリハリのある映像。

オート AI：

ご覧になる番組などに合わせて自動で画質を調整します。

- オート AI - 画質調整で変化量を調整できます。

スタンダード：

一般的なご家庭で使用される際のメーカー推奨の画質設定モードです。

リビング：

比較的明るいリビングに向けた映像。

フォトプロ：

写真規格に準じた映像を、再現することを重視した映像。

- 写真の映像またはHDMI入力のときに設定できます。

シネマ：

映画視聴や、シアター環境に向けた映像。

フィルムシネマ：

オリジナルの映像を、忠実に再現することを重視した映像で、部屋の明るさに連動します。

シネマプロ：

映画規格に準じた映像を、再現することを重視した映像。

ユーザー：

お好みに合わせて調整できます。

キャリブレーション / プロフェッショナル：

ISFcccの規格に準拠したモードで、画質を詳細に調整したり調整した画質をロックすることができます。



→ テレビを見る > 映像（画質）を設定・調整する > 画質の詳細設定をする

- 認定された専門の業者がISFcccに準拠した設定を行うと、isf Day、isf Night に名称が変わる場合があります。

スポーツ：

スポーツ番組（映像）の視聴に適した映像。

- 音声も連動しスポーツ会場の臨場感を高める設定に切り換わります。連動を解除するには、**スポーツ連動**を**オフ**に設定してください。



→ テレビを見る > 音声（音質）を設定・調整する > 音声の基本設定をする

ゲーム：

ゲームを楽しむ際に適した映像。

- HDMI 入力またはビデオ入力の場合のみ設定できます。
- **映像モード**を**ゲーム**に設定したときは、**入力遅延**が**低遅延**に設定されます。



→ テレビを見る > 映像（画質）を設定・調整する > オプション機能を設定する

Dolby Vision ビビッド：

明るい部屋で Dolby Vision コンテンツの視聴に適した映像。

- Dolby Vision コンテンツを視聴している場合に設定できます。

Dolby Vision IQ：

映像や照明条件などに応じて Dolby Vision コンテンツの視聴に適した映像に自動的に調整します。

- Dolby Vision コンテンツを視聴している場合に設定できます。

Dolby Vision ダーク：

暗い部屋で Dolby Vision コンテンツの視聴に適した映像。

- Dolby Vision コンテンツを視聴している場合に設定できます。

= お知らせ =

- 映像モードは、放送および入力信号ごとに記憶します。
- ギャラリー画面を表示中は、**映像モード**が**ギャラリー**に固定されます。

■ Netflix 画質モードを設定する

Netflix が設定した映像モードにして、プロフェッショナルモニターと同じ画質で Netflix を視聴することができます。

1. [メニュー] ボタンを押して**設定**を選び、[決定] ボタンを押す
2. **映像調整** > **Netflix 画質モード**を選び、[決定] ボタンを押す
3. **オン** / **オフ**を選び、設定する
 - Netflix を視聴中の場合に設定できます。
 - **Netflix 画質モード**を**オン**に設定したときは、**映像モード**が **Netflix** に固定されます。

■ オート AI - 画質調整を設定する

映像モードを**オート AI**に設定したときの映像効果の変化量を調整します。数値を増やすほど自動的に変化する量が大きくなります。

- **映像モード**を**オート AI**にしているときに設定できます。

1. [メニュー] ボタンを押して**設定**を選び、[決定] ボタンを押す

2. 映像調整 > オート AI - 画質調整を選び、[決定] ボタンを押す
3. お好みに合わせて調整する
 - 4K 120Hzピュアモードをオンに設定しているときには設定できません。

画面モードの設定と映像信号について

■ 画面モードの設定について

- コマーシャルや番組が変わると、画面サイズが変わり見にくくなることがあります。気になる場合は手動で画面モードを選んでください。
- 本機は、各種の画面モード切替機能を備えています。テレビ番組などコンテンツの映像比率と異なるモードを選択されますと、オリジナルの映像とは見え方に差が出ます。この点にご留意の上、画面モードをお選びください。
- 本機を営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテルなどにおいて、画面モード切替機能（ズームなど）を利用して、画面の圧縮や引き伸ばしなどを行いますと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害するおそれがありますので、ご注意願います。
- 両端に映像のない帯がある4：3の映像をズーム・フルモードを利用して、ワイドテレビの画面いっぱいに表示してご覧になると、周辺画像が一部見えなくなったり、変形して見えます。制作者の意図を尊重したオリジナルな映像は、ノーマルモードでご覧になれます。

■ 本機で表示できる映像信号の種類について

- 本機で表示できる主な映像信号は以下の通りです。

480p、720p、1080i、1080p（24 Hz/25 Hz/30 Hz/50 Hz/60 Hz/100 Hz/120 Hz）、2160p（24 Hz/25 Hz/30 Hz/50 Hz/60 Hz/100 Hz/120 Hz）

このうち720p、1080i、1080pはハイビジョン映像信号、2160pは4K映像信号です。

- 数字は映像信号の有効走査線数
- 英文字は走査線方式の略称を表しています。
 - i：インターレース（飛び越し走査）
 - p：プログレッシブ（順次走査）

■ 映像信号の横縦比（アスペクト比）について

放送や映像コンテンツによって次のような種類があります。

- 一部のデジタル放送など
- ハイビジョン放送
 - ワイドクリアビジョン放送
 - ビスタビジョンサイズⅠソフト（一部のデジタル放送）
- ビスタビジョンサイズⅡソフト
- シネマビジョンサイズソフト
- 4K映像信号
 - 4K UHD：3840 × 2160（24 Hz/25 Hz/30 Hz/50 Hz/60 Hz/100 Hz/120 Hz）

画面モードを設定する

アスペクト比（表示サイズ）を設定できます。

■ アスペクト比を手動で切り換える

1. [メニュー] ボタンを押して**設定**を選び、[決定] ボタンを押す
2. **映像調整** > **画面の設定** > **画面モード**を選び、[決定] ボタンを押す
3. 画面モードを設定する

オート：

放送や入力信号に応じて、最適な画面モードに自動で切り換えます。

フル：

左右を拡大して画面いっぱいにします。

- 4 K 映像やパソコン入力の場合は、上下左右の割合により、自動的に画面を縮小または拡大して画面いっぱいにします。

ノーマル：

オリジナル映像をそのまま表示します。

- 4 K 映像は、パソコン入力の場合のみ設定できます。

ズーム：

全体を拡大します。

サイドカットフル：

左右を拡大して画面いっぱいにします。

= お知らせ =

- 画面モードは、放送や入力（デジタル放送、HDMI 入力）ごとに、それぞれの信号別に記憶します。
- **映像モード**を**フィルムシネマ**に設定しているときは**オート**で固定されます。
- 以下のときの画面モードは**フル**で固定されます。
 - 4 K 映像を表示しているとき
 - **入力遅延**を**低遅延**に設定しているとき
 - **1080pピュアダイレクト**を**オン**に設定しているとき
 - **4Kピュアダイレクト**を**オン**に設定しているとき
- ビデオ映像のときは、**モード1** / **モード2** から選択できます。



→ **メディアプレーヤー** > **再生・設定する** > **写真やビデオ映像、音楽を再生する**

映像の基本設定をする

1. [メニュー] ボタンを押して設定を選び、[決定] ボタンを押す
2. 映像調整を選び、[決定] ボタンを押す
3. 設定したい項目を選び、[決定] ボタンを押す

明るさ / ピクチャー / 黒レベル / 色の濃さ / 色あい / シャープネス / 色温度 / カラーリマスター / Rec.2020 カラーリマスター / リマスター超解像 / ダイナミックレンジリマスター / 暗部視認性強調 / Wスピード設定

4. 項目ごとに設定する

明るさ / ピクチャー / 黒レベル / 色の濃さ / 色あい / シャープネス

お好みに合わせて調整してください。

- シャープネスは、映像モードが Dolby Vision IQ のとき、または 4 K 120 Hz ピュアモードがオンのときには調整できません。

色温度

お好みの色調に切り換えます。

- 映像モードが Dolby Vision IQ のときには設定できません。

カラーリマスター

(強 / 弱 / オフ)

色域を拡大して鮮やかにします。色域規格に対して忠実な表示にするには、オフに設定します。

- 映像モードが Dolby Vision ビビッドまたは Dolby Vision IQ、Dolby Vision ダークのときには設定できません。
- 4 K 120 Hz ピュアモードをオンに設定しているときには設定できません。
- Rec.2020 規格に対応した映像入力時は Rec.2020 カラーリマスターを表示します。

Rec.2020 カラーリマスター

(オン / オフ)

Rec.2020 規格に対応した映像入力時に、パネル色域に対して適切な処理を行って色鮮やかにします。色域規格に対して忠実な表示にするには、オフに設定します。

- Rec.2020 規格に対応した映像入力時に設定できます。
- 映像モードが Dolby Vision ビビッドまたは Dolby Vision IQ、Dolby Vision ダークのときには設定できません。
- 4 K 120 Hz ピュアモードをオンに設定しているときには設定できません。

リマスター超解像

(オート / 強 / 中 / 弱 / オフ)

見た目の解像度を上げ、鮮明な映像にします。

- 映像モードが Dolby Vision IQ のときには設定できません。
 - 4 K 120 Hz ピュアモードをオンに設定しているときには設定できません。
-

ダイナミックレンジリマスター

(オン / オフ)

撮影時に圧縮された明るさやコントラストを復元し、臨場感のある映像にします。

- 以下の場合には設定できません。
 - HDR映像のとき
 - 映像モードをスポーツまたは Dolby Vision ビビッド、Dolby Vision IQ、Dolby Vision ダークに設定しているとき
 - 4 K 120 Hz ピュアモードをオンに設定しているとき
-

暗部視認性強調

暗部の視認性を改善します。

- 4 K 120 Hz ピュアモードをオンに設定しているときには設定できません。
-

Wスピード設定

Wスピード

(カスタム / 強 / 中 / 弱 / オフ)

動きの速い映像をよりなめらかに表示します。

- 映像が不自然なときはオフに設定してください。
- カスタムに設定すると、お好みに合わせて調整できます。

カメラスムーズ：

カメラコンテンツの滑らかさを調整します。

フィルムスムーズ：

フィルムコンテンツの滑らかさを調整します。

標準に戻す：

カスタムの設定を工場出荷時の設定に戻します。

- 以下の場合には設定できません。
 - 写真の映像のとき
 - 入力遅延を低遅延に設定しているとき
 - 1080p ピュアダイレクトをオンに設定しているとき
 - 4 K ピュアダイレクトをオンに設定しているとき
 - 映像モードを Dolby Vision IQ に設定しているとき
 - 120 Hz 対応機器と接続して 120Hz 映像を視聴しているとき

オートA Iーフィルム連動：

フィルムコンテンツの映像をオリジナルの動きで再現します。映像が不自然なときはオフに設定してください。

- 映像モードをオートA I に設定しているときに設定できます。
- 以下の場合は設定できません。
 - 写真の映像のとき
 - 入力遅延を低遅延に設定しているとき
 - 1080Pピュアダイレクトをオンに設定しているとき
 - 4Kピュアダイレクトをオンに設定しているとき
 - 120 Hz 対応機器と接続して 120Hz 映像を視聴しているとき

フィルムモーション：

フィルムコンテンツを撮影時のオリジナルに近い動きで再現します。映像が不自然なときはオフに設定してください。

- Wスピードをオフに設定しているときに設定できます。
- 以下の場合は設定できません。
 - 写真の映像のとき
 - 入力遅延を低遅延に設定しているとき
 - 1080Pピュアダイレクトをオンに設定しているとき
 - 4Kピュアダイレクトをオンに設定しているとき
 - 120 Hz 対応機器と接続して 120Hz 映像を視聴しているとき

くっきり：

動画の映像などで2重映りのボケを改善します。

- HDMI 入力時にVRR設定に対応した機種の場合は、入力遅延を低遅延のときの描画の遅延が少し増えます。気になる場合はオフにしてください。
- 以下の場合は設定できません。

- 写真の映像のとき
- VRRをオンに設定しているとき



→ テレビを見る > 映像（画質）を設定・調整する > オプション機能を設定する

- 4K 120Hzピュアモードをオンに設定しているとき

= お知らせ =

- 調整値は、映像モードごとに記憶します。
- 映像モードがフィルムシネマ、シネマプロ、ユーザー、キャリブレーション、プロフェッショナル、ゲーム、Dolby Vision IQ、Dolby Vision ダークの場合は、放送および入力信号ごとに記憶します。

環境光センサー設定をする

周囲の環境光に応じた見やすい画面にします。

1. [メニュー] ボタンを押して設定を選び、[決定] ボタンを押す
2. 映像調整 > 環境光センサー設定を選び、[決定] ボタンを押す
3. 設定したい項目を選び、[決定] ボタンを押す

明るさ連動 / 色温度連動

明るさ連動

(オン / オフ)

周囲の環境光の明るさに応じて、自動的に明るさを調整します。

- 映像モードが Dolby Vision IQ または Dolby Vision ダークのときには設定できません。
-

色温度連動

(オン / オフ)

周囲の環境光の色温度に応じて、自動的にホワイトバランスを調整します。

- 映像モードが Dolby Vision IQ または Dolby Vision ダークのときには設定できません。
-

= お知らせ =

- 調整値は、映像モードごとに記憶します。
- 映像モードがフィルムシネマ、シネマプロ、ユーザー、キャリブレーション、プロフェッショナル、ゲームの場合は、放送および入力信号ごとに記憶します。

ノイズ低減設定をする

1. [メニュー] ボタンを押して設定を選び、[決定] ボタンを押す
 2. 映像調整 > NR / HDオプティマイザーを選び、[決定] ボタンを押す
 3. 項目ごとに設定する
-

NR

(オート / 強 / 中 / 弱 / オフ)

映像のざらつき感を低減させます。

- 以下の場合は設定できません。
 - 1080Pピュアダイレクトをオンに設定しているとき
 - 4Kピュアダイレクトをオンに設定しているとき
 - 映像モードを Dolby Vision IQ に設定しているとき
 - 4K 120Hzピュアモードをオンに設定しているとき
-

HDオプティマイザー

(オート / 強 / 中 / 弱 / オフ)

ブロックノイズ（小さな四角形のノイズ）や輪郭部のちらつき（ノイズ）を低減させます。

- 以下の場合は設定できません。
 - 1080Pピュアダイレクトをオンに設定しているとき
 - 4Kピュアダイレクトをオンに設定しているとき
 - 映像モードを Dolby Vision IQ に設定しているとき
 - 4K 120Hzピュアモードをオンに設定しているとき
-

= お知らせ =

- 調整値は、映像モードごとに記憶します。
- 映像モードがフィルムシネマ、シネマプロ、ユーザー、キャリブレーション、プロフェッショナル、ゲーム、Dolby Vision ダークの場合は、放送および入力信号ごとに記憶します。

画質の詳細設定をする

映像モードがリビング、フォトプロ、シネマ、フィルムシネマ、シネマプロ、ユーザー、キャリブレーション、プロフェッショナル、ゲーム、Dolby Vision IQ、Dolby Vision ダークのとき、より詳細に画像を調整できます。

 → テレビを見る > 映像（画質）を設定・調整する > 映像モードを設定する

1. 調整したい放送や外部入力画面にする
2. [メニュー] ボタンを押して設定を選び、[決定] ボタンを押す
3. 映像調整 > 映像モードを選び、[決定] ボタンを押す
4. 映像モードを設定する

リビング / フォトプロ / シネマ / フィルムシネマ / シネマプロ / ユーザー /
キャリブレーション / プロフェッショナル / ゲーム / Dolby Vision IQ / Dolby
Vision ダーク

■ 画質の詳細な設定をする

1. [メニュー] ボタンを押して設定を選び、[決定] ボタンを押す
2. 映像調整 > 画質の詳細設定を選び、[決定] ボタンを押す
3. 設定したい項目を選び、[決定] ボタンを押す

コントラストA I / 色域選択 / 写真色域選択 / ホワイトバランス調整 / カラーマ
ネージメント調整 / ガンマ補正 / ダイナミックメタデータクリエーション / H D
R トーンマッピングクリップ / 標準に戻す

4. 項目ごとに設定する

■ コントラストA I

コントラストA I

(カスタム / オート / オフ)

映像に応じてコントラストの自動調整を行い、メリハリのある映像にします。お好み
に合わせて調整するときは、カスタムに設定し、コントラストA I 設定で調整してく
ださい。

- 以下の場合には設定できません。
 - 映像モードをフィルムシネマに設定しているとき
 - トーンマッピングクリップをクリップに設定しているとき
 - 4 K 1 2 0 H z ピュアモードをオンに設定しているとき
-

コントラストA I 設定

- 4 K 1 2 0 H z ピュアモードをオンに設定しているときには設定できません。

明るさ補正：

暗い映像を明るく見やすく調整します。

黒伸長：

中間より暗い部分の階調変化を調整します。

標準に戻す：

工場出荷時の設定に戻します。

■ 色域選択 / 写真色域選択

色域選択

([ネイティブ](#) / [Rec. 709](#) / [SMPTE-C](#) / [EBU](#) / [Rec. 2020](#) / [DCI-P3](#))

色域規格に従って画像の色を忠実に再現します。

[ネイティブ](#) :

色域を最大値に拡大し、深い色で表示します。

[Rec. 709](#) :

Rec. 709 規格 (H Dの標準) での色域を再現します。

[SMPTE-C](#) :

SMPTE-C 規格 (S Dの標準) での色域を再現します。

[EBU](#) :

EBU (欧州放送連合) 規格での色域を再現します。

[Rec. 2020](#) :

Rec. 2020 規格での色域を再現します。

[DCI-P3](#) :

DCI 規格での色域を再現します。

- 映像モードが [Dolby Vision ビビッド](#) または [Dolby Vision IQ](#)、[Dolby Vision ダーク](#) のときには設定できません。
- 4 K 120 Hz ピュアモードを [オン](#) に設定しているときには設定できません。
- 写真映像のときは [写真色域選択](#) を表示します。

写真色域選択

([オート](#) / [sRGB](#) / [Adobe](#) / [Rec. 2020](#))

[オート](#) :

自動的に入力信号に応じて色域を調整します。

[sRGB](#) :

sRGB での色域を再現します。

[Adobe](#) :

AdobeRGB での色域を再現します。

[Rec. 2020](#) :

Rec. 2020 規格での色域を再現します。

- 写真の映像のときに設定できます。
- [色域選択](#) を使用するときは、[カラーリマスター](#) または [Rec.2020 カラーリマスター](#) を [オフ](#) に設定してください。
- 映像モードが [Dolby Vision ビビッド](#) または [Dolby Vision IQ](#)、[Dolby Vision ダーク](#) のときには設定できません。
- 4 K 120 Hz ピュアモードを [オン](#) に設定しているときには設定できません。

■ ホワイトバランス調整

Rゲイン / Gゲイン / Bゲイン

明るい部分の赤色 / 緑色 / 青色の強さを調整します。

Rカットオフ / Gカットオフ / Bカットオフ

暗い部分の赤色 / 緑色 / 青色の強さを調整します。

詳細設定

より詳細なホワイトバランスを調整します。

入力レベル：

調整するための入力信号のレベルを選択します。

Rゲイン / Gゲイン / Bゲイン：

選択した信号レベルの赤色 / 緑色 / 青色の強さを調整します。

標準に戻す：

[詳細設定](#)を工場出荷時の設定に戻します。

標準に戻す

[ホワイトバランス調整](#)を工場出荷時の設定に戻します。

■ カラーマネージメント調整

- [4 K 120 Hz ピュアモード](#)を[オン](#)に設定しているときには設定できません。
-

R色相補正 / R彩度補正 / R明度補正

赤色の色味 / 鮮やかさ / 明るさを調整します。

G色相補正 / G彩度補正 / G明度補正

緑色の色味 / 鮮やかさ / 明るさを調整します。

B色相補正 / B彩度補正 / B明度補正

青色の色味 / 鮮やかさ / 明るさを調整します。

詳細設定

より詳細な色相、彩度、明度を調整します。

C色相補正 / C彩度補正 / C明度補正：

シアンの色味 / 鮮やかさ / 明るさを調整します。

M色相補正 / M彩度補正 / M明度補正：

マゼンタの色味 / 鮮やかさ / 明るさを調整します。

Y色相補正 / Y彩度補正 / Y明度補正：

黄色の色味 / 鮮やかさ / 明るさを調整します。

[標準に戻す](#)：

[詳細設定](#)を工場出荷時の設定に戻します。

[標準に戻す](#)

[カラーマネジメント調整](#)を工場出荷時の設定に戻します。

■ ガンマ補正

[ガンマ補正](#)

中間輝度を調整します。数値が小さいほど中間輝度が明るくなります。

- 選択肢の数値は、調整のための参考値です。
-

[詳細設定](#)

より詳細な中間輝度を調整します。

[入力レベル](#)：

調整するための入力信号のレベルを選択します。

[ゲイン](#)：

選択した信号レベルのガンマの強さを調整します。

[標準に戻す](#)：

[詳細設定](#)を工場出荷時の設定に戻します。

[標準に戻す](#)

[ガンマ補正](#)を工場出荷時の設定に戻します。

■ ダイナミックメタデータクリエーション

[ダイナミックメタデータクリエーション](#)

([オン](#) / [オフ](#))

HDR映像により自動的に明るさを調節します。

- 以下の場合は設定できません。
 - 映像モードを [Dolby Vision ビビッド](#)または [Dolby Vision IQ](#)、[Dolby Vision ダーク](#)に設定しているとき
 - [4K 120Hz ピュアモード](#)を [オン](#)に設定しているとき
 - [トーンマップクリップ](#)を [クリップ](#)に設定しているとき

■ HDRトーンマップクリップ

- [4K 120Hz ピュアモード](#)を [オン](#)に設定しているときには設定できません。
-

[トーンマップクリップ](#)

([ノーマル](#) / [クリップ](#))

入力信号に応じて、H D Rのトーンマップクリップを自動的に調整します。通常は [ノーマル](#) に設定することをおすすめします。

- 映像モードが [Dolby Vision ビビッド](#) または [Dolby Vision IQ](#)、[Dolby Vision ダーク](#) のときには設定できません。

[クリッピング閾値](#)

トーンマップのクリッピング輝度（nit）を調整します。

[標準に戻す](#)

[H D Rトーンマップクリップ](#) を工場出荷時の設定に戻します。

■ [標準に戻す](#)

[標準に戻す](#)

[画質の詳細設定](#) を工場出荷時の設定に戻します。

オプション機能を設定する

1. [メニュー] ボタンを押して設定を選び、[決定] ボタンを押す
2. 映像調整 > オプション機能を選び、[決定] ボタンを押す
3. 設定したい項目を選び、[決定] ボタンを押す

入力遅延 / ALLM / NVIDIA オートゲームモード / VRR / デジタルシネマリアリティ / 1080Pピュアダイレクト / 4Kピュアダイレクト / 4K 120Hzピュアモード / 等速駆動モード / HDMI 画質連動設定 / HDMI EOTF設定 / EOTF設定 / HDMI Colorimetry 設定 / HDMI RGBレンジ設定 / HDMI YCbCrレンジ設定

4. 項目ごとに設定する
-

入力遅延

(オート / 低遅延 / ノーマル)

オートはALLMやコンテンツタイプにより、自動的に描画の遅延を切り替えます。
低遅延はすばやい操作を要求されるゲームを楽しむ際に、描画の遅延を防ぎます。

- HDMI 端子から入力される映像にだけ有効です。
 - 設定は入力ごとに記憶されます。
 - 以下の場合は設定できません。
 - テレビ放送を視聴中
 - 1080Pピュアダイレクトをオンに設定しているとき
 - 4Kピュアダイレクトをオンに設定しているとき
 - 映像モードをゲームに設定しているとき (入力遅延は低遅延に固定)
 - 映像モードを Dolby Vision IQ に設定しているとき
 - 4K 120Hzピュアモードをオンに設定しているとき
 - VRRをオンに設定しているとき (入力遅延は低遅延に固定)
-

ALLM

(オン / オフ)

1画面で表示しているときにHDMI 機器からのALLM情報に連動して、自動的に入力遅延を低遅延に切り換える場合に設定します。

- HDMI 入力の場合のみ設定できます。
 - 設定は入力ごとに記憶されます。
 - HDMI オート設定がモード1に設定されているHDMI 端子の場合は、自動的に切り換わりません。
 - NVIDIA オートゲームモードがオンのときに、HDMI 2.1 VRRをサポートする一部のNVIDIA PC グラフィックカードを検出した場合は設定できません。(ALLMはオンに固定)
-

NVIDIA オートゲームモード

(オン / オフ)

HDMI 2.1 VRRをサポートする一部の NVIDIA PC グラフィックカードを検出した場合に本機の設定を最適化します。

- この設定は、HDMI 1、または2端子入力の場合のみ設定できます。
- 設定は入力ごとに記憶されます。

VRR

(オン / オフ)

映像のカクつき、ティアリング（画面が途中で左右にずれる現象）、遅延を低減し、滑らかな動きで表示する機能です。オンに設定すると、VRR（バリエブルリフレッシュレート）または AMD FreeSync Premium 対応機器が接続されている場合に、VRR / AMD FreeSync Premium 機能を有効にします。

- お買い上げ時はオフに設定されています。
- この設定は、HDMI 1、または2端子入力の場合のみ設定できます。
- 映像が正しく表示されない場合は、オフに設定してください。
- 設定は入力ごとに記憶されます。
- 以下の場合は設定できません。
 - HDMI オート設定をモード1またはモード2に設定しているとき
 - NVIDIA オートゲームモードがオンのときに、HDMI 2.1 VRRをサポートする一部の NVIDIA PC グラフィックカードを検出したとき（VRRはオンに固定）

デジタルシネマリアリティ

(オート / オン / オフ)

毎秒24コマで撮影された映画の映像を忠実に再現します。

- 1画面のとき、かつ1080i信号の場合のみ設定できます。
- 入力遅延を低遅延に設定しているときには設定できません。

1080pピュアダイレクト

(オン / オフ)

接続機器から入力された1080p 4:4:4の信号を、原画に忠実に表示します。設定値はHDMI入力ごとに記憶されます。

- HDMI入力の場合のみ設定できます。
- 以下の場合は設定できません。
 - 入力遅延を低遅延に設定しているとき
 - 映像モードをDolby Vision ビビッドまたはDolby Vision IQ、Dolby Vision ダークに設定しているとき

4Kピュアダイレクト

(オン / オフ)

接続機器から入力された4K 4:4:4の信号を、原画に忠実に表示します。設定値

はHDMI入力ごとに記憶されます。

- 4K映像のとき、かつHDMI入力の場合のみ設定できます。
 - 以下の場合は設定できません。
 - 入力遅延を低遅延に設定しているとき
 - 4K 120 Hz 対応機器と接続して4K 120Hz 映像を視聴しているとき
 - 映像モードを Dolby Vision ビビッドまたは Dolby Vision ダークに設定しているとき
-

4K 120Hzピュアモード

(オン / オフ)

接続機器から入力された4K 120Hzの信号を、原画に忠実に表示します。オンに設定すると、一部の映像調整機能が無効になります。

- 4K 120 Hz 対応機器をHDMI 1、または2端子に接続して4K 120Hz 映像を視聴している場合のみ設定できます。
 - 設定は入力ごとに記憶されます。
 - 以下の場合は設定できません。
 - 映像モードを Dolby Vision ビビッドまたは Dolby Vision IQ、Dolby Vision ダークに設定しているとき
-

等速駆動モード

(オン / オフ)

ゲーム機の実出力周波数が60 Hzの場合、画面のリフレッシュレートを合わせることで描画の遅延をさらに改善します。

- ビデオ入力端子またはHDMI端子から入力時に、入力遅延が低遅延の場合に設定できます。
 - 設定は入力ごとに記憶されます。
 - 以下の場合は設定できません。
 - 1080pピュアダイレクトをオンに設定しているとき
 - 4K 120Hzピュアモードをオンに設定しているとき
 - VRRをオンに設定しているとき
-

HDMI 画質連動設定

(グラフィック固定 / 写真固定 / オート / オフ)

HDMI入力された映像の画質を設定します。

オート：

HDMI入力に合わせて自動的に画質を調整するときに設定してください。

- オート設定時に画質連動するコンテンツを選択するには、オート連動設定を選び、連動するコンテンツを有効に設定してください。
- HDMI入力の場合のみ設定できます。
- 映像モードがフォトプロまたは Dolby Vision ビビッド、Dolby Vision IQ、

Dolby Vision ダークのときには設定できません。

HDMI EOTF設定

(オート / ノーマル / HLG / PQ)

HDMI入力された映像のEOTFを切り換えます。通常はオートでご使用ください。

- HDMI入力の場合のみ設定できます。
 - HDR10+ 機能を有効にするにはオートに設定してください。
 - 映像モードが Dolby Vision ビビッドまたは Dolby Vision IQ、Dolby Vision ダークのときには設定できません。
-

EOTF設定

(オート / ノーマル / HLG / PQ)

動画（ビデオ映像）や4K放送、4K放送の録画番組のEOTFを切り換えます。通常はオートでご使用ください。

- ビデオ映像や4K放送の録画番組を再生中、4K放送を視聴中の場合のみ設定できます。
 - HDR10+ 機能を有効にするにはオートに設定してください。
 - 映像モードが Dolby Vision ビビッドまたは Dolby Vision IQ、Dolby Vision ダークのときには設定できません。
-

HDMI Colorimetry 設定

(オート / Rec. 601 / Rec. 709 / Rec. 2020)

HDMI入力された映像のColorimetryを切り換えます。

- HDMI入力の場合のみ設定できます。
 - 映像モードが Dolby Vision ビビッドまたは Dolby Vision IQ、Dolby Vision ダークのときには設定できません。
-

HDMI RGBレンジ設定

(オート / エンハンス / スタンダード)

HDMI入力からRGB信号を入力したときの、レンジを設定します。

- 映像の黒レベルが適切でない場合は、エンハンスに設定してください。
 - HDMI入力の場合のみ設定できます。
 - 映像モードが Dolby Vision ビビッドまたは Dolby Vision IQ、Dolby Vision ダークのときには設定できません。
-

HDMI YCbCrレンジ設定

(オート / エンハンス / スタンダード)

HDMIのYCbCr信号入力の際のレンジを切り換えます。

- HDMI入力の場合のみ設定できます。

- 映像モードが Dolby Vision ビビッドまたは Dolby Vision IQ、Dolby Vision ダークのときには設定できません。

画面の設定をする

1. [メニュー] ボタンを押して[設定](#)を選び、[決定] ボタンを押す
2. [映像調整](#) > [画面の設定](#)を選び、[決定] ボタンを押す
3. 設定したい項目を選び、[決定] ボタンを押す

[画面モード](#) / [オーバースキャン](#) / [垂直位置／サイズ](#) / [画面ウォブリング](#) / [ロゴ輝度制御](#) / [パネルメンテナンス](#)

4. 項目ごとに設定する
-

画面モード

画面モードを変更します。

 → [テレビを見る](#) > [映像（画質）を設定・調整する](#) > [画面モードを設定する](#)

オーバースキャン

([オン](#) / [オフ](#))

16：9映像の際に周囲を隠して表示することができます。

- 元の映像の周辺部分に含まれるノイズや欠けが表示される場合は、[オン](#)に設定してください。
 - 16：9映像の端まで表示する場合は、[オフ](#)に設定してください。
 - 以下の場合は設定できません。
 - 4K映像のとき
 - 写真の映像のとき
 - インターネットを利用しているとき（Webブラウザなど）
 - [入力遅延](#)を[低遅延](#)に設定しているとき
 - [1080Pピュアダイレクト](#)を[オン](#)に設定しているとき
 - [4Kピュアダイレクト](#)を[オン](#)に設定しているとき
-

垂直位置／サイズ

画面モードが[ズーム](#)のときの垂直（上下）の位置やサイズを微調整します。

垂直位置の調整範囲は拡大状況により変わります。

- 以下の場合は設定できません。
 - 4K映像のとき
-

画面ウォブリング

([オン](#) / [オフ](#))

映像を微細な動きで移動させ、パネルの焼き付きを低減します。

ロゴ輝度制御

([高](#) / [中](#) / [低](#))

パネルの保護レベルを選択し、ロゴを表示するときの輝度を調整します。

パネルメンテナンス

画面表示を消してパネルのメンテナンスを行い、パネルの焼き付きを防止します。

- パネルメンテナンスが完了するまで、約 10 分かかります。
- パネルメンテナンス中は、電源ランプが橙色に点灯します。
- パネルメンテナンス中にテレビの電源を「入」にした場合、メッセージを表示してメンテナンスを中止します。
- パネルメンテナンス完了後にテレビの電源を「入」にしたときは、完了のメッセージを表示します。

画質調整のロック設定をする

映像モードがキャリブレーションまたはプロフェッショナル、Dolby Vision IQ、Dolby Vision ダークの場合は、調整した画質をロックすることができます。

1. [メニュー] ボタンを押して設定を選び、[決定] ボタンを押す
2. 映像調整 > 画質調整ロック設定を選び、[決定] ボタンを押す
3. [1 ~ 1 0] ボタンを押して暗証番号を4桁で入力する
 - 暗証番号を初めて入力するときは、番号を2回入力して登録します。
 - 番号は必ずメモをしておいてください。
4. 画質調整のロックを選び、[決定] ボタンを押す
5. オンを選び、設定する

■ 暗証番号を変更するには

1. 暗証番号変更を選び、[決定] ボタンを押す
2. [1 ~ 1 0] ボタンを押して新しい暗証番号を4桁で入力する
3. 画面の表示内容に従って、もう一度同じ暗証番号を入力する

画質設定をコピーする

映像モードがフィルムシネマ、シネマプロ、ユーザー、キャリブレーション、プロフェッショナル、ゲーム、Dolby Vision IQ、Dolby Vision ダークの場合は、現在の画質設定を他の入力へコピーできます。

1. [メニュー] ボタンを押して設定を選び、[決定] ボタンを押す
2. 映像調整 > 画質設定コピー > コピー先の入力を選び、[決定] ボタンを押す
3. コピー先を選び、[決定] ボタンを押す
4. コピー開始を選び、[決定] ボタンを押す
5. 確認画面ではいを選び、[決定] ボタンを押す

= お知らせ =

- オプション機能、画面の設定はコピーされません。
- 画質調整ロック設定でロックしている入力にはコピーできません。

音声（音質）を設定・調整する

音声出力を設定する

ビエラリンク（HDMI）対応のシアターを接続しているときに設定できます。

1. [メニュー] ボタンを押して**設定**を選び、[決定] ボタンを押す
 2. **音声調整** > **音声を切り換える**を選び、[決定] ボタンを押す
 3. 音声出力を設定する
-

音声を切り換える

(テレビ / シアター)

音声の出力先を設定します。

テレビ：

本機から音声が出ます。

シアター：

シアターのスピーカーから音声が出ます。シアターが待機状態の場合は、自動的に電源が入ります。

- 本機のリモコンでシアターの操作ができます。リモコンは、本機に向けて操作します。
 - 本機からの音声は消えます。シアターの電源が切れた場合は、また本機から音声が出ます。
 - [音量] ボタン、[消音] ボタンで音量を調節できます。
- 本機はe ARC / ARCに対応したシアターのみ使用できます。e ARC / ARC対応のシアターは、HDMI 2端子に接続してください。

音声モードを設定する

音声を切り換えるをテレビにしているときに設定できます。

 → テレビを見る > 音声（音質）を設定・調整する > 音声出力を設定する

1. [メニュー] ボタンを押して設定を選び、[決定] ボタンを押す
2. 音声調整 > 音声モードを選び、[決定] ボタンを押す
3. 音声モードを設定する

音声モード

（スタンダード / ミュージック / 快聴 / スポーツ / ユーザー）

放送や入力信号ごとに、お好みの音声モードが選べます。

スタンダード：

全音域をバランスよくした音。

ミュージック：

メリハリ感を強調した音。

快聴：

人の声をより聴きやすくした音。（高齢の方におすすめ）

スポーツ：

スポーツ番組（映像）の視聴に適したスポーツ会場の臨場感を高める音。

ユーザー：

お好みに合わせて調整できます。

- ユーザーでは、バス、トレブルの調整の代わりに、イコライザーの調整ができます。イコライザーを選択して各周波数を調整します。

 → テレビを見る > 音声（音質）を設定・調整する > 音声の基本設定をする

- 音声モードの設定は、本機のスピーカー音にのみ効果があります。
- スポーツ連動がオンのときに、映像モードでスポーツを選択している場合は設定できません。

 → テレビを見る > 音声（音質）を設定・調整する > 音声の基本設定をする

 → テレビを見る > 映像（画質）を設定・調整する > 映像モードを設定する

シアターサウンドを設定する

音声を切り換えるをシアターにしているときに設定できます。



→ テレビを見る > 音声（音質）を設定・調整する > 音声出力を設定する

1. [メニュー] ボタンを押して設定を選び、[決定] ボタンを押す
 2. 音声調整 > シアターサウンドを切り換えるを選び、[決定] ボタンを押す
 3. シアターサウンドを設定する
-

シアターサウンドを切り換える

(オート / スタンダード / スタジアム / ミュージック / シネマ / ニュース)

シアターサウンドを楽しむときに設定します。

オート：

番組に応じた最適なサウンドに自動的に切り換えます。

スタンダード：

全音域をバランスよくした音に調整します。

スタジアム：

広がり感を重視した音に調整します。

ミュージック：

メリハリ感を強調した音に調整します。

シネマ：

映画の視聴に適した音に調整します。

ニュース：

人の声を聴きやすくした音に調整します。

= お知らせ =

- シアターがピエラリンク Ver. 2 に対応している場合はオートを除く 5 つ、ピエラリンク（HDMI）Ver. 3 以上に対応している場合はオートを含めた 6 つのサウンドに切り換えられます。
- メディアプレーヤーの BGM 設定をオフにして、写真を見ているときはサウンドは切り換わりません。
- 本機は eARC / ARC に対応したシアターのみ使用できます。eARC / ARC 対応のシアターは、HDMI 2 端子に接続してください。

音声の基本設定をする

音声を切り換えるをテレビにしているときに設定できます。



→ テレビを見る > 音声（音質）を設定・調整する > 音声出力を設定する

1. [メニュー] ボタンを押して設定を選び、[決定] ボタンを押す
2. 音声調整を選び、[決定] ボタンを押す
3. 設定したい項目を選び、[決定] ボタンを押す

バス / トレブル / イコライザー / バランス / サラウンド / 低音強調 / スポーツ連動 / 設置方法

4. 項目ごとに設定する
-

バス

低音を調整します。

トレブル

高音を調整します。

イコライザー

イコライザーの調整をします。

- イコライザーを調整するには、音声モードをユーザーに切り換えてください。
 - 各周波数を選び、周波数レベルを設定します。
 - 低音（150 Hz）から高音（12k Hz）まで8つの周波数のレベルをそれぞれ調整できます。声などを強調するには中音（1k Hz/2k Hz）のレベルを上げてください。
 - 周波数レベルを工場出荷状態に戻すには、標準に戻すを選び、[決定] ボタンを押します。
 - イコライザーの設定は、本機のスピーカー音にのみ効果があります。
-

バランス

左右の音量を調整します。

サラウンド

（シネマサラウンド / スポーツサラウンド / オフ）

臨場感を楽しみたいときに設定します。

シネマサラウンド：

映画を視聴するのに適した設定で、本機のスピーカーだけで音に広がり感を与えます。

スポーツサラウンド：

スポーツ番組（映像）の視聴に適した設定で、本機のスピーカーだけで音に広がり感を与えます。

- この設定は、本機のスピーカー音にのみ効果があります。

低音強調

(オン / オフ)

低音を増強して響かせます。

- この設定は、本機のスピーカー音にのみ効果があります。

スポーツ連動

(オン / オフ)

映像モードでスポーツを選択時に、自動で音声モードもスポーツに設定します。

設置方法

(壁掛け / スタンド置き)

本機の設置方法に合わせて、テレビのスピーカーの出力を調整します。

壁掛け設置時は壁掛けを選択してください。

スタンド設置時はスタンド置きを選択してください。

= お知らせ =

- バス、トレブル、サラウンド、低音強調の調整値は、音声モードごとに記憶します。

音量設定をする

1. [メニュー] ボタンを押して[設定](#)を選び、[決定] ボタンを押す
 2. [音声調整](#)を選び、[決定] ボタンを押す
 3. 設定したい項目を選び、[決定] ボタンを押す
[音量オート](#) / [音量補正](#) / [ダイアログエンハンスメント](#)
 4. 項目ごとに設定する
-

[音量オート](#)

([オン](#) / [オフ](#))

小さな音を大きく、大きな音を小さく自動調整し、音量変化を抑えます。

[音量補正](#)

放送や入力信号を切り換えて音量が変化するときは、調整したい放送や外部入力の視聴状態にしてから音量を調整してください。

[ダイアログエンハンスメント](#)

([オン](#) / [オフ](#))

声やセリフを強調します。

= お知らせ =

- [音量オート](#) / [音量補正](#)は[音声を切り換える](#)を[テレビ](#)にしているときに設定できます。



→ [テレビを見る](#) > [音声（音質）を設定・調整する](#) > [音声出力を設定する](#)

ヘッドホン端子の出力を設定する

1. [メニュー] ボタンを押して[設定](#)を選び、[決定] ボタンを押す
2. [音声調整](#)を選び、[決定] ボタンを押す
3. 設定したい項目を選び、[決定] ボタンを押す

[ヘッドホン端子出力](#) / [ヘッドホン／イヤホン音量](#) / [サブウーハー調整](#)

4. 項目ごとに設定する
-

ヘッドホン端子出力

([ヘッドホン](#) / [サブウーハー](#))

ヘッドホン / イヤホン / サブウーハー端子の出力を設定します。

[ヘッドホン](#) :

ヘッドホン / イヤホンを接続する場合に設定します。

[サブウーハー](#) :

サブウーハーを接続する場合に設定します。

- 通常は[ヘッドホン](#)に設定してください。
 - [サブウーハー](#)に設定するとヘッドホン端子から低域音声のみが出力され、通常の音声再生できないため、ヘッドホンを接続しないでください。
 - [サブウーハー](#)に設定しているときは、リモコンの[音量] ボタンでサブウーハー音量を調整できます。
-

ヘッドホン／イヤホン音量

ヘッドホン / イヤホンの音量を調整します。

- ヘッドホン / イヤホンで音声を聴いているときは、リモコンの[音量] ボタンやモニターの[電源] ボタンで音量調整できます。ただし、[スピーカーとイヤホン音声の同時出力をする](#)に設定しているときは、リモコンの[音量] ボタンでの音量調整はできません。

本体の[電源] ボタン操作については、以下をご参照ください。



→ [困ったときは / よくあるご質問 / English Guide > よくあるご質問 \(Q & A集\) > 本体の電源ボタンで本機を操作する方法がわからない](#)

- [ヘッドホン端子出力](#)を[ヘッドホン](#)にしているときに設定できます。
-

サブウーハー調整

[サブウーハー音量](#) :

サブウーハーの音量を調整します。

- テレビとサブウーハーの実際の音声を確認しながら調整してください。

[カットオフ周波数](#) :

テレビから出力するサブウーハー音声信号のカットオフ周波数を設定します。

- 設定したカットオフ周波数より低い周波数の音声サブウーハーに出力されます。

- 100 Hz から 400 Hz の範囲で設定できます。
- テレビとサブウーハーの実際の音声を確認しながら設定してください。

[標準に戻す](#) :

工場出荷時の設定に戻します。

- [ヘッドホン端子出力](#)を[サブウーハー](#)にしているときに設定できます。

音声の詳細設定をする

1. [メニュー] ボタンを押して設定を選び、[決定] ボタンを押す
2. 音声調整を選び、[決定] ボタンを押す
3. 設定したい項目を選び、[決定] ボタンを押す
AVシンク / デジタル音声出力 / HDMI 音声フォーマット / eARC
4. 項目ごとに設定する

AVシンク

(オン / オフ)

映像信号を遅らせて、映像と音声の出力タイミングを調整します。

- 入力信号やご使用のオーディオ機器によっては、正しく調整できない場合があります。
- 以下の場合は設定できません。
 - 1080Pピュアダイレクトをオンに設定しているとき
 - 4Kピュアダイレクトをオンに設定しているとき
 - 入力遅延を低遅延に設定しているとき
 - 4K 120Hzピュアモードをオンに設定しているとき

デジタル音声出力

(オート / PCM / ビットストリーム / Dolby Audio)

eARC / ARCに対応したオーディオ機器をHDMI 2端子に接続したときに音声出力の設定をします。

オート：

放送が2ch以下の音声フォーマットのときは常に「PCM」を出力します。3ch以上のときは自動的にハイビジョン放送の場合は「AAC」を出力し、4K放送の場合は「ドルビーオーディオ」を出力します。ただし、メディアプレーヤーでのビデオ再生の音声形式がドルビーオーディオフォーマットのサラウンド・ステレオで記録した場合に、自動的に「ドルビーオーディオ」を出力します。

PCM：

オーディオ機器がAACフォーマットやドルビーオーディオフォーマットに対応していないとき、常に「PCM」を出力します。

ビットストリーム：

放送がAACフォーマット時は常に「AAC」を出力します。ドルビーオーディオフォーマット時は常に「ドルビーオーディオ」を出力します。AACフォーマット・ドルビーオーディオフォーマット以外のときは「PCM」を出力します。

Dolby Audio：

AACフォーマットやドルビーオーディオフォーマット時は常に「ドルビーオーディオ」を出力します。AACフォーマット・ドルビーオーディオフォーマット以外のときは「PCM」を出力します。

- ビットストリームに設定すると字幕放送やデータ放送の効果音が、HDMI 2 端子から出力されません。PCMに設定してご使用ください。
- AAC対応のオーディオ機器を接続する場合、PCMとAACの入力に対し自動切り換え機能のあるものをおすすめします。
- HDMI 2 端子からは、スピーカーと同じ音声を出力します。
- HDMI 入力時のDVDオーディオで暗号化されている場合は出力されません。

HDMI 音声フォーマット

(オート / PCM / パススルー / Dolby Audio)

HDMI 端子に接続した機器からの入力信号に合わせて音声フォーマットを設定します。

オート :

モニターのスピーカーから音声出力する場合、入力信号がドルビーオーディオフォーマットのときは「ドルビーオーディオ」を出力します。ドルビーオーディオフォーマット以外の場合は「PCM」を出力します。

シアターから音声を出力する場合、入力信号によって自動で出力信号を切り換えます。

PCM :

音声信号は常に「PCM」を出力します。

パススルー :

モニターのスピーカーから音声出力する場合、入力信号がドルビーオーディオフォーマットのときは「ドルビーオーディオ」を出力します。ドルビーオーディオフォーマット以外の場合は「PCM」を出力します。

シアターから音声を出力する場合、パススルー設定で入力信号をそのまま出力します。

Dolby Audio :

モニターのスピーカーから音声出力する場合、入力信号がドルビーオーディオフォーマットのときは「ドルビーオーディオ」を出力します。ドルビーオーディオフォーマット以外の場合は「PCM」を出力します。

シアターから音声を出力する場合、ドルビーオーディオフォーマットはトランスコード設定で出力します。

- HDMI 入力の場合のみ設定できます。

eARC

(オン / オフ)

オンに設定すると、eARC（エンハンスドオーディオリターンチャンネル）対応機器が接続されている場合は、eARC 機能が有効になります。

- eARC / ARC対応機器から音声が正しく出力されない場合は、オフに設定してください。
- eARCまたはARC対応の機器を接続するときは、HDMI 2 端子に接続してください。
- eARC機能またはHEC（HDMI Ethernet Channel）機能に対応したHDMI

ケーブルをご使用ください。

- ドルビーオーディオ（Dolby TrueHD/MAT、Dolby Atmos）に対応したアンプをHDMI 2端子（eARC / ARC対応）に接続すると、Dolby Atmos コンテンツを再生時にDolby Atmosの臨場感を楽しめます。

番組表の使い方


番組表について

本機の画面上に新聞のテレビ欄のように番組を一覧表示します。
画面上で番組を選ぶとその番組を見たり、録画予約などをすることができます。
本機は、放送局から送られてきた番組データに基づいて番組表を表示します。
本機の番組表はGガイドを使用しています。

また、過去未来番組表を利用すると、チューナー部に内蔵のHDDに録画している番組や、宅内のネットワークに接続されたディーガやビエラに録画している番組を番組表にまとめて表示して再生できます。

 → [いろいろな機能 > 過去未来番組表を使う > 過去未来番組表を使う](#)

- 番組表データは、BSデジタル放送のGガイドおよびデジタル放送電波のすきまで配信されます。
- 通信によるGガイド受信の設定をするには

 → [いろいろな機能 > 地域やチャンネルなど設置に関する設定をする > 設置設定をする](#)

- 番組データの取得は、リモコンで電源「切」またはテレビ視聴中に行われます。最大約4時間かかります。
この機能をご使用になるときは、リモコンで本機の電源を「切」にしてください。
- インターネットからも番組データを取得できます。取得するには、以下をご参照ください。

 → [いろいろな機能 > 地域やチャンネルなど設置に関する設定をする > 設置設定をする](#)

- HDDに番組を録画するには、以下をご参照ください。

 → [録画する > 録画予約をする](#)

■ 最新の番組表を取得する

地上デジタル放送の番組表で、表示されない放送局がある場合に、その局の番組情報を受信して表示します。

- 放送局の番組欄を選び、[決定] ボタンを押す
 - 表示には数分かかることもあります。

= お知らせ =

- [サブメニュー] ボタンを押して[番組データ取得](#)を選び、[決定] ボタンを押しても取得できます。
- 番組表に8K放送の番組も表示されますが、本機で視聴したり録画することはできません。8K放送の番組は、[番組内容](#)の画面で確認できます。

テレビ放送の番組を探して見る

■ 番組表から番組を探す

1. [番組表] ボタンを押して番組表を表示する

(例)

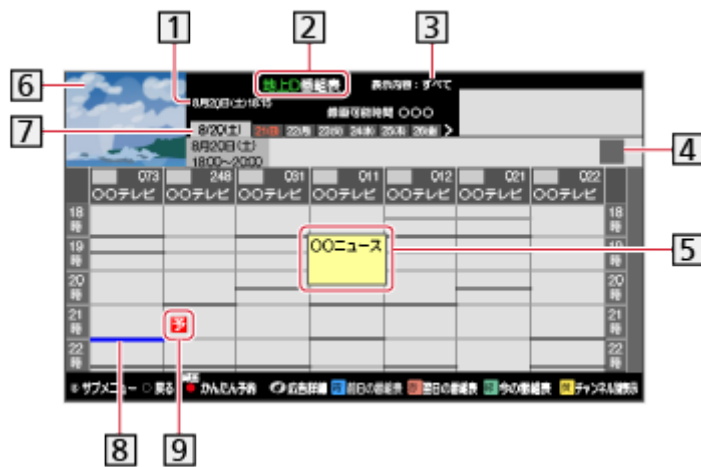


- [青] ボタンで前日、[赤] ボタンで翌日の番組表を見ることができます。
 - [緑] ボタンで現在放送中の番組表へ移動します。
 - チャンネル別の番組表を見るには、[黄] ボタンを押します。
 - 1局番組表を表示します。
 - [青] ボタンで前のチャンネル、[赤] ボタンで次のチャンネル、[黄] ボタンで全チャンネル表示をします。
- #### 2. 放送切替ボタンを押して、放送の種類を選ぶ
- [地上] : 地上デジタル (地上D) 放送
- [BS] : BSデジタル放送
- [CS] : 110度CSデジタル放送 (スカパー!)
- [BS/CS 4K] : BS4K・110度CS4K放送
- #### 3. 番組を選び、[決定] ボタンを押す
- **番組内容**画面を表示します。
- #### 4. 今放送している時間帯の番組を選んだときは、**今すぐ見る**を選び、[決定] ボタンを押す
- 選んだ番組が映ります。

番組表の画面の見かた

番組表には、以下のような情報を表示します。

(例)



① 現在の日時

② 放送の種類（地上D / BS / CS / BS／CS 4K）

③ 番組の表示範囲の変更

④ 番組のジャンルアイコン

- 映画、音楽、スポーツ、アニメ／特撮、ドラマなどの番組ジャンルを表示します。
- [番組内容画面の属性](#)を選ぶと、番組のジャンルを確認できます。

⑤ 選ばれている番組

⑥ 直前に見ていた番組

⑦ 表示中の放送日

⑧ 表示していない番組

⑨ 予約アイコン（録画予約した番組）

赤：録画予約した番組

灰：録画予約を「実行切」にした番組

■ 表示していない番組を表示する

番組と番組の間に表示していない番組があるとき、青い線を表示します。番組を一時的に表示し、内容などを見ることができます。

- $\triangle / \nabla / \triangleleft / \triangleright$ ボタンで青い線を選ぶ

■ アイコン一覧を表示する

番組表の番組欄や番組内容画面で表示されるアイコンの説明を表示します。

1. 番組表を表示中に [サブメニュー] ボタンを押す

2. [アイコン一覧](#)を選び、[決定] ボタンを押す

- 放送局から情報が送られてこない場合は、[アイコン一覧](#)は表示されません。
- すべてのアイコンの説明が表示されるわけではありません。

番組表の表示を切り換える

■ 番組の表示範囲を変更するには

1. 番組表を表示中に [サブメニュー] ボタンを押す
2. **表示内容**を選び、表示する範囲を**すべて** / **設定チャンネル** / **テレビ**から設定する
 - **設定チャンネル**にすると、番組表にはチャンネル設定で設定したチャンネルのみ表示されます。

■ 1画面に表示するチャンネル数を選ぶには

1. 番組表を表示中に [サブメニュー] ボタンを押す
2. **表示チャンネル数**を選び、[決定] ボタンを押す
3. 表示したいチャンネル数を選び、設定する

■ チャンネル別の番組表を表示する（1局番組表）

1. 番組表を表示中に [◀] または [▶] ボタンを押して見たいチャンネルを選ぶ
2. [黄] ボタンを押す
 - 1局番組表を表示します。
 - [青] ボタンで前のチャンネル、[赤] ボタンで次のチャンネル、[黄] ボタンで全チャンネル表示をします。

■ 1画面に表示したい日数を選ぶには

番組表の表示日数（3／5／7／8日表示）の切換ができます。（1局番組表のみ）

1. 1局番組表を表示中に [サブメニュー] ボタンを押す
2. **表示日数切換**を選び、[決定] ボタンを押す
3. 表示したい日数を選び、[決定] ボタンを押す

番組の詳しい情報や番組説明を見る

番組表から、番組の詳しい内容をご覧くださいことができます。

● 番組表で番組を選び、[決定] ボタンを押す

- [番組内容](#)画面を表示します。
- ジャンル、キーワード、人名の検索結果などから選んで [決定] ボタンを押したときも、[番組内容](#)画面を表示します。
- [戻る] ボタンを押すと、番組表に戻ります。

■ 番組内容画面について

[番組内容](#)画面には、番組について以下のような情報を表示します。

- 番組の情報を表すアイコン
 - テレビ、dテレビ、16:9/1080i、ステレオ、字幕、コピー制限などの番組情報アイコンを表示します。
 - 4K放送の番組は、16:9/2160Pが表示されます。
 - 放送局から情報が送られてこない場合は、正しいアイコンを表示しない場合があります。
 - デジタル1COPYなどのアイコンが出ない番組でも、録画機器によってはダビングできない場合があります。
- [内容](#)、[詳細](#)、[属性](#)、[注目番組](#)の項目
 - 項目を切り換えて番組のより詳しい情報を確認できます。

[内容](#)：

番組の内容を表示します。

[詳細](#)：

地上デジタル放送で情報があるときに、画像などで詳しい内容を表示します。
(情報のないときは表示しません)

[属性](#)：

放送方式などを表示します。

[注目番組](#)：

放送局からの情報を基にGガイドが提供する番組情報を表示します。(番組データに情報があるときのみご覧いただけます)

- 番組のジャンルアイコン
 - 映画、音楽、スポーツ、アニメ/特撮、ドラマなどの番組ジャンルを表示します。
- デジタル放送のときに表示されるアイコン
 - デジタル放送では、番組表の番組欄や[番組内容](#)画面で、デジタル放送用のアイコンを表示することがあります。
- 番組のタイトルや番組内容
- [関連情報](#)の項目
 - 番組に関連した情報から別の番組を探すことができます。

 → [テレビを見る](#) > [番組表の使い方](#) > [番組内容から関連のある番組を検索する](#)

番組内容から関連のある番組を検索する

本機は番組表から番組を選んだときに、地上デジタル放送局やBSデジタル放送局から送られてくる番組に関連した情報に基づいて、番組や広告に関連した情報を見たり、番組を検索することができます。

- 放送局から送られてきた情報から、9日以上先の番組内容を見たり、予約もできます。

1. 番組表から番組を選び、[決定] ボタンを押す
2. **番組内容**の画面下部から**関連情報**を選び、[決定] ボタンを押す
3. **関連情報**の画面から検索したい項目を選び、[決定] ボタンを押す

放送中止時の番組を探す / 関連番組を探す / 人名で番組を探す / ジャンルで番組を探す / キーワードで番組を探す

- 関連する番組を表示します。
- 情報のない項目は表示しません。

4. 番組を選び、[決定] ボタンを押す
5. 今放送している時間帯の番組を選んだときは、**今すぐ見る**を選び、[決定] ボタンを押す
 - 選んだ番組が映ります。

= お知らせ =

- キーワードや人名などから検索する場合、実際の放送に該当する項目が含まれている番組でも、番組検索の検索結果には表示されないことがあります。
- 関連情報を受信するためにはアンテナの接続と設定が必要です。



→ **テレビを見る > テレビ放送を見るための準備をする > アンテナ線を接続する**

注目番組一覧から探す

注目番組一覧では、放送局からの情報を基にGガイドが提供する番組情報を表示します。

1. 番組表を表示中に [サブメニュー] ボタンを押す
2. 注目番組一覧を選び、[決定] ボタンを押す
 - 注目番組一覧の画面は、サムネイル形式またはリスト形式で表示されます。(表示される2種類の画面はGガイドが運用しています)
3. 番組を選び、[決定] ボタンを押す
4. 今放送している時間帯の番組を選んだときは、今すぐ見るを選び、[決定] ボタンを押す
 - 選んだ番組が映ります。

■ サムネイル形式画面について

サムネイル形式のときは、見出し画像付きで以下のような番組の内容を表示します。

- 番組のタイトル
 - △ / ▽ / ◀ / ▶ ボタンで番組が選択できます。
- 選んでいる番組の詳細
- 分類 (カテゴリー)

■ リスト形式画面について

リスト形式のときは、一覧表で以下のような番組の内容を表示します。

- 番組のタイトル
 - △ / ▽ ボタンで番組が選択できます。
- 選んでいる番組の詳細
- 分類 (カテゴリー)

キーワードやジャンル、人名などで番組を探す

本機は、放送局から送られてきた番組データに基づいて番組の検索ができます。

1. 番組表を表示中に「サブメニュー」ボタンを押す
2. **番組の検索** > **ジャンル検索** / **キーワード検索** / **人名検索**を選び、「決定」ボタンを押す
3. 項目を選び、「決定」ボタンを押す
 - **ジャンル検索** : **メインジャンル** > **サブジャンル**
 - **キーワード検索** : **カテゴリー** > **キーワード**
 - **人名検索** : **カテゴリー** > **読みの最初** > **名前**
4. 番組を選び、「決定」ボタンを押す
 - 「青」ボタンで前日、「赤」ボタンで翌日の番組を見ることができます。
5. 今放送している時間帯の番組を選んだときは、**今すぐ見る**を選び、「決定」ボタンを押す
 - 選んだ番組が映ります。

■ 表示する範囲を変更する

1. 検索結果を表示中に「サブメニュー」ボタンを押す
2. **表示内容** / **表示CH**を選び、項目ごとに設定する

表示内容

(すべて / **設定チャンネル** / **テレビ**)

- **表示内容**を**設定チャンネル**にすると、番組表にはチャンネル設定で設定したチャンネルのみ表示されます。

表示CH

(**全CH** / **地上D** / **BS** / **CS** / **BS/CS4K** / **地上D+BS/BS4K (無料)**)

- **表示CH**は放送切換ボタンを押しても変更できます。

= お知らせ =

- キーワードや人名などから検索する場合、実際の放送に該当する項目が含まれている番組でも、番組検索の検索結果には表示されないことがあります。
- 「赤」ボタンを押して9日目以降を選ぶと、放送局がおすすめする最大1年先までの番組（注目番組）があれば、その中から検索された番組を表示します。
 - 実際の運用は、Gガイドが提供する番組情報に基づきます。

録画する

録画する前に

録画をする前に

内蔵のHDDに番組を録画し、再生することができます。

本機は番組を視聴しながら、別の番組を最大2番組まで同時にHDDに録画できます。

- 4K放送の番組は、2番組を同時に録画することはできません。

= 注意事項 =

- 以下の場合、HDD内のすべてのデータが消去されます。

- 本機でHDDをフォーマットする



→ [いろいろな機能](#) > [HDDに関する設定をする](#) > [HDDをフォーマットする](#)

- 故障で本機を修理した場合などは、HDDに録画した番組が再生できなくなることがあります。
- HDDの動作中（再生・録画中など）に、チューナー本体の電源を切ったり、振動や衝撃（移動、回転など）、静電気を与えると、録画した番組が消えたり、故障の原因となります。
- 当社は他社起因によるところの操作と性能を保証しません。
また当社はそのような他社との組み合わせによってあるいは他社の操作や性能に起因するいかなる責任あるいは損害賠償をいたしかねます。

= お知らせ =

- 本機はUSB HDDに番組を録画することはできません。
- ラジオ放送の番組など、デジタル放送のテレビサービス以外は録画できません。
- 番組によっては、録画できないものもあります。
- 外部入力からの映像（番組）は録画できません。
- 8時間以上の番組など、8時間以上連続して録画すると8時間ごとに分割し、[録画一覧](#)画面でまとめ番組として表示します。
- HDDに録画できる最大番組数は3000です。

見ている番組を録画する

見ている番組を録画する

見ている番組をチューナー部に内蔵のHDDに録画します。

■ 録画モードを設定する

- 録画モードは、4K放送とハイビジョン（2K）放送で、別々に設定できます。

1. [メニュー] ボタンを押して**設定**を選び、[決定] ボタンを押す
2. **機器設定 > 録画設定 > 録画モード（4K放送用）**または**録画モード（ハイビジョン放送用）**を選び、[決定] ボタンを押す
3. 録画モードを選び、設定する

4K放送用：4K DR / 4K 2倍録 / 4K 4倍録 / 4K 8～12倍録

ハイビジョン放送用：DR / 3倍録 / 5倍録 / 15倍録

- 3倍録、5倍録、15倍録を選んで録画した場合、本機はいったんDRモードで録画したあと、電源「切」時に設定した録画モードに変換します。

また、4K画質モード（4K 2倍録～4K 8～12倍録）を選んで録画した場合、本機はいったん4K DRモードで録画したあと、電源「切」時に設定した録画モードに変換します。

- 録画モードについては、 取扱説明書をご覧ください。

■ 見ている番組を録画するには

● [録画] ボタンを押す

- 現在設定されている録画モードで録画を開始します。
- 録画中はチューナー部のLEDが赤色で点灯します。
 - LEDの明るさを設定することができます。

 → **いろいろな機能 > 電源ランプや表示窓、LEDの表示方法を切り換える > チューナー部の表示窓やLEDの設定をする**

- 見ている番組の録画は、番組終了まで録画します。
- 確認画面またはエラー画面が出た場合には、表示内容を確認し操作してください。

■ 録画時間の目安（連続録画の場合）

○**倍録**にすると、**DR**より画質は劣化しますが、より長い時間の録画ができます。

- 録画モードは、見ている番組の録画と録画予約で、別々に設定できます。
- 本機の電源を「切」「入」しても、設定した録画モードは保持されます。
- 地上デジタル／BSデジタル放送

録画機器 (容量)	録画モード				
	DR		3倍録	5倍録	15倍録
	地上デジタル HD放送 (≤ 17 Mbps)	BSデジタル HD放送 (≤ 24 Mbps)			


HDD (2 TB)	約 254 時間	約 180 時間	約 540 時間	約 900 時間	約 2700 時間
---------------	-------------	-------------	-------------	-------------	--------------

- BS／CS 4K放送

録画機器 (容量)	録画モード			
	4K DR	4K 2倍録	4K 4倍録	4K 8～12倍録
	BS／CS 4K 4K放送 (≤ 33 Mbps)			
HDD (2 TB)	約 130 時間	約 260 時間	約 520 時間	約 1040 時間 ～ 約 1560 時間

- DRまたは4K DRの録画モードは、放送そのままの画質で記録します。
 - 録画時間は転送レートにより異なります。
- HDDに録画する場合、録画可能時間は録画予約設定画面などで確認できます。
- 録画可能時間は理論値で計算しているため、実際と異なる場合があります。番組の内容やHDDの状態によっては録画可能時間が短くなることがあります。残量に余裕がある状態で録画してください。
- 4K 8～12倍録モードは、番組の内容に応じて録画倍率を8倍録から12倍録まで自動調整して録画します。スポーツや音楽など動きが激しい映像では、録画倍率が8倍録相当になるため、表示している録画可能時間よりも実際に録画できる時間が短くなることがあります。
- HDDに録画している番組の情報を表示するには〔画面表示〕ボタンを押す
- 4K画質モード（4K 2倍録～4K 8～12倍録）の録画時間は、記録する音声 AAC 2ch 1つの場合です。
- 4K画質モード（4K 2倍録～4K 8～12倍録）での録画では、記録できる音声は最大2つです。
 - 見ている番組の録画時は、信号切換の音声で選択した音声優先されます。
- 15倍録モードでの録画では、録画する番組がサラウンド音声やマルチ音声の場合、実際に録画できる時間が残量表示よりも短くなることがあります。残量に余裕がある状態（録画される時間の1.3倍以上の残量がある状態）で録画することをおすすめします。
- 表の数値は目安です。記録する内容によっては変化することがあります。
- DRモード以外で録画する場合、映像の情報量に合わせてデータの記録量を変化させる方式（可変ビットレート方式：VBR）を採用しているため、残量表示と実際に記録できる時間が異なることがあります。
- DRモードの録画時間は放送（転送レート）によって異なります。本機の残量表示は、地上デジタル放送を17 Mbps、BSデジタル放送を24 Mbpsで録画したものとして、4K DRモードは4K放送を33 Mbpsで録画したものとして計算されています。そのため、残量表示と実際の残量は異なる場合があります。

■ 録画を途中で停止するには

1. [] ボタンを押す
2. 停止する番組を選び、〔決定〕ボタンを押す

3. 確認画面で**はい**を選び、[決定] ボタンを押す

■ 録画した番組を再生、または消去するには

メディアプレーヤーで録画した番組を再生 / 消去します。

● [録画一覧] ボタンを押す

 → **メディアプレーヤー > 録画した番組を再生・編集する**

- 本機はHDDに録画しながら、[] ボタンで再生できます。

= お知らせ =

- 8時間以上連続して録画すると8時間ごとに分割し、**録画一覧**画面でまとめ番組として表示します。

録画予約をする

録画予約について

HDDに録画したい番組を予約設定することができます。

- 地上デジタル放送、BSデジタル放送、110度CSデジタル放送、BS4K・110度CS4K放送の番組を録画予約できます。（ラジオ放送の番組は録画できません。）
- [予約一覧](#)画面から予約状況などを確認することができます。

 → [録画する](#) > [録画予約をする](#) > [予約の確認をする](#)

- 予約が完了すると、最大約10秒間、メッセージを表示します。
- 予約番組が重なっていると予約重複のメッセージを表示します。[はい](#)を選び、[決定] ボタンを押すと[予約重複確認](#)画面を表示します。削除 / 取り消したい番組を選び、[黄] ボタンを押して重複を解除してください。

■ HDDに録画する場合

チューナー部に内蔵のHDDに録画予約します。

- 本機をご使用にならないときは、リモコンで本機の電源を「切」にしてください。
- 録画予約を取り消すときや番組の録画を停止するには、以下をご参照ください。

 → [録画する](#) > [録画予約をする](#) > [予約の取り消しや停止をする](#)

- 予約完了すると、番組表に予約マークを表示します。
- 録画予約は、128件まで予約できます。
- HDDに録画できる最大番組数は3000です。
- 8時間以上の番組は8時間ごとに分割して録画し、[録画一覧](#)画面でまとめ番組として表示します。


■ 録画モードについて

HDDへ録画予約するとき

- 4K放送の番組は、[4K DR](#) / [4K 2倍録](#) / [4K 4倍録](#) / [4K 8～12倍録](#)から選択し、ハイビジョン（2K）放送の番組は、[DR](#) / [3倍録](#) / [5倍録](#) / [15倍録](#)から選択します。
- 録画モード、録画時間の目安について、詳しくは以下をご参照ください。

 → [録画する](#) > [見ている番組を録画する](#) > [見ている番組を録画する](#)

番組を探して録画予約する

1. 番組表や検索結果などから録画予約したい番組を選び、[決定] ボタンを押す
2. 番組内容を確認し、[録画予約](#)を選択して[決定] ボタンを押す
 - 地上デジタル放送、BSデジタル放送、110度CSデジタル放送、BS4K・110度CS4K放送の番組を録画予約できます。(ラジオ放送の番組は録画できません)
 - 録画予約を確認 / 変更 / キャンセルするには
 → [録画する](#) > [録画予約をする](#) > [予約の確認をする](#)
 - 番組表に戻るには[戻る] ボタンを押す
 - 放送が始まっている番組を選択した場合、番組を見るか録画を開始するか選択できます。現時点から録画を開始するときは[録画予約](#)を選択してください。
3. [この番組のみ予約する](#)を選び、[決定] ボタンを押す
 - 予約が完了すると、最大約10秒間、メッセージを表示します。
 - 予約番組が重なっていると予約重複のメッセージを表示します。[はい](#)を選び、[決定] ボタンを押すと[予約重複確認](#)画面を表示します。削除 / 取り消したい番組を選び、[黄] ボタンを押して重複を解除してください。
 - 録画機器について、詳しくは以下をご参照ください。

 → [録画する](#) > [録画予約をする](#) > [録画予約について](#)

■ かんたん予約 / かんたん予約削除

番組表から録画予約したい番組を選択して[録画] ボタンを押すと、予約が完了します。

もう一度[録画] ボタンを押すと、予約を削除します。

= お知らせ =

- 8時間以上の番組は8時間ごとに分割して録画し、[録画一覧](#)画面でまとめ番組として表示します。
- 確認画面またはエラー画面が出た場合には、表示内容を確認し操作してください。

番組を探して毎週や曜日指定で録画予約する

番組を一度、毎週または曜日を指定して録画予約すると、次回以降の放送は番組開始時刻や番組タイトル、チャンネルなどから番組を検索し自動的に予約設定します。(番組表データの、放送チャンネル・時間帯・番組名などから次回の放送を自動検索します。)

1. 番組表や検索結果などから録画予約したい番組を選び、[決定] ボタンを押す
2. 番組内容を確認し、[録画予約](#)を選択して[決定] ボタンを押す
3. [録画予約設定](#)画面で予約内容（毎週または曜日設定）を選び、[決定] ボタンを押す

[毎週予約する](#)：

毎週同じ番組を録画します。

[月～金で予約する](#)：

月～金で同じ番組を録画します。

[月～土で予約する](#)：

月～土で同じ番組を録画します。

[毎日予約する](#)：

毎日同じ番組を録画します。

= お知らせ =

- 番組名が前回と大きく異なる場合や、次回の放送時間が3時間以上前後した場合は、次回の放送を検索できないことがあります。この場合は、最初の予約内容のまま登録します。
- 1つの毎週予約または曜日指定予約からは、1日に1回だけ同じ時間帯の番組が予約設定されます。(同じ番組が1日に複数回放送される場合でも、1回だけ予約設定します)
- 録画機器の状態により、次回の予約が登録されなかったり実行できない場合があります。(起動 / 終了処理中など)
- 次回の予約が設定されるまで、最大1日かかる場合があります。
- 毎週予約または曜日指定予約に設定して繰り返し録画した番組は、[録画一覧](#)画面でまとめ番組として表示します。
- 毎週予約で最終回の番組を録画した場合は、[録画一覧](#)画面で最終回の番組を録画したお知らせと、[予約一覧](#)から削除することをおすすめするメッセージを表示します。不要になった予約は削除してください。



→ [録画する](#) > [録画予約をする](#) > [予約の取り消しや停止をする](#)

オートチャプターを設定する

デジタル放送の録画時、自動で番組にチャプターマークを付ける設定ができます。

1. [メニュー] ボタンを押して設定を選び、[決定] ボタンを押す
2. 機器設定 > 録画設定 > オートチャプターを選び、[決定] ボタンを押す
3. オンを選び、設定する
 - オン（工場出荷時）に設定すると、デジタル放送の録画時に自動的にチャプターマークを作成します。

= お知らせ =

- 録画中は設定できません。

予約の確認をする

予約された番組や予約履歴の一覧を表示します。

- 予約番組の確認や削除をしたり、予約履歴の確認ができます。

1. [アプリ] ボタンを押して、アプリ一覧画面を表示する

2. [予約一覧](#)を選び、[決定] ボタンを押す

- 予約一覧の画面を表示します。
- [赤] ボタンで実行済みの予約（履歴）、[青] ボタンで予約された番組を見ることができます。

= お知らせ =

- 実行前の予約した番組（お客様の操作）と実行済みの予約（履歴）をそれぞれ64件まで表示します。

■ 予約番組や予約履歴の内容を確認するには

- [予約一覧](#)画面で確認したい予約番組や実行済みの予約（履歴）を選び、[決定] ボタンを押す

- 予約内容画面、または履歴内容画面を表示します。
- 予約内容画面では、[青] ボタン、または[赤] ボタンで項目を切り換えることができます。

■ 予約の重複を確認 / 削除する

1. [予約一覧](#)画面で、重複している予約番組を選び、[決定] ボタンを押す

2. [重複確認](#)を選び、[決定] ボタンを押す

- [予約重複確認](#)画面を表示します。

3. 削除 / 取り消したい予約番組を選び、[黄] ボタンを押す


- [戻る] ボタンを押すと、[予約一覧](#)画面に戻ります。

予約の取り消しや停止をする

■ 予約を取り消すには

1. [アプリ] ボタンを押して、アプリ一覧画面を表示する
2. [予約一覧](#)を選び、[決定] ボタンを押す
3. 取り消したい予約番組を選び、[黄] ボタンを押す
4. 確認画面で[はい](#)を選び、[決定] ボタンを押す
 - [予約内容](#)画面から[予約削除](#)を選び、[決定] ボタンを押しても予約を取り消します。

■ 録画を途中で停止するには

1. テレビ視聴中に [] ボタンを押す
2. 停止する番組を選び、[決定] ボタンを押す
3. 確認画面で[はい](#)を選び、[決定] ボタンを押す
 - 番組表で録画中の番組を選んで[番組内容](#)画面から[予約削除](#)を選び、[決定] ボタンを押しても録画を停止します。

■ 実行済みの予約（履歴）を削除するには

1. [アプリ] ボタンを押して、アプリ一覧画面を表示する
2. [予約一覧](#)を選び、[決定] ボタンを押す
3. [赤] ボタンを押す
4. 削除したい履歴を選び、[決定] ボタンを押す
5. [履歴削除](#)を選び、[決定] ボタンを押す

= お知らせ =

- 毎週予約や曜日指定をした番組の予約を削除すると、次回以降の予約もすべて削除します。
([予約内容](#)画面の[予約削除](#)で削除した場合は、[予約削除確認](#)画面は表示しません)

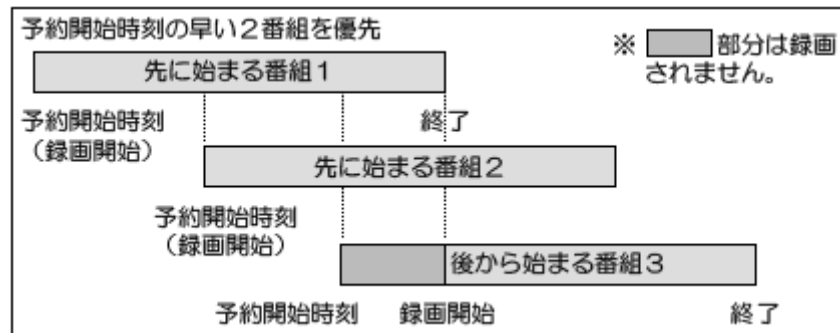
お知らせ

- 録画予約は、128件まで予約できます。
- モニターの画面がついた状態の場合、録画が始まる時間の約30秒前にお知らせを表示します。

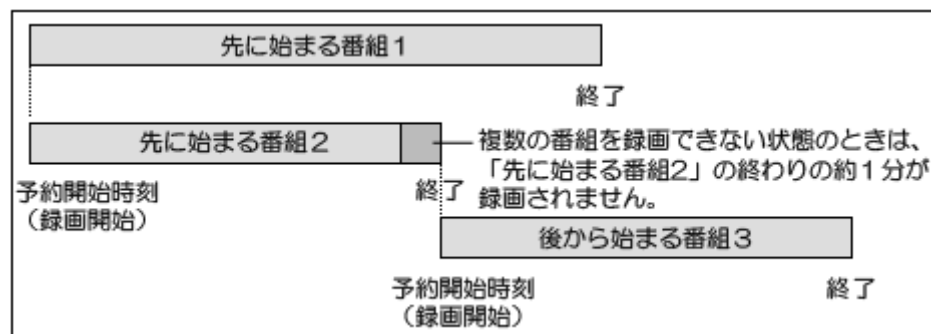
■ 予約の優先順位について

予約した番組の放送開始時刻がほかの予約した番組と重なり同時に録画できない場合は、本機内部で優先順位を付けて、自動的に予約動作を行います。

例：2番組録画中に予約が重複した場合



例：2番組録画中に「先に始まる番組2」の終了時刻と、「後から始まる番組3」の開始時刻が同じ場合



= お知らせ =

- 上記以外の場合は、予約一覧の順に録画します。
- 録画予約と「録画」ボタンによる録画が重複した場合は、録画予約が優先されます。

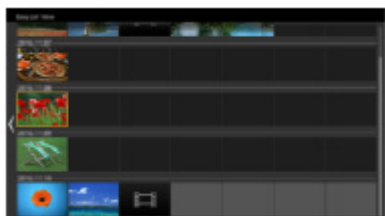
メディアプレーヤー

メディアプレーヤーを使う

メディアプレーヤーについて

メディアプレーヤーで、U S B 機器やネットワーク機器などに保存している、写真やビデオ、録画番組、音楽などのコンテンツを、再生することができます。

(例)



撮影写真・動画を見る：

デジタルカメラやデジタルビデオカメラなどで撮影した写真、動画（ビデオ映像）をモニターのU S B 端子（A V 周辺機器用）に接続して再生します。

フォルダから探す：

一覧表示（フォルダやサムネイル）からファイルを選び、写真や動画（ビデオ映像）、音楽を再生します。

- メディアプレーヤーを使用しているときは、HDMI 2 端子（e ARC / ARC 対応）から音声信号が出力されています。HDMI 2 端子のe ARC / ARC 出力機能を利用するには、e ARC / ARC 対応のアンプを接続してください。



→ いろいろな機能 > ビエラリンク（HDMI）を使う

- 録画や撮影する機器によって記録された日付が表示されます。日付が不明のデータは、「**** / ** / **」や「日付不明」で表示されます。
- ご使用の録画機器によっては、正しく表示されないことがあります。
- ファイルやフォルダが多い場合は、表示されるまでに時間がかかることがあります。
- 一部不具合のあるファイルなどは、低い解像度で表示されることがあります。
- メディアプレーヤーでは、場合によって、映像調整の設定が効かないことがあります。
- ご使用のデジタルカメラやデジタルビデオカメラによって、フォルダ名やファイル名が異なることがあります。

= お知らせ =

- U S B 機器を接続するには



→ テレビを見る > 外部機器をつないで見る、聴く > 外部機器を接続する

- ケーブルを接続する前に、端子の形状が一致していることを確認してください。
- 機器に関する情報は



→ メディアプレーヤー > 接続機器について

- 本機で再生できるファイルフォーマットは



→ メディアプレーヤー > メディアプレーヤーで再生できるコンテンツ

機器やコンテンツを選択する

1. A V 周辺機器用の U S B 機器をモニター背面の U S B 端子（A V 周辺機器用）に接続する
 - 画面にメッセージが表示された場合は、表示内容に従ってください。
2. [ホーム] ボタンを押す
3. [接続機器一覧](#)を選び、[決定] ボタンを押す
4. 再生したいコンテンツを保存している機器を選び、[決定] ボタンを押す
 - 本機と接続しているネットワーク機器も表示されます。
 - ネットワーク機器によっては、[ユーザー名](#) / [パスワード](#)の入力が必要な場合があります。
5. [撮影写真・動画を見る](#) / [フォルダから探す](#)を選び、[決定] ボタンを押す

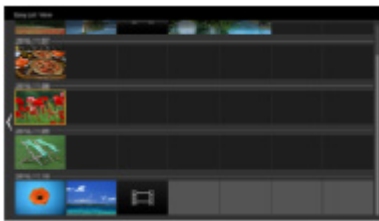
[撮影写真・動画を見る](#)

 → [メディアプレーヤー](#) > [撮影写真・動画を選択する](#)

[フォルダから探す](#)

 → [メディアプレーヤー](#) > [フォルダから探して選択する](#)

6. 一覧画面が表示される
(例)



- 選択したコンテンツの詳細情報を表示するには [データ] ボタンを押す

= お知らせ =

- 再生したいコンテンツや機器を選択してください。
- 再生中はリモコンの外部機器操作ボタンで操作ができます。

 → [テレビを見る](#) > [外部機器をつないで見る、聴く](#) > [本機のリモコンで外部機器を操作する](#)

写真や動画の取り込み・バックアップをする

写真や撮影ビデオのかんたん取り込み

チューナー部の「取込」ボタンを使用すると、チューナー部の電源が「入」「切」に関わらずワンタッチでかんたんに、当社製デジタルカメラやデジタルハイビジョンビデオカメラで撮影した写真や撮影ビデオ（AVCHD）、USB機器などに保存されている写真や動画（MP4）をすべてHDDに取り込むことができます。

- HDDに番組を録画中は取り込みできません。また、取り込み中に予約した番組の録画が始まると、取り込みを中断します。
- 操作については、USB機器の取扱説明書も併せてご覧ください。
- USB機器の接続については、以下をご参照ください。



→ テレビを見る > 外部機器をつないで見る、聴く > 外部機器を接続する

- 画面にメッセージが表示された場合は、表示内容に従ってください。

1. チューナー部前面のUSB端子（取込用）にUSB機器を接続する

- USB機器側で設定が必要な場合は、チューナー部とUSB接続するための設定を行ってください。

2. チューナー部の「取込」ボタンを押す

- 取り込み中はチューナー部のLEDが青色に点滅します。取り込みが完了すると、LEDが消灯します。
 - LEDの明るさを設定することができます。



→ いろいろな機能 > 電源ランプや表示窓、LEDの表示方法を切り換える > チューナー部の表示窓やLEDの設定をする

- 取り込み中は、視聴画面を表示することができません。
- 取り込み処理中にエラーが発生した場合は、チューナー部のLEDが赤色で点滅します。エラー発生時はモニター画面でエラー内容が確認できます。
- すでに取り込んだ写真や動画は、重複して取り込みません。（HDDに記録された写真や動画のディレクトリ名／ファイル名／ファイル更新日／ファイルサイズがすべて一致するファイルは取り込みません）

= お知らせ =

- 取り込みが完了または中断したあとにモニターの電源を「入」にしたときは、画面に結果が表示されます。
- 再生する写真の画質にかかわらず4K画質で写真を再生します。
- 撮影形式やファイル構成によっては、取り込みができない場合があります。
- 撮影ビデオは1回の取り込みで最大99タイトルまで取り込みができます。
- 1つの動画に99シーンを超えて記録されている場合、99シーンごとに分けて取り込みます。
- 当社製デジタルハイビジョンビデオカメラで撮影した場合、日付単位で動画として表示されます（ただし、99シーンを超えるときは分割します）。同じ日に撮影されたシーンが複数ある場合、まとめ番組となります。
- 撮影した機器によっては、取り込み後に撮影日時が表示されない場合があります。
- ホーム画面やアプリ一覧画面で写真を選び、[決定]ボタンを押して、HDDに取り込んだ写真や撮影ビデオ、動画を再生したり、モニターのUSB端子（AV周辺

機器用)に接続したUSB機器などに写真を保存したりすることができます。

- 写真をUSB機器などに保存する場合は、モニターのUSB端子(AV周辺機器用)にUSB機器を接続したあと、操作してください。
- 以降は画面の表示内容に従って操作してください。
- AVCHDなど、ファイル形式によっては再生できません。
- 本機の録画一覧で**撮影ビデオ**の分類表示を選択すると、HDDに取り込んだ撮影ビデオをまとめて表示して再生できます。



→ **メディアプレーヤー > 録画した番組を再生・編集する > 録画した番組を選択して再生する**

- HDDに取り込み可能な動画(ビデオ映像)フォーマットは以下の通りです。
 - AVCHD、MP4、MP4(4K動画)
 - 1080/60pやAVCHD 3Dの表示がある動画も取り込むことができます。
 - 取り込み可能なフォーマットであっても、ファイルの仕様やコーデックによっては、取り込みできない場合があります。

写真や撮影ビデオを取り込む

当社製デジタルカメラやデジタルハイビジョンビデオカメラで撮影した写真や撮影ビデオ（AVCHD）、USB機器などに保存されている写真や動画（MP4）をすべてHDDに取り込むことができます。

- HDDに番組を録画中は取り込みできません。また、取り込み中に予約した番組の録画が始まると、取り込みを中断します。
- 操作については、USB機器の取扱説明書も併せてご覧ください。
- USB機器の接続については、以下をご参照ください。



→ テレビを見る > 外部機器をつないで見る、聴く > 外部機器を接続する

- 画面にメッセージが表示された場合は、表示内容に従ってください。
- HDDをフォーマットしたり、写真や動画ファイルを消去した場合は、自動バックアップ用のUSB HDDから写真や動画を取り込むことができます。

■ 電源オフ後に取り込む場合

1. チューナー部前面のUSB端子（取込用）にUSB機器を接続する
 - USB機器側で設定が必要な場合は、チューナー部とUSB接続するための設定を行ってください。
2. USB HDDを接続した場合は、確認画面で**写真／動画を取り込む**を選び、[決定] ボタンを押す
3. **電源オフ後に取り込む**を選び、[決定] ボタンを押す
4. 表示内容を確認し、[決定] ボタンを押す
5. リモコンで本機の電源を「切」にする
 - 取り込み中はチューナー部のLEDが青色に点滅します。取り込みが完了すると、LEDが消灯します。
 - LEDの明るさを設定することができます。



→ いろいろな機能 > 電源ランプや表示窓、LEDの表示方法を切り換える > チューナー部の表示窓やLEDの設定をする

- 取り込みが完了するまでUSB機器を取り外したり、USB機器の電源を「切」にしないでください。取り込みができません。

■ 今すぐ取り込む場合

1. チューナー部前面のUSB端子（取込用）にUSB機器を接続する
 - USB機器側で設定が必要な場合は、チューナー部とUSB接続するための設定を行ってください。
2. USB HDDを接続した場合は、確認画面で**写真／動画を取り込む**を選び、[決定] ボタンを押す
3. **今すぐ取り込む**を選び、[決定] ボタンを押す
 - 取り込み中はチューナー部のLEDが青色に点滅します。取り込みが完了すると、LEDが消灯します。
 - LEDの明るさを設定することができます。



→ いろいろな機能 > 電源ランプや表示窓、LEDの表示方法を切り換える > チューナー部の表示窓やLEDの設定をする

- 取り込み中は視聴画面は表示されません。
 - 取り込みを中止する場合は、**取り込みを中止する**を選び、[決定] ボタンを 3 秒以上押します。
4. 取り込みの終了画面が表示されたら、**写真／動画を見る**または**視聴画面へ**を選び、[決定] ボタンを押す
- **写真／動画**を見るを選択した場合は、一覧画面を表示します。
 - 以降は画面の表示内容に従って操作してください。

= お知らせ =

- 取り込み中に、リモコンでモニターの電源を「切」にしても取り込み処理は継続されます。
- 取り込みが完了または中断したあとにモニターの電源を「入」にしたときは、画面に結果が表示されます。
- 撮影形式やファイル構成によっては、取り込みができない場合があります。
- ホーム画面やアプリ一覧画面で**写真**を選び、[決定] ボタンを押して、HDDに取り込んだ写真や撮影ビデオ、動画を再生したり、モニターのUSB端子（AV周辺機器用）に接続したUSB機器などに写真を保存したりすることができます。
 - 写真をUSB機器などに保存する場合は、モニターのUSB端子（AV周辺機器用）にUSB機器を接続したあと、操作してください。
 - 以降は画面の表示内容に従って操作してください。
 - AVCHDなど、ファイル形式によっては再生できません。
- 本機の録画一覧で**撮影ビデオ**の分類表示を選択すると、HDDに取り込んだ撮影ビデオをまとめて表示して再生できます。

 → **メディアプレーヤー > 録画した番組を再生・編集する > 録画した番組を選択して再生する**

- HDDに取り込み可能な動画（ビデオ映像）フォーマットは以下の通りです。
 - AVCHD、MP4、MP4（4K動画）
 - 1080/60p やAVCHD 3Dの表示がある動画も取り込むことができます。
 - 取り込み可能なフォーマットであっても、ファイルの仕様やコーデックによっては、取り込みできない場合があります。

スマートフォンから写真を取り込む

スマートフォンに保存されている写真や動画（MP 4）をHDDに取り込むことができます。

- HDDに番組を録画中は取り込みできません。また、取り込み中に予約した番組の録画が始まると、取り込みを中断します。
- ご利用になるには、対応サービスへの会員登録とスマートフォンやタブレット端末などの機器に「どこでもディーガ」をインストール・設定し、本機をインターネットに接続する必要があります。また、スマートフォンやタブレット端末などを、本機が接続されているネットワークに無線LANで接続し、登録（ペアリング）する必要があります。

 → ネットワーク > ネットワークに接続する

 → ネットワーク > ネットワークを利用するための接続設定をする

- 会員登録およびサービス内容、動作環境や機器の登録（ペアリング）、スマートフォンやタブレット端末などの操作については、サポートサイト（ホームページ）をご覧ください。

 → 困ったときは / よくあるご質問 / English Guide > インターネットを通じて、サポートサイト（ホームページ）を見る > 本機のサポート情報を見る

取り込んだ写真や撮影ビデオをバックアップする／削除する

HDDに取り込んだ写真や撮影ビデオ（AVCHD）、動画（MP4）をチューナー部に接続したUSB HDDに自動でバックアップ（書き出し）することができます。

自動バックアップ用として使うために、USB HDDをフォーマットし、本機に登録する必要があります。

- 未登録のUSB HDDに登録するときは、登録するUSB HDDによっては、USB HDDをフォーマットし、すべてのデータが消去される場合があります。
- 操作については、USB機器の取扱説明書も併せてご覧ください。
- USB機器の接続については、以下をご参照ください。



→ テレビを見る > 外部機器をつないで見る、聴く > 外部機器を接続する

- 画面にメッセージが表示された場合は、表示内容に従ってください。

■ USB HDDに登録する

1. チューナー部背面のUSB端子（HDD対応）バックアップ用にUSB HDDを接続する
2. 自動バックアップ用として登録を選び、[決定] ボタンを3秒以上押す
3. 登録の確認画面ではいを選び、[決定] ボタンを押す
4. フォーマットの確認画面ではいを選び、[決定] ボタンを押す
5. 登録の完了画面で[決定] ボタンを押す
 - 自動バックアップ用に設定できるUSB HDDは最大8台ですが、一度に使用できるUSB HDDは1台です。
 - 9台目のUSB HDDに登録するには、すでに登録済みのUSB HDDを取り消す必要があります。
 - USBハブを使って複数のUSB HDDを同時に接続することはできません。
 - HDDに録画中は登録できません。


■ USB HDDにバックアップする

1. [メニュー] ボタンを押して設定を選び、[決定] ボタンを押す
2. 機器設定 > 写真／動画の自動バックアップ機能を選び、[決定] ボタンを押す
3. オンを選び、[決定] ボタンを押す
 - オフに設定すると、電源「切」時に自動バックアップが動作しません。
4. チューナー部背面のUSB端子（HDD対応）バックアップ用に登録済のUSB HDDを接続する
5. リモコンで本機の電源を「切」にする
 - HDDに保存されている写真や撮影ビデオ、動画が、接続されているUSB HDDに自動でバックアップされます。

= お知らせ =

- 複数のUSB HDDを使用したバックアップの場合、取り込んだ写真や撮影ビデオ、動画は差分でのバックアップとなり、いずれか1台のUSB HDDにバックアップされます。
- USB HDDの登録削除やUSB HDDの取り外しについては、以下をご参照く

ださい。

 → [メディアプレーヤー > 写真や動画の取り込み・バックアップをする > U S B 機器一覧を表示する](#)

- 本機を修理した場合は、機器内の情報が失われる可能性があるため、自動バックアップ用に登録したU S B H D Dが認識されなくなることがあります。そのときは、再登録をしてください。
- 自動バックアップ用のU S B H D Dを他の機器（パソコンなど）に接続してファイルの書き込みなどを行うと、自動バックアップ用のU S B H D Dとして認識できなくなる場合があります。
- 自動バックアップ用のU S B H D D内の写真や動画は、本機に接続して直接再生することはできません。
- H D Dをフォーマットしたり、写真や動画ファイルを消去した場合は、自動バックアップ用のU S B H D Dから写真や動画を取り込むことができます。

■ 取り込んだ写真や撮影ビデオを削除する

- H D Dに取り込んだ写真や撮影ビデオをすべて削除するには、[H D D設定の写真／動画ファイルの全消去](#)を行ってください。
 - 操作方法については、以下をご参照ください。

 → [いろいろな機能 > チューナー部に関する設定をする > チューナー部の初期設定をする](#)

- H D Dに取り込んだ写真や動画ファイルを個別に消去するには、どこでもディーガを利用します。取り込んだ撮影ビデオを個別に消去するときは、録画一覧画面から行います。
 - 「どこでもディーガ」をご利用になるには、対応サービスへの会員登録とスマートフォンやタブレット端末などの機器に「どこでもディーガ」をインストール・設定し、本機をインターネットに接続する必要があります。また、スマートフォンやタブレット端末などを、本機が接続されているネットワークに無線LANで接続し、登録（ペアリング）する必要があります。

 → [ネットワーク > ネットワークに接続する](#)

 → [ネットワーク > ネットワークを利用するための接続設定をする](#)

 → [ネットワーク > ネットワークを利用するための接続設定をする > スマホアプリ / ディモラの設定をする](#)

- 会員登録およびサービス内容、動作環境や機器の登録（ペアリング）、スマートフォンやタブレット端末などの操作については、サポートサイト（ホームページ）をご覧ください。

 → [困ったときは / よくあるご質問 / English Guide > インターネットを通じて、サポートサイト（ホームページ）を見る > 本機のサポート情報を見る](#)

U S B機器一覧を表示する

U S B機器一覧画面で、U S B機器の取り外しや機器詳細情報を確認することができます。また、チューナー部に自動バックアップ用に登録済みのU S B HDDなど、本機のU S B端子に接続している機器の一覧を表示します。

1. [メニュー] ボタンを押して[設定](#)を選び、[決定] ボタンを押す
2. [機器設定](#)を選び、[決定] ボタンを押す
3. [U S B機器一覧（モニター）](#)または[U S B機器一覧（チューナー部）](#)を選び、[決定] ボタンを押す

[U S B機器一覧（モニター）](#)：

モニターのU S B端子に接続している機器の一覧を表示します。

[U S B機器一覧（チューナー部）](#)：

チューナー部のU S B端子に接続、登録している機器の一覧を表示します。

4. 設定したい項目を選び、操作する
 - U S B機器を安全に取り外すには
接続しているU S B機器を選び、[青] ボタンを押す
 - 画面にメッセージが表示された場合は、表示内容に従ってください。
 - U S B機器の詳細情報を表示するには
確認したいU S B機器を選び、[赤] ボタンを押す
 - U S B HDDの登録を削除するには
登録を削除したいU S B HDDを選び、[黄] ボタンを押す

= お知らせ =

- U S B機器によっては、一覧に表示されない場合があります。
- 登録を一度解除したU S B HDDを自動バックアップ用として再使用する場合は、もう一度登録が必要です。

■ チューナー部に接続したU S B機器のモード表示について

[登録 \[バックアップ用\]](#)：

U S B HDDの自動バックアップ用に使用。

（自動バックアップ用に設定できるU S B HDDは最大8台です。）

[登録](#)：

自動バックアップ用に登録済みで、未接続のU S B HDD。

[未登録](#)：

自動バックアップ用に未登録のU S B HDD。

- 未登録のU S B機器を選択すると確認画面が表示されます。

[写真／動画を取り込む](#)または[自動バックアップ用として登録](#)を選び、設定してください。

- 操作について詳しくは、以下をご参照ください。



→ [メディアプレーヤー > 写真や動画の取り込み・バックアップをする > 写真や撮影ビデオを取り込む](#)



→ メディアプレーヤー > 写真や動画の取り込み・バックアップをする > 取り込んだ
写真や撮影ビデオをバックアップする／削除する

- 登録済みで、未接続のUSB HDDを登録 [バックアップ用] には、
チューナー部背面のUSB端子（HDD対応）バックアップ用に登録済みのUSB
HDDを接続後、USB機器一覧（チューナー部）画面で該当のUSB HDDを
選び、[決定] ボタンを押してください。

撮影写真・動画を選択する

ファイルを選択する

デジタルカメラやデジタルビデオカメラなどで撮影した写真、動画（ビデオ映像）を再生します。

一覧表示からファイルを選び、[決定] ボタンを押すと再生を開始します。

- 撮影した写真や動画（ビデオ映像）をデジタルカメラ、デジタルビデオカメラ、パソコンなどで編集したり、保存されているフォルダ名やファイル名を変更すると正しく表示されない場合があります。

 : エラー表示

- 一覧表示をカレンダー表示に切り換える

- 1) 一覧表示中に [サブメニュー] ボタンを押す
- 2) [カレンダー](#) を選び、[決定] ボタンを押す


- 本機で再生できるファイルフォーマットは

 → [メディアプレーヤー](#) > [メディアプレーヤーで再生できるコンテンツ](#)

- 再生中の操作については

 → [メディアプレーヤー](#) > [再生・設定する](#) > [写真やビデオ映像、音楽を再生する](#)

■ 再生方法を設定する

1. 一覧表示中に [サブメニュー] ボタンを押す
 2.  を選び、[決定] ボタンを押す
 3. 設定したい項目を選び、[決定] ボタンを押す
[再生項目選択](#) / [リピート](#) / [シャッフル](#)
 4. 項目ごとに設定する
-

[再生項目選択](#)

再生する写真や動画を選択して再生します。

[リピート](#)

([フォルダリピート](#) / [ファイルリピート](#) / [オフ](#))

繰り返し再生します。

[フォルダリピート](#) :

フォルダ内の写真や動画を繰り返し再生します。

[ファイルリピート](#) :

選んだ写真または動画を 1 つだけ繰り返し再生します。

[シャッフル](#)

([オン](#) / [オフ](#))

写真や動画を順不同に再生します。

ファイルの種類で分類表示する

写真や動画（ビデオ映像）別に分類表示することができます。

1. 一覧表示中に [サブメニュー] ボタンを押す
2. **フィルタ**を選び、[決定] ボタンを押す
3. **ビデオ**または**写真**を選び、[決定] ボタンを押す
4. **決定**を選び、[決定] ボタンを押す

- 音楽ファイルを表示するには



→ メディアプレーヤー > フォルダから探して選択する > ファイルを選択する

フォルダから探して選択する

ファイルを選択する

選択した機器に保存されているすべてのファイルがフォルダ別に一覧表示されます。
一覧表示からフォルダまたはファイルを選び、[決定] ボタンを押すと再生を開始します。

 : エラー表示


- 本機で再生できるファイルフォーマットは

 → [メディアプレーヤー](#) > [メディアプレーヤーで再生できるコンテンツ](#)

- 再生中の操作については

 → [メディアプレーヤー](#) > [再生・設定する](#) > [写真やビデオ映像、音楽を再生する](#)

■ 再生方法を設定する

1. 一覧表示中に [サブメニュー] ボタンを押す
 2.  を選び、[決定] ボタンを押す
 3. 設定したい項目を選び、[決定] ボタンを押す
[再生項目選択](#) / [リピート](#) / [シャッフル](#)
 4. 項目ごとに設定する
-

[再生項目選択](#)

再生するファイルを選択して再生します。

[リピート](#)

([フォルダリピート](#) / [ファイルリピート](#) / [オフ](#))

繰り返し再生します。

[フォルダリピート](#) :

フォルダ内のファイルを繰り返し再生します。

[ファイルリピート](#) :

選んだファイルを 1 つだけ繰り返し再生します。

[シャッフル](#)

([オン](#) / [オフ](#))

保存されているファイルを順不同に再生します。

ファイルの種類で分類表示する

写真や動画（ビデオ映像）、音楽別に分類表示することができます。

1. 一覧表示中に [サブメニュー] ボタンを押す
2. **フィルタ**を選び、[決定] ボタンを押す
3. **写真**または**ビデオ**、**ミュージック**を選び、[決定] ボタンを押す
4. **決定**を選び、[決定] ボタンを押す

ファイル名や日付で並べ替える

ファイル名や日付順に並べ替えることができます。

1. 一覧表示中に [サブメニュー] ボタンを押す
2. [並べ替え](#) を選び、[決定] ボタンを押す
3. [アルファベット昇順](#) または [アルファベット降順](#)、[日付昇順](#)、[日付降順](#) を選び、[決定] ボタンを押す

再生・設定する

写真やビデオ映像、音楽を再生する

■ 写真を再生する

- ◀ : 前の写真へ
- ▶ : 次の写真へ
- ▽ : 停止（一覧表示に戻る）

[決定] : 再生モードを切り換える（シングル表示 / スライドショー）

- 90° 回転するには [黄] ボタンを押す
- 操作ガイドを表示 / 非表示するには [画面表示] ボタンを押す
- 一覧表示に戻るには [戻る] または [▽] ボタンを押す

= お知らせ =

- 表示される写真の大きさは、写真の解像度により異なります。（常に画面いっぱいに表示されるわけではありません）
- 再生中にリピートやシャッフルを設定するには

 → [メディアプレーヤー > 撮影写真・動画を選択する > ファイルを選択する](#)

■ ビデオ映像や音楽を再生する

- ◀ : 早戻し（押すたびに5段階に速度が速くなります）
- ▶ : 早送り（押すたびに5段階に速度が速くなります）
- ▽ : 停止

[決定] : 一時停止（タイムシークバーを表示します） / 再生

- 見たい / 聴きたい場面に移動する
 - 1) [決定] ボタンを押してタイムシークバーを表示する
 - 2) タイムシークバーが表示している間に
 - ◀ / ▶ ボタンを押す :
サーチ（カウンターを約10秒進める / 戻す）
 - ◀ / ▶ ボタンを押し続ける :
サーチ
 - 3) [決定] ボタンを押して見たい場面に移動する
 - 前のタイトル / シーン / 音楽にスキップするには [青] ボタンを押す
 - 次のタイトル / シーン / 音楽にスキップするには [赤] ボタンを押す
 - 操作ガイドや情報バーを表示 / 非表示するには [画面表示] ボタンを押す
 - 一覧表示に戻るには [戻る] または [▽] ボタンを押す
- 画面モードを切り換えるには
- 1) 再生中に [メニュー] ボタンを押して [設定](#) を選び、[決定] ボタンを押す
 - 2) [映像調整 > 画面の設定 > 画面モード](#) を選び、[決定] ボタンを押す

3) 画面モードを設定する

モード 1 :

元の映像の横縦比と大きさのまま表示します。

モード 2 :

元の映像の横縦比を保ちながら、画面に収まる範囲で拡大します。

- コンテンツによっては、画面モードを切り換えることができないものもあります。

= お知らせ =


- 再生中にリピートやシャッフルを設定するには



→ メディアプレーヤー > フォルダから探して選択する > ファイルを選択する

スライドショーの設定をする

スライドショーの表示方法やBGMなどを設定します。

1. 写真を表示中に [サブメニュー] ボタンを押す
 - 一覧を表示中は [サブメニュー] ボタンを押して  を選び、[決定] ボタンを押します。
 2. [スライドショー設定](#) を選び、[決定] ボタンを押す
 3. 設定したい項目を選び、[決定] ボタンを押す
[表示モード](#) / [表示間隔](#) / [BGM](#)
 4. 項目ごとに設定する
-

表示モード

([ノーマル](#) / [ズーム](#))

写真を拡大して表示できます。

- ポートレートスタイルなど、写真のサイズによっては画面いっぱいに拡大できないものもあります。
-

表示間隔

([長い](#) / [普通](#) / [短い](#))

スライドショーで写真を切り換える間隔が設定できます。

- 写真サイズによっては、表示間隔に差が出ることがあります。また、写真サイズが大きいときは、表示間隔が長くなります。
-

BGM

([オフ](#) / [BGM1](#) / [BGM2](#) / [BGM3](#) / [BGM4](#) / [BGM5](#) / [ユーザー](#) / [オート](#))

写真の表示中に再生するBGM（バックグラウンド・ミュージック）をお好みに合わせて選べます。

[BGM1 - 5](#) :

本機に内蔵されているデータを再生します。

[オート](#) :

写真が保存されている機器から音楽を自動的に再生します。

- 再生可能な音楽コンテンツがない場合は、BGMを再生しません。

[ユーザー](#) :

写真が保存されている機器から選んで音楽を再生します。

- 音楽が選ばれていなかったり選んだ音楽が機器から消去されると、BGMを再生しません。

● 音楽を選ぶには

- 1) 音楽ファイルを選び、[決定] ボタンを押す
 - 機器のデータ保存状態によっては、目的の音楽ファイルを選択するのにフォルダを開く必要があります。

2) ファイル / フォルダを選び、設定する

ファイル：

選択した1曲のみ再生します。

フォルダ：

フォルダ内のすべての音楽を再生します。

= お知らせ =

- スライドショー設定の設定によっては、画質が悪くなる場合があります。
- スライドショー設定の設定によっては、映像調整の設定が反映されないことがあります。

ビデオ映像の音声や字幕などを設定する

ビデオ映像の音声や字幕、リピートの設定をします。

1. ビデオ映像を再生中に「サブメニュー」ボタンを押す
2. [ビデオ設定](#)を選び、「決定」ボタンを押す
3. 設定したい項目を選び、「決定」ボタンを押す

[音声切換](#) / [二重音声](#) / [字幕設定](#)

- 設定項目や選択肢は、コンテンツによって異なります。

4. 項目ごとに設定する
-

音声切換

ビデオ映像に含まれる音声信号を選ぶことができます。音声信号には、コーデックとオーディオチャンネルを表示します。

二重音声

ファイルによって主音声、副音声を設定できます。

字幕設定

([字幕](#) / [字幕言語](#) / [字幕文字サイズ](#) / [字幕文字色](#) / [字幕表示位置](#) / [字幕遅延時間](#))

字幕に関する設定を行います。設定したい項目を選び、設定してください。

- ビデオ映像を再生中に設定できます。

[字幕](#)：

ビデオ映像に含まれる字幕を選ぶことができます。

- 設定できないファイルのときは[字幕なし](#)と表示されます。

[字幕言語](#)：

ビデオ映像に含まれる字幕言語を選ぶことができます。

[字幕文字サイズ](#)：

字幕の文字サイズを選ぶことができます。

[字幕文字色](#)：

字幕の文字カラーを選ぶことができます。

[字幕表示位置](#)：

字幕の表示位置を選ぶことができます。

[字幕遅延時間](#)：

字幕が映像よりも遅れたり進む場合に調整します。

音声出力を設定する

HDMI 2 端子（e ARC / ARC 対応）に接続したアンプを経由して、マルチチャンネルの音声をお楽しみいただけます。

- ビデオ映像に含まれる音声信号を確認、変更するには

 → **メディアプレーヤー** > **再生・設定する** > **ビデオ映像の音声や字幕などを設定する**

1. [メニュー] ボタンを押して**設定**を選び、[決定] ボタンを押す
2. **音声調整** > **デジタル音声出力**を選び、[決定] ボタンを押す
3. **オート** / **PCM** / **ビットストリーム** / **Dolby Audio** を選び、設定する

デジタル音声出力

(**オート** / **PCM** / **ビットストリーム** / **Dolby Audio**)

HDMI 2 端子（e ARC / ARC）からの音声出力を設定します。

オート：

3ch以上の音声フォーマットのときは自動的に「AAC」を出力します。ただし、メディアプレーヤーでのビデオ再生の音声形式がドルビーオーディオフォーマットのサラウンド・ステレオで記録した場合に、自動的に「ドルビーオーディオ」を出力します。

PCM：

オーディオ機器がAACフォーマットやドルビーオーディオフォーマットに対応していないとき、常に「PCM」を出力します。

ビットストリーム：

放送がAACフォーマット時は常に「AAC」を出力します。ドルビーオーディオフォーマット時は常に「ドルビーオーディオ」を出力します。AACフォーマット・ドルビーオーディオフォーマット以外のときは「PCM」を出力します。

Dolby Audio：

AACフォーマットやドルビーオーディオフォーマット時は常に「ドルビーオーディオ」を出力します。AACフォーマット・ドルビーオーディオフォーマット以外のときは「PCM」を出力します。

- e ARC / ARC とは、HDMI ケーブルでデジタル音声信号を送る機能です。
- **ビットストリーム**に設定すると字幕放送やデータ放送の効果音が、HDMI 2 端子から出力されません。**PCM**に設定してご使用ください。
- AAC 対応のオーディオ機器を接続する場合、PCM と AAC の入力に対し自動切り換え機能のあるものをおすすめします。
- HDMI 2 端子からは、スピーカーと同じ音声を出力します。
- HDMI 入力時のDVDオーディオで暗号化されている場合は出力されません。

録画した番組を再生・編集する

録画した番組を選択して再生する

HDDに録画した番組を再生します。また、録画一覧画面に表示される分類表示で、家じゅうを選択すると、お部屋ジャンプリンクで接続されたディーガの録画番組をまとめて表示して再生できます。

- 家じゅうの分類表示からディーガの録画番組を再生するときは、ホームネットワークへの接続と設定ができていることをご確認ください。

 → ネットワーク > お部屋ジャンプリンク > お部屋ジャンプリンクについて

 → ネットワーク > ネットワークに接続する > お部屋ジャンプリンク接続をする

 → ネットワーク > ネットワークを利用するための接続設定をする

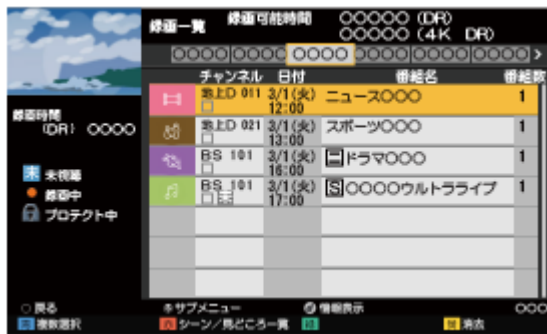
- 家じゅうの分類表示に対応するディーガについては、サポートサイト（ホームページ）をご覧ください。

 → 困ったときは / よくあるご質問 / English Guide > インターネットを通じて、サポートサイト（ホームページ）を見る > 本機のサポート情報を見る

1. [録画一覧] ボタンを押す

- 録画番組の一覧を表示します。

（例）



- 画面上部に、録画可能時間と選択している録画モードが表示されます。
- 録画番組は、家じゅうやすべて、未視聴、ジャンルなどの分類で一覧表示できます。

家じゅう：

お部屋ジャンプリンクで接続されたディーガの録画番組を表示します。

- ディーガの録画番組は最大3台まで表示できます。

すべて：

すべての録画番組を表示します。

未視聴：

未視聴の録画番組を表示します。


撮影ビデオ：


HDDに取り込んだ撮影ビデオをまとめて表示します。

- アイコンを表示します。

：未視聴の録画番組（一度再生すると、このアイコンは消えます。）

 : 削除できないようにプロテクトされた録画番組



 : 録画中の録画番組（録画中でも、この録画番組を再生することができません。）

 : 2つ以上のまとめ番組

2. 録画番組を選び、[決定] ボタンを押して再生する。

- 番組を選ぶには [△ / ▽] ボタンを押します。
- 分類を選ぶには [◀ / ▶] ボタンを押します。
- 前回、再生を途中で停止したシーンを再生するとき、停止した場面から再生するか、先頭から再生するかを選択画面が表示された場合は、設定を選び、[決定] ボタンを押すと再生が始まります。
- 録画番組中に異なる視聴制限の番組が含まれているとき、最も高い年齢制限が適用されます。一度、視聴制限を解除した場合、録画番組中のすべての番組を見ることができます。
- テレビ放送の画面に戻りたいときは [元の画面] ボタンを押します。
- 番組の情報を表示するには [データ] ボタンを押す
- 分類表示の**家じゅう**を選択中に、一覧を更新するには [青] ボタンを押す

= お知らせ =

- 録画中の番組を選んで [] ボタンを押して**はい**を選ぶと、録画を停止できます。
- 録画中の番組を選んで [] ボタンを押すと、追っかけ再生を開始します。
- 4 K D Rモードや4 K画質モードの番組は1.3倍速で再生できません。
また、録画中の番組は1.3倍速で再生できません。
- 有料放送を無料期間中に録画した番組などの場合、再生したときに画面上にメッセージを表示することがあります。
- 分類表示の**家じゅう**を選択中は、アイコンや番組情報を表示できません。

■ シーン／見どころ一覧

録画した番組の中から、見たいシーンや見どころを表示します。

● 録画一覧画面で [赤] ボタンを押す

- **シーン／見どころ一覧**から再生するには、以下のホームページで会員登録を行ってください。

<http://dimora.jp/>

- 会員登録したりシーン／見どころ一覧を見るには、本機をインターネットに接続する必要があります。
- シーン／見どころ一覧の対応サービスについて

- サービスは対応サービス提供者が提供します。サービス内容やお申し込みについては、ディモラのホームページなどでご確認ください。

<http://dimora.jp/>

- 一部のサービスは有料です。また、現在無料のサービスでも、将来有料になることがあります。

- 定期的なメンテナンスや、不測のトラブルで一時的にサービスを停止したり、予告ありなしにかかわらず、サービス内容の変更・中止や操作メニュー画面の変更をする場合があります。あらかじめご了承ください。
- 本機では、サービスに一定期間お試しで登録して利用することができます。
 お試しの期間が終了後、引き続きすべての機能を利用したい場合は、パソコンなどからディモラに会員登録する必要があります。すでに CLUB Panasonic に会員登録している場合は、本機からディモラの会員登録することができます。
 本機でのお試しの登録や会員登録については、画面の表示内容に従って行ってください。
- お試しの登録は機器登録解除で解除することができます。



→ ネットワーク > ネットワークを利用するための接続設定をする > スマホアプリ / ディモラの設定をする

= お知らせ =

- シーン／見どころ一覧でのシーン情報は、地上デジタル放送の一部の番組のみ対応しています。
 対応番組についてはディモラのホームページをご覧ください。
<http://dimora.jp/>
- シーン情報のない番組ではシーン／見どころ一覧は表示できません。
- シーン／見どころ一覧では、番組内容とは異なるシーン情報が表示される場合があります。
- シーン／見どころ一覧は録画してからすぐに表示されません。表示される時間についてはディモラのホームページをご覧ください。



→ ネットワーク > ネットワークに接続する



→ ネットワーク > ネットワークを利用するための接続設定をする

- 分類表示の家じゅうを選択中は、シーン／見どころ一覧を表示できません。


録画番組を再生・操作する


■ 再生

- 再生中の操作について

 : 30秒スキップ

- 1回押すたびに、約30秒飛び越して再生します。
- 3秒以上押すと、約15秒戻って再生します。

 : 早戻し（押すたびに5段階に速度が速くなります）

 : 早送り（押すたびに5段階に速度が速くなります）

 : 停止

[決定] : 一時停止（タイムシークバーを表示します） / 再生

- 見たい場面に移動する

1) [決定] ボタンを押してタイムシークバーを表示する

2) タイムシークバーが表示している間に

 /  ボタンを押す :

サーチ（カウンターを約10秒進める / 戻す）

 /  ボタンを押し続ける :

サーチ

3) [決定] ボタンを押して見たい場面に移動する

- 操作ガイドと情報バーを表示 / 非表示するには [画面表示] ボタンを押す



- 前 / 後チャプターにスキップするには [青] / [赤] ボタンを押す

- オートチャプターをオンに設定すると、デジタル放送の録画時に自動的にチャプターマークを作成します。

 → 録画する > 録画予約をする > オートチャプターを設定する

- 画面モードを切り換えるには

 → テレビを見る > 映像（画質）を設定・調整する > 画面モードを設定する

- 字幕を表示するには [メニュー] ボタンを押したあと字幕を選び、 または  ボタンを押す（可能な場合）

- 視聴中に関連する機能の設定を確認したり変更したりするには（可能な場合）

 → メディアプレーヤー > 録画した番組を再生・編集する > 録画番組の音声や字幕などを設定する

- 一覧に戻るには [戻る] ボタンを押す

= お知らせ =

- リモコンの外部機器操作ボタンで操作するには、以下も併せてご覧ください。

 → テレビを見る > 外部機器をつないで見る、聴く > 本機のリモコンで外部機器を操作する

まとめ番組について

1. 録画一覧画面で〔青〕ボタンを押して、編集したい録画番組にチェックを入れる
 - 複数の番組を選択する場合、番組を選んで〔青〕ボタンを繰り返し押してください。
選んだ番組にはチェックが入ります。もう一度〔青〕ボタンを押すと選択を取り消します。
 2. [サブメニュー] ボタンを押す
 3. [まとめ番組の作成](#) / [まとめ番組の解除](#) / [まとめ番組から除外](#)を選び、設定する
-

まとめ番組の作成

複数の番組を1つにまとめます。まとめたいすべての録画番組にチェックを入れ、[まとめ番組の作成](#)を選択します。

- まとめ番組の番組名は、まとめ番組内の最初の番組名が付きます。
-

まとめ番組の解除

解除したいまとめ番組にチェックを入れ、[まとめ番組の解除](#)を選択します。（複数のまとめ番組を一度に解除したいときは、解除したいまとめ番組すべてにチェックを入れてください。）

まとめ番組から除外

まとめ番組を選び、〔決定〕ボタンを押してまとめ番組の構成を表示させます。まとめ番組から除外したい番組にチェックを入れ、[まとめ番組からの除外](#)を選択します。（複数の番組を一度に除外したいときは、除外したい番組すべてにチェックを入れてください。）

= お知らせ =

- まとめ番組は、まとめ番組内で最初に録画や記録された番組の日付で表示します。
- 分類表示の[家じゅう](#)を選択中は、まとめ番組の編集はできません。

録画番組をプロテクトする

HDDに録画されている番組が消去できないようにプロテクトを設定します。

1. [録画一覧](#)画面で〔青〕ボタンを押して、プロテクトする録画番組にチェックを入れる

- 複数の番組を選択する場合、番組を選んで〔青〕ボタンを繰り返し押してください。

選んだ番組にはチェックが入ります。もう一度〔青〕ボタンを押すと選択を取り消します。

2. [サブメニュー] ボタンを押す

3. [プロテクト設定変更](#)を選び、[決定] ボタンを押す

- プロテクトを解除するときは、同様の操作を行ってください。
- HDDをフォーマットするとプロテクト設定された番組もすべて消去されます。

= お知らせ =

- 分類表示の[家じゅう](#)を選択中は、プロテクトを設定できません。

録画番組を削除する

1. 録画一覧画面で〔青〕ボタンを押して、削除したい録画番組にチェックを入れる
 - 複数の番組を選択する場合、番組を選んで〔青〕ボタンを繰り返し押してください。
選んだ番組にはチェックが入ります。もう一度〔青〕ボタンを押すと選択を取り消します。
2. 〔黄〕ボタンを押す
3. 確認画面で**はい**を選び、〔決定〕ボタンを押す

= お知らせ =

- 削除すると元に戻すことはできません。よく確認してから実行してください。
- 分類表示の**家じゅう**を選択中は、録画番組を削除できません。

録画番組の音声や字幕などを設定する

録画番組再生中に、字幕言語や音声などを設定します。

1. 録画番組を再生中に「サブメニュー」ボタンを押す
2. 設定したい項目を選び、「決定」ボタンを押す

[字幕言語](#) / [音声切換](#) / [二重音声](#)

- 選択肢は、コンテンツによって異なります。

3. 項目ごとに設定する
-

字幕言語

字幕をオンにしたときに表示する字幕の言語を選択します。

音声切換

複数の音声信号が記録された録画番組を再生しているとき、出力する音声信号を切り換えます。

二重音声

二重音声信号（「主＋副」音声など）が記録されている録画番組を再生しているとき、出力する音声を選択します。

= お知らせ =

- 分類表示の[家じゅう](#)を選択中は、音声や字幕などを設定できません。

録画番組の番組名を編集する

番組名を編集するには以下の手順で操作します。

1. [録画一覧](#)画面で番組名を変更したい番組を選び、[サブメニュー] ボタンを押す
2. [番組名編集](#)を選び、[決定] ボタンを押す
3. 画面に表示されている内容に従い、入力する
 - 番組名を入力しているときに「戻る」ボタンを押すと、番組名を変更しないで[録画一覧](#)画面に戻ります。
 - [録画一覧](#)画面にチェックマークが1つでも表示されているとき、番組名を変更できません。
 - 以下の番組については、番組名を変更できません。
 - プロテクト設定された番組
 - 録画中の番組
 - まとめ番組（まとめ番組に含まれる番組の番組名は変更できます）
 - 文字を入力するには、以下をご参照ください。

 → [いろいろな機能](#) > [文字入力について](#) > [文字を入力する](#)

= お知らせ =

- 分類表示の[家じゅう](#)を選択中は、番組名を編集できません。

音声出力を設定する

HDMI 2 端子（e ARC / ARC 対応）に接続したアンプを経由して、マルチチャンネルの音声をお楽しみいただけます。

- 録画番組に含まれる音声信号を確認、変更するには



→ メディアプレーヤー > 録画した番組を再生・編集する > 録画番組の音声や字幕などを設定する

1. [メニュー] ボタンを押して設定を選び、[決定] ボタンを押す
2. 音声調整 > デジタル音声出力を選び、[決定] ボタンを押す
3. オート / PCM / ビットストリーム / Dolby Audio を選び、設定する

デジタル音声出力

(オート / PCM / ビットストリーム / Dolby Audio)

HDMI 2 端子（e ARC / ARC）からの音声出力を設定します。

オート：

2ch以下の音声フォーマットのときは常に「PCM」を出力します。3ch以上のときは自動的にハイビジョン放送の場合は「AAC」を出力し、4K放送の場合は「ドルビーオーディオ」を出力します。ただし、メディアプレーヤーでのビデオ再生の音声形式がドルビーオーディオフォーマットのサラウンド・ステレオで記録した場合に、自動的に「ドルビーオーディオ」を出力します。

PCM：

オーディオ機器がAACフォーマットやドルビーオーディオフォーマットに対応していないとき、常に「PCM」を出力します。

ビットストリーム：

放送がAACフォーマット時は常に「AAC」を出力します。ドルビーオーディオフォーマット時は常に「ドルビーオーディオ」を出力します。AACフォーマット・ドルビーオーディオフォーマット以外の場合は「PCM」を出力します。

Dolby Audio：

AACフォーマットやドルビーオーディオフォーマット時は常に「ドルビーオーディオ」を出力します。AACフォーマット・ドルビーオーディオフォーマット以外の場合は「PCM」を出力します。

- e ARC / ARCとは、HDMIケーブルでデジタル音声信号を送る機能です。
- ビットストリームに設定すると字幕放送やデータ放送の効果音が、HDMI 2 端子から出力されません。PCMに設定してご使用ください。
- AAC対応のオーディオ機器を接続する場合、PCMとAACの入力に対し自動切り換え機能のあるものをおすすめします。
- HDMI 2 端子からは、スピーカーと同じ音声を出力します。
- HDMI入力時のDVDオーディオで暗号化されている場合は出力されません。

接続機器について

機器の取り扱いについて

- パソコンで編集したデータは、再生できないことがあります。
- 本機がデータにアクセスしているときに、機器を取り外さないでください。本機や機器が故障することがあります。
- 機器の金属ピン部に触らないでください。
- 機器に強い振動や衝撃を与えないでください。
- 機器を正しい向きに挿入してください。本機や機器が故障することがあります。
- 電氣的干渉や静電気、誤操作により、本機や機器が故障することがあります。
- 記録データは、劣化や破損、操作異常などから守るため、定期的にバックアップを行ってください。記録データのいかなる劣化や破損に対しても、当社は一切の責任を負いません。
- USB HDDに自動バックアップした写真や動画は、他の機器（パソコンなど）でも表示が可能なため、取り扱いにはご注意ください。

メディアプレーヤーで再生できるコンテンツ

写真（画像）のフォーマット

■ 本機で表示できる写真（画像）のフォーマット

- H L G フォト CTA-2072 準拠（.hsp）
 - H L G（ハイブリッドログガンマ）で記録された静止画に対応しています。
- J P E G 形式（.jpg、.jpeg）
 - サブサンプリング：
4 : 4 : 4、4 : 2 : 2、4 : 2 : 0
 - 表示画素数：
最小 8 × 8 画素 ～ 最大 30719 × 17279 画素
- D C F および E x i f 規格に準拠（デジタルカメラなどで記録したもの）したファイルが再生できます。
- J P E G 以外の形式（BMP 形式、G I F 形式、T I F F 形式など）、プログレッシブ J P E G 形式や J P E G 2 0 0 0 形式の写真は再生できません。

動画（ビデオ映像）のフォーマット

■ 本機で再生できる動画（ビデオ映像）のフォーマット

● MP 4 形式（.f4v、.m4v、.mp4）

ビデオコーデック：

H.264、H.265(HEVC)、MPEG1、MPEG2

オーディオコーデック：

AAC、Dolby Audio (Dolby Digital、Dolby Digital Plus、Dolby AC-4)、
HE-AAC、MPEG Audio、MP3

- 当社製デジタルビデオカメラで撮影した動画が再生できます。
-

● MK V形式（.mkv）

ビデオコーデック：

H.264、H.265(HEVC)、MPEG1、MPEG2

オーディオコーデック：

AAC、Dolby Audio (Dolby Digital、Dolby Digital Plus)、HE-AAC、
MPEG Audio、MP3、Vorbis

● F L V形式（.flv）

ビデオコーデック：

H.264

オーディオコーデック：

AAC、MP3

● 3 G P P形式（.3gp、.3g2）

ビデオコーデック：

H.264

オーディオコーデック：

AAC、HE-AAC

● P S形式（.mod、.mpg、.mpeg、.vob、.vro）

ビデオコーデック：

H.264、MPEG1、MPEG2

オーディオコーデック：

AAC、Dolby Audio (Dolby Digital、Dolby Digital Plus)、HE-AAC、
LPCM、MPEG Audio、MP3

● T S形式（.mts、.m2ts、.tp、.trp、.ts、.tts）

ビデオコーデック：

H.264、H.265(HEVC)、MPEG1、MPEG2

オーディオコーデック：

AAC、Dolby Audio (Dolby Digital、Dolby Digital Plus、Dolby AC-4)、
HE-AAC、MPEG Audio、MP3

● WebM形式 (.webm)

ビデオコーデック：

VP9

オーディオコーデック：

Vorbis

■ 本機で表示できる字幕のフォーマット

● MicroDVD、SubRip、TMPlayer (.srt、.sub、.txt)

- 動画ファイルと同じフォルダ内に保存した同名の字幕ファイルを表示できます。
- 2つ以上の字幕ファイルが同じフォルダ内にあるとき、「.srt」、「.sub」、「.txt」の優先順位で表示されます。

音楽のフォーマット

■ 本機で再生できる音楽のフォーマット

● MP3形式 (.mp3)

● M4A形式 (AAC、Apple Lossless) (.m4a)

- 著作権保護技術により保護されたファイルは再生できません。
-

● FLAC形式 (.flac)

● WAV形式 (LPCM) (.wav)

お知らせ

- これらの条件を満たしているファイルであっても、再生を保証するものではありません。
- 解像度やフレームレートなどによっては、正しく再生できない場合があります。
- ファイルによっては、字幕やチャプターの機能は使えないことがあります。
- ファイル名にマルチバイト文字や特殊文字を使用しないでください。
- ファイル名やフォルダ名を変更した場合、本機で使えなくなることがあります。
- メディアプレーヤーとお部屋ジャンプリンクでは、再生できるファイルフォーマットが異なります。
- すべてのサーバー機器とのファイル再生を保証するものではありません。
- 再生可能なファイル形式であっても、ご使用の編集ソフト、ファイルの仕様やコーデックによっては、再生できない場合があります。

ネットワーク

インターネットを利用する

インターネットに接続して利用できるアプリやサービスについて

本機ではアプリ一覧で以下のアプリやサービスを利用することができます。

※利用できるアプリやサービス内容は予告なく変更する場合があります。

- Webブラウザ

ウェブサイトの閲覧ができます。

- ウェブサイトの一部の機能は、ご利用できない場合があります。

また、ウェブサイトによっては、正しく表示できない場合があります。

- Netflix / Prime Video / Disney+ (ディズニープラス) / YouTube / Hulu / U-NEXT / ABEMA / Paravi

本機は豊富な数のVOD（インターネット映像配信サービス）サービスのアプリに対応しています。インターネットを通じて配信される映画やドラマ、アニメ、音楽、書籍などのコンテンツをお客様ご自身にあったVODサービスを選んで、いつでも好きな時間に視聴できます。

また、配信されている4K番組は、高精細な4K映像のまま楽しむことができます。

- ご利用になるには、登録やお申し込みが必要な場合があります。

サービス内容やお申し込みについて詳しくは、各VODサービスのホームページなどをご確認ください。

(例)



- ご利用になるにはブロードバンド環境に対応したネットワークへの接続と設定が必要です。ネットワーク接続とネットワーク設定ができていることを確認してください。

 → ネットワーク > ネットワークに接続する

 → ネットワーク > ネットワークを利用するための接続設定をする

- 動画コンテンツをご利用になるには、光ファイバー（F T T H）などの高速回線との接続をおすすめします。（ご利用環境や接続回線の混雑状況などにより、映像が乱れたり、映らないなどの場合があります）

= お知らせ =

- Netflix は、Netflix 合同会社が提供するサービスです。
- Prime Video は、Amazon.com Sales, Inc. が提供するサービスです。
- Disney+ (ディズニープラス) は、ウォルト・ディズニー・ジャパン株式会社が提

供するサービスです。

- YouTube は、Google LLC が提供するサービスです。
- Hulu は、HJ ホールディングス株式会社が提供するサービスです。
- U-NEXT は、株式会社 U-NEXT が提供するサービスです。
- ABEMA は、株式会社 AbemaTV が提供するサービスです。
- Paravi は、株式会社プレミアム・プラットフォーム・ジャパンが提供するサービスです。
- 提供事業者の都合により、予告なく変更・停止・終了する場合があります。
- インターネットのサービスによっては、利用者登録が必要なサービスがあります。
- 当社は、インターネットのサービスによって提供されるコンテンツに一切の責任を負いません。
- システム障害などによりサービスを利用できない場合があります。

インターネットコンテンツを選択する

1. [アプリ] ボタンを押して、アプリ一覧画面を表示する

- アプリ一覧画面については

 → [ホームを使う > アプリ一覧画面を操作する](#)

- ご使用の環境によっては、すべてのデータを読み込むのにしばらく時間がかかることがあります。

2. アプリを選び、[決定] ボタンを押す

(例)



- アプリ一覧画面を終了するには [元の画面] ボタンを押す

インターネット上の有害情報へのアクセス制限機能について

本機には、お子様などに見せたくないブログやソーシャル・ネットワーキング・サービス（SNS）などのアプリの利用を制限するための機能が組み込まれています。「ネット上のいじめ」などのトラブルを未然に防ぐため、お子様などが本機を使ってインターネットをご使用の際は、制限機能の利用を強くおすすめします。

- アプリの使用を制限したいとき



→ ホームを使う > アプリ一覧画面を操作する > アプリ一覧画面に関する操作をする

お知らせ

- インターネットコンテンツにアクセスできない場合は、ネットワークの接続と設定をご確認ください。

 → ネットワーク > ネットワークに接続する

 → ネットワーク > ネットワークを利用するための接続設定をする




- 利用できるアプリやサービス内容は予告なく変更する場合があります。
- ソフトウェアの更新通知がモニター画面に表示されたときは、ソフトウェアの更新を実施してください。更新をしない場合、アプリ一覧画面が使用できなくなることがあります。更新は、あとから手動で実施することもできます。

 → ネットワーク > ネットワークを利用するための接続設定をする > ソフトウェアの確認と更新をする

- インターネットのサービスによっては、利用者登録が必要なサービスがあります。
- コンテンツによっては、お子様などにふさわしくない情報が含まれている場合があります。
- 当社は、インターネットのサービスによって提供されるコンテンツに一切の責任を負いません。
- システム障害などによりサービスを利用できない場合があります。
- ご利用環境や接続回線の混雑状況などにより、表示に時間がかかったり、接続できない場合があります。

お部屋ジャンプリンク

お部屋ジャンプリンクについて

- この機能を利用するには、本機をホームネットワークに接続する必要があります。
 → ネットワーク > ネットワークに接続する
 → ネットワーク > ネットワークを利用するための接続設定をする
- 対応機器（ディーガ、ビエラ）や再生できるコンテンツなどお部屋ジャンプリンクについては、サポートサイト（ホームページ）をご覧ください。
 → 困ったときは / よくあるご質問 / English Guide > インターネットを通じて、サポートサイト（ホームページ）を見る > 本機のサポート情報を見る

= お知らせ =

- 配信中のコンテンツが不正アクセスにより、第三者に取得される危険があります。職場やホテル、ルーターを使用していない自宅などのネットワーク環境では、接続の確認をお願いします。
- お部屋ジャンプリンクは、モニターとお部屋ジャンプリンク対応機器のみでは利用できません。モニターとチューナー部と対応機器がネットワークで通信できる状態になっている必要があります。
- モニターはクライアントとして、お部屋ジャンプリンク対応機器に記録されている番組の再生が行えます。（番組によっては、再生できない場合があります）

■ ネットワークにあるサーバー機器のコンテンツを再生する



お部屋ジャンプリンクに対応したディーガなど、DMS（デジタルメディアサーバー）機能を持つ機器に保存されているコンテンツ（写真やビデオなど）を検索して、本機のDMP（デジタルメディアプレーヤー）機能で再生できます。

- 本機のDMP機能を利用する場合、DMS機能を持つ機器が接続機器一覧画面に表示されます。

DMS機能を持つサーバー機器に格納したコンテンツ（写真やビデオなど）を本機で再生できます。

（例）



- ネットワークにあるコンテンツを、本機で再生したり操作したりするには
 → ネットワーク > お部屋ジャンプリンク > お部屋ジャンプリンクを使う
- 本機で再生できるファイルフォーマットは
 → ネットワーク > DMP・DMR機能で再生できるコンテンツ

● パソコンをDMS（デジタルメディアサーバー）として使うには

サーバーソフトをインストール・設定したパソコンを、本機とネットワークで接続する必要があります。

= お知らせ =

- サーバーソフトに関する情報は、それぞれのソフトウェア会社にお問い合わせください。
- 4 K映像は、お部屋ジャンプリンクで正しく再生できない場合があります。
- サーバーソフトをパソコンにインストールすると、パソコンのデータが他人からアクセスされる危険があります。職場やホテル、ルーターを使用していない自宅などのネットワーク環境では、特に設定や接続の確認をお願いします。

● ディーガをDMS（デジタルメディアサーバー）として使うには

ディーガをネットワークで本機と接続することで、ディーガをDMSの1つとして操作することができます。

- お持ちのディーガがDMS（デジタルメディアサーバー）に対応しているかどうかは、ディーガの取扱説明書でご確認ください。

■ DMC（デジタルメディアコントローラー）対応のネットワーク機器の操作で、ネットワークにある共有コンテンツを本機で再生する

DMS（デジタルメディアサーバー）機能を持つ機器に保存されているコンテンツ（写真やビデオなど）を検索し、DMCからの操作によってDMR（デジタルメディアレンダラー）機能を持つ機器に配信して再生することができます。

- この機能をスマートフォンやパソコンで使用するには、[スマホアプリ / ディモーラの設定](#)を行ってください。



→ ネットワーク > ネットワークを利用するための接続設定をする > スマホアプリ / ディモーラの設定をする

- この機能をスマートフォンやタブレット端末などで使用するには、TVシェアのインストールが必要です。TVシェアのアプリや機能、操作方法などについては、以下のホームページでご覧になれます。

<https://panasonic.com/jp/support/tv/>

お部屋ジャンプリンクを使う

お部屋ジャンプリンクを使用するには、サーバー機器の準備と、ネットワークへの接続と設定ができていることをご確認ください。

 → ネットワーク > お部屋ジャンプリンク > お部屋ジャンプリンクについて

 → ネットワーク > ネットワークに接続する

 → ネットワーク > ネットワークを利用するための接続設定をする

1. [ホーム] ボタンを押す
2. **接続機器一覧**を選び、[決定] ボタンを押す
3. サーバー機器を選び、[決定] ボタンを押す
 - 選択したサーバー機器の詳細情報を表示するには
 - 1) [サブメニュー] ボタンを押す
 - 2) **情報を見る**を選び、[決定] ボタンを押す
4. ファイルを選び、[決定] ボタンを押す

(例)



- サーバー機器によっては、ファイルを選択する前にフォルダを選択する必要があります。
- 早戻し／早送りなどの操作をするには、映像を視聴中に以下のボタンを押して操作ガイドを表示してください。
ディーガ：[サブメニュー] ボタン
サーバー機器 / 本機以外のビエラ：[画面表示] ボタン
- 選択したファイルの詳細情報を表示するには [データ] ボタンを押す

= お知らせ =

- 再生できないファイルも表示されますが、選択することはできません。
- 本機への配信を許可するよう、サーバー機器の設定が必要な場合があります。詳細については、サーバー機器の取扱説明書をご覧ください。
- 接続環境によっては、再生中に映像が途切れて再生が停止する場合があります。特に、4 K 放送の番組や4 K 放送を録画した番組をお部屋ジャンプリンクで再生する場合は、無線LANの通信状態により映像が途切れて停止する可能性が高くなります。

2.4 GHz の無線LAN使用時は、11aや11n (5 GHz) の無線LANまたはLANケーブル接続に変更すると再生状態が改善される場合があります。それでも改善されないときは、**BS/C S 4 K画質再生**を**オフ**に設定し、ハイビジョン画質に画質調整することで再生状態が改善される場合があります。

 → ネットワーク > ネットワークを利用するための接続設定をする > お部屋ジャンプリンク機能を設定する

- 再生中はリモコンの外部機器操作ボタンで操作ができます。



テレビを見る > 外部機器をつないで見る、聴く > 本機のリモコンで外部機器を操作する

ディーガに番組をダビングする（お引越しダビング）

お引越しダビングに対応したディーガとネットワーク接続すると、本機のHDDに録画された番組をまとめてディーガにダビングすることができます。

- 操作は接続したディーガで行ってください。
- ディーガに録画された番組を本機にダビングすることはできません。
- 録画されている番組を選んでダビングしたり、本機に接続したUSB機器（USB HDDなど）にダビングすることはできません。
- 操作方法は、接続したディーガの取扱説明書をご覧ください。
- この機能を利用するには、本機をホームネットワークに接続する必要があります。

 → ネットワーク > ネットワークに接続する

 → ネットワーク > ネットワークを利用するための接続設定をする


- お引越しダビングに対応するディーガについては、サポートサイト（ホームページ）をご覧ください。

 → 困ったときは / よくあるご質問 / English Guide > インターネットを通じて、サポートサイト（ホームページ）を見る > 本機のサポート情報を見る

- お引越しダビングで4K DRや4K画質モードで録画した番組をダビングする場合は、4K DRや4K画質モードに対応している機器（ディーガ）が必要です。

= お知らせ =

- HDDに取り込んだ写真や撮影ビデオ、動画をバックアップする場合は以下をご覧ください。

 → メディアプレーヤー > 写真や動画の取り込み・バックアップをする > 取り込んだ写真や撮影ビデオをバックアップする／削除する

対応ディーガや対応ビエラでできること

お部屋ジャンプリンクに対応したディーガや本機以外のビエラをLANで接続・設定すると、離れたお部屋から操作できます。

■ 対応ディーガでできる操作について

- ディーガのハードディスクに記録した以下のコンテンツの再生
(無線LANを暗号化設定していないときは、再生できないものがあります)
 - デジタル放送とアナログ放送の番組
 - スカパー！プレミアムサービスDVRからダビングした番組
 - デジタルビデオカメラやデジタルカメラからダビングした映像または写真
(ディーガのハードディスクに保存された音楽の再生はできません)
- ディーガで受信しているデジタル放送の視聴
- ディーガに番組をダビングする（お引越しダビング）

■ 対応ビエラでできる操作について

- 本機以外のビエラのハードディスクに記録された録画番組の再生
- 本機以外のビエラで受信しているデジタル放送の視聴

= お知らせ =

- 本機でお部屋ジャンプリンクに対応したディーガやビエラに録画された番組を見るには、番組を録画した機器側で設定が必要になる場合があります。
設定については、各機器の取扱説明書をご覧ください。
- 機種によってできる操作が異なる場合があります。
- 対応機器（ディーガ、ビエラ）などお部屋ジャンプリンクについては、サポートサイト（ホームページ）をご覧ください。



→ 困ったときは / よくあるご質問 / English Guide > インターネットを通じて、サポートサイト（ホームページ）を見る > 本機のサポート情報を見る

お部屋ジャンプリンクサーバー機能で視聴できるコンテンツについて

本機のお部屋ジャンプリンクサーバー機能を利用して、ネットワーク接続した本機以外のビエラで、以下のコンテンツを視聴できます。

視聴できるコンテンツ	視聴できる機器
	本機以外のビエラ
本機で受信している放送 (別の機器に放送を転送できます。)	○
HDD内の録画番組や画像(写真)、 動画(ビデオ)	○
モニター背面のUSB端子(AV周辺機器 用)に接続したUSB機器内の画像(写 真)や動画(ビデオ)、音楽	×

- この機能を、本機以外のお部屋ジャンプリンク対応当社製テレビで使用するには、本機のお部屋ジャンプリンク設定を設定してください。

 → ネットワーク > ネットワークを利用するための接続設定をする > お部屋ジャンプリンク機能を設定する

- ディーガやビエラで受信している地上デジタル放送、BSデジタル放送、110度CSデジタル放送を視聴できます。
- 2台以上の機器で同時に視聴することはできません。

■ 映像が途切れて停止する場合

- ネットワーク通信速度が低い可能性があります。レート変換設定のレート変換モードをオートまたは入に設定すると、番組の画質を調整し、改善される場合があります。

さらに画質モードで調整することができます。ただし、画質を調整すると、早送り・早戻しができなくなります。

 → ネットワーク > ネットワークを利用するための接続設定をする > お部屋ジャンプリンク機能を設定する


= お知らせ =

- 暗号化設定していない無線LANでは、サーバー機能を使用できません。
- 本機と通信できるテレビを制限することができます。お部屋ジャンプリンク設定の接続許可方法を手動に設定した上で、お部屋ジャンプリンク設定の接続機器一覧から設定してください。
- サーバー機能による配信中、以下の機能は実行されません。
 - 配信中のコンテンツを録画一覧画面で削除する
- サーバー機能による配信中、以下の機能を使用すると配信が停止する場合があります。
 - ソフトウェアの更新(インターネット経由、放送ダウンロード)

ネットワークに接続する

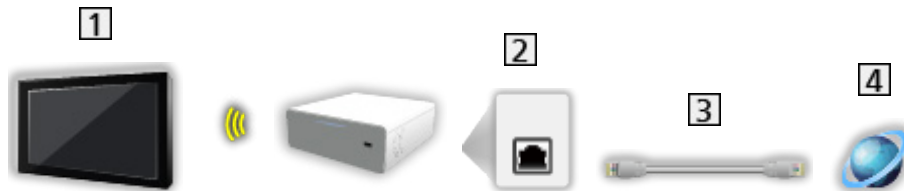
インターネット接続をする

インターネットサービスを利用するには、ブロードバンド環境が必要です。

- ブロードバンド環境がない場合は、専門の業者にご相談ください。
- 電話回線によるインターネット接続は、ご利用いただけません。
- 接続方法の詳細については、 取扱説明書をご覧ください。
- 本機でインターネットサービスをご利用いただく際の利用規約や個人情報の取り扱いに関するプライバシーポリシーについては以下の[利用規約](#)で確認できます。

 → ネットワーク > ネットワークを利用するための接続設定をする > サービス利用規約を確認・設定する

■ 有線LAN（LANストレートケーブル）接続



① 内蔵無線LAN（モニター）

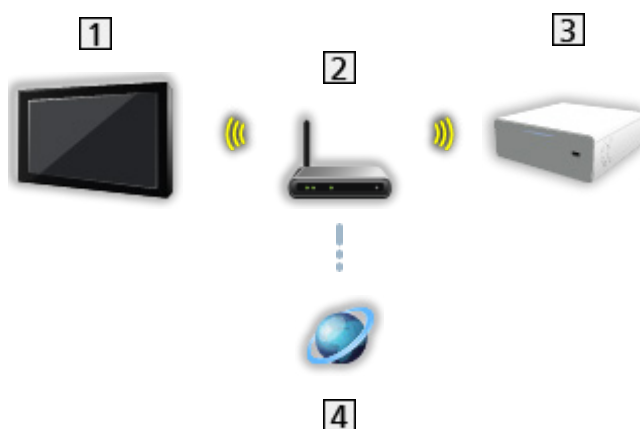
② LAN端子（チューナー部）

③ LANストレートケーブル（シールドタイプ）

- シールドツイストペア（STP）LANケーブルをご使用ください。

④ インターネット環境

■ 無線LAN接続



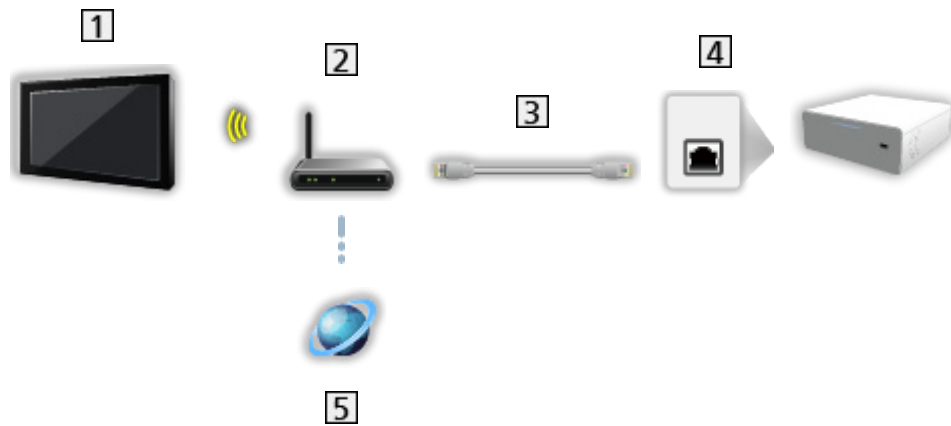
① 内蔵無線LAN（モニター）

② 無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）

③ 内蔵無線LAN（チューナー部）

④ インターネット環境

■ 無線LAN接続（モニター）／有線LAN（LANストレートケーブル）
接続（チューナー部）



① 内蔵無線LAN（モニター）

② 無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）

③ LANストレートケーブル（シールドタイプ）

- シールドツイストペア（STP）LANケーブルをご使用ください。

④ LAN端子（チューナー部）

⑤ インターネット環境

インターネット接続について

- プロバイダーや回線業者、モデム、ブロードバンドルーターなどの組み合わせによっては、本機と接続できない場合や追加契約などが必要になる場合があります。
- インターネットへ接続する場合は、パソコンでの設定が必要になることがあります。
- 動画コンテンツをご利用になるには、光ファイバー（F T T H）などの高速回線との接続をおすすめします。（ご利用環境や接続回線の混雑状況などにより、映像が乱れたり、映らないなどの場合があります）
 - 100BASE-TX 対応のハブまたはブロードバンドルーターをご使用ください。
 - 有線LAN接続の場合は、「カテゴリ5」以上のLANケーブル（シールドタイプ）をご使用ください。
- 本機に接続したDHCPでのIPアドレス自動取得が使えるブロードバンドルーターの電源を一度切ると、各機器に割り当てられるIPアドレスが停止して、電源を再び入れても、各機器間の通信ができなくなることがあります。本機をご使用中は、ブロードバンドルーターの電源を切らないでください。
 - DHCPとは、サーバーやブロードバンドルーターが、IPアドレスなどを本機に自動的に割り当てる仕組みのことです。
- 本機にDHCPでのIPアドレス自動取得が使えないハブを経由して、各機器を接続しているとき、本機の電源を「入」にした直後は、各機器との通信に失敗することがあります。
時間をおいて（約3分間）再度試してください。
- 本機の接続に必要なインターネット接続機器（モデムやルーター、ハブなど）や、電話通信事業者およびプロバイダーとの契約・設置・接続・設定作業・通信などの費用は、すべてお客様のご負担となります。
- ルーターのセキュリティ設定をする場合は、お客様ご自身の判断で行ってください。セキュリティ設定により発生した障害に関して、当社では責任を負いません。
- ルーターの設定・使用方法やネットワークのセキュリティなどに関する問い合わせには、当社ではお答えできません。
- 機器登録時や会員登録時のパスワードが第三者に知られた場合、不正に利用される可能性があります。パスワードはお客様ご自身の責任で管理してください。当社では不正利用された場合の責任は負いません。

■ 無線LAN接続について

- 本機との接続に対応した無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）が別途必要です。
- 無線ブロードバンドルーターはWPS対応であることをご確認ください。（WPSに対応していない場合は、設定の際に無線ブロードバンドルーターの暗号キーが必要になります。）詳しくは無線ブロードバンドルーターの取扱説明書をご覧ください。
 - 「WPS」は「Wi-Fi Protected Setup」の略称で、Wi-Fi アライアンスが認証する無線LANで簡単に無線ブロードバンドルーターへの接続を設定するための規格です。
- 本機と無線ブロードバンドルーター間の無線方式は、11acまたは11n（5GHz）を推奨します。

11a、11b、11g、11n（2.4 GHz）でも通信できますが、接続が切れて映像が途切れる場合があります。

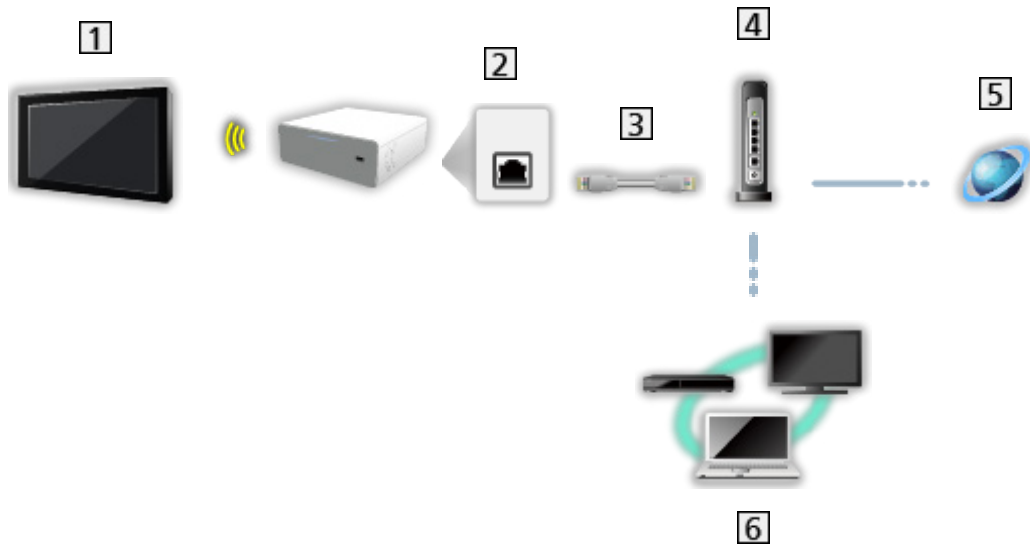
- 無線ブロードバンドルーターの無線方式を切り換えた場合は、無線LANで接続できていた機器（パソコンなど）が接続できなくなることがあります。
- 電波の干渉による悪影響を防止するため、以下の機器からできるだけ離してください。
 - 他の無線LAN機器やBluetooth対応機器
 - 電子レンジやデジタルコードレス電話
 - その他 2.4 GHz、5 GHz の電波を使用する機器（ゲーム機、ワイヤレスオーディオ機器、パソコン周辺機器など）
- 通信内容の傍受、不正利用、なりすましなどを防止するために、適切なセキュリティ設定（暗号化設定）を行ってください。
- 無線LANのセキュリティ設定をオープン（暗号なし）に設定している場合、以下のような制限が発生します。
 - お部屋ジャンプリンクに対応したディーガの映像を見るときに再生できない映像があります。
 - サーバー機能を使用できません。
 - セキュリティ設定については、無線ブロードバンドルーターの取扱説明書をご覧ください。
- 利用権限のない無線ネットワークには接続しないでください。無線ネットワーク環境の自動検索時に利用権限のない無線ネットワーク（SSID）が表示されることがありますが、接続すると不正アクセスと見なされるおそれがあります。
 - SSIDとは、無線LANで特定のネットワークを識別するための名前のことです。このSSIDが双方の機器で一致した場合、通信可能になります。

お部屋ジャンプリンク接続をする

お部屋ジャンプリンク機能を使用するには、ホームネットワーク環境が必要です。

- 接続方法の詳細については、 取扱説明書をご覧ください。

■ 有線LAN（LANストレートケーブル）接続（お部屋ジャンプリンクとインターネットサービス）



① 内蔵無線LAN（モニター）

② LAN端子（チューナー部）

③ LANストレートケーブル（シールドタイプ）

- シールドツイストペア（STP）LANケーブルをご使用ください。

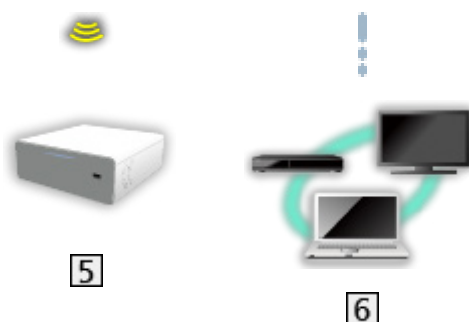
④ ハブまたはブロードバンドルーター

⑤ インターネット環境

⑥ お部屋ジャンプリンク対応のサーバー機器（ディーガやパソコンなど）

■ 無線LAN接続（お部屋ジャンプリンクとインターネットサービス）





- [1] 内蔵無線LAN（モニター）
- [2] 無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）
- [3] ハブまたはブロードバンドルーター
- [4] インターネット環境
- [5] 内蔵無線LAN（チューナー部）
- [6] お部屋ジャンプリンク対応のサーバー機器（ディーガやパソコンなど）

■ 有線LAN（LANストレートケーブル）接続（お部屋ジャンプリンク）

- 本機をお部屋ジャンプリンク機器と直接有線LAN接続する場合は、以下も併せてご覧ください。

 → ネットワーク > ネットワークを利用するための接続設定をする > 手動でお部屋ジャンプ機器と直接有線（LANケーブル）接続設定をする



- [1] 内蔵無線LAN（モニター）
- [2] LAN端子（チューナー部）
- [3] LANストレートケーブル（シールドタイプ）
 - シールドツイストペア（STP）LANケーブルをご使用ください。
- [4] お部屋ジャンプリンク対応のサーバー機器（ディーガやパソコンなど）

お部屋ジャンプリンク接続について

- ネットワーク環境に必要な機器を接続・設定してください。本機でそれらの機器の設定はできません。ネットワーク機器の設定については、機器の取扱説明書をご参照ください。
- F T T H（光）回線終端装置・ケーブルモデム・A D S L モデムにルーター機能がない場合は、ブロードバンドルーターをご使用ください。
- ブロードバンドルーターのポートが足りない場合は、ハブをご使用ください。
- ハブまたはブロードバンドルーターは、100BASE-TX に対応のものをご使用ください。
- 有線 L A N 接続の場合は、「カテゴリ 5」以上の L A N ケーブル（シールドタイプ）をご使用ください。
- ネットワーク機器については、インターネットサービスプロバイダー、または回線業者にご相談ください。
- インターネットサービスプロバイダーや回線業者との契約条件をご確認ください。ご契約の内容によっては、本機と接続できない場合や追加契約などが必要になる場合があります。
- 本機の接続に必要なブロードバンドルーターやハブ、インターネットサービスプロバイダーや回線業者との契約・設置・接続などの費用は、すべてお客様のご負担となります。
- ネットワーク接続を変更したり再接続した場合は、モニターやチューナー部本体の「電源」ボタンで電源を切り、再度、電源を入れてください。
- ネットワークの状況によっては、コンテンツの再生が正常にできないことがあります。

■ 無線 L A N 接続について

- 本機との接続に対応した無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）が別途必要です。
- 無線 L A N のセキュリティ設定をオープン（暗号なし）に設定している場合、お部屋ジャンプリンクに対応したディーガの映像を見るときに再生できない映像があります。
 - セキュリティ設定については、無線ブロードバンドルーターの取扱説明書をご覧ください。

ネットワークを利用するための接続設定をする

ネットワーク接続設定をする

ネットワークの設定を始める前に、LANケーブルの接続や無線ブロードバンドルーターの設置ができていることをご確認ください。

 → ネットワーク > ネットワークに接続する

- ネットワークの接続や設定については、サポートサイト（ホームページ）も併せてご覧ください。

 → 困ったときは / よくあるご質問 / English Guide > インターネットを通じて、サポートサイト（ホームページ）を見る > 本機のサポート情報を見る

■ かんたん設定 - 有線（LANケーブル）

1. [メニュー] ボタンを押して設定を選び、[決定] ボタンを押す
2. ネットワーク設定 > ネットワーク接続を選び、[決定] ボタンを押す
3. かんたん設定を選び、[決定] ボタンを押す
 - 接続できないときは、ヘルプを選んで [決定] ボタンを押し、表示されるメッセージの内容に応じて対策してください。
4. 自動的に設定され、ネットワーク状態が表示されます

 → ネットワーク > ネットワークを利用するための接続設定をする > ネットワークの接続状況を確認する

5. 終了を選び、[決定] ボタンを押す

- 手動で設定する

 → ネットワーク > ネットワークを利用するための接続設定をする > 手動で有線（LANケーブル）接続設定をする

= お知らせ =


- ネットワークの接続方法をLANケーブルでルーターと接続に設定すると、無線LANは無効になります。
- 通信によるGガイド受信は自動的にオンに設定されます。
- 画面にメッセージや操作ガイドなどが表示された場合は、表示内容に従ってください。

■ かんたん設定 - 無線LAN

1. [メニュー] ボタンを押して設定を選び、[決定] ボタンを押す
2. ネットワーク設定 > ネットワーク接続を選び、[決定] ボタンを押す
 - 設定を始める前に、無線ブロードバンドルーターのパスワード、設定、設置場所を確認してください。詳しくは無線ブロードバンドルーターの取扱説明書をご参照ください。
3. かんたん設定を選び、[決定] ボタンを押す
 - LANケーブルが接続されていると、有線（LANケーブル）のセットアップが自動で始まります。
 - 接続できないときは、ヘルプを選んで [決定] ボタンを押し、表示されるメッセージの内容に応じて対策してください。

4. 無線ブロードバンドルーターを選び、[決定] ボタンを押す

- 利用できる無線LANネットワークが自動で表示されます。

 : セキュリティロックがかかっている無線ブロードバンドルーター

- WPS（プッシュボタン）の場合

- 1) プッシュボタンでかんたん接続するを選び、[決定] ボタンを押す
- 2) 無線ブロードバンドルーターのWPS ボタンをライトが光るまで押す
- 3) [決定] ボタンを押すと、本機と無線ブロードバンドルーターが接続されます

- WPSは「Wi-Fi Protected Setup」の略です。
- 接続できなかったときは、無線ブロードバンドルーターの設定や設置場所を確認し、画面の表示内容に従って再度、お試しください。

- セキュリティロックがかかっている無線ブロードバンドルーターを使用することをおすすめします。

5. 無線ブロードバンドルーターのパスワードを入力し、[決定] ボタンを押す

- 文字を入力するには、以下をご参照ください。

 → [いろいろな機能 > 文字入力について > 文字を入力する](#)

6. 自動的に設定され、ネットワーク状態が表示されます

 → [ネットワーク > ネットワークを利用するための接続設定をする > ネットワークの接続状況を確認する](#)

7. 終了を選び、[決定] ボタンを押す

- 手動で設定する

 → [ネットワーク > ネットワークを利用するための接続設定をする > 手動で無線LAN接続設定をする](#)

手動で有線（LANケーブル）接続設定をする

ネットワークの設定を始める前に、LANケーブルの接続や無線ブロードバンドルーターの設置ができていることをご確認ください。

 → ネットワーク > ネットワークに接続する

1. [メニュー] ボタンを押して設定を選び、[決定] ボタンを押す
2. ネットワーク設定 > ネットワーク接続 > 接続方法の変更 > LANケーブルでルーターと接続を選び、[決定] ボタンを押す
 - 接続できないときは、ヘルプを選んで[決定] ボタンを押し、表示されるメッセージの内容に応じて対策してください。
3. 画面の表示内容を確認して設定完了を選び、[決定] ボタンを押す
4. IPアドレス/DNS設定画面が表示されます

IPアドレス自動取得 / DNS - IP自動取得

- するに設定することをおすすめします。
- 自動的に設定が表示されます。
- 手動で設定するには、IPアドレス / サブネットマスク / ゲートウェイアドレス / DNSを選択して入力してください。

プロキシサーバー設定

- 一般のご家庭では、通常プロキシサーバーの設定は必要ありません。

プロキシアドレス：

本機の代わりに目的のサーバーに接続し、本機にデータを送る中継サーバーのアドレスです。プロバイダーからの指定があるときのみ、設定が必要です。

プロキシポート番号：

プロキシアドレスとともにプロバイダーから指定される番号です。

-
5. ネットワーク状態確認を選び、[決定] ボタンを押す

 → ネットワーク > ネットワークを利用するための接続設定をする > ネットワークの接続状況を確認する

6. 終了を選び、[決定] ボタンを押す

= お知らせ =

- ネットワークの接続方法をLANケーブルでルーターと接続に設定すると、無線LANは無効になります。
- 接続方法の変更画面で[黄] ボタンを押すと、上級者向け設定の説明画面を表示します。通常は設定を変更する必要はありません。


設定を変更するは、画面の表示内容や応答メッセージに従って操作してください。


 → いろいろな機能 > チューナー部に関する設定をする > チューナー部の初期設定をする

手動で無線LAN接続設定をする

ネットワークの設定を始める前に、LANケーブルの接続や無線ブロードバンドルーターの設置ができていることをご確認ください。

 → ネットワーク > ネットワークに接続する

1. [メニュー] ボタンを押して設定を選び、[決定] ボタンを押す
2. ネットワーク設定 > ネットワーク接続 > 接続方法の変更 > 無線LANアクセスポイントと接続を選び、[決定] ボタンを押す
 - 設定を始める前に、無線ブロードバンドルーターのパスワード、設定、設置場所を確認してください。詳しくは無線ブロードバンドルーターの取扱説明書をご参照ください。
 - 接続できないときは、ヘルプを選んで[決定] ボタンを押し、表示されるメッセージの内容に応じて対策してください。
 - 無線ネットワークに接続中に、別の無線ネットワークに接続を変更する場合は、モニターとチューナー部の接続方法を直接接続に戻す必要があります。画面の表示内容に従って操作してください。
3. 無線ブロードバンドルーターを選び、[決定] ボタンを押す
 - 利用できる無線LANネットワークが自動で表示されます。
 : セキュリティーロックがかかっている無線ブロードバンドルーター
 - WPS (プッシュボタン) の場合
 - 1) [青] ボタンを押す
 - 2) 無線ブロードバンドルーターのWPS ボタンをライトが光るまで押す
 - 3) [決定] ボタンを押すと、本機と無線ブロードバンドルーターが接続されます
 - WPS は「Wi-Fi Protected Setup」の略です。
 - 接続できなかったときは、無線ブロードバンドルーターの設定や設置場所を確認し、画面の表示内容に従って再度、お試しください。
 - WPS (PINコード) の場合
 - 1) [赤] ボタンを押す
 - 2) 本機に表示されたPINコードを無線ブロードバンドルーターに入力する
 - 3) [決定] ボタンを押すと、本機と無線ブロードバンドルーターが接続されます
 - マニュアルの場合
 - 1) [緑] ボタンを押す
 - 2) 接続する無線ブロードバンドルーターに合わせてSSIDやセキュリティーなどを手動で設定する
 - 3) 画面の表示内容に従って手動で設定する
 - 無線ブロードバンドルーターを再検索するには[黄] ボタンを押す
 - 選択した無線ブロードバンドルーターの詳細情報を表示するには[データ] ボタンを押す

- セキュリティロックがかかっている無線ブロードバンドルーターを使用することをおすすめします。
4. 無線ブロードバンドルーターのパスワードを入力し、[決定] ボタンを押す
- 文字を入力するには、以下をご参照ください。
-  → [いろいろな機能 > 文字入力について > 文字を入力する](#)
5. [IPアドレス/DNS設定](#)画面が表示されます
-

[IPアドレス自動取得 / DNS - IP自動取得](#)

- [する](#)に設定することをおすすめします。
 - 自動的に設定が表示されます。
 - 手動で設定するには、[IPアドレス / サブネットマスク / ゲートウェイアドレス / DNS](#)を選択して入力してください。
-

[プロキシサーバー設定](#)

- 一般のご家庭では、通常プロキシサーバーの設定は必要ありません。

[プロキシアドレス](#)：

本機の代わりに目的のサーバーに接続し、本機にデータを送る中継サーバーのアドレスです。プロバイダーからの指定があるときのみ、設定が必要です。

[プロキシポート番号](#)：

プロキシアドレスとともにプロバイダーから指定される番号です。

6. [ネットワーク状態確認](#)を選び、[決定] ボタンを押す

 → [ネットワーク > ネットワークを利用するための接続設定をする > ネットワークの接続状況を確認する](#)

7. [終了](#)を選び、[決定] ボタンを押す
-

＝ お知らせ ＝

- [接続方法の変更](#)画面で[黄] ボタンを押すと、上級者向け設定の説明画面を表示します。通常は設定を変更する必要はありません。


設定を変更するは、画面の表示内容や応答メッセージに従って操作してください。

 → [いろいろな機能 > チューナー部に関する設定をする > チューナー部の初期設定をする](#)

手動でモニターを無線LAN接続・チューナー部を有線（LANケーブル）接続設定をする

ネットワークの設定を始める前に、LANケーブルの接続や無線ブロードバンドルーターの設置ができていることをご確認ください。

 → ネットワーク > ネットワークに接続する

1. [メニュー] ボタンを押して設定を選び、[決定] ボタンを押す
2. ネットワーク設定 > ネットワーク接続 > 接続方法の変更 > 無線LANアクセスポイントとモニターは無線、チューナー部はLANケーブルで接続を選び、[決定] ボタンを押す
 - 設定を始める前に、無線ブロードバンドルーターのパスワード、設定、設置場所を確認してください。詳しくは無線ブロードバンドルーターの取扱説明書をご参照ください。
 - 接続できないときは、ヘルプを選んで[決定] ボタンを押し、表示されるメッセージの内容に応じて対策してください。
3. 画面の表示内容を確認して次へを選び、[決定] ボタンを押す
4. 無線ブロードバンドルーターを選び、[決定] ボタンを押す
 - 利用できる無線LANネットワークが自動で表示されます。
 : セキュリティロックがかかっている無線ブロードバンドルーター
 - WPS（プッシュボタン）の場合
 - 1) [青] ボタンを押す
 - 2) 無線ブロードバンドルーターのWPS ボタンをライトが光るまで押す
 - 3) [決定] ボタンを押すと、本機と無線ブロードバンドルーターが接続されます
 - WPSは「Wi-Fi Protected Setup」の略です。
 - 接続できなかったときは、無線ブロードバンドルーターの設定や設置場所を確認し、画面の表示内容に従って再度、お試しください。
 - WPS（PINコード）の場合
 - 1) [赤] ボタンを押す
 - 2) 本機に表示されたPINコードを無線ブロードバンドルーターに入力する
 - 3) [決定] ボタンを押すと、本機と無線ブロードバンドルーターが接続されます
 - マニュアルの場合
 - 1) [緑] ボタンを押す
 - 2) 接続する無線ブロードバンドルーターに合わせてSSIDやセキュリティなどを手動で設定する
 - 3) 画面の表示内容に従って手動で設定する
 - 無線ブロードバンドルーターを再検索するには[黄] ボタンを押す
 - 選択した無線ブロードバンドルーターの詳細情報を表示するには[データ] ボタンを押す

- セキュリティロックがかかっている無線ブロードバンドルーターを使用することをおすすめします。
5. 無線ブロードバンドルーターのパスワードを入力し、[決定] ボタンを押す
- 文字を入力するには、以下をご参照ください。

 → [いろいろな機能 > 文字入力について > 文字を入力する](#)

6. [IPアドレス/DNS設定](#)画面が表示されます

[IPアドレス自動取得 / DNS - IP自動取得](#)

- [する](#)に設定することをおすすめします。
- 自動的に設定が表示されます。
- 手動で設定するには、[IPアドレス / サブネットマスク / ゲートウェイアドレス / DNS](#)を選択して入力してください。

[プロキシサーバー設定](#)

- 一般のご家庭では、通常プロキシサーバーの設定は必要ありません。

[プロキシアドレス](#)：

本機の代わりに目的のサーバーに接続し、本機にデータを送る中継サーバーのアドレスです。プロバイダーからの指定があるときのみ、設定が必要です。

[プロキシポート番号](#)：

プロキシアドレスとともにプロバイダーから指定される番号です。

-
7. [ネットワーク状態確認](#)を選び、[決定] ボタンを押す

 → [ネットワーク > ネットワークを利用するための接続設定をする > ネットワークの接続状況を確認する](#)

8. [終了](#)を選び、[決定] ボタンを押す

= お知らせ =

- [接続方法の変更](#)画面で[黄] ボタンを押すと、上級者向け設定の説明画面を表示します。通常は設定を変更する必要はありません。

設定を変更するは、画面の表示内容や応答メッセージに従って操作してください。

 → [いろいろな機能 > チューナー部に関する設定をする > チューナー部の初期設定をする](#)

手動でお部屋ジャンプ機器と直接有線（LANケーブル）接続設定をする

ネットワークの設定を始める前に、LANケーブルの接続や無線ブロードバンドルーターの設置ができていることをご確認ください。

 → ネットワーク > ネットワークに接続する

1. [メニュー] ボタンを押して設定を選び、[決定] ボタンを押す
2. ネットワーク設定 > ネットワーク接続 > 接続方法の変更 > LANケーブルでお部屋ジャンプリンク機器と接続を選び、[決定] ボタンを押す
3. 画面の表示内容を確認して設定完了を選び、[決定] ボタンを押す
4. IPアドレス/DNS設定画面が表示されます

IPアドレス自動取得 / DNS - IP自動取得

- するに設定することをおすすめします。
- 自動的に設定が表示されます。
- 手動で設定するには、IPアドレス / サブネットマスク / ゲートウェイアドレス / DNSを選択して入力してください。

プロキシサーバー設定

- 一般のご家庭では、通常プロキシサーバーの設定は必要ありません。

プロキシアドレス：

本機の代わりに目的のサーバーに接続し、本機にデータを送る中継サーバーのアドレスです。プロバイダーからの指定があるときのみ、設定が必要です。

プロキシポート番号：

プロキシアドレスとともにプロバイダーから指定される番号です。

-
5. 次へを選び、[決定] ボタンを押す
-

= お知らせ =

- 本機をお部屋ジャンプ機器と直接有線（LANケーブル）で接続すると、本機はインターネットに接続できません。
- 接続方法の変更画面で[黄] ボタンを押すと、上級者向け設定の説明画面を表示します。通常は設定を変更する必要はありません。

設定を変更するは、画面の表示内容や応答メッセージに従って操作してください。

 → いろいろな機能 > チューナー部に関する設定をする > チューナー部の初期設定をする

無線LAN接続に関する設定をする

■ 無線チャンネルを設定する

他機器との電波干渉がある場合に設定します。

1. [メニュー] ボタンを押して[設定](#)を選び、[決定] ボタンを押す
 2. [ネットワーク設定](#) > [ネットワーク接続](#) > [無線チャンネル](#)を選び、[決定] ボタンを押す
 3. 設定したい項目を選び、[決定] ボタンを押す
[無線チャンネル](#) / [無線拡張設定](#)
 4. 項目ごとに設定する
-

無線チャンネル

無線チャンネルを選び、[青] ボタンを押します。通常は[自動](#)（または[自動（拡張）](#)）でご使用ください。

- 画面にメッセージや操作ガイドなどが表示された場合は、表示内容に従ってください。
-

無線拡張設定

(入 / 切)

無線がつながりにくいときに[入](#)に設定すると、拡張チャンネルを設定することができます。

- [入](#)に設定すると、チューナー部との接続に時間がかかる場合があります。

＝ お知らせ ＝

- モニターとチューナー部を、無線で直接接続している場合に設定できます。

■ 無線詳細設定をする

無線通信の帯域幅やT D L S (Tunneled Direct Link Setup) を設定します。

1. [メニュー] ボタンを押して[設定](#)を選び、[決定] ボタンを押す
 2. [ネットワーク設定](#) > [ネットワーク接続](#) > [無線詳細設定](#)を選び、[決定] ボタンを押す
 3. 設定したい項目を選び、[決定] ボタンを押す
[帯域](#) / [T D L S 設定](#)
 4. 項目ごとに設定する
-

帯域

([2 0 M H z](#) / [4 0 M H z](#) / [8 0 M H z](#))

帯域幅を設定します。通常は[4 0 M H z](#)でご使用ください。

- 映像や音声途切れる場合は、[2 0 M H z](#)を選ぶと改善する場合があります。また、[8 0 M H z](#)を選ぶと高速で通信しますが、電波干渉が起こりやすくなる可能性が高くなるため、環境によっては通信速度が低下したり、通信が不安定になったりする場合があります。

- 画面にメッセージや操作ガイドなどが表示された場合は、表示内容に従ってください。
 - モニターとチューナー部を、無線で直接接続している場合に設定できます。
-

T D L S 設定

(入 / 切)

無線がつながりにくい場合に、入に設定します。電波状況などに応じて、モニターの通信経路を無線ブロードバンドルーター経由、またはチューナー部と直接無線接続に自動的に切り換えます。

- モニターとチューナー部を、それぞれ無線ブロードバンドルーター経由で無線接続している場合に設定できます。

ネットワークの接続状況を確認する

ネットワークの状態（MACアドレスや現在のネットワーク設定など）を表示させ、確認することができます。

1. [メニュー] ボタンを押して[設定](#)を選び、[決定] ボタンを押す
2. [ネットワーク設定](#) > [ネットワーク状態](#)を選び、[決定] ボタンを押す
3. 自動的にチェックが始まり、チェックが終わると[ネットワーク状態](#)が表示されます。

[再接続確認](#)：

本機のネットワーク接続状況を自動的に確認し、現在の接続状況を表示します。

[詳細情報](#)：

詳細なネットワーク接続情報を表示します。（IPアドレスやMACアドレスなど）

[設定をリセット](#)：

IPアドレス／DNS設定の設定内容を消去し、お買い上げ時の設定に戻します。

- ネットワーク接続について、詳しくは[ヘルプ](#)を選択してご確認ください。

モニターとチューナー部の接続診断をする

映像が途切れるなど、モニターとチューナー部の無線接続状態が悪いときに接続状態を診断し、表示されたQRコードから接続診断結果に応じた解決方法が確認できます。

1. [メニュー] ボタンを押して[設定](#)を選び、[決定] ボタンを押す
2. [ネットワーク設定](#) > [モニターとチューナー部の接続診断](#)を選び、[決定] ボタンを押す
3. 自動的に診断が始まり、診断が終わると接続診断結果が表示されます。
 - 以降は、画面の表示内容に従ってください。
 - 表示内容を更新するには、[青] ボタンを押してください。

本機の名称を変更する

ネットワークで連携する機器に表示される本機の名称を設定します。

1. [メニュー] ボタンを押して[設定](#)を選び、[決定] ボタンを押す
2. [ネットワーク設定](#) > [本機の名称変更](#)を選び、[決定] ボタンを押す
3. 画面の表示内容に従って本機の名称を入力する

= お知らせ =

- 同じネットワーク内に、2 台以上のテレビがある場合は、識別するために、それぞれのテレビで名称を設定してください。
- 録画中は設定できません。

Wake on LAN / Wireless LAN の設定をする

本機が接続されているネットワークに接続している Wake on LAN / Wireless LAN に対応した機器を操作して、本機の電源を「入」にできます。

1. [メニュー] ボタンを押して **設定** を選び、[決定] ボタンを押す
2. **ネットワーク設定** > **Wake on LAN / Wireless LAN** を選び、[決定] ボタンを押す
3. **オン** / **オフ** を選び、設定する

= お知らせ =

- この機能をご使用になるときは、リモコンで本機の電源を「切」にしてください。
- 意図せず本機の電源が「入」になることを防止するため、本機が見える位置から操作してください。
- 設定によっては、リモコンで電源「切」時、消費電力が増えることがあります。
- ネットワークの状況によっては、この機能をご使用できないことがあります。

お部屋ジャンプリンク機能を設定する

DMS（デジタルメディアサーバー）として、本機から視聴中の番組やHDDに保存している録画番組などを配信する場合に設定します。

また、4K放送の番組や4K放送を録画した番組をお部屋ジャンプリンクで再生中に、映像が途切れて再生が停止する場合、ハイビジョン画質に画質調整して再生するときに設定します。

1. [メニュー] ボタンを押して[設定](#)を選び、[決定] ボタンを押す
 2. [ネットワーク設定](#) > [お部屋ジャンプリンク設定](#)を選び、[決定] ボタンを押す
 3. 設定したい項目を選び、[決定] ボタンを押す
[接続許可方法](#) / [接続機器一覧](#) / [レート変換設定](#) / [BS／CS 4K画質再生](#)
 4. 項目ごとに設定する
-

[接続許可方法](#)

([自動](#) / [手動](#))

本機への接続制限を設定するかどうか、選択します。

[自動](#)：

本機に接続できるすべての機器に配信を許可します。(最大16台)

[手動](#)：

[接続機器一覧](#)で指定した機器だけを許可します。

[接続機器一覧](#)

本機に接続できる機器の一覧を表示します。

[レート変換設定](#)

([レート変換モード](#) / [画質モード](#))

お部屋ジャンプリンクで再生する映像のレートや画質モードを設定します。

[レート変換モード](#)：

([オート](#) / [入](#) / [切](#))

ネットワーク通信速度が低いときに再生中の映像が途切れるときは、[オート](#)または[入](#)に設定すると改善される場合があります。

[画質モード](#)：

([5倍録画質](#) / [10倍録画質](#))

再生中に映像が途切れて再生が停止するときは、[10倍録画質](#)に設定すると改善される場合があります。

[BS／CS 4K画質再生](#)

([オン](#) / [オフ](#))

4K放送の番組や4K放送を録画した番組をお部屋ジャンプリンクで再生中に、映像が途切れて再生が停止する場合、ハイビジョン画質に画質調整して再生するときは[オ](#)

フに設定します。

4 K画質で再生する場合はオンに設定してください。

- お部屋ジャンプリンクサーバー機能で視聴できるコンテンツなどについては



ネットワーク > お部屋ジャンプリンク > お部屋ジャンプリンクサーバー機能で視聴できるコンテンツについて

= お知らせ =

- 録画中は設定できません。

スマートスピーカー設定をする

スマートスピーカーを利用して、本機のチャンネルや音量などの操作を行うための設定をします。

- 設定するには、本機をインターネットに接続する必要があります。ネットワーク接続とネットワーク設定ができていることを確認してください。

 → ネットワーク > ネットワークに接続する

 → ネットワーク > ネットワークを利用するための接続設定をする

1. [メニュー] ボタンを押して設定を選び、[決定] ボタンを押す
2. ネットワーク設定 > スマートスピーカー設定を選び、[決定] ボタンを押す
3. 画面の表示内容に従って設定する

= お知らせ =

- スマートスピーカーの設定や使い方などについては、サポートサイト（ホームページ）をご覧ください。

 → 困ったときは / よくあるご質問 / English Guide > インターネットを通じて、サポートサイト（ホームページ）を見る > 本機のサポート情報を見る

スマートアプリやディモラ機能について

本機をネットワークに接続し、スマートフォンやタブレット端末などにスマートアプリをインストール・設定すると、スマートフォンやタブレット端末などで以下のような機能が利用できます。

- ディモラ機能やスマートフォンなどでアプリをご利用になるには、対応サービスへの会員登録とスマートフォンやタブレット端末などの機器に「TVシェア」や「どこでもディーガ」をインストールし、本機をインターネットに接続する必要があります。また、スマートフォンやタブレット端末などを、本機が接続されているネットワークに無線LANで接続し、登録（ペアリング）する必要があります。

 → ネットワーク > ネットワークに接続する

 → ネットワーク > ネットワークを利用するための接続設定をする

- 会員登録およびサービス内容、動作環境や機器の登録（ペアリング）、スマートフォンやタブレット端末などの操作については、サポートサイト（ホームページ）をご覧ください。

 → 困ったときは / よくあるご質問 / English Guide > インターネットを通じて、サポートサイト（ホームページ）を見る > 本機のサポート情報を見る

■ TVシェアの設定をすると以下のようなことができます

- スマートフォンやタブレット端末などを本機のリモコンとして使用できます。
- スマートフォンやタブレット端末などのコンテンツを本機に転送して視聴できます。
- アプリの対応状況によっては、ご使用できない機能があります。

■ どこでもディーガの設定をすると以下のようなことができます

- 外出先や家の中で、現在放送中の番組、本機で録画した番組をスマートフォンやタブレット端末などで視聴できます。
- 録画した番組をスマートフォンなどにダウンロードすると、ネットがつかない場所でも楽しめます。
- 本機に取り込んだ写真や動画をスマートフォンなどで楽しめます。
- スマートフォンやタブレット端末などでご利用になるには、視聴アプリ「どこでもディーガ」のダウンロードが必要です。どこでもディーガに関する詳細は下記ホームページをご覧ください。

https://panasonic.jp/support/av/d_diga/

■ DiXiM Play for DIGA の設定をすると以下のようなことができます

- 外出先や家の中で、現在放送中の番組、本機で録画した番組をパソコンで視聴できます。
- パソコンでご利用になるには、(株)デジオン製の Windows 用視聴アプリ「DiXiM Play for DIGA」をパソコンにダウンロードする必要があります。DiXiM Play for DIGA に関する詳細は下記 (株)デジオンのホームページをご覧ください。

<https://www.digion.com/diximplay/diga/>

= お知らせ =

- 本機には、「どこでもディーガ」や「DiXiM Play for DIGA」をインストールした

機器を6台まで登録（ペアリング）可能ですが、同時に利用できる機器は1台のみです。

■ ディモーラ機能を利用すると以下のようなことができます

- 外出先のパソコンなどから、本機のHDDに録画予約などの操作ができます。ご利用になるには、パソコンから以下のホームページで会員登録を行ってください。

<http://dimora.jp/>

- 会員登録するには、本機をインターネットに接続する必要があります。

■ ディモーラの対応サービスについて

- サービスは対応サービス提供者が提供します。サービス内容やお申し込みについては、ディモーラのホームページなどでご確認ください。
- 一部のサービスは有料です。また、現在無料のサービスでも、将来有料になることがあります。
- ディモーラ機能のご利用には、対応サービスに加入していただく必要があります。
- 定期的なメンテナンスや、不測のトラブルで一時的にサービスを停止したり、予告ありなしにかかわらず、サービス内容の変更・中止や操作メニュー画面の変更をする場合があります。あらかじめご了承ください。
- 本機では、サービスに一定期間お試しで登録して利用することができます。

お試しの期間が終了後、引き続きすべての機能を利用したい場合は、パソコンなどからディモーラに会員登録する必要があります。すでに CLUB Panasonic に会員登録している場合は、本機からディモーラの会員登録をすることができます。

本機でのお試しの登録や会員登録については、画面の表示内容に従って行ってください。

- お試しの登録は機器登録解除で解除することができます。



→ ネットワーク > ネットワークを利用するための接続設定をする > スマホアプリ / ディモーラの設定をする

スマホアプリ / ディモーラの設定をする

スマートフォンやタブレット端末などでスマートアプリ（TVシェア、どこでもディーガ）を使用するための設定や、ディモーラ機能の設定をします。

1. [メニュー] ボタンを押して[設定](#)を選び、[決定] ボタンを押す
2. [ネットワーク設定](#) > [スマホアプリ / ディモーラの設定](#)を選び、[決定] ボタンを押す
3. 設定したい項目を選び、[決定] ボタンを押す
[スマホアプリ / ディモーラ機能 / 詳細設定](#)
4. 項目ごとに設定する

スマホアプリ / ディモーラ機能

(オン / オフ)

[オン](#)にすると、スマートフォンやタブレット端末などでスマートアプリ（TVシェア、どこでもディーガ）やディモーラ機能を使用していろいろな機能が利用できます。

- ディモーラサービスに加入していただく必要があります。詳細は下記ホームページをご覧ください。

<https://dimora.jp/>

- 設定によっては、リモコンで電源「切」時、消費電力が増えることがあります。
- [スマホアプリ / ディモーラ機能](#)を[オン](#)に設定している場合、リモコンで電源を「切」にすると、待機状態であることを示すためにモニター本体の電源ランプが橙色になります。

また、常時通信状態となりますので、定額制の常時接続プランでのご利用をおすすめします。

詳細設定

TVシェア設定

ペアリング情報削除

登録（ペアリング）済みのスマートフォンやタブレット端末などの情報をすべて削除します。

どこでもディーガ設定

スマホ転送番組設定

番組を録画するときに、スマホ転送番組を作成することができます。

- [スマホアプリ / ディモーラ機能](#)を[オン](#)にしている場合に設定できます。

[スマホ転送番組の作成](#)：

([する](#) / [しない](#))

[画質](#)：

スマホ転送番組の画質を設定します。

- [スマホ転送番組の作成](#)を[する](#)にしている場合に設定できます。

ディモーラ設定

機器パスワード初期化

ネットワーク経由で本機を操作する際に使用する機器パスワードの初期化を行います。

機器 I D 確認

デモラ機能を使ってインターネット経由でパソコンや携帯電話から本機を操作するとき、機器を特定するための番号を表示します。

機器登録解除

機器登録や会員登録を解除する画面を表示します。(本機をインターネットに接続してください)

= お知らせ =

- この機能をご使用になるときは、リモコンで本機の電源を「切」にしてください。
- ネットワークの状況によっては、この機能をご使用できないことがあります。
- 放送局や録画番組、ネットワークの状態によっては視聴できない、または正しく再生できない場合があります。
- 暗号化設定していない無線 LAN では、どこでもディーガを使用できません。
- どこでもディーガを利用中、以下の機能は実行されません。
 - お部屋ジャンプリンクサーバー機能を利用して、放送番組や録画番組を配信する
 - 視聴中の録画番組を録画一覧画面で削除する
- 本機の電源が「入」のときは、放送番組や録画番組の配信ができません。
- どこでもディーガを利用中、録画予約やソフトウェアの更新が開始されると配信を停止する場合があります。
- 不正利用を防ぐため、機器 I D や機器パスワードは他人に見られたり、教えたりしないでください。
 - 第三者が本機の設置・設定を行った場合は、必ず変更してください。
 - 修理依頼する場合は機器パスワードを初期化し、再設定してください。
 - 第三者に本機を譲渡したり廃棄する場合は、機器パスワードを初期化してください。
- 録画中は設定できません。
- デモラ設定の機器パスワード初期化を行うと過去未来番組表設定も初期化されます。

機器パスワード初期化後に過去未来番組表を使用する場合は、機器の登録などをやり直してください。

VODコンテンツ更新を設定する

リモコンで電源を「切」にしているとき、自動的にVODコンテンツを最新に更新するか設定します。

- ネットワーク接続とネットワーク設定ができていることを確認してください。



→ ネットワーク > ネットワークに接続する



→ ネットワーク > ネットワークを利用するための接続設定をする

1. [メニュー] ボタンを押して**設定**を選び、[決定] ボタンを押す
2. **ネットワーク設定** > **VODコンテンツ更新**を選び、[決定] ボタンを押す
3. **オン** / **オフ**を選び、設定する

- 設定によっては、リモコンで電源「切」時、消費電力が増えることがあります。
- **VODコンテンツ更新**を**オン**に設定している場合、リモコンで電源を「切」にすると、コンテンツ更新動作時のみモニター本体の電源ランプが橙色になります。

ソフトウェアの確認と更新をする

モニターの最新ソフトウェアをインターネット経由で確認し、更新できます。

- ネットワーク接続とネットワーク設定ができていることを確認してください。



→ ネットワーク > ネットワークに接続する



→ ネットワーク > ネットワークを利用するための接続設定をする

- ソフトウェアの更新については、以下も併せてご覧ください。



→ いろいろな機能 > ソフトウェアの更新 > ソフトウェアの更新について

1. [メニュー] ボタンを押して設定を選び、[決定] ボタンを押す
2. ネットワーク設定 > ソフトウェアの更新確認を選び、[決定] ボタンを押す
3. 画面の表示内容に従って操作する

ソフトウェアが最新でなければ、ソフトウェアを更新します。

= お知らせ =

- ダウンロードには、数時間かかることがあります。
- ダウンロード中は、モニターやチューナー部本体の電源を「切」にしないでください。
- 録画中は設定できません。

ソフトウェアの更新を通知する

最新のソフトウェアがある場合、本機に自動的に通知するか設定します。

- ソフトウェアの更新については、以下も併せてご覧ください。



→ [いろいろな機能 > ソフトウェアの更新 > ソフトウェアの更新について](#)

1. [メニュー] ボタンを押して[設定](#)を選び、[決定] ボタンを押す
2. [ネットワーク設定](#) > [ソフトウェアの更新通知](#)を選び、[決定] ボタンを押す
3. [オン](#) / [オフ](#)を選び、設定する

[オン](#) :

最新のソフトウェアがあるとき、モニターの電源を「切」「入」するとモニターのソフトウェア更新についてのメッセージを表示します。画面の表示内容に従って操作してください。

[オフ](#) :

[ソフトウェアの更新確認](#)でソフトウェアの更新を確認します。

サービス利用規約を確認・設定する

サービス利用規約の表示と設定をします。

1. [メニュー] ボタンを押して[設定](#)を選び、[決定] ボタンを押す
2. [ネットワーク設定](#) > [サービス利用規約／設定](#)を選び、[決定] ボタンを押す
3. 利用規約を確認・設定する
 - 「利用規約」または「プライバシーポリシー」を選び、[決定] ボタンを押すと、詳しい内容が確認できます。

お部屋ジャンプリンクで写真を再生する

ファイルを選択して再生する

サーバー機器の準備と、ネットワークへの接続と設定ができていることをご確認ください。

 → ネットワーク > お部屋ジャンプリンク > お部屋ジャンプリンクについて

 → ネットワーク > ネットワークに接続する

 → ネットワーク > ネットワークを利用するための接続設定をする

1. [ホーム] ボタンを押す
2. [接続機器一覧](#)を選び、[決定] ボタンを押す
3. サーバー機器を選び、[決定] ボタンを押す
 - 選択したサーバー機器の詳細情報を表示するには
 - 1) [サブメニュー] ボタンを押す
 - 2) [情報を見る](#)を選び、[決定] ボタンを押す
4. ファイルを選び、[決定] ボタンを押して1枚ずつ見る
 - サーバー機器によっては、ファイルを選択する前にフォルダを選択する必要があります。
 - 選択したファイルの詳細情報を表示するには [データ] ボタンを押す

= お知らせ =

- 再生できないファイルも表示されますが、選択することはできません。

写真をシングル表示で操作する

■ 写真を見る

- 写真をシングル表示させて1枚ずつ見る

◀ : 前の写真へ

▶ : 次の写真へ

▽ : 停止（一覧表示に戻る）

〔決定〕 : スライドショー

- 操作ガイドを表示 / 非表示するには〔画面表示〕ボタンを押す
- 90° 回転するには〔黄〕ボタンを押す
- 一覧表示に戻るには〔戻る〕ボタンを押す

スライドショーで見る

1. 一覧表示からファイルを選択する
2. [青] ボタンで[スライドショー開始](#)を選び、[決定] ボタンを押してスライドショーを開始する
 - 操作ガイドを表示 / 非表示するには [画面表示] ボタンを押す
 - 一時停止（写真表示に戻る）するには [決定] ボタンを押す
 - 一覧表示に戻るには [戻る] ボタンを押す

■ スライドショー設定

スライドショーの表示方法やBGMなどを設定します。

1. 一覧を表示中に [サブメニュー] ボタンを押す
 - 再生中に [サブメニュー] ボタンを押しても[スライドショー設定](#)を表示します。
2. [スライドショー設定](#)を選び、[決定] ボタンを押す
3. 設定したい項目を選び、[決定] ボタンを押す
[表示間隔](#) / [リピート](#) / [BGM](#)
4. 項目ごとに設定する

[表示間隔](#)

([長い](#) / [普通](#) / [短い](#))

スライドショーで写真を切り換える間隔が設定できます。

[リピート](#)

([オン](#) / [オフ](#))

スライドショーで繰り返し見ることができます。

[BGM](#)

([オフ](#) / [BGM1](#) / [BGM2](#) / [BGM3](#) / [BGM4](#) / [BGM5](#))

写真の表示中に再生するBGM（バックグラウンド・ミュージック）をお好みに合わせて選べます。

お部屋ジャンプリンクでビデオ映像を再生する

ファイルを選択して再生する

サーバー機器の準備と、ネットワークへの接続と設定ができていることをご確認ください。

 → ネットワーク > お部屋ジャンプリンク > お部屋ジャンプリンクについて

 → ネットワーク > ネットワークに接続する

 → ネットワーク > ネットワークを利用するための接続設定をする

1. [ホーム] ボタンを押す
2. [接続機器一覧](#)を選び、[決定] ボタンを押す
3. サーバー機器を選び、[決定] ボタンを押す
 - 選択したサーバー機器の詳細情報を表示するには
 - 1) [サブメニュー] ボタンを押す
 - 2) [情報を見る](#)を選び、[決定] ボタンを押す
4. ファイルを選び、[決定] ボタンを押して再生する
 - サーバー機器によっては、ファイルを選択する前にフォルダを選択する必要があります。
 - 選択したファイルの詳細情報を表示するには [データ] ボタンを押す

= お知らせ =

- 4 K映像は、お部屋ジャンプリンクで正しく再生できない場合があります。
- 再生できないファイルも表示されますが、選択することはできません。

ビデオ映像を再生・操作する

■ 再生する

前回、再生を途中で停止したシーンを再生するとき、停止した場面から再生するか、先頭から再生するかを選択画面が表示された場合は、設定を選び、[決定] ボタンを押すと再生が始まります。

- 再生中の操作について

- △ : 30秒スキップ (可能な場合)
 - 1回押すたびに、約30秒飛び越して再生します。
- ◀ : 早戻し
- ▶ : 早送り
- ▽ : 停止

[決定] : 一時停止 (タイムシークバーを表示します) / 再生

- 見たい場面に移動する

1) [決定] ボタンを押してタイムシークバーを表示する

2) タイムシークバーが表示している間に

◀ / ▶ ボタンを押す :

サーチ (カウンターを約10秒進める / 戻す)

◀ / ▶ ボタンを押し続ける :

サーチ

3) [決定] ボタンを押して見たい場面に移動する

- 操作ガイドと情報バーを表示 / 非表示するには [画面表示] ボタンを押す

- 前のコンテンツにスキップするには [青] ボタンを押す

- 次のコンテンツにスキップするには [赤] ボタンを押す

- 画面モードを切り換えるには

1) 再生中に [メニュー] ボタンを押して設定を選び、[決定] ボタンを押す

2) 映像調整 > 画面の設定 > 画面モードを選び、[決定] ボタンを押す

3) 画面モードを設定する

モード1 :

元の映像の横縦比と大きさのまま表示します。

モード2 :

元の映像の横縦比を保ちながら、画面に収まる範囲で拡大します。

- コンテンツによっては、画面モードを切り換えることができないものもあります。

- 一覧表示に戻るには [戻る] ボタンを押す

= お知らせ =

- 選択した機器や映像によりすべての操作ができない場合があります。
- リモコンの外部機器操作ボタンで操作するには、以下も併せてご覧ください。

 → テレビを見る > 外部機器をつないで見る、聴く > 本機のリモコンで外部機器を操作する

ビデオ映像の音声や字幕などを設定する

ビデオ映像の音声や字幕、リピートの設定をします。

1. ビデオ映像を再生中に「サブメニュー」ボタンを押す
2. 設定したい項目を選び、「決定」ボタンを押す

[音声切換](#) / [二重音声](#) / [リピート](#) / [字幕設定](#)

- 設定項目や選択肢は、コンテンツによって異なります。

3. 項目ごとに設定する
-

音声切換

ビデオ映像に含まれる音声信号を選ぶことができます。音声信号には、コーデックとオーディオチャンネルを表示します。

二重音声

ファイルによって主音声、副音声を設定できます。

リピート

([オン](#) / [オフ](#))

「まとめ」の単位で繰り返し再生します。

- 一覧を表示中に設定することもできます。
-

字幕設定

([字幕](#) / [字幕言語](#) / [字幕文字サイズ](#) / [字幕文字色](#) / [字幕表示位置](#) / [字幕遅延時間](#))

字幕に関する設定を行います。設定したい項目を選び、設定してください。

- ビデオ映像を再生中に設定できます。

[字幕](#)：

ビデオ映像に含まれる字幕を選ぶことができます。

- 設定できないファイルのときは[字幕なし](#)と表示されます。

[字幕言語](#)：

ビデオ映像に含まれる字幕言語を選ぶことができます。

[字幕文字サイズ](#)：

字幕の文字サイズを選ぶことができます。

[字幕文字色](#)：

字幕の文字カラーを選ぶことができます。

[字幕表示位置](#)：

字幕の表示位置を選ぶことができます。

[字幕遅延時間](#)：

字幕が映像よりも遅れたり進む場合に調整します。

音声出力を設定する

HDMI 2 端子（e ARC / ARC 対応）に接続したアンプを経由して、マルチチャンネルの音声をお楽しみいただけます。

- ビデオ映像に含まれる音声信号を確認、変更するには



→ ネットワーク > お部屋ジャンプリンクでビデオ映像を再生する > ビデオ映像の音声や字幕などを設定する

1. [メニュー] ボタンを押して設定を選び、[決定] ボタンを押す
 2. 音声調整 > デジタル音声出力を選び、[決定] ボタンを押す
 3. オート / PCM / ビットストリーム / Dolby Audio を選び、設定する
-

デジタル音声出力

(オート / PCM / ビットストリーム / Dolby Audio)

HDMI 2 端子（e ARC / ARC）からの音声出力を設定します。

オート：

3ch以上の音声フォーマットのときは自動的に「AAC」を出力します。ただし、メディアプレーヤーでのビデオ再生の音声形式がドルビーオーディオフォーマットのサラウンド・ステレオで記録した場合に、自動的に「ドルビーオーディオ」を出力します。

PCM：

オーディオ機器がAACフォーマットやドルビーオーディオフォーマットに対応していないとき、常に「PCM」を出力します。

ビットストリーム：

放送がAACフォーマット時は常に「AAC」を出力します。ドルビーオーディオフォーマット時は常に「ドルビーオーディオ」を出力します。AACフォーマット・ドルビーオーディオフォーマット以外のときは「PCM」を出力します。

Dolby Audio：

AACフォーマットやドルビーオーディオフォーマット時は常に「ドルビーオーディオ」を出力します。AACフォーマット・ドルビーオーディオフォーマット以外のときは「PCM」を出力します。

- e ARC / ARCとは、HDMI ケーブルでデジタル音声信号を送る機能です。
 - ビットストリームに設定すると字幕放送やデータ放送の効果音が、HDMI 2 端子から出力されません。PCMに設定してご使用ください。
 - AAC対応のオーディオ機器を接続する場合、PCMとAACの入力に対し自動切り換え機能のあるものをおすすめします。
 - HDMI 2 端子からは、スピーカーと同じ音声を出力します。
 - HDMI 入力時のDVDオーディオで暗号化されている場合は出力されません。
-

= お知らせ =

- メディアプレーヤーを使用しているときは、HDMI 2 端子（e ARC / ARC 対応）から音声信号が出力されています。HDMI 2 端子のe ARC / ARC出

力機能を利用するには、e ARC / ARC対応のアンプを接続してください。

 → [いろいろな機能 > ビエラリンク（HDMI）を使う](#)

お部屋ジャンプリンクで音楽を再生する

ファイルを選択して再生する

サーバー機器の準備と、ネットワークへの接続と設定ができていることをご確認ください。

 → ネットワーク > お部屋ジャンプリンク > お部屋ジャンプリンクについて

 → ネットワーク > ネットワークに接続する

 → ネットワーク > ネットワークを利用するための接続設定をする

1. [ホーム] ボタンを押す
2. [接続機器一覧](#)を選び、[決定] ボタンを押す
3. サーバー機器を選び、[決定] ボタンを押す
 - 選択したサーバー機器の詳細情報を表示するには
 - 1) [サブメニュー] ボタンを押す
 - 2) [情報を見る](#)を選び、[決定] ボタンを押す
4. ファイルを選び、[決定] ボタンを押して再生する
 - サーバー機器によっては、ファイルを選択する前にフォルダを選択する必要があります。
 - 選択したファイルの詳細情報を表示するには [データ] ボタンを押す

= お知らせ =

- 再生できないファイルも表示されますが、選択することはできません。

音楽を再生・操作する

■ 再生

- 再生中の操作について

◀ : 早戻し

▶ : 早送り

▽ : 停止

[決定] : 一時停止 (タイムシークバーを表示します) / 再生

- 聴きたい場所に移動する

1) [決定] ボタンを押してタイムシークバーを表示する

2) タイムシークバーが表示している間に

◀ / ▶ ボタンを押す :

サーチ (カウンターを約 10 秒進める / 戻す)

◀ / ▶ ボタンを押し続ける :

サーチ

3) [決定] ボタンを押して聴きたい場所に移動する

- 操作ガイドを表示 / 非表示するには [画面表示] ボタンを押す
- 前の音楽にスキップするには [青] ボタンを押す
- 次の音楽にスキップするには [赤] ボタンを押す
- 一覧表示に戻るには [戻る] ボタンを押す

繰り返し（リピート）を設定する

音楽再生の繰り返し（リピート）を設定します。

1. 一覧を表示中に [サブメニュー] ボタンを押す
2. [音楽設定](#) > [リピート](#) を選び、[決定] ボタンを押す
 - 再生中に [サブメニュー] ボタンを押しても [音楽設定](#) を表示します。
3. [オフ](#) / [フォルダリピート](#) / [1曲リピート](#) を選び、設定する

[フォルダリピート](#) :

フォルダ内の曲をリピートします。

[1曲リピート](#) :

選んだ曲を1曲だけリピートします。

お部屋ジャンプリンクでディーガやビエラのコンテンツを再生する

ディーガや本機以外のビエラのコンテンツを再生する

ディーガや本機以外のビエラに保存されている番組や写真、ディーガやビエラで受信している番組を視聴します。

- サーバー機器の準備と、ネットワークへの接続と設定ができていることをご確認ください。

 → ネットワーク > お部屋ジャンプリンク > お部屋ジャンプリンクについて

 → ネットワーク > ネットワークに接続する

 → ネットワーク > ネットワークを利用するための接続設定をする


1. [ホーム] ボタンを押す
2. [接続機器一覧](#)を選び、[決定] ボタンを押す
3. ディーガまたは本機以外のビエラを選び、[決定] ボタンを押す

ディーガまたはビエラの画面が表示されます。操作ガイドに従って、本機のリモコンでディーガやビエラを操作することができます。

- 操作については、ディーガまたはビエラの取扱説明書をご参照ください。

= お知らせ =

- 本機の録画一覧で[家じゅう](#)の分類表示を選択すると、お部屋ジャンプリンクで接続されたディーガの録画番組をまとめて表示できます。

 → メディアプレーヤー > 録画した番組を再生・編集する > 録画した番組を選択して再生する

- 分類表示の[家じゅう](#)に表示される4 K放送の番組は、4 K放送の番組配信に対応したディーガに録画している4 K放送の番組のみです。

DMP・DMR機能で再生できるコンテンツ

写真（画像）のフォーマット

■ 本機で表示できる写真（画像）のフォーマット

● J P E G形式（.jpg、.jpeg）

サブサンプリング：

4：4：4、4：2：2、4：2：0

表示画素数：

最小8×8画素～最大30719×17279画素

- D C FおよびE x i f規格に準拠（デジタルカメラなどで記録したもの）したファイルが再生できます。
- J P E G以外の形式（B M P形式、G I F形式、T I F F形式など）、プログレッシブJ P E G形式やJ P E G 2 0 0 0形式の写真は再生できません。

動画（ビデオ映像）のフォーマット

■ 本機で再生できる動画（ビデオ映像）のフォーマット

● MP 4 形式（.f4v、.m4v、.mp4）

ビデオコーデック：

H.264、H.265(HEVC)、MPEG1、MPEG2

オーディオコーデック：

AAC、Dolby Audio (Dolby Digital、Dolby Digital Plus、Dolby AC-4)、
HE-AAC、MPEG Audio、MP3

- 当社製デジタルビデオカメラで撮影した動画が再生できます。
-

● MK V形式（.mkv）

ビデオコーデック：

H.264、H.265(HEVC)、MPEG1、MPEG2

オーディオコーデック：

AAC、Dolby Audio (Dolby Digital、Dolby Digital Plus)、HE-AAC、
MPEG Audio、MP3、Vorbis

● F L V形式（.flv）

ビデオコーデック：

H.264

オーディオコーデック：

AAC、MP3

● 3 G P P形式（.3gp、.3g2）

ビデオコーデック：

H.264

オーディオコーデック：

AAC、HE-AAC

● P S形式（.mod、.mpg、.mpeg、.vob、.vro）

ビデオコーデック：

MPEG1、MPEG2

オーディオコーデック：

Dolby Audio (Dolby Digital)、LPCM、MPEG Audio

● T S形式（.mts、.m2ts、.tp、.trp、.ts、.tts）

ビデオコーデック：

H.264、H.265(HEVC)、MPEG1、MPEG2

オーディオコーデック：

AAC、Dolby Audio (Dolby Digital、Dolby Digital Plus、Dolby AC-4)、
HE-AAC、MPEG Audio

● We b M形式 (.webm)

ビデオコーデック：

VP9

オーディオコーデック：

Vorbis

■ 本機で表示できる字幕のフォーマット

● MicroDVD、SubRip、TMPlayer (.srt、.sub、.txt)

- 動画ファイルと同じフォルダ内に保存した同名の字幕ファイルを表示できます。
 - 2つ以上の字幕ファイルが同じフォルダ内にあるとき、「.srt」、「.sub」、「.txt」の優先順位で表示されます。
-

= お知らせ =

- メディアプレーヤーとお部屋ジャンプリンクでは、再生できるファイルフォーマットが異なります。

音楽のフォーマット

■ 本機で再生できる音楽のフォーマット

● MP3形式 (.mp3)

● M4A形式 (AAC、Apple Lossless) (.m4a)

- 著作権保護技術により保護されたファイルは再生できません。
-

● FLAC形式 (.flac)

● WAV形式 (LPCM) (.wav)

お知らせ

- これらの条件を満たしているファイルであっても、再生を保証するものではありません。
- ファイルによっては、字幕やチャプターの機能は使えないことがあります。
- ファイル名にマルチバイト文字や特殊文字を使用しないでください。
- ファイル名やフォルダ名を変更した場合、本機で使えなくなることがあります。
- すべてのサーバー機器とのファイル再生を保証するものではありません。
- 本機が対応していないファイル形式の動画、静止画なども一覧に表示されます。
- サーバー機器によっては、ファイルを配信する際にファイル形式を変換（トランスコード）して配信する機器があります。この場合には変換後のファイル形式が本機の再生可能なファイル形式と同じである必要があります。ファイル形式を変換するか、変換後のファイル形式が何になるかについては、サーバー機器の取扱説明書をご覧ください。また、ファイル形式を変換して配信するサーバー機器との動作を保証するものではありません。
- 動画、静止画などの再生および表示などはサーバーの状態によっては行えない場合があります。また、本機が対応していないファイル形式の動画、静止画などの再生および表示は行えません。
- TS形式／PS形式の映像としてはディーガやパソコンなどで録画したデジタル放送や地上アナログ放送の番組などがあります。
- 地上デジタル／BSデジタル放送などを録画したものの再生には、DTCP-IP機能に対応したサーバー機器が必要になります。サーバー機器にDTCP-IPがあるかどうかは、サーバー機器の取扱説明書をご覧ください。

いろいろな機能

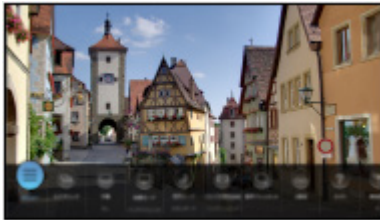
メニュー画面について

メニュー画面について

メニュー画面から、本機の設定や映像モード、音声モードの変更、字幕やピエラ操作ガイドの表示などいろいろな機能を選択することができます。

1. [メニュー] ボタンを押す

(例)



- ◀ または ▶ ボタンを押して、機能を選択できます。
- 設定値が表示されている項目は、△ または ▽ ボタンを押して設定を変更できます。

2. 操作する機能を選び、[決定] ボタンを押す

- 本機の設定を変更するには、**設定**を選択します。
- **編集**を選択すると、機能の位置を移動したり、表示／非表示を切り換えることができます。画面の表示内容に従って操作してください。

● メニュー画面を消すときは、[戻る] ボタンを押す

= お知らせ =

- 表示される機能や画面は予告なく変更する場合があります。また、画面の表示は機種によって一部異なります。

くらし機能を使う

くらし設定をする

くらし機能に対応する当社製家電製品と連携することで、音声による通知機能を設定することができます。

- ご利用になるには、対応サービスへの会員登録と、本機および連携する当社製家電製品をインターネットに接続する必要があります。ネットワーク接続とネットワーク設定ができていることをご確認ください。

 → ネットワーク > ネットワークに接続する

 → ネットワーク > ネットワークを利用するための接続設定をする

- くらし機能に対応する当社製家電製品や連携する家電製品の設定などについては、以下のサポートサイト（ホームページ）をご覧ください。

<https://panasonic.jp/voicepush/>

- 連携する家電製品の設定や操作、連携できる機能内容については、連携する機器の取扱説明書も併せてご覧ください。

1. [メニュー] ボタンを押して**設定**を選び、[決定] ボタンを押す
2. **機器設定** > **くらし設定**を選び、[決定] ボタンを押す
 - 画面にメッセージが表示された場合は、表示内容に従ってください。
3. **音声プッシュ通知**を選び、[決定] ボタンを押す
 - 天気や家電の情報など、お客様の設定に応じて、通知内容や通知方法、音量などを設定します。

4. 以降は画面の表示内容に従って設定する

通知を受信する

(**オン** / **オフ**)

オンに設定するとくらし機器、サービスから通知があった場合にお知らせします。

お知らせ方法

(**音声とテキスト** / **音声のみ** / **テキストのみ**)

通知があった場合のお知らせ方法を設定します。

電源オフ中の音声

(**オン** / **オフ**)

オンに設定すると電源オフ中でも通知を受けたときに音声でお知らせします。

音量設定

(**大** / **中** / **小**)

音声でお知らせするときの音量を設定します。

通知時間帯設定

お休み中など通知しない時間帯を設定します。

お知らせ内容設定

くらし機器、サービスからのお知らせ内容を設定します。

通知一覧

今までにお知らせした通知を表示します。

各種設定

その他の機能に関する設定や、利用規約・ソフト情報を表示します。

■ かんたん引継ぎ機能を設定する

お買い上げ時のかんたん設置設定を行うときに、設置済みの当社製機器からネットワーク接続情報や郵便番号などを引き継ぎ、新しく購入した当社製家電製品の設定をかんたんに行うことができます。

1. [メニュー] ボタンを押して設定を選び、[決定] ボタンを押す
2. 機器設定 > かんたん設定引き継ぎを選び、[決定] ボタンを押す
3. オン / オフを選び、[決定] ボタンを押す
 - オンに設定しているときに画面にメッセージが表示された場合は、表示内容に従ってください。

■ 新しく購入した当社製家電製品がくらし機能に対応しているときは

1. 本機およびくらし機能に対応する機器の電源を入れる
 - 連携できる機器がある場合は本機の画面にお知らせが表示されます。ご使用の環境によっては、お知らせが表示されるまでにしばらく時間がかかることがあります。
2. 画面の表示内容に従って操作する

過去未来番組表を使う

過去未来番組表を使う

過去未来番組表を利用して、チューナー部に内蔵のHDDに録画している番組や、宅内のネットワークに接続されたディーガやビエラに録画している番組を番組表にまとめて表示して再生することができます。

番組表には、最大30日前までの録画番組を表示できます。

- 過去未来番組表を利用してディーガやビエラの録画番組を再生するときは、ネットワークへの接続と設定が必要です。ネットワーク接続とネットワーク設定ができていることをご確認ください。

 → ネットワーク > ネットワークに接続する

 → ネットワーク > ネットワークを利用するための接続設定をする

- 過去未来番組表に対応するディーガやビエラについては、サポートサイト（ホームページ）をご覧ください。

 → 困ったときは / よくあるご質問 / English Guide > インターネットを通じて、サポートサイト（ホームページ）を見る > 本機のサポート情報を見る

= お知らせ =

- 本サービスは第三者情報を使用しているため、当該提供者の都合により予告なくサービス内容・画面が変更・停止等する場合があります。
- 録画当日の番組編成が急に変更された場合や、録画が中断されたときは、番組表に表示される録画開始時間や録画時間の番組情報が実際と異なる場合があります。
- 本機以外のビエラに録画している4K放送の番組は表示されません。

■ 過去未来番組表を利用する

1. [番組表] ボタンを押して番組表を表示する

- 機能説明画面が表示された場合は、画面の表示内容に従って設定すると過去未来番組表を利用できます。
- 設定画面で設定する場合は、[過去未来番組表を利用する](#)に設定し、以降は画面の表示内容に従って操作してください。

 → [いろいろな機能 > 過去未来番組表を使う > 過去未来番組表の設定をする](#)

- [△] ボタンで録画している番組を表示します。
- [青] ボタンで前日、[赤] ボタンで翌日の番組表を見ることができます。
- [緑] ボタンで現在放送中の番組表へ移動します。
- チャンネル別の番組表を見るには、[黄] ボタンを押します。
 - 1局番組表を表示します。
 - [青] ボタンで前のチャンネル、[赤] ボタンで次のチャンネル、[黄] ボタンで全チャンネル表示をします。
- 過去未来番組表（録画している番組）は、以下のように表示します。

（例）



- ① 録画している番組（時刻の帯がグレー表示されます）
- ② 選択中の 1 日分すべての番組が録画されていない場合
- ③ 番組が録画されていない場合（空白表示）

2. 録画番組を選び、[決定] ボタンを押す

- [番組内容](#)画面を表示します。

3. [再生する](#)を選び、[決定] ボタンを押す

- 選んだ録画番組を再生します。
- 操作方法については、以下をご参照ください。

→ [メディアプレーヤー](#) > [録画した番組を再生・編集する](#) > [録画番組を再生・操作する](#)

- [再生機器変更](#)を選び、[決定] ボタンを押して再生する機器を変更できます。
 - 現在選択中の再生機器が画面右下に表示されます。
- [毎週一覧](#)を選び、[決定] ボタンを押して同じ番組名などの類似番組や、同じ時間帯の番組を表示できます。
 - [青] または [赤] ボタンを押して、毎週表示と毎日表示を切り換えることができます。
 - 録画している番組は時刻の帯がグレー表示されます。
- [保存する](#)を選び、[決定] ボタンを押してチャンネル録画された番組を選択中のディーガに保存（ダビング）できます。
チャンネル録画番組の保存については、全自動ディーガの取扱説明書をご覧ください。
- 録画中の番組を選択した場合に[始めから見る](#)が表示されているときは、[始めから見る](#)を選び、[決定] ボタンを押すと、追っかけ再生を開始します。

= お知らせ =

- 録画されていない番組は表示されないため、全自動ディーガ（チャンネル録画対応）をご使用いただくと、多くの番組が表示できます。
- 番組表の操作や画面については、以下も併せてご参照ください。

→ [テレビを見る](#) > [番組表の使い方](#)

- 録画している番組を選択中に表示されるサムネイルの表示に、時間がかかる場合があります。

■ 表示する日付を選択する

1. 番組表を表示中に [サブメニュー] ボタンを押す
2. **日付選択**を選び、[決定] ボタンを押す
3. 表示したい日付を選び、[決定] ボタンを押す
 - [青] ボタンで前月、[赤] ボタンで翌月の日付に切り換えることができます。

■ 録画している番組データを更新する

1. 番組表を表示中に [サブメニュー] ボタンを押す
2. **過去番組データ更新**を選び、[決定] ボタンを押す
 - 番組データは次回番組表を表示したときに更新されます。
 - 録画機器やサーバーの状態によっては時間がかかることがあります。

過去未来番組表の設定をする

1. [メニュー] ボタンを押して[設定](#)を選び、[決定] ボタンを押す
2. [ネットワーク設定](#) > [過去未来番組表設定](#)を選び、[決定] ボタンを押す
3. 設定したい項目を選び、[決定] ボタンを押す

[過去未来番組表](#) / [表示日数](#) / [録画機器一覧](#) / [機能説明](#)

4. 項目ごとに設定する
-

[過去未来番組表](#)

([利用する](#) / [利用しない](#))

[利用する](#)に設定すると、過去未来番組表をご利用できます。

画面の表示内容に従って設定してください。

[表示日数](#)

([7日](#) / [14日](#) / [21日](#) / [30日](#))

過去の番組表を表示する日数を設定します。

[録画機器一覧](#)

ネットワークに接続されている録画機器を登録・解除します。

- 過去の番組表に表示する機器を最大で5台まで登録できます。
-

[機能説明](#)

過去未来番組表の機能を確認します。

ミラーリング機能を使う

ミラーリング機能を利用する

ミラーリング機能に対応したスマートフォンやタブレット端末、パソコンなどの画面を、本機の画面に表示できます。

- スマートフォンやタブレット端末、パソコンなど、機器側での設定が必要になる場合があります。
- スマートフォンやタブレット端末、パソコンなどの設定や操作については、接続した機器の取扱説明書をご覧ください。
- お手持ちの端末のミラーリング機能については、端末の取扱説明書をご覧ください。ただし、ミラーリング機能対応端末との動作を保証するものではありませんので、あらかじめご了承ください。なお、i O Sを採用した端末には対応していません。

1. [メニュー] ボタンを押す
2. [ミラーリング](#)を選び、[決定] ボタンを押す
 - 以降は画面の表示に従って操作してください。

ミラーリング機能の設定をする

1. [メニュー] ボタンを押して[設定](#)を選び、[決定] ボタンを押す
 2. [ネットワーク設定](#) > [ミラーリング設定](#)を選び、[決定] ボタンを押す
 3. [ペアリング情報削除](#)を選び、[決定] ボタンを押す
 4. 画面の表示内容に従って設定する
-

ペアリング情報削除

登録（ペアリング）済みのスマートフォンやタブレット端末、パソコンなどの情報をすべて削除します。

= お知らせ =

- 本機にはスマートフォンやタブレット端末、パソコンなどの機器を6台まで登録（ペアリング）できます。

ビエラリンク（HDMI）を使う

ビエラリンクの概要

本機とHDMIケーブルを使って接続したビエラリンク（HDMI）対応機器（ディーガやシアターなど）を自動的に連動させて、本機のリモコン1つで簡単に操作して、映像や音楽を楽しむことができます。

- すべての操作ができるものではありません。
- 本機はビエラリンク（HDMI）Ver. 5に対応しています。
- 機器が対応しているビエラリンクのバージョンによって、一部、機能が制限されることがあります。対応しているビエラリンクのバージョンについては接続する機器の取扱説明書をご確認ください。
- ビエラリンク（HDMI）は、HDMI CEC（Consumer Electronics Control）と呼ばれる業界標準のHDMIによるコントロール機能をベースに、当社独自機能を追加したものです。よって、他社製HDMI CEC対応機器との動作保証はしておりません。
- ビエラリンクは、他社製HDMI CEC対応機器でも一部機能が動作することがあります。
- ビエラリンクに対応した他社製品については、その製品の取扱説明書をご確認ください。
- 接続方法の詳細については、👉📖 取扱説明書をご覧ください。

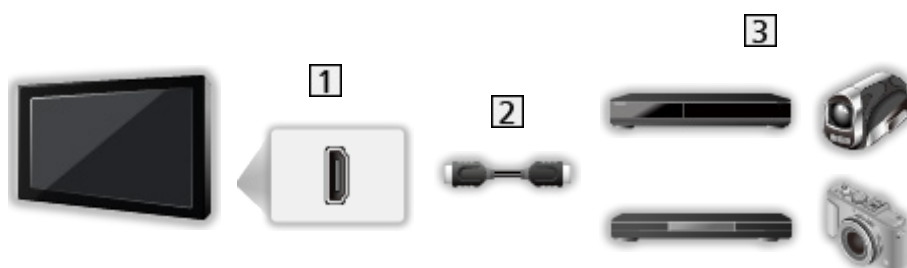
■ ビエラリンク（HDMI 接続）

- HDMI規格に準拠していないケーブルでは動作しません。当社製HDMIケーブルはパナソニック製品取扱店でお買い求めいただけます。
- ビエラリンク対応機器を、モニターのHDMI端子へHDMIケーブル（別売品）で接続してください。

ビエラリンクで録画に使う機器は、HDMI 1端子に接続してください。

ビエラリンク対応デジタルビデオカメラやデジタルカメラを接続するときのケーブルについては、機器の取扱説明書をご参照ください。

- チューナー部背面のHDMI端子は、設定用出力のためビエラリンク（HDMI）対応機器を接続することはできません。



① HDMI 端子

② HDMI ケーブル（別売品）

③ ビエラリンク（HDMI）対応機器（ディーガ / DVDプレーヤー / ブルーレイディスクプレーヤー / CATVデジタルSTB / スカパー！プレミアムサービスDVR / デジタルビデオカメラ / デジタルカメラ）

■ 機能（HDMI 接続）

ディーガ / DVDプレーヤー / ブルーレイディスクプレーヤー

- 簡単再生
 - 電源オン連動
 - 電源オフ連動
 - ECOスタンバイ※ 2
 - こまめにオフ※ 1
 - 機器を操作する※ 1
-

CATVデジタルSTB / スカパー！プレミアムサービスDVR

- 電源オン連動
 - 電源オフ連動
 - ECOスタンバイ※ 2
 - こまめにオフ※ 2
 - 機器を操作する※ 1
-

デジタルビデオカメラ / デジタルカメラ

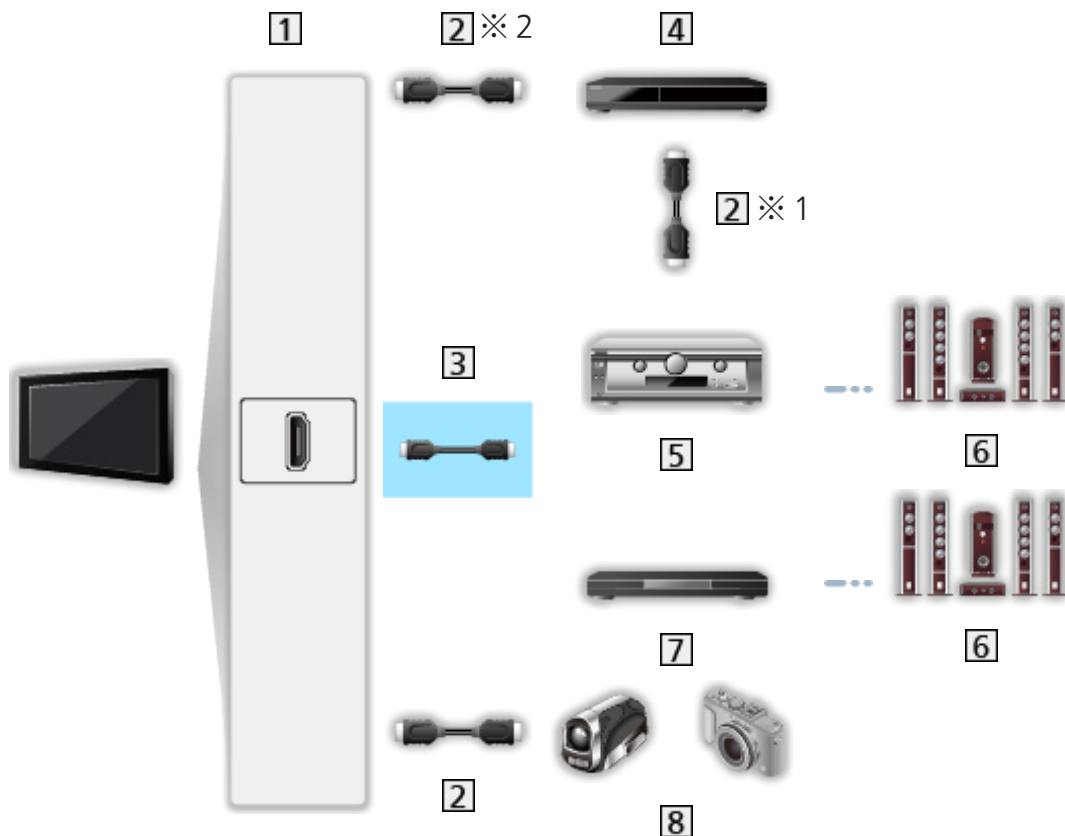
- 簡単再生
 - 電源オン連動
 - 電源オフ連動
 - 機器を操作する※ 1
-

※ 1：ビデオリンク Ver. 2 以上に対応している機器

※ 2：ビデオリンク Ver. 4 以上に対応している機器

■ ビデオリンク（HDMI と音声出力の接続）

- HDMI 規格に準拠していないケーブルでは動作しません。当社製 HDMI ケーブルはパナソニック製品取扱店でお買い求めいただけます。
- ビデオリンク（HDMI）対応機器を、本機の HDMI 端子へ HDMI ケーブル（別売品）で接続してください。
- 本機は eARC / ARC に対応したシアターのみ使用できます。eARC / ARC 対応のシアターは、HDMI 2 端子に接続してください。
- チューナー部背面の HDMI 端子は、設定用出力のためビデオリンク（HDMI）対応機器を接続することはできません。



- ① HDMI 端子
- ② HDMI ケーブル（別売品）
- ③ HDMI ケーブル（別売品）
- ④ ビエラリンク対応ディーガ
- ⑤ ビエラリンク対応アンプ
- ⑥ スピーカーシステム
- ⑦ ビエラリンク対応シアター / ブルーレイディスクシアター
- ⑧ ビエラリンク対応デジタルビデオカメラ / デジタルカメラ

※ 1：アンプやシアターは、本機とディーガの間に接続します。

※ 2：アンプやシアターの HDMI 端子が 4 K 映像信号に対応していない場合に本機で 4 K 映像を見るには、ディーガを本機の HDMI 端子に直接接続してください。

- 接続方法の詳細については、📖 取扱説明書をご覧ください。

■ 機能（HDMI と音声出力の接続）

シアター

- 簡単再生※ 3
- 電源オン連動
- 電源オフ連動
- こまめにオフ※ 1 ※ 4

- 機器を操作する※ 1
 - 音声を切り換える
-

ブルーレイディスクシアター

- 簡単再生※ 3
 - 電源オン連動
 - 電源オフ連動
 - こまめにオフ※ 1 ※ 4
 - 機器を操作する※ 1
 - 音声を切り換える
-

アンプ

- 電源オフ連動
 - こまめにオフ※ 1
 - 音声を切り換える
-

※ 1：ビエラリンク Ver. 2 以上に対応している機器

※ 2：ビエラリンク Ver. 4 以上に対応している機器

※ 3：ディスクを再生中

※ 4：ディスクを再生して本機で映像を映しているとき以外

■ ビエラリンク（HDMI）対応機器を操作する

ビエラリンク（HDMI）で操作できるのは、各機器につき 1 台です。同じ種類のビエラリンク（HDMI）対応機器を複数接続した場合、ビエラリンク（HDMI）で操作できるものは、番号の小さい HDMI 端子に接続した機器のみです。



→ いろいろな機能 > ビエラリンク（HDMI）を使う > ディーガなどの機器を操作する

ビエラリンクをお使いになる前に

- ビエラリンク（HDMI）対応機器を接続してください。
- ビエラリンクの接続については



→ [いろいろな機能 > ビエラリンク（HDMI）を使う > ビエラリンクの概要](#)

- HDMI 規格に準拠していないケーブルでは動作しません。当社製HDMIケーブルはパナソニック製品取扱店でお買い求めいただけます。
- ビエラリンク（HDMI）を使うには、接続した機器側の設定も必要です。設定については、各機器の取扱説明書をご覧ください。
- [機器設定のビエラリンク（HDMI）設定](#)で、[ビエラリンクをオン](#)に設定してください。
- 本機を連携させるには

接続完了後、すべての接続したビエラリンク（HDMI）対応機器の電源を入れた状態で、本機の電源を入れ直してください。その後、[入力切換] ボタンを押して入力を切り換え、接続したHDMI入力ごとに映像を確認してください。（これらの作業は、以下の場合に必要です。）

- 最初に設定するとき
- 機器を追加したり、再接続したとき
- 設定を変更したとき

電源オン連動

この機能を使用するには、**ビエラリンク（HDMI）設定**の**電源オン連動**を**オン**に設定してください。

接続機器が作動すると、本機の電源を自動的に「入」にします。（リモコンで本機の電源を「切」にしている場合）

= お知らせ =

- **電源オン連動**を**オン**に設定している場合、リモコンで電源を「切」にすると、待機状態であることを示すためにモニター本体の電源ランプが橙色になります。

電源オフ連動

この機能を使用するには、**ビエラリンク（HDMI）設定**の**電源オフ連動**を**オン**に設定してください。

本機の電源を「切」にしたとき、ディーガやシアターの電源も「切」にします。

- この機能は自動的に本機の電源が切れる場合にも働きます。

= お知らせ =

- **電源オフ連動**を**オン**に設定中、接続機器の状態（録画中など）によっては、電源が「切」にならない場合があります。
- 本機はe ARC / ARCに対応したシアターのみ使用できます。

ECOスタンバイ

この機能を使用するには、**ビエラリンク（HDMI）設定**の**ECOスタンバイをオン**に設定してください。

接続機器の待機時の消費電力を最小にしたり、すぐに立ち上がるように少し消費電力を大きくしたり、本機の状態に合わせてコントロールします。

本機の電源を「切」にしたとき、連動して接続機器の消費電力を最小モードに切り換えます。

本機の電源を「入」にしたとき、接続機器はまだ待機状態ですが、すばやく起動するように、接続機器の消費電力が少し上がります。

- この機能は、接続機器が待機時の消費電力を調整できる機能を持っているとき、電力消費を節約できます。
- この機能を使用するには、**電源オフ連動**を**オン**に設定してください。

こまめにオフ

この機能を使用するには、**ビエラリンク（HDMI）設定のこまめにオフ**を**オン**に設定してください。

本機の電源が「入」であっても、消費電力を減らすため、使っていない接続機器の電源を個別に自動で「切」にします。例えば、入力がHDMIから切り換わったときや**音声を切り換える**で**テレビ**に変更したとき（ディスクを再生して本機で映像を映しているとき以外）に働きます。

- この機能は接続機器によっては正しく働かないことがあります。そのような場合は、設定を**オフ**にしてください。

ディーガの操作

ディーガの入力に切り換えているときに、本機のリモコンでディーガ操作に有効なボタンを追加します。

この機能を使用するには、**ビエラリンク（HDMI）設定のディーガの操作を拡大**に設定してください。

- **拡大**に設定すると、以下のボタンがディーガ操作に有効なボタンとして追加されます。
 - ビエラリンク（HDMI）Ver. 4 以上の場合（接続するディーガの機能により操作できないボタンがあります）
[チャンネル]、[1～12]、[地上]、[BS]、[CS]、[BS／CS 4K]、[番組表]、[音声切換]、[データ]
 - ビエラリンク Ver. 2、ビエラリンク（HDMI）Ver. 3 の場合
[チャンネル]、[番組表]
- **通常**に設定するとビエラリンク（HDMI）接続のディーガ視聴中に使えるボタンを追加しません。

テスト（ディーガ電源）

ビエラリンクを使ってディーガの電源が「入」/「切」できるか確認します。

ビエラリンク（HDMI）設定のテスト（ディーガ電源）をオンまたはオフに設定してください。

- オンまたはオフに連動してディーガの電源が「入」または「切」すれば正常です。
- ディーガの電源が「入」または「切」しない場合は、ビエラリンク（HDMI）の接続をご確認ください。



[→ いろいろな機能 > ビエラリンク（HDMI）を使う > ビエラリンクの概要](#)

ディーガなどの機器を操作する

本機のリモコンで接続機器の操作ができます。リモコンは、本機に向けて操作します。

1. [メニュー] ボタンを押して**ビエラリンク**を選び、[決定] ボタンを押す
2. **機器を操作する**を選び、[決定] ボタンを押す
3. 操作する接続機器を選び、[決定] ボタンを押す
(アクセスした接続機器の設定 (メニュー) 画面が表示されます。)
 - 接続機器によって表示される内容は異なります。
4. 画面の表示内容に従って接続機器の設定 (メニュー) 画面を操作する
 - 操作ガイドを表示するには、映像を視聴中に以下のボタンを押してください。
ディーガ : [サブメニュー] ボタン
サーバー機器 / 本機以外のビエラ : [画面表示] ボタン
(他社製の接続機器にアクセスした場合は、設定 / コンテンツ選択画面が表示されることがあります。)
 - 利用できるリモコンボタンは、接続機器によって異なります。
 - 同じ種類のビエラリンク (HDMI) 対応機器を複数接続した場合、ビエラリンク (HDMI) で操作できるものは、番号の小さいHDMI端子に接続した機器のみです。
 - 再生中はリモコンの外部機器操作ボタンで操作ができます。



→ **テレビを見る > 外部機器をつないで見る、聴く > 本機のリモコンで外部機器を操作する**

● 本機の操作に戻るには

- 1) [メニュー] ボタンを押して**ビエラリンク**を選び、[決定] ボタンを押す
- 2) **テレビに戻る**を選び、[決定] ボタンを押す

■ HDMI 接続のディーガを操作する

本機とHDMIケーブルを使って接続したビエラリンク (HDMI) 対応のディーガを自動的に連動させて、本機のリモコンで簡単に操作できます。

- すべての操作ができるものではありません。
1. [メニュー] ボタンを押して**ビエラリンク**を選び、[決定] ボタンを押す
 2. **機器を操作する**を選び、[決定] ボタンを押す
 3. **ディーガ**を選び、[決定] ボタンを押す
 - ディーガの操作画面に切り換わります。
 4. 接続したディーガに応じて、設定 (メニュー) 画面を操作する
 - ディーガの詳しい操作方法については、ディーガの取扱説明書をご覧ください。

= お知らせ =

- ディーガのリモコンを操作して、再生したときやディーガの操作画面が表示状態になったときは、自動的に本機の電源が「入」になり、ディーガの画面に切り換わります。

■ ケーブルテレビ（CATV）のSTBやスカパー！プレミアムサービスDVRを操作する

本機とHDMIケーブルを使って接続したビエラリンク（HDMI）対応のCATVデジタルSTBやスカパー！プレミアムサービスDVRを自動的に連動させて、本機のリモコンで簡単に操作できます。

- すべての操作ができるものではありません。

1. [メニュー] ボタンを押して**ビエラリンク**を選び、[決定] ボタンを押す

2. **機器を操作する**で**ケーブルテレビ**または**スカパー！**を選び、[決定] ボタンを押す

- ケーブルテレビまたはスカパー！プレミアムサービスの画面になります。
- CATVデジタルSTB側またはスカパー！プレミアムサービスDVR側の設定（メニュー）画面を表示するには、接続した機器の画面でもう一度上記の操作を行ってください。
- CATVデジタルSTBまたはスカパー！プレミアムサービスDVRの詳しい操作方法については、接続した機器の説明書をご覧ください。

- CATVデジタルSTBの操作から本機の操作に戻るには

1) [メニュー] ボタンを押して**ビエラリンク**を選び、[決定] ボタンを押す

2) **テレビに戻る**を選び、[決定] ボタンを押す

- スカパー！プレミアムサービスDVRの操作から本機の操作に戻るには [元の画面] ボタンを押します。

= お知らせ =

- 初めて接続したときや接続・設定を変更したときは、[入力切替] ボタンを押して機器を接続しているHDMI入力に切り換えてください。
- 操作できるCATVデジタルSTBやスカパー！プレミアムサービスDVRはそれぞれ1台のみです。

■ ビエラリンク非対応の機器にアクセスしたとき

接続機器のタイプが表示されます。機器にアクセスはできますが、リモコンで操作することはできません。接続機器のリモコンで操作してください。

= お知らせ =

- 接続機器を操作できない場合は、設定や接続機器を確認してください。



→ [いろいろな機能 > ビエラリンク（HDMI）を使う > ビエラリンクの概要](#)

- 接続機器によっては、本機のリモコンでは操作できない機能もあります。そのような場合は、接続機器のリモコンで操作してください。
- 接続機器の操作の詳細については、接続機器の取扱説明書をご覧ください。

シアターの音声を切り換える

本機のリモコンでシアターの操作ができます。リモコンは、本機に向けて操作します。

- すべての操作ができるものではありません。
- 本機はe ARC / ARCに対応したシアターのみ使用できます。e ARC / ARC対応のシアターは、HDMI 2端子に接続してください。

1. [メニュー] ボタンを押して**ビエラリンク**を選び、[決定] ボタンを押す
2. **音声を切り換える**を選び、[決定] ボタンを押す
3. **シアター / テレビ**を選び、設定する

シアター：

シアターのスピーカーから音声が流れます。シアターが待機状態の場合は、自動的に電源が入ります。

- 本機からの音声は消えます。シアターの電源が切れた場合は、また本機から音声が流れます。
- [音量] ボタン、[消音] ボタンで音量を調節できます。



テレビ：

本機から音声が流れます。

= お知らせ =

- ディーガなどの外部機器を直接シアターに入力してシアターから音声を出力している場合は、本機に接続したヘッドホン / イヤホンで音声を聴くことはできません。

■ シアターのサウンドを切り換える

シアターサウンドを楽しむときに設定します。

- **ビエラリンク** > **音声を切り換える**で**シアター**を選択すると設定できます。

1. [メニュー] ボタンを押して**ビエラリンク**を選び、[決定] ボタンを押す
2. **シアターサウンドを切り換える**を選び、設定する

オート：

番組に応じた最適なサウンドに自動的に切り換えます。

スタンダード：

全音域をバランスよくした音に調整します。

スタジアム：

広がり感を重視した音に調整します。

ミュージック：

メリハリ感を強調した音に調整します。

シネマ：

映画の視聴に適した音に調整します。

ニュース：

人の声を聴きやすくした音に調整します。

= お知らせ =

- 本機で選んだサウンドに応じ、シアターの音場効果が切り換わります。
- シアターがビエラリンク Ver. 2 に対応している場合は **オート** を除く 5 つ、ビエラリンク (HDMI) Ver. 3 以上に対応している場合は **オート** を含めた 6 つのサウンドに切り換えられます。
- メディアプレーヤーの BGM 設定を **オフ** にして、写真を見ているときはサウンドは切り換わりません。

■ マルチチャンネルの音声

アンプを使ってドルビーオーディオ 5.1 ch などのマルチチャンネルの音声をお楽しみいただくには、eARC / ARC 対応のアンプを HDMI 2 端子に接続し、**シアター** を選択してください。

ディーガからのマルチチャンネルの音声をお楽しみいただくには、ディーガとアンプを HDMI ケーブル (別売品) で接続してください。

= お知らせ =

- 接続機器を操作できない場合は、設定や接続機器を確認してください。



→ [いろいろな機能 > ビエラリンク \(HDMI\) を使う > ビエラリンクの概要](#)

お知らせ

- 接続機器によっては、これらの機能が正常に働かないことがあります。
- 入力が切り換わったとき、最初の数秒間、映像や音声が出ないことがあります。
- ビエラリンク（HDMI）Ver. 5とは従来の当社製비에라링크機器にも対応した最新の当社基準です。
- 本機の비에라링크のバージョンを確認するには



→ 困ったときは / よくあるご質問 / English Guide > サポート情報 > ヘルプ機能を使う

制限項目や暗証番号に関する設定をする

制限項目を設定する

暗証番号を設定し、視聴できる年齢などを制限します。

- 設定した年齢によって制限対象となる番組を選ぶと、暗証番号の入力画面が表示されます。

1. [メニュー] ボタンを押して[設定](#)を選び、[決定] ボタンを押す
2. [機器設定](#) > [制限項目設定](#)を選び、[決定] ボタンを押す
3. [1～10] ボタンを押して暗証番号を4桁で入力する

- 暗証番号を初めて入力するときは、番号を2回入力して登録します。
- 番号は必ずメモをしておいてください。

4. 設定したい項目を選び、[決定] ボタンを押す

[暗証番号変更](#) / [視聴可能年齢](#) / [暗証番号削除](#)

5. 項目ごとに設定する
-

暗証番号変更

登録済みの暗証番号を変更します。

- 1) [1～10] ボタンを押して新しい暗証番号を4桁で入力する
 - 2) 画面の表示内容に従って、もう一度同じ暗証番号を入力する
-

視聴可能年齢

[4才～19才](#)（1才単位）、[無制限](#)（工場出荷時は[4才](#)です）

- 設定した年齢によって制限対象となる番組は、番組表などで「・・・」と表示されます。
-

暗証番号削除

登録済みの暗証番号を取り消します。

確認画面で[はい](#)を選び、[決定] ボタンを押すと、視聴制限など制限項目が解除されます。

= お知らせ =

- 録画中は設定できません。

地域やチャンネルなど設置に関する設定をする

設置設定をする

1. [メニュー] ボタンを押して[設定](#)を選び、[決定] ボタンを押す
2. [機器設定](#) > [設置設定](#)を選び、[決定] ボタンを押す
3. 設定したい項目を選び、[決定] ボタンを押す

[受信対象設定](#) / [チャンネル設定](#) / [番組表設定](#) / [地域設定](#) / [受信設定](#) / [リモコン設定](#) / [ACASチップテスト](#)

4. 項目ごとに設定する
-

受信対象設定

[BS / CS / BS / CS 4K](#) :

([使う](#) / [使わない](#))

視聴しない放送をリモコンの放送切換ボタンで、操作できないように設定します。

- [受信対象設定](#)の設定に関係なく、モニター本体の[電源] ボタンで入力切換を選択した場合は、BSとCS、BS / CS 4Kの操作ができます。

本体の[電源] ボタン操作については、以下をご参照ください。



→ [困ったときは / よくあるご質問 / English Guide > よくあるご質問 \(Q & A集\) > 本体の電源ボタンで本機を操作する方法がわからない](#)

チャンネル設定

地上 / 衛星デジタル放送のチャンネルを設定する

[地上デジタル](#) :

- 地上デジタル放送のチャンネルを設定する（初期スキャン）
 - 1) [地上デジタル](#) > [初期スキャン](#) > [地域選択](#)を選び、[決定] ボタンを押す
 - 2) お住まいの地域を選び、設定する
 - 地上デジタル放送のチャンネル設定を行うために、お住まいの地域を設定する必要があります。
 - 3) [次へ](#)を選び、[決定] ボタンを押す
 - 4) [UHF](#) / [全帯域](#)を選び、設定する
 - 通常は[UHF](#)を選択してください。
 - [全帯域](#)を選択すると、VHF、UHF、C 13～C 63の帯域をスキャンします。
 - 今までの設定はすべてリセットされ、自動的に設定し直します。
 - スキャンには10分程度かかり、スキャン中は映像が乱れることがあります。
 - 放送の電波が強すぎて映像が不安定になるときは、[受信設定のアッテネーター](#)を[オン](#)に設定し、もう一度操作してください。
 - 5) 内容を確認し、[戻る] ボタンを押して終了する
 - 修正するときは「地上デジタル放送のチャンネルを設定する（マニユア

ル)」をご覧ください。

- 地上デジタル放送のチャンネルを設定する（再スキャン）

受信状況が変わったときや新しい放送局が開局したときなどに、受信できる放送局を自動で追加します。

- 1) [地上デジタル](#) > [再スキャン](#)を選び、[決定] ボタンを押す

- 新たに受信できた放送局は自動的に追加されます。
- スキャンには10分程度かかり、スキャン中は映像が乱れることがあります。

- 2) 内容を確認し、[戻る] ボタンを押して終了する

- 修正するときは「地上デジタル放送のチャンネルを設定する（マニュアル）」をご覧ください。
- 放送の電波が強すぎて映像が不安定になるときは、[受信設定のアンテナ](#)を[オン](#)に設定し、[再スキャン](#)を行ってご確認ください。

- 地上デジタル放送のチャンネルを設定する（マニュアル）

リモコンの数字ボタンへの割り当てを、お好みで変えたいときに行います。

- 1) [地上デジタル](#) > [マニュアル](#)を選び、[決定] ボタンを押す

- 2) リモコンの数字ボタンで、修正したい行を選び、[決定] ボタンを押す

- 3) [CH](#)のチャンネル番号を変更する

- 4) [戻る] ボタンを押して終了する

- 行を入れ換えたいときは

- 1) [地上デジタル](#) > [マニュアル](#)を選び、[決定] ボタンを押す

- 2) [緑] ボタンを押す

- 3) 入れ換えたい行を選び、[決定] ボタンを押す

- 4) 入れ換え先の行を選び、[決定] ボタンを押す

- 5) [戻る] ボタンを押す

- 地上デジタル放送のチャンネル一覧表（PDF形式）は、サポートサイト（ホームページ）の品番別サポート情報でご覧になれます。

お手持ちのパソコンでご覧ください。



→ 困ったときは / よくあるご質問 / English Guide > インターネットを通じて、サポートサイト（ホームページ）を見る > 本機のサポート情報を見る

[BS / CS / BS／CS4K](#) :

衛星デジタル放送のチャンネルを設定します。

- 衛星デジタル放送（[BSデジタル](#) / [110度CSデジタル](#) / [BS4K](#) / [110度CS4Kデジタル](#)）のチャンネルは工場出荷時に設定されていますが、リモコンの数字ボタンへの割り当てをお好みで変えたいときに行います。

- 1) [BS / CS / BS／CS4K](#) を選び、[決定] ボタンを押す

- 2) リモコンの数字ボタン、修正したい行を選び、[決定] ボタンを押す

- 3) **CH**のチャンネル番号を変更する
 - 4) [戻る] ボタンを押して終了する
 - 行を入れ換えたいときは
 - 1) **BS / CS / BS / CS 4K** を選び、[決定] ボタンを押す
 - 2) [緑] ボタンを押す
 - 3) 入れ換えたい行を選び、[決定] ボタンを押す
 - 4) 入れ換え先の行を選び、[決定] ボタンを押す
 - 5) [戻る] ボタンを押す
-

番組表設定

Gガイド（電子番組表）の設定をします

Gガイド地域設定：

お住まいの地域に合った番組表を表示させる設定をします。お住まいの地域を選択してください。

Gガイド受信確認：

番組表データの受信スケジュールを確認します。

- Gガイド受信スケジュールの表示に最大6分かかります。
- **番組データの受信ができません**が表示されたときは、アンテナの接続およびGガイド地域設定をご確認ください。

通信による G ガイド受信：

(オン / オフ)

本機の電源を「入」にしたとき、インターネットを利用して最新の番組データを取得するための設定をします。

オンに設定すると、インターネットを利用して自動的に番組データを取得します。

- 最新の番組データを取得する場合は、本機をインターネットへ接続し、ネットワークの設定をしてください。
-

地域設定

データ放送で地域の情報を受信するための設定をします。お住まいが変わったときなどに必要です。

県域設定：

お住まいの地域を設定します

- 伊豆、小笠原諸島地域は**東京都島部**を選びます。
南西諸島鹿児島県地域は**鹿児島県島部**を選びます。

郵便番号：

郵便番号を入力します

- 郵便番号を入力するには、[1～10] ボタンで、1～9、0の番号を入力します。

- [黄] ボタンを押すと、1文字ずつ番号を消去します。

受信設定

地上：

放送の電波が強すぎて映像が不安定になるときは、**アッテネーター**を**オン**に設定すると、電波を弱めて安定させます。

衛星：

アンテナ電源のオフ / オンを設定します。

- **オン**に設定すると衛星アンテナのコンバーターへ電源を供給します。
(ブースターなどからコンバーターへ電源を供給しているときは**オフ**にしてください)

リモコン設定

リモコンを Bluetooth で登録（ペアリング）したり、登録（ペアリング）を解除します。

また、赤外線通信時に、本機のリモコンを操作したときに他機器が同時に動作するのを防ぎたいときにリモコンモードを変更します。（モード1とモード2があり、リモコン側と設定を同じにする必要があります）

リモコン登録 / リモコン登録解除

- 画面の表示内容に従って操作してください。
- リモコンを本機に登録（ペアリング）している場合、本機とリモコンは Bluetooth 通信を行いますので、リモコンでの電源「入」「切」以外は、リモコンを本体のリモコン受信部に向けなくても操作できます。
- リモコンで電源を「入」「切」するときや、リモコンを本機に登録（ペアリング）していない場合は、本機とリモコンは赤外線通信を行いますので、リモコンを本体のリモコン受信部に向けて操作してください。

受信リモコンモード設定：


（モード1 / モード2）

赤外線通信時に、モニター本体側の受信リモコンモードを設定します。

リモコンモードエラー表示：

（オン / オフ）

赤外線通信時に、モニター本体側の設定と異なるリモコンモードを連続して受信したときに、エラー画面を表示するか設定します。

- **オン**に設定すると、エラー画面を表示します。
 - リモコンモード2に設定されたリモコンを紛失した場合
 - リモコンモード1に設定された別の当社製テレビのリモコンがあれば、モニター本体側のリモコンモードを強制リセットしてリモコンモード1に変更できます。
- リモコンモードの設定については、 取扱説明書をご覧ください。
- 強制リセットでは、リモコンモード1からリモコンモード2に変更できません。

ACASチップテスト

ACASチップの動作を確認します。

- **異常が検出されました。**と表示された場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
-

= お知らせ =

- **Gガイド地域設定 / 地域設定**は**かんたん設置設定**を実行すると、自動的に設定されます。変更が必要な場合のみ設定してください。
- **Gガイド地域設定**を変更すると、番組情報を表示しなくなることがあります。表示されなくなった場合は、**かんたん設置設定**を最初からやり直してください。
- 録画中は設定できません。

電源ランプや表示窓、LEDの表示方法を切り換える

電源ランプ表示の設定をする

電源ランプ（モニター）の表示方法を切り換えます。

1. [メニュー] ボタンを押して**設定**を選び、[決定] ボタンを押す
2. **機器設定** > **その他の設定** > **電源ランプ表示（モニター）**を選び、[決定] ボタンを押す
3. **常時点灯** / **リモコンで電源「切」時のみ点灯** / **常時消灯**を選び、設定する
 - 確認画面が表示された場合は、内容を確認して**変更する** / **変更しない**を選び、[決定] ボタンを押してください。

常時点灯：

電源「入」時、およびリモコンで電源「切」時に点灯し、本機の状態をお知らせします。

リモコンで電源「切」時のみ点灯：

リモコンで電源「切」時にのみ点灯し、本機の状態をお知らせします。

常時消灯：

電源ランプは点灯しません。

= お知らせ =

- 設定にかかわらず、本機起動中やリモコンを操作するとモニターの電源ランプが点滅します。
- 本機の状態が変わったときや、一部の機能動作中に電源ランプが点灯する場合があります。
- ご覧になる番組や外部入力の映像によっては画面表示が消えて、本機の電源が入っているか、わからなくなる場合があります。

特に**常時消灯**を選んだ場合は、録画中やオンタイマーなど機能待機中のお知らせができなくなり、気付かないまま録画中のUSB機器を取り外すと、機器の故障やデータ破壊の原因となることがあります。

チューナー部の表示窓やＬＥＤの設定をする

チューナー部のＬＥＤが、録画中や写真・動画を取り込み時に点灯する明るさや、表示窓の表示方法を設定します。

1. [メニュー] ボタンを押して**設定**を選び、[決定] ボタンを押す
2. **機器設定** > **その他の設定**を選び、[決定] ボタンを押す
3. 設定したい項目を選び、[決定] ボタンを押す

表示窓の時計表示 (チューナー部) / 表示窓の明るさ (チューナー部) / ｋ ｋ ｋ の
明るさ (チューナー部)

4. 項目ごとに設定する
-

表示窓の時計表示 (チューナー部)

(**オン** / **オフ**)

オンにすると、電源「切」時に表示窓に時計を表示します。

- **オン**に設定するとリモコンで電源「切」時、消費電力が増えることがあります。
-

表示窓の明るさ (チューナー部)

(**明るい** / **暗い**)

表示窓の明るさを切り換えます。

ｋ ｋ ｋ の明るさ (チューナー部)

(**明るい** / **暗い** / **切**)

ｋ ｋ ｋ の明るさを設定します。**切**に設定すると電源「入」時や録画中、写真／動画の取り込み中にｋ ｋ ｋ は点灯しません。

= お知らせ =

- **ｋ ｋ ｋ の明るさ (チューナー部)** で**切**を選んだ場合は、録画中や写真・動画を取り込み中のお知らせができなくなり、気付かないままチューナー部の電源を切ると、機器の故障やデータ破壊の原因となることがあります。

チューナー部に関する設定をする

チューナー部のホーム画面について

モニターとチューナー部をHDMIケーブルを使って接続すると、チューナー部に関する機能を設定することができます。

- 設定を行う場合は、誤動作を避けるため、モニターのHDMI端子にはチューナー部以外の機器を接続しないでください。

また、[ビエラリンク（HDMI）設定のディーガの操作を拡大](#)に設定してください。

 → [いろいろな機能 > ビエラリンク（HDMI）を使う > ディーガの操作](#)

- HDMI接続については、以下をご参照ください。

 → [テレビを見る > 外部機器をつないで見る、聴く > 外部機器を接続する](#)

- チューナー部のHDMI端子（設定用出力）とモニターのHDMI端子（映像・音声入力）をHDMIケーブル（別売品）で接続する
- [メニュー] ボタンを押して[ビエラリンク](#)を選び、[決定] ボタンを押す
- [機器を操作する](#)を選び、[決定] ボタンを押す
- [ディーガ](#)を選び、[決定] ボタンを押す
 - チューナー部の操作画面に切り換わります。
- [初期設定](#) / [放送設定](#) / [メール／情報 診断コード](#)を選び、[決定] ボタンを押す

[初期設定](#)：

[初期設定](#)画面を表示します。

チューナー部に関する機能を設定することができます。

 → [いろいろな機能 > チューナー部に関する設定をする > チューナー部の初期設定をする](#)

[放送設定](#)：

[放送設定](#)画面を表示します。

地域やチャンネルなど、モニターでテレビ番組を視聴するために必要な設定をします。

 → [いろいろな機能 > チューナー部に関する設定をする > チューナー部の放送設定をする](#)

[メール／情報 診断コード](#)：

[メール／情報 診断コード](#)画面を表示します。

放送メールなど情報を表示したり、チューナー部の状態を診断することができます。

 → [いろいろな機能 > チューナー部に関する設定をする > チューナー部のメール／情報、診断コードを確認する](#)

- テレビ放送の画面に戻るには、HDMIケーブルを取り外し、チューナー部の[電源] ボタンを押して表示窓に時計表示が出ている状態にしたあと、[元の画面] ボタンを押します。

= お知らせ =

- 設定を変更すると映像や音声が出ないなど正常に動作しない場合があります。
- HDMI 規格に準拠していないケーブルでは動作しません。当社製HDMIケーブルはパナソニック製品取扱店でお買い求めいただけます。
- 放送メールなどの新着情報があるときは、[メール／情報 診断コード](#)にお知らせアイコンが表示されます。

チューナー部の初期設定をする

1. チューナー部のHDMI端子（設定用出力）とモニターのHDMI端子（映像・音声入力）をHDMIケーブル（別売品）で接続する
2. [メニュー] ボタンを押して[ビエラリンク](#)を選び、[決定] ボタンを押す
3. [機器を操作する](#)を選び、[決定] ボタンを押す
4. [ディーガ](#)を選び、[決定] ボタンを押す
5. [初期設定](#)を選び、[決定] ボタンを押す
6. 設定したい項目を選び、[決定] ボタンを押す

[設置設定](#) / [HDD設定](#) / [画面設定](#) / [テレビ／機器／ビエラリンクの接続設定](#) / [ネットワーク通信設定](#)

7. 項目ごとに設定する

設置設定

自動電源オフ

操作しないとき、節電のため自動的に電源を切る時間を設定します。

時間を設定すると、チューナー部の動作（録画など）が終了してから2時間後または6時間後に、電源が切れます。

日時設定

本機はデジタル放送から送られてくる情報を取得し、自動的に日時を修正しますので、通常は日時設定の必要はありません。

- チューナー部の表示窓に時刻が表示されていない場合は、アンテナケーブルの接続を確認してください。

本体表示窓

時計表示

チューナー部の表示窓に時計を表示する設定をします。

節電待機

節電待機モード

[節電待機の実行](#)でチューナー部の電源を「切」にしたときの待機モードを設定します。

節電待機の実行

節電待機状態でチューナー部の電源を「切」にします。電源「切」時の消費電力を少なくすることができます。

- チューナー部が節電待機状態で電源「切」時は、モニターの操作はできません。
- 電源を入れるときは、チューナー部の[電源] ボタンを押してください。

初期設定リセット

設定をお買い上げ時の設定に戻します。

ただし、以下の設定は初期化されません。

- 日時

- LAN接続形態
- 無線設定
- IPアドレス/DNS/プロキシサーバー設定
- お部屋ジャンプリンク/スカパー！Link（録画）設定の本機の名称

ソフトウェア更新（ネットワーク）

本機をインターネット接続している場合、チューナー部のソフトウェアが最新かどうかの確認や、ソフトウェアの更新をすることができます。

- 更新中は他の操作はできません。また、故障の原因となるので、以下の操作は行わないでください。
 - チューナー部の電源を切る
 - チューナー部の電源プラグをコンセントから抜く

ソフトウェア自動更新

自動でソフトウェアの更新や確認を行います。（更新は電源「切」時に行います）

ソフトウェア更新の実行

手動でソフトウェアの更新をします。

HDD設定

記録設定

ハイビジョン画質/スマホ転送番組の記録設定

二重音声記録時の音声選択

二重音声（二カ国語）番組を録画する場合に記録する音声を設定します。

記録アスペクト設定

480iの映像をハイビジョン画質で記録する場合のアスペクトを設定します。

自動チャプター

デジタル放送録画時にCMなどで自動的にチャプターを作成する設定をします。

- 録画する番組や録画モードによっては、正しく作成されない場合があります。

HDD設定

HDD管理

録画一覧の全番組消去

HDDに録画されている番組をすべて消去します。

写真/動画ファイルの全消去

HDDに取り込んだ写真や動画（AVCHD、MP4）ファイルをすべて消去します。

HDDのフォーマット

HDDの初期化を行います。HDDの内容がすべて消去されます。

画面設定

本体表示窓の明るさ

チューナー部の表示窓の明るさを調節します。

本体LEDの明るさ

チューナー部のLEDの明るさを調節します。

テレビ／機器／ビエラリンクの接続設定

ビエラリンク設定

ビエラリンク制御

ビエラリンク（HDMI）に対応した機器とHDMI端子で接続時、連動操作の設定をします。

HDMI 接続設定

出力解像度

接続した機器が対応している項目に「＊」が表示されます。「＊」の付いていない項目を選ぶと、映像が乱れることがあります。

- 4K対応テレビと接続する場合、通常は**オート（1080P）**を選択してください。

※最高解像度を表示します。

ネットワーク通信設定

通常は**無線／無線親機設定**、**IPアドレス／DNS／プロキシサーバー設定**の設定は不要です。

- 不明な場合、設置された方に確認するか、ルーターなどの説明書をご覧ください。

LAN接続形態

ネットワーク接続の方法を選びます。

無線／無線親機設定

無線接続時の設定をします。また、接続済みの場合は、設定内容や電波の状態を確認することができます。

- **LAN接続形態**が**無線**時のみ有効

IPアドレス／DNS／プロキシサーバー設定

接続テスト

ネットワークの接続状態を確認します。

- ネットワーク接続をしたあと、または**IPアドレス／DNS／プロキシサーバー設定**の各設定を終えたあとに必ず行ってください。
- 「NG」が表示された場合、接続と設定を確認してください。
- 「宅内機器使用可」は、宅内のネットワーク接続機器が使用できる状態です。

プロキシサーバー設定

ブロードバンド環境でお使いになり、プロバイダーから指示があるときに設定

してください。

- プロキシサーバーを設定すると、インターネットサービスが利用できなくなります。

宅外リモート接続設定

宅外リモート接続機能

- [入](#)にすると、お部屋ジャンプリンク機能は自動的に[入](#)になります。

機器パスワード初期化

機器ID確認

お部屋ジャンプリンク設定

アクセス許可方法

レート変換モード

画質モード

- レート変換モードが[オート](#)または[入](#)時のみ有効。

機器一覧

ディモラ／使用情報の送信設定

ディモラの機器登録を解除します。

チューナー部の放送設定をする

1. チューナー部のHDMI端子（設定用出力）とモニターのHDMI端子（映像・音声入力）をHDMIケーブル（別売品）で接続する
2. [メニュー] ボタンを押して[ビエラリンク](#)を選び、[決定] ボタンを押す
3. [機器を操作する](#)を選び、[決定] ボタンを押す
4. [ディーガ](#)を選び、[決定] ボタンを押す
5. [放送設定](#)を選び、[決定] ボタンを押す
6. 設定したい項目を選び、[決定] ボタンを押す

[かんたん設置設定](#) / [放送受信設定](#) / [デジタル放送 視聴・再生設定](#) / [ソフトウェア更新設定](#) / [放送設定リセット](#)

7. 項目ごとに設定する
-

[かんたん設置設定](#)

チャンネル設定などの設置設定をやり直すことができます。

[放送受信設定](#)

[受信対象設定](#)

放送視聴時や番組表で使わない放送を操作できないようにします。

- 地上デジタルは設定できません。

[チャンネル設定](#)

[番組表設定](#)

[Gガイド地域設定](#)

[かんたん設置設定](#)を行うと、自動的に設定されます。

[Gガイド受信確認](#)

番組表の受信スケジュールを確認できます。

[通信によるGガイド受信](#)

[入](#)に設定すると、インターネットを利用して注目番組を取得することができます。

- ネットワークの接続と設定が必要です。
- [入](#)に設定すると、常時接続状態になります。
- 2022 年 9 月現在、番組情報を取得できる放送局はNHK、スター・チャンネル、WOWOWのみです。
- 4K 放送の注目番組などのGガイド機能には非対応です。

[地域設定](#)

データ放送が正しく受信できていない場合に地域の修正を行います。

[県域設定](#)

[郵便番号](#)

[地域設定削除](#)

- お買い上げ時の状態に戻ります。

受信アンテナ設定

地上デジタル

アッテネーター

物理チャンネル選択

- 物理チャンネルを指定してアンテナレベル（信号品質）を確認します。

衛星

アンテナ電源

アンテナ出力

- チューナー部のBS・110度CSアンテナ出力端子からの信号出力の設定をします。

トランスポンダ選択

衛星周波数

- 放送局などから案内がない限り、変更しないでください。

ACASチップテスト

NGの場合、お買い上げの販売店にご相談ください。

デジタル放送 視聴・再生設定

字幕設定

HDDに録画した場合、デジタル放送の字幕や、番組からのお知らせなど（文字スーパー）を表示させるための設定です。設定しても番組によって無効になる場合があります。

字幕

字幕言語

文字スーパー

文字スーパー言語

制限項目設定

画面の指示に従って〔1～10〕ボタンを押して暗証番号を4桁で入力します。

- 10秒間ボタン操作がないと、元の画面に戻ります。
- 暗証番号を入力後、以下の設定を行ってください。

視聴可能年齢

年齢制限がある番組の視聴可能な年齢を設定できます。この設定した年齢によって制限対象となる番組は、番組表などで「・・・」と表示され、視聴するためには暗証番号の入力が必要です。

ブラウザ制限

ブラウザを利用するとき、暗証番号の入力が必要かどうかの設定をします。

暗証番号変更

暗証番号削除

設定した年齢を超えるなど視聴に制限のある番組を選ぶと、暗証番号入力画面が表

示されます。

- 暗証番号を入力すると、番組が映ります。

選局対象

デジタル放送で「チャンネル」ボタンを押して順送りできるチャンネルを設定できます。

- **設定チャンネル**を選ぶと、チャンネル設定で設定されている Po1 ～ 36 までのチャンネルを選局します。

ソフトウェア更新設定

ダウンロード予約

デジタル放送からの情報をチューナー部に取り込むことにより、ソフトウェアを最新のものに書き換えます。

- **自動**にすると、電源「切」時に自動的にダウンロードします。
- **手動**にすると、情報が届いたときにメールで知らせます。

放送設定リセット

設定項目リセット

アンテナ電源、**アンテナ出力**をお買い上げ時の設定に戻します。

個人情報リセット

日時設定以外の初期設定と放送設定の項目をお買い上げ時の設定に戻します。また、チューナー部に記録されているお客様の個人情報（メールやデータ放送のポイントなど）や、予約内容も消去します。廃棄などでチューナー部を手放される場合以外には、実行しないでください。

= お知らせ =

- 双方向データ放送をご利用の場合、チューナー部からの操作により、放送局に登録された情報はこの操作では消去されません。消去方法はそれぞれのサービスにお問い合わせください。
- HDDの番組などは、この操作では消去されません。消去するには、**HDDのフォーマット**を行ってください。

チューナー部のメール／情報、診断コードを確認する

■ 放送メールやACASチップなどの各種情報を見る

1. チューナー部のHDMI端子（設定用出力）とモニターのHDMI端子（映像・音声入力）をHDMIケーブル（別売品）で接続する
2. [メニュー] ボタンを押して**ビエラリンク**を選び、[決定] ボタンを押す
3. **機器を操作する**を選び、[決定] ボタンを押す
4. **ディーガ**を選び、[決定] ボタンを押す
5. **メール／情報 診断コード** > **メール／情報**を選び、[決定] ボタンを押す
6. 確認したい項目を選び、[決定] ボタンを押す

放送メール / ソフトウェア更新情報（ネットワーク） / ACASチップ / ID表示 / ボード

7. 項目ごとに確認する

放送メール

放送局や本機からのお知らせや情報を見ることができます。（インターネットメールではありません）

確認したいメールを選び、[決定] ボタンを押すと放送メールの内容を表示します。

＝ お知らせ ＝

- 放送メールには、放送局からのお知らせ（最大31通まで保存）や、本機の機能向上のためのダウンロード情報（最新の1通のみ保存）などがあります。
- ほとんどのメールは、お客様自身で消去することができません。
- メールが最大保存数を超えると、日付の古い順に消去されます。
- 放送メールの下の部分に、**ダウンロード予約**のボタンが表示されることがあります。

ソフトウェア更新情報（ネットワーク）

ネットワークからダウンロードした日付を確認できます。

ACASチップ

ACASチップの番号などの情報を確認します。

ID表示

本機のバージョンやシステム情報を表示します。

本機のビエラリンク（HDMI）のバージョン情報などを確認できます。

- その他の情報を見るには
 - [青] ボタン：本機のソフト情報を表示
 - [赤] ボタン：データ放送時のルート証明書情報を表示

ボード

110度CSデジタル放送から送られるボードの情報を確認します。

■ チューナー部の診断をする

チューナー部の故障と思われる症状が出たときに、チューナー部の状態を診断することができます。

1. チューナー部のHDMI端子（設定用出力）とモニターのHDMI端子（映像・音声入力）をHDMIケーブル（別売品）で接続する
2. [メニュー] ボタンを押して**ビエラリンク**を選び、[決定] ボタンを押す
3. **機器を操作する**を選び、[決定] ボタンを押す
4. **ディーガ**を選び、[決定] ボタンを押す
5. **メール／情報 診断コード** > **診断コード**を選び、[決定] ボタンを押す
6. 以降は、画面の表示内容に従ってください。

HDDに関する設定をする

HDDをフォーマットする

HDD（チューナー部に内蔵のハードディスク）の初期化を行います。HDDの内容がすべて消去されます。

1. [メニュー] ボタンを押して設定を選び、[決定] ボタンを押す
2. 機器設定 > HDDのフォーマットを選び、[決定] ボタンを3秒以上押す
3. 確認画面ではいを選び、[決定] ボタンを押す

= お知らせ =

- プロテクトされている録画番組や本機に取り込んだ写真・動画などすべての内容が削除されます。
- 録画中は設定できません。

お買い上げ時の設定に戻す

設定をリセットする

本機に記録されている設定を消去し、お買い上げ時の設定に戻します。

本機に記録されている地域やチャンネルなどの設定やお客様の操作に関する設定内容（メールやデータ放送のポイントなど）が消去されます。

1. [メニュー] ボタンを押して**設定**を選び、[決定] ボタンを押す
2. **機器設定** > **システム設定** > **設定リセット**を選び、[決定] ボタンを3秒以上押す
3. **設定リセット**画面で**モニターのみ**または**モニターとチューナー部**を選び、[決定] ボタンを押す

モニターのみ：

確認画面で**はい**を選び、[決定] ボタンを押します。

- モニターに関する設定をリセットします。チューナー部との接続をやり直したいときなどに選択します。チャンネル設定や録画予約などは消去されません。

モニターとチューナー部：

確認画面で**リセットの実行**を選び、[決定] ボタンを押します。


- モニターとチューナー部に記録されているすべての設定をリセットします。お買い上げ設定をやり直したり、廃棄や譲渡をしたりする場合に、お買い上げ時の状態に戻すときに選択します。

4. 画面の表示内容に従って操作する

- いったん画面が暗くなり、**お買い上げ設定**画面が表示されます。
 - お買い上げ設定画面が表示されるまで、モニターやチューナー部本体の電源を切らないでください。故障の原因となります。
 - お買い上げ設定画面が表示されたあと、一度チューナー部の電源プラグをコンセントから抜き、再度電源プラグを差し込んでください。

= お知らせ =

- 地上デジタル放送のチャンネルのみ再設定する場合は、**初期スキャン**、または**再スキャン**を実施してください。

 → **いろいろな機能** > **地域やチャンネルなど設置に関する設定をする** > **設置設定をする**

- 本機でHDDに録画した番組や取り込んだ写真・動画などは消去されません。消去するにはHDDのフォーマットを行ってください。

 → **いろいろな機能** > **HDDに関する設定をする** > **HDDをフォーマットする**

- **制限項目設定**で設定した暗証番号は消去されません。**制限項目設定の暗証番号削除**で消去してください。
- モニター本体側をリモコンモード2に設定していた場合は、リモコンモード1に戻ります。
- 双方向データ放送などをご利用の場合、本機からの操作により、放送局やインターネットのホームページに登録された情報は、この操作では消去されませんので、ご注意ください。それぞれのサービスで情報の消去操作（退会手続きなど）を行ってください。

■ チューナー部を廃棄 / 譲渡する場合

チューナー部とモニターにはお客様の操作に関する個人情報（メールやデータ放送のポイントなど）などが記録されている場合があります。廃棄や譲渡などでチューナー部を手放される場合は、[ディモラ設定の機器登録解除](#)で機器登録を解除してから、[機器設定のHDDのフォーマット](#)を実行したうえ、[設定リセット > モニターとチューナー部](#)を実行し、記録された情報を必ず消去してください。

 → [ネットワーク > ネットワークを利用するための接続設定をする > スマホアプリ / ディモラの設定をする](#)

 → [いろいろな機能 > HDDに関する設定をする > HDDをフォーマットする](#)

- チューナー部を廃棄する際は、各自治体の指示に従ってください。

ソフトウェアの更新

ソフトウェアの更新について

新しいソフトウェアがある場合、本機にダウンロードして操作性や性能を向上できます。

■ チューナー部のソフトウェア更新について

以下の方法でソフトウェアの更新を行うことができます。

● オンエアダウンロード

リモコンで電源「切」のときに、デジタル放送から送られてくる情報をチューナー部に取り込むことにより、自動的にソフトウェアを最新のものに書き換えます。

- お買い上げ時は、チューナー部が更新を自動で行う設定になっています。

 → [いろいろな機能 > ソフトウェアの更新 > 放送ダウンロード予約の方法を設定する](#)

● ネットワークからのダウンロード

チューナー部をネットワーク接続している場合、インターネットを利用して、チューナー部のソフトウェアが最新かどうかの確認や、ソフトウェアの更新をすることができます。

- ネットワークから自動的にソフトウェアの更新を行う場合は、利用規約に同意していただく必要があります。

 → [ネットワーク > ネットワークを利用するための接続設定をする > サービス利用規約を確認・設定する](#)

= お知らせ =

- ソフトウェアのダウンロード実行中は、チューナー部の表示窓に以下のように表示されます。

(例) オンエアダウンロードによる更新の実行中

DL 1 / 5

(例) ネットワークからのダウンロードによる更新の実行中

UPD 1 / 5

- 「1 / 5」表示などは進行状況です。
- 「5 / 5」まで表示したあと、表示が消えるまで操作できません。
- ダウンロードの実行中は、故障の原因になりますので、絶対に電源コードを抜かないでください。
- オンエアダウンロードには、地上デジタル放送またはBSデジタル放送の受信環境が必要です。

■ モニターのソフトウェア更新について

以下の方法でソフトウェアの更新を行うことができます。

● オンエアダウンロード

デジタル放送から送られてくる情報をチューナー部に取り込むと、[ソフトウェアの更新通知](#)を[オン](#)に設定している場合、画面にお知らせが表示されます。

画面の指示に従ってソフトウェアを更新してください。

 → ネットワーク > ネットワークを利用するための接続設定をする > ソフトウェアの更新を通知する

- ソフトウェアの更新は、[ソフトウェアの更新確認](#)から行うこともできます。

 → ネットワーク > ネットワークを利用するための接続設定をする > ソフトウェアの確認と更新をする

● ネットワークからのダウンロード

モニターをネットワーク接続し、[ソフトウェアの更新通知](#)をオンに設定している場合、インターネットを利用してモニターの電源が「入」のときに、最新のソフトウェアかどうかの確認を行います。

 → ネットワーク > ネットワークを利用するための接続設定をする > ソフトウェアの更新を通知する

最新のソフトウェアになっていない場合、画面にお知らせが表示されます。

画面の表示内容に従ってソフトウェアを更新してください。

- ソフトウェアの更新は、[ソフトウェアの更新確認](#)から行うこともできます。

 → ネットワーク > ネットワークを利用するための接続設定をする > ソフトウェアの確認と更新をする

= お知らせ =

- ソフトウェア更新の内容については、サポートサイト（ホームページ）をご覧ください。

 → 困ったときは / よくあるご質問 / English Guide > インターネットを通じて、サポートサイト（ホームページ）を見る > 本機のサポート情報を見る

- ソフトウェアの更新は、モニターの電源をリモコンで「切」にしているときに行われます。
- 故障の原因になりますので、ダウンロード実行中やソフトウェア更新中に以下のことはしないでください。
 - チューナー部の電源コードを抜く
 - モニター本体の電源を切る
 - モニターの電源コードを抜く
- オンエアダウンロードには、地上デジタル放送またはBSデジタル放送の受信環境が必要です。

放送ダウンロード予約の方法を設定する

デジタル放送で送られてくる新しいソフトウェアのダウンロード予約の方法を選びます。

1. [メニュー] ボタンを押して**設定**を選び、[決定] ボタンを押す
2. **機器設定** > **システム設定** > **放送ダウンロード予約**を選び、[決定] ボタンを押す
3. **自動** / **手動**を選び、設定する
 - 利用可能なソフトウェアがあれば、通知画面が表示されます。新しいソフトウェアをダウンロードするには、[決定] ボタンを押します。

自動：

情報が届いた場合は、リモコンで電源「切」時に自動的にダウンロードを実行します。通常は自動をおすすめします。

手動：

情報が届いた場合、放送メールでお知らせします。

- 自動更新は、以下の場合には実施されません。
 - モニターやチューナー部本体の[電源] ボタンで電源を「切」にしているとき
 - 番組を視聴しながら、別の番組を2番組同時にHDDに録画しているとき

= お知らせ =

- 放送ダウンロードは、デジタル放送からの情報を本機に取り込むことにより、本機のソフトウェアを最新のものに書き換えます。
- ダウンロードには、数時間かかることがあります。
- ダウンロード中は、モニターやチューナー部本体の電源を「切」にしないでください。
- 更新ソフトウェアを取得済みの場合、設定によらずリモコンで電源「切」時に本機に含まれるソフトウェアを自動更新します。
- 最新のソフトウェアをインターネット経由で確認・更新するには、以下をご参照ください。



→ ネットワーク > ネットワークを利用するための接続設定をする > ソフトウェアの確認と更新をする

文字入力について

文字を入力する

設定項目によっては、適切な文字や数字などを入力する必要があります。

画面によって入力方式が異なります。

画面表示に従って操作してください。

■ 画面キーボードを使う

画面上に表示されたキーボードで文字や項目を選び、入力します。

(例)



① 変換候補を表示

- 画面のレイアウトは予告なく変更する場合があります。また、画面の表示は機種によって一部異なります。

● 画面を消すときは、[戻る] ボタンを押す

1. 文字の種類を選ぶ

[青] ボタンを押して、「かな」に切り換える

- 押すたびに切り換わります。

2. △ / ▽ / ◀ / ▶ ボタンで文字を選び、[決定] ボタンを押す

3. [赤] ボタンを押したあと、◀ または ▶ ボタンで変換候補を選び、[決定] ボタンを押す

- 文節を分けて変換するときは、[赤] または [赤] で文節ごとの文字を変換候補に表示させて選びます。
- 変換しないときは [黄] ボタンを押します。

4. [黄] ボタンを押す

● 文字を削除する

削除する文字の右側に [赤] または [赤] でカーソルを移動し、[緑] ボタンを押す

● 文字を追加する

追加する位置に [赤] または [赤] でカーソルを移動し、文字を入力する

● 全角の記号を入力する

1) 「きごう」と入力し、[赤] ボタンを押す

2) ◀ または ▶ ボタンで記号を選び、[決定] ボタンを押す

● 言語を切り換える

1) [言語] を選び、[決定] ボタンを押す

2) △ または ▽ ボタンで言語を選び、[決定] ボタンを押す

■ リモコンボタンを使う

リモコンの数字ボタンを使い、携帯電話と同じような操作で入力します。

1. 文字の種類を選ぶ

〔緑〕 ボタンを押して、入力文字を「かな」に切り換える

- 押すたびに切り換わります。

2. 〔決定〕 ボタンを押す

3. 入力画面で変換したい文字を入力する

4. △ または ▽ ボタンで変換候補を選び、〔決定〕 ボタンを押す

- 画面の表示に従って操作してください。

● 記号を入力する

「きごう」と入力して △ または ▽ ボタンで記号を選び、〔決定〕 ボタンを押す

● 全角の英数字を入力する

「英数」モード（半角）で入力し、△ または ▽ ボタンで変換する

● 文字を追加する

◀ または ▶ ボタンで追加する位置にカーソルを移動させ、文字を入力する

● 文字を削除する

◀ または ▶ ボタンで削除する文字にカーソルを移動させ、〔黄〕 ボタンを押す

Bluetooth対応機器を使う

Bluetooth設定をする

Bluetooth対応機器などを本機に登録（ペアリング）したり、Bluetooth対応機器を使用するときに設定します。

- 本機は、HID (Human Interface Device Profile) や HOGP (HID Over GATT Profile) に対応の入力機器および、A2DP (Advanced Audio Distribution Profile) や AVRCP (Audio / Video Remote Control Profile) に対応のオーディオ機器などが使用できます。
- 本機は、すべてのBluetoothオーディオ機器との無線通信を保証するものではありません。

1. [メニュー] ボタンを押して[設定](#)を選び、[決定] ボタンを押す
2. [機器設定](#) > [Bluetooth 設定](#) > を選び、[決定] ボタンを押す
3. 設定したい項目を選び、[決定] ボタンを押す
[デバイス / モード切替 / Bluetooth 送信モード設定](#)
4. 項目ごとに設定する

デバイス

利用できる機器を検索し、接続状態を表示します。

- Bluetooth機器の電源を「入」にしてください。機器によっては、あらかじめ「登録（ペアリング）」モードに設定する必要があります。

登録（ペアリング）設定については、各機器の取扱説明書をご覧ください。

未登録：

機器は、本機に登録（ペアリング）されていません。本機で使用するには、画面の表示内容に従って登録（ペアリング）してください。

接続済み：

機器は、本機に登録（ペアリング）されて使用できる状態です。

未接続：

機器は、本機に登録（ペアリング）されていますが、本機と接続できていない状態です。機器の電源が入っているか、または機器の使用可能な距離内で使用しているかご確認ください。

モード切替

([Bluetooth 送信](#) / [Bluetooth 受信](#))

本機のBluetoothオーディオモードを切り換えます。

Bluetooth 送信：

ヘッドホンやスピーカーなどのオーディオ機器を接続します。

- [Bluetooth 送信](#)のときに、ヘッドホンなどのオーディオ機器を登録（ペアリング）するには、[デバイス](#)の一覧画面で行ってください。

Bluetooth 受信：

スマートフォンなどのオーディオ機器を接続します。

- Bluetooth 受信のときに、スマートフォンなどのオーディオ機器を登録（ペアリング）するには
 - 1) [アプリ] ボタンを押す
 - 2) Bluetooth オーディオリンクを選び、[決定] ボタンを押す
 - 3) 画面の表示内容に従って操作する
-

Bluetooth 送信モード設定

モード切換が Bluetooth 送信のときに、オーディオ機器などの音量を調整します。

音声出力：

(すべて / Bluetooth のみ)

Bluetooth のみに設定すると、Bluetooth オーディオ機器を使用しているときに、本機のスピーカーからの音声を自動的に消します。

また、[音量] ボタンでオーディオ機器の音量が調整できます。

- 本機のスピーカーと、Bluetooth オーディオ機器の両方から同時に音声を出力する場合はすべてに設定してください。

音量：

Bluetooth オーディオ機器の音量を調整します。

音量が小さい場合は、Bluetooth オーディオ機器側の音量設定を確認してください。

- 絶対音量をオンに設定しているときには調整できません。オーディオ機器 1 音量またはオーディオ機器 2 音量で調整してください。

デュアルオーディオ：

(オン / オフ)

オンに設定すると、Bluetooth オーディオ機器を 2 台まで同時に使用することができます。

- 音声出力が途切れて不安定なときは、オフに設定し、Bluetooth オーディオ機器を 1 台でご使用ください。

音声ビットレート：

(高 / 低)

高：音質重視のモードになります。

低：接続性重視のモードになります。

- 音声出力が途切れて不安定なときは、低に設定すると改善される場合があります。
- デュアルオーディオをオンにすると低に切り換わりますが、高に設定することも可能です。
- デュアルオーディオをオフにすると高に切り換わりますが、低に設定することも可能です。

絶対音量：

(オン / オフ)

オンに設定すると、本機で Absolute Volume 対応の Bluetooth オー

オーディオ機器側の音量を調整することができます。


- Bluetoothオーディオ機器の音量が小さい場合などに、**オン**に設定し、**オーディオ機器 1 音量**または**オーディオ機器 2 音量**や、リモコンの[音量] ボタンで調整してください。

オーディオ機器 1 音量 / オーディオ機器 2 音量 :

Bluetoothオーディオ機器側の音量を調整します。

- **絶対音量**を**オン**に設定している場合に、接続されているBluetoothオーディオ機器側の音量を調整することができます。

= お知らせ =

- 本機にBluetooth対応機器を登録（ペアリング）するときは、モニターから約50 cm以内に近づけてください。
- 登録（ペアリング）がうまくできないときは、モニターのBluetooth送受信部にBluetooth対応機器を近づけて、再度登録（ペアリング）してください。
 - モニターのBluetooth送受信部については、 取扱説明書をご覧ください。
- **デバイス**の一覧画面にはリモコンやスマートフォンなどのオーディオ機器は表示されません。
- 音声調整の設定は、Bluetoothオーディオ機器の音量設定値によっては調整できない場合があります。
- **Bluetooth オーディオリンク**アプリを使用して、Bluetoothオーディオ機器を接続することができます。
- 接続環境によっては、再生中に音声途切れて再生が停止する場合があります。2.4 GHz の無線LAN使用時は、11a cや11n（5 GHz）の無線LANまたはLANケーブル接続に変更すると再生状態が改善される場合があります。
- 音が途切れる場合は、Bluetooth対応機器を本機に近づけてください。
- 本機は、A2DP 対応のBluetoothオーディオ機器を登録することができます。
- 本機は、BluetoothオーディオのSBCコーデックに対応しています。
- 無線技術の特性により映像と音声再生において遅延が発生します。
- 同時に使用できるA2DP 対応のBluetoothオーディオ機器は2台です。
- デュアルオーディオ機能を使用する場合、**デュアルオーディオ**の設定を**オン**に変更したあと、2台目のBluetoothオーディオ機器を接続してください。このとき、Absolute Volume 非対応のBluetoothオーディオ機器が1台でも接続されていると、本機でBluetoothオーディオ機器側の音量を調整することはできません。

また、接続された2台のオーディオ機器の音声出力は、多少ずれて聞こえる場合があります。
- **音声ビットレート**を**低**に設定すると、多少音質が劣化して聞こえます。
- **デュアルオーディオ**の設定を**オン**から**オフ**に変更すると、接続できるBluetoothオーディオ機器は1台になります。

- ラジオ放送を視聴中は、Bluetoothオーディオ機器へ音声出力されません。

各種設定

設定について

設定方法

設定画面で、映像や音声、各種機能の設定を行います。

1. [メニュー] ボタンを押して設定を選び、[決定] ボタンを押す
 - 設定項目は、入力信号によって異なります。
2. 設定したい項目を選び、[決定] ボタンを押す
3. 項目ごとに設定する
 - 設定可能な項目のみ、選択できます。
 - 一部の項目は、[ビエラ操作ガイド](#)から [赤] ボタンを押して設定画面を表示することができます。

- 選択肢の中から選び、[決定] ボタンを押して設定することができます。
- サイドバーを調整し、[決定] ボタンを押して設定することができます。
- [決定] ボタンを押して、次の画面に進むことができます。
- 項目によっては名前や番号を自由に設定することができます。

- 1) 文字を1つずつ入力し、[決定] ボタンで確定する
 - 文字を入力するには、以下をご参照ください。

 → [いろいろな機能 > 文字入力について > 文字を入力する](#)

- 2) [戻る] ボタンを押して設定する

- 設定を標準に戻す
 - 映像や音声の設定のみを初期状態に戻すには、[映像調整](#)、[音声調整](#)の[標準に戻す](#)を選択してください。
 - お買い上げ時の設定に戻すには、[設定リセット](#)を選択してください。

 → [いろいろな機能 > お買い上げ時の設定に戻す](#)

- 設定画面を閉じるには [元の画面] ボタンを押す
- 1つ前の画面に戻るには [戻る] ボタンを押す

= お知らせ =

- 設定項目や選択肢は、視聴するコンテンツによって異なる場合があります。(テレビ放送、メディアプレーヤー、ネットワークサービスなど)
- 4Kの映像を見ているとき、[映像調整](#)のいくつかの設定は設定画面に影響を及ぼすことがあります。

映像調整

映像モード

ご覧になる番組や外部入力の映像に合わせて、見やすい画質が選べます。



→ テレビを見る > 映像（画質）を設定・調整する > 映像モードを設定する

映像の基本設定

明るさ、ピクチャー、黒レベル、色の濃さ、色あい、シャープネス

お好みに合わせて調整してください。

 → テレビを見る > 映像（画質）を設定・調整する > 映像の基本設定をする

色温度

お好みの色調に切り換えます。

 → テレビを見る > 映像（画質）を設定・調整する > 映像の基本設定をする

カラーリマスター

色域を拡大して鮮やかにします。色域規格に対して忠実な表示にするには、**オフ**に設定します。

 → テレビを見る > 映像（画質）を設定・調整する > 映像の基本設定をする

- Rec.2020 規格に対応した映像入力時は **Rec.2020 カラーリマスター**を表示します。
-

Rec.2020 カラーリマスター

Rec.2020 規格に対応した映像入力時に、パネル色域に対して適切な処理を行って色鮮やかにします。色域規格に対して忠実な表示にするには、**オフ**に設定します。

 → テレビを見る > 映像（画質）を設定・調整する > 映像の基本設定をする

リマスター超解像

見た目の解像度を上げ、鮮明な映像にします。

 → テレビを見る > 映像（画質）を設定・調整する > 映像の基本設定をする

ダイナミックレンジリマスター

撮影時に圧縮された明るさやコントラストを復元し、臨場感のある映像にします。

 → テレビを見る > 映像（画質）を設定・調整する > 映像の基本設定をする

暗部視認性強調

暗部の視認性を改善します。

 → テレビを見る > 映像（画質）を設定・調整する > 映像の基本設定をする

Wスピード設定

Wスピード

動きの速い映像をよりなめらかに表示します。

 → テレビを見る > 映像（画質）を設定・調整する > 映像の基本設定をする

環境光センサー設定

周囲の環境光に応じた見やすい画面にします。



→ [テレビを見る](#) > [映像（画質）を設定・調整する](#) > [環境光センサー設定をする](#)

ノイズ低減設定

NR

映像のざらつき感を低減させます。



→ テレビを見る > 映像（画質）を設定・調整する > ノイズ低減設定をする

HDオプティマイザー

ブロックノイズ（小さな四角形のノイズ）や輪郭部のちらつき（ノイズ）を低減させます。



→ テレビを見る > 映像（画質）を設定・調整する > ノイズ低減設定をする

画質の詳細設定

より詳細に画像を調整できます。



テレビを見る > 映像（画質）を設定・調整する > 画質の詳細設定をする

オプション機能

入力遅延

オートはALLMやコンテンツタイプにより、自動的に描画の遅延を切り替えます。
低遅延はすばやい操作を要求されるゲームを楽しむ際に、描画の遅延を防ぎます。

 → テレビを見る > 映像（画質）を設定・調整する > オプション機能を設定する

ALLM

1画面で表示しているときにHDMI機器からのALLM情報に連動して、自動的に入力遅延を低遅延に切り換える場合に設定します。

 → テレビを見る > 映像（画質）を設定・調整する > オプション機能を設定する

NVIDIA オートゲームモード

HDMI 2.1 VRRをサポートする一部のNVIDIA PCグラフィックカードを検出した場合に本機の設定を最適化します。

 → テレビを見る > 映像（画質）を設定・調整する > オプション機能を設定する

VRR

映像のカクつき、ティアリング（画面が途中で左右にずれる現象）、遅延を低減し、滑らかな動きで表示する機能です。

 → テレビを見る > 映像（画質）を設定・調整する > オプション機能を設定する

デジタルシネマリアリティ

毎秒24コマで撮影された映画の映像を忠実に再現します。

 → テレビを見る > 映像（画質）を設定・調整する > オプション機能を設定する

1080pピュアダイレクト

接続機器から入力された1080p 4:4:4の信号を、原画に忠実に表示します。設定値はHDMI入力ごとに記憶されます。

 → テレビを見る > 映像（画質）を設定・調整する > オプション機能を設定する

4Kピュアダイレクト

接続機器から入力された4K 4:4:4の信号を、原画に忠実に表示します。設定値はHDMI入力ごとに記憶されます。

 → テレビを見る > 映像（画質）を設定・調整する > オプション機能を設定する

4K 120Hzピュアモード

接続機器から入力された4K 120Hzの信号を、原画に忠実に表示します。

 → テレビを見る > 映像（画質）を設定・調整する > オプション機能を設定する

等速駆動モード

ゲーム機の出力周波数が 60 Hz の場合、画面のリフレッシュレートを合わせることで描画の遅延をさらに改善します。

 → テレビを見る > 映像（画質）を設定・調整する > オプション機能を設定する

HDMI 画質連動設定

HDMI 入力された映像の画質を設定します。

 → テレビを見る > 映像（画質）を設定・調整する > オプション機能を設定する

HDMI EOTF 設定

HDMI 入力された映像の EOTF を切り換えます。通常は **オート** でご使用ください。

 → テレビを見る > 映像（画質）を設定・調整する > オプション機能を設定する

EOTF 設定

動画（ビデオ映像）や 4 K 放送、4 K 放送の録画番組の EOTF を切り換えます。通常は **オート** でご使用ください。

 → テレビを見る > 映像（画質）を設定・調整する > オプション機能を設定する

HDMI Colorimetry 設定

HDMI 入力された映像の Colorimetry を切り換えます。

 → テレビを見る > 映像（画質）を設定・調整する > オプション機能を設定する

HDMI RGBレンジ設定

HDMI 入力から RGB 信号を入力したときの、レンジを設定します。

 → テレビを見る > 映像（画質）を設定・調整する > オプション機能を設定する

HDMI YCbCrレンジ設定

HDMI の YCbCr 信号入力の際のレンジを切り換えます。

 → テレビを見る > 映像（画質）を設定・調整する > オプション機能を設定する

画面の設定

画面モード

画面モードを変更します。

 → テレビを見る > 映像（画質）を設定・調整する > 画面モードを設定する

オーバースキャン

16：9映像の際に周囲を隠して表示することができます。

 → テレビを見る > 映像（画質）を設定・調整する > 画面の設定をする

垂直位置／サイズ

画面モードがズームのときの垂直（上下）の位置やサイズを微調整します。

垂直位置の調整範囲は拡大状況により変わります。

 → テレビを見る > 映像（画質）を設定・調整する > 画面の設定をする

画面ウォブリング

映像を微細な動きで移動させ、パネルの焼き付きを低減します。

 → テレビを見る > 映像（画質）を設定・調整する > 画面の設定をする

ロゴ輝度制御

パネルの保護レベルを選択し、ロゴを表示するときの輝度を調整します。

 → テレビを見る > 映像（画質）を設定・調整する > 画面の設定をする

パネルメンテナンス

画面表示を消してパネルのメンテナンスを行い、パネルの焼き付きを防止します。

 → テレビを見る > 映像（画質）を設定・調整する > 画面の設定をする

画質調整ロック設定

映像モードがキャリブレーションまたはプロフェッショナル、Dolby Vision IQ、Dolby Vision ダークの場合は、調整した画質をロックすることができます。



テレビを見る > 映像（画質）を設定・調整する > 画質調整のロック設定をする

画質設定コピー

映像モードがフィルムシネマ、シネマプロ、ユーザー、キャリブレーション、プロフェッショナル、ゲーム、Dolby Vision IQ、Dolby Vision ダークの場合は、現在の画質設定を他の入力へコピーできます。



→ テレビを見る > 映像（画質）を設定・調整する > 画質設定をコピーする

標準に戻す

現在の映像モードを工場出荷時の設定に戻します。

音声調整

音声を切り換える

音声の出力先を設定します。



テレビを見る > 音声（音質）を設定・調整する > 音声出力を設定する

音声モード

放送や入力信号ごとに、好みの音声モードが選べます。



テレビを見る > 音声（音質）を設定・調整する > 音声モードを設定する

シアターサウンドを切り換える

シアターサウンドを楽しむときに設定します。



テレビを見る > 音声（音質）を設定・調整する > シアターサウンドを設定する

音声の基本設定

バス

低音を調整します。

 → テレビを見る > 音声（音質）を設定・調整する > 音声の基本設定をする

トレブル

高音を調整します。

 → テレビを見る > 音声（音質）を設定・調整する > 音声の基本設定をする

イコライザー

イコライザーの調整をします。

 → テレビを見る > 音声（音質）を設定・調整する > 音声の基本設定をする

バランス

左右の音量を調整します。

 → テレビを見る > 音声（音質）を設定・調整する > 音声の基本設定をする

サラウンド

臨場感を楽しみたいときに設定します。

 → テレビを見る > 音声（音質）を設定・調整する > 音声の基本設定をする

低音強調

低音を増強して響かせます。

 → テレビを見る > 音声（音質）を設定・調整する > 音声の基本設定をする

スポーツ連動

映像モードでスポーツを選択時に、自動で音声モードもスポーツに設定します。

 → テレビを見る > 音声（音質）を設定・調整する > 音声の基本設定をする

設置方法

本機の設置方法に合わせて、テレビのスピーカーの出力を調整します。

壁掛け設置時は壁掛けを選択してください。

スタンド設置時はスタンド置きを選択してください。

 → テレビを見る > 音声（音質）を設定・調整する > 音声の基本設定をする

音量設定

音量オート

小さな音を大きく、大きな音を小さく自動調整し、音量変化を抑えます。

 → [テレビを見る](#) > [音声（音質）を設定・調整する](#) > [音量設定をする](#)

音量補正

放送や入力信号を切り換えて音量が変化するときは、調整したい放送や外部入力の視聴状態にしてから音量を調整してください。

 → [テレビを見る](#) > [音声（音質）を設定・調整する](#) > [音量設定をする](#)

ダイアログエンハンスメント

声やセリフを強調します。

 → [テレビを見る](#) > [音声（音質）を設定・調整する](#) > [音量設定をする](#)

ヘッドホン端子出力設定

ヘッドホン端子出力

ヘッドホン / イヤホン / サブウーハー端子の出力を設定します。



→ テレビを見る > 音声（音質）を設定・調整する > ヘッドホン端子の出力を設定する

ヘッドホン／イヤホン音量

ヘッドホン / イヤホンの音量を調整します。



→ テレビを見る > 音声（音質）を設定・調整する > ヘッドホン端子の出力を設定する

サブウーハー調整

サブウーハーの音量やカットオフ周波数を調整します。



→ テレビを見る > 音声（音質）を設定・調整する > ヘッドホン端子の出力を設定する

音声の詳細設定

AVシンク

映像信号を遅らせて、映像と音声の出力タイミングを調整します。

 → [テレビを見る](#) > [音声（音質）を設定・調整する](#) > [音声の詳細設定をする](#)

デジタル音声出力

e ARC / ARCに対応したオーディオ機器をHDMI 2端子に接続したときに音声出力の設定をします。

 → [テレビを見る](#) > [音声（音質）を設定・調整する](#) > [音声の詳細設定をする](#)

HDMI 音声フォーマット

HDMI 端子に接続した機器からの入力信号に合わせて音声フォーマットを設定します。

 → [テレビを見る](#) > [音声（音質）を設定・調整する](#) > [音声の詳細設定をする](#)

e ARC

[オン](#)に設定すると、e ARC（エンハンスドオーディオリターンチャンネル）対応機器が接続されている場合は、e ARC 機能が有効になります。

 → [テレビを見る](#) > [音声（音質）を設定・調整する](#) > [音声の詳細設定をする](#)

スピーカーとイヤホン音声の同時出力

ヘッドホン / イヤホンを挿入しているとき、本機スピーカーからも音声出力する設定をします。

 → [テレビを見る](#) > [テレビ放送を見る](#) > [スピーカーとイヤホン音声の同時出力を切り換える](#)

標準に戻す

現在の音声モードを工場出荷時の設定に戻します。

ネットワーク設定

ネットワーク接続

本機でネットワークを利用するための接続設定をします。



ネットワーク > ネットワークを利用するための接続設定をする > ネットワーク接続設定をする

ネットワーク状態

ネットワークの状態（MACアドレスや現在のネットワーク設定など）を表示させ、確認することができます。



→ ネットワーク > ネットワークを利用するための接続設定をする > ネットワークの接続状況を確認する

モニターとチューナー部の接続診断

映像が途切れるなど、モニターとチューナー部の無線接続状態が悪いときに接続状態を診断し、表示されたQRコードから接続診断結果に応じた解決方法が確認できます。



→ ネットワーク > ネットワークを利用するための接続設定をする > モニターとチューナー部の接続診断をする

無線と映像品質の設定

テレビ視聴や録画された番組をチューナー部からモニターへ送信するときに、画質を落とす調整をすることで、映像の途切れや停止を改善します。画質の調整が行われると、チャンネルの切り換えや再生開始までに時間がかかる場合があります。



→ テレビを見る > テレビ放送を見るための準備をする > 無線と映像品質の設定や無線電波状態の通知を設定する

無線電波状態の通知

モニターとチューナー部の無線電波状態が悪いとき、本機の画面にノイズが発生する場合があります。テレビ放送視聴中に、無線電波状態が悪くなったとき、自動的に通知するか設定します。



→ テレビを見る > テレビ放送を見るための準備をする > 無線と映像品質の設定や無線電波状態の通知を設定する

本機の名称変更

ネットワークで連携する機器に表示される本機の名称を設定します。



→ ネットワーク > ネットワークを利用するための接続設定をする > 本機の名称を変更する

Wake on LAN / Wireless LAN

本機が接続されているネットワークに接続している Wake on LAN / Wireless LAN に対応した機器を操作して、本機の電源を「入」にできます。



→ ネットワーク > ネットワークを利用するための接続設定をする > Wake on LAN / Wireless LAN の設定をする

お部屋ジャンプリンク設定

DMS（デジタルメディアサーバー）として、本機から視聴中の番組やHDDに保存している録画番組などを配信する場合に設定します。

また、4K放送の番組や4K放送を録画した番組をお部屋ジャンプリンクで再生中に、映像が途切れて再生が停止する場合、ハイビジョン画質に画質調整して再生するときに設定します。



→ ネットワーク > ネットワークを利用するための接続設定をする > お部屋ジャンプリンク機能を設定する

スマートスピーカー設定

スマートスピーカーを利用して、本機のチャンネルや音量などの操作を行うための設定をします。



→ ネットワーク > ネットワークを利用するための接続設定をする > スマートスピーカー設定をする

スマホアプリ / ディモータの設定

スマートフォンやタブレット端末などでスマートアプリ（TVシェア、どこでもディーガ）を使用するための設定や、ディモータ機能の設定をします。



→ ネットワーク > ネットワークを利用するための接続設定をする > スマホアプリ / ディモータの設定をする

ミラーリング設定

ミラーリング機能に対応したスマートフォンやタブレット端末、パソコンなどの登録（ペアリング）情報をすべて削除します。



→ [いろいろな機能](#) > [ミラーリング機能を使う](#) > [ミラーリング機能の設定をする](#)

過去未来番組表設定

過去未来番組表を利用して、チューナー部に内蔵のHDDに録画している番組や、宅内のネットワークに接続されたディーガやビエラに録画している番組を番組表にまとめて表示して再生することができます。



→ [いろいろな機能](#) > [過去未来番組表を使う](#) > [過去未来番組表の設定をする](#)

その他の設定

VODコンテンツ更新

リモコンで電源を「切」にしているとき、自動的にVODコンテンツを最新に更新するか設定します。



→ ネットワーク > ネットワークを利用するための接続設定をする > VODコンテンツ更新を設定する

ソフトウェアの更新確認

最新のソフトウェアをインターネット経由で確認し、更新できます。



→ ネットワーク > ネットワークを利用するための接続設定をする > ソフトウェアの確認と更新をする

ソフトウェアの更新通知

最新のソフトウェアがある場合、本機に自動的に通知するか設定します。



→ ネットワーク > ネットワークを利用するための接続設定をする > ソフトウェアの更新を通知する

サービス利用規約／設定

サービス利用規約の表示と設定をします。



→ ネットワーク > ネットワークを利用するための接続設定をする > サービス利用規約を確認・設定する

タイマー設定

オンタイマー

オンタイマーで自動的に電源を入れる設定をします。



→ テレビを見る > タイマー機能を設定する > タイマーで電源を入れる（オンタイマー）

無操作自動オフ

約 4 時間以上本機の手操作をしないと、自動的に電源が切れます。



テレビを見る > テレビの節電機能（エコナビなど）を設定する > 無操作自動オフを設定する

無信号自動オフ

無信号の状態です約 10 分間本機は操作をしないとき、不要な消費電力を削減するため、自動的に電源が切れます。(工場出荷時は入に設定)



→ テレビを見る > テレビの節電機能 (エコナビなど) を設定する > 無信号自動オフ
を設定する

機器設定

エコナビ

視聴環境に応じて、自動的に最適な節電モードになります。



→ テレビを見る > テレビの節電機能（エコナビなど）を設定する > エコナビを設定する

くらし設定

くらし機能に対応する当社製家電製品と連携することで、音声による通知機能を設定することができます。



→ [いろいろな機能](#) > [くらし機能を使う](#) > [くらし設定をする](#)

U S B機器一覧（モニター・チューナー部）

U S B機器一覧画面で、U S B機器の取り外しや機器詳細情報を確認することができます。また、チューナー部に自動バックアップ用に登録済みのU S B H D Dなど、本機のU S B端子に接続している機器の一覧を表示します。



→ メディアプレーヤー > 写真や動画の取り込み・バックアップをする > U S B機器一覧を表示する

録画設定

録画モード（4 K放送用）

4 K放送を録画するときの録画モードを設定します。

 → [録画する](#) > [見ている番組を録画する](#) > [見ている番組を録画する](#)

録画モード（ハイビジョン放送用）

ハイビジョン（2 K）放送を録画するときの録画モードを設定します。

 → [録画する](#) > [見ている番組を録画する](#) > [見ている番組を録画する](#)

オートチャプター

デジタル放送の録画時、自動で番組にチャプターマークを付ける設定をします。

 → [録画する](#) > [録画予約をする](#) > [オートチャプターを設定する](#)

B l u e t o o t h 設定

B l u e t o o t h 対応機器などを本機に登録（ペアリング）したり、B l u e t o o t h 対応機器を使用するときに設定します。



→ いろいろな機能 > B l u e t o o t h 対応機器を使う > B l u e t o o t h 設定
をする

制限項目設定

暗証番号を設定し、視聴できる年齢などを制限します。



→ [いろいろな機能 > 制限項目や暗証番号に関する設定をする > 制限項目を設定する](#)

言語 / Language

設定画面などの表示言語（日本語または English）を切り換えます。



テレビを見る > テレビ放送を見るための準備をする > かんたん設置設定をする

表示の設定

字幕の設定

デジタル放送の字幕や文字スーパーがある場合に表示させる設定です。

 → [テレビを見る](#) > [テレビ放送を見る](#) > [字幕の設定をする](#)

ビデオ入力表示書換／スキップ設定

入力端子に接続した機器に合わせて〔入力切換〕ボタンを押したときの表示を変えたり、接続のない外部入力をスキップすることができます。

 → [テレビを見る](#) > [外部機器をつないで見る、聴く](#) > [外部機器の映像を見る、音声を聴く](#)

タイトル表示

選局時の番組タイトル文字サイズを設定します。

 → [テレビを見る](#) > [テレビ放送を見る](#) > [タイトル表示を設定する](#)

お知らせ表示設定

([表示設定](#) / [お知らせ設定](#))

お知らせ表示の設定をします。

- 以降は画面の表示内容に従って操作してください。
-

Dolby 通知設定

([オン](#) / [オフ](#))

画面に Dolby の通知を表示します。

HDMI オート設定

本機は、4 K対応機器接続時に、より高精細かつ広色域な映像を再生できるよう対応しています。HDMI 端子に入力した4 K映像が正しく表示されないときや音声が出力されない場合に、入力信号に合わせて設定します。



→ テレビを見る > 4 K映像を見る > HDMI 端子で視聴可能な4 K映像の入力信号を設定する

HDMI HDR設定

HDR対応機器を接続している場合に、入力信号の設定をします。



→ テレビを見る > 外部機器をつないで見る、聴く > HDMI 端子のHDR機能を設定する

ビエラリンク（HDMI）設定

ビエラリンク

ビエラリンク機能を有効にします。

 → [いろいろな機能 > ビエラリンク（HDMI）を使う > ビエラリンクをお使いになる前に](#)

電源オン連動

電源オン連動の機能を有効にします。

 → [いろいろな機能 > ビエラリンク（HDMI）を使う > 電源オン連動](#)

電源オフ連動

電源オフ連動の機能を有効にします。

 → [いろいろな機能 > ビエラリンク（HDMI）を使う > 電源オフ連動](#)

E C Oスタンバイ

E C Oスタンバイの機能を有効にします。

 → [いろいろな機能 > ビエラリンク（HDMI）を使う > E C Oスタンバイ](#)

こまめにオフ

本機の電源が「入」であっても、消費電力を減らすため、使っていない接続機器の電源を個別に自動で「切」にします。

 → [いろいろな機能 > ビエラリンク（HDMI）を使う > こまめにオフ](#)

ディーガの操作

ディーガの入力に切り換えているときに、本機のリモコンでディーガ操作に有効なボタンを追加します。

 → [いろいろな機能 > ビエラリンク（HDMI）を使う > ディーガの操作](#)

テスト（ディーガ電源）

ビエラリンクを使ってディーガの電源が「入」/「切」できるか確認します。

 → [いろいろな機能 > ビエラリンク（HDMI）を使う > テスト（ディーガ電源）](#)

ハイブリッドキャスト設定

ハイブリッドキャストをご利用になるときや、スマートフォンやタブレット端末などからハイブリッドキャストを起動する場合などに設定します。



テレビを見る > テレビ放送を見る > ハイブリッドキャストの設定をする

かんたん設置設定

ご購入後初めて電源を入れたときや、引っ越しなどで設定をやり直すときに、テレビ番組を視聴するために必要な設定をします。



テレビを見る > テレビ放送を見るための準備をする > かんたん設置設定をする

設置設定

地域やチャンネル、受信リモコンモードなどの設定をします。



→ [いろいろな機能](#) > [地域やチャンネルなど設置に関する設定をする](#) > [設置設定をする](#)

ホーム設定

よく使う機能をホームに自動的に追加するかどうかを選択します。



→ ホームを使う > ホーム画面を操作する > ホームを操作する

システム設定


設定リセット

本機に記録されている設定を消去し、お買い上げ時の設定に戻します。

 → [いろいろな機能](#) > [お買い上げ時の設定に戻す](#) > [設定をリセットする](#)


放送メール

放送局や本機からのお知らせや情報を見ることができます。(インターネットメールではありません)

 → [テレビを見る](#) > [テレビ放送を見る](#) > [放送メールやACASチップなどの各種情報を見る](#)

ACASチップ

ACASチップの番号などの情報を確認します。

 → [テレビを見る](#) > [テレビ放送を見る](#) > [放送メールやACASチップなどの各種情報を見る](#)

ボード

110度CSデジタル放送から送られるボードの情報を確認します。

 → [テレビを見る](#) > [テレビ放送を見る](#) > [放送メールやACASチップなどの各種情報を見る](#)


放送ダウンロード予約

デジタル放送で送られてくる新しいソフトウェアのダウンロード予約の方法を選びます。

 → [いろいろな機能](#) > [ソフトウェアの更新](#) > [放送ダウンロード予約の方法を設定する](#)

ライセンス情報

本機のソフトウェアライセンス情報を表示します。

 → [テレビを見る](#) > [テレビ放送を見る](#) > [放送メールやACASチップなどの各種情報を見る](#)

ルート証明書

データ放送時のルート証明書の情報を表示します。

 → [テレビを見る](#) > [テレビ放送を見る](#) > [放送メールやACASチップなどの各種情報を見る](#)

HDDのフォーマット

HDD（チューナー部に内蔵のハードディスク）の初期化を行います。



→ [いろいろな機能 > HDDに関する設定をする > HDDをフォーマットする](#)

かんたん設定引き継ぎ

お買い上げ時のかんたん設置設定を行うときに、設置済みの当社製機器からネットワーク接続情報や郵便番号などを引き継ぎ、新しく購入した当社製家電製品の設定をかんたんに行うことができます。



→ [いろいろな機能](#) > [くらし機能を使う](#) > [くらし設定をする](#)

その他の設定

電源ランプ表示（モニター）

電源ランプの表示方法を切り換えます。

 → [いろいろな機能 > 電源ランプや表示窓、LEDの表示方法を切り換える > 電源ランプ表示の設定をする](#)

表示窓の時計表示（チューナー部）

オンにすると、電源「切」時に表示窓に時計を表示します。

 → [いろいろな機能 > 電源ランプや表示窓、LEDの表示方法を切り換える > チューナー部の表示窓やLEDの設定をする](#)

表示窓の明るさ（チューナー部）

表示窓の明るさを切り換えます。

 → [いろいろな機能 > 電源ランプや表示窓、LEDの表示方法を切り換える > チューナー部の表示窓やLEDの設定をする](#)

LEDの明るさ（チューナー部）

LEDの明るさを設定します。切に設定するとLEDは点灯しません。

 → [いろいろな機能 > 電源ランプや表示窓、LEDの表示方法を切り換える > チューナー部の表示窓やLEDの設定をする](#)

選局対象

デジタル放送のとき、[チャンネル] ボタンで順送りできるチャンネルを選択します。

 → [テレビを見る > テレビ放送を見る > テレビ放送を選局する](#)

PC電源連動設定

HDMI端子にパソコン（PC）などを接続した場合に、HDMI信号の有無による電源連動を設定します。

 → [テレビを見る > 外部機器をつないで見る、聴く > PC電源連動機能を設定する](#)

困ったときは / よくあるご質問 / English Guide

サポート情報

ヘルプ機能を使う

1. [メニュー] ボタンを押して[設定](#)を選び、[決定] ボタンを押す
 2. [ヘルプ](#)を選び、[決定] ボタンを押す
 3. [映像音声テスト](#) / [I D表示](#) / [デバイス情報](#) / [チューナー部の診断](#)を選び、[決定] ボタンを押す
 - [チューナー部の診断](#)を選択した場合は、[決定] ボタンを3秒以上押してください。
-

[映像音声テスト](#)

映像や音声に問題がある場合に、本テストでモニター本体に異常があるかを確認できます。

画面の表示内容に従ってください。

[I D表示](#)

本機のバージョンやシステム情報を表示します。

本機のピエラリンク（HDMI）のバージョン情報などを確認できます。



[デバイス情報](#)

本機のデバイス情報を表示します。

[チューナー部の診断](#)

チューナー部の故障と思われる症状が出たときに、チューナー部の状態を診断することができます。

画面の表示内容に従ってください。

- モニターとチューナー部が無線接続（ペアリング）できていないときは診断できません。無線接続されている状態（テレビ放送を表示）で診断を行ってください。
 - 無線接続が失敗する場合の対応については、  取扱説明書をご覧ください。
- 診断後、自動でチューナー部を再起動し、モニターと接続を行いますので、映像が出るまで時間がかかる場合があります。

故障かな！？の前にご確認ください

画質や画面表示がおかしい

不具合のお問い合わせの前に、以下の記載をご確認ください。

映像音声テストまたはチューナー部の診断で本機に異常があるか確認できます。



困ったときは / よくあるご質問 / English Guide > サポート情報 > ヘルプ機能を使う

それでも不具合が解消しない場合は、お客様サポートまでお問い合わせください。

画面に光らない点がある

- ディスプレイパネルは非常に精密度の高い技術で作られていますが、画面の一部に光らない点や常時点灯する点が存在する場合があります。これは故障ではありません。
-

一瞬画面が暗くなる

- 画面が切り換わる際に発生するノイズを抑えるために、一瞬画面を暗くしています。
-

映像が明るすぎたり、暗すぎたりする

- 映像の明るさや、色あいは設定画面の映像調整から変更することができます。また、変更した設定は標準に戻すで出荷設定に戻すこともできます。

設定を標準に戻すには

1. [メニュー] ボタンを押して設定を選び、[決定] ボタンを押す
 2. 映像調整を選び、[決定] ボタンを押す
 3. 標準に戻すを選び、[決定] ボタンを押す
 4. 確認画面ではいを選び、[決定] ボタンを押す
-

ブロックノイズが発生する

- アンテナレベルの信号品質を確認してください。
アンテナレベルの信号品質を確認するには
 1. テレビ放送視聴中に[サブメニュー] ボタンを押す
 2. 視聴オプションを選び、[決定] ボタンを押す
 3. アンテナレベルを選び、[決定] ボタンを押したあと、信号品質を確認する
- 信号品質の数値が低く他機器からアンテナ線を接続している場合は、アンテナ線を本機と直接接続することで改善することがあります。

地上デジタル放送における信号品質の受信の目安は「44以上」、衛星デジタル放送における信号品質の受信の目安は「54以上」です。

- モニターとチューナー部の無線接続が不安定な場合があります。無線状態（受信レベルや映像伝送レベル）を確認してください。

確認方法については、以下をご参照ください。



→ 困ったときは / よくあるご質問 / English Guide > 故障かな！？の前にご確認ください > チューナー部との接続ができない、映像がときどき途切れる、映像にノイズが入る

電源プラグの抜き差しで電源を「入」するたびに、パネルメンテナンスのメッセージが表示される

- かんたん設置設定で[店頭用](#)に設定していませんか？
 - [ご家庭用](#)に設定してください。
設定を変更するには
 1. [メニュー] ボタンを押して[設定](#)を選び、[決定] ボタンを押す
 2. [機器設定](#) > [かんたん設置設定](#)を選び、[決定] ボタンを押す
 3. 画面の表示内容に従って設定を行い、[ご家庭用](#)と[店頭用](#)の選択画面で[ご家庭用](#)を選び、[決定] ボタンを押す

チューナー部との接続ができない、映像がときどき途切れる、映像にノイズが入る

不具合のお問い合わせの前に、以下の記載をご確認ください。

それでも不具合が解消しない場合は、お客様サポートまでお問い合わせください。

チューナー部との接続ができない

- チューナー部との接続に失敗すると、画面に**チューナー部との接続ができませんでした**。が表示されます。画面右上の状態コード（4桁の英数字）別に、以下の対応を行ってください。

■ D001またはD011が表示された場合

モニターとチューナー部で直接接続の通信ができていません。

- 以下の方法を試したあとに**再接続する**を選び、[決定] ボタンを押して再度接続してください。

- チューナー部の電源コードを抜き差しする
- モニターとチューナー部をできるだけ近づけるか、見通しのよい場所に置く

再接続するを選択しても接続できない場合は、[青（別の方法を試す）] ボタンを押して、画面の表示内容に従って操作してください。

- [青（別の方法を試す）] ボタンを押して無線接続を完了したときは、ネットワーク設定がされていない状態になっています。ネットワークを使用したい場合は、ネットワークの接続と設定を行ってください。

 → ネットワーク > ネットワークに接続する

 → ネットワーク > ネットワークを利用するための接続設定をする

- より詳細な解決方法を確認したい場合は、[赤（チューナー部との接続診断）] ボタンを押すと、表示されたQRコードから接続診断結果に応じた解決方法が確認できます。

■ A001が表示された場合

無線ブロードバンドルーター（無線アクセスポイント）での接続で、無線ブロードバンドルーターとチューナー部との無線接続ができていません。（モニターと無線ブロードバンドルーターは無線接続ができています）

- 以下の方法を試したあとに**再接続する**を選び、[決定] ボタンを押して再度接続してください。

- チューナー部の電源コードを抜き差しする
- チューナー部と無線ブロードバンドルーターをできるだけ近づけるか、見通しのよい場所に置く

- より詳細な解決方法を確認したい場合は、[赤（チューナー部との接続診断）] ボタンを押すと、表示されたQRコードから接続診断結果に応じた解決方法が確認できます。

■ A011が表示された場合

無線ブロードバンドルーター（無線アクセスポイント）での接続で、モニターと無線

ブロードバンドルーターとの無線接続ができていません。

- 以下の方法を試したあとに**再接続する**を選び、[決定] ボタンを押して再度接続してください。
 1. 無線ブロードバンドルーターの電源が入っていることを確認する
 2. モニターと無線ブロードバンドルーターをできるだけ近づけるか、見通しのよい場所に置く

再接続するを選択しても接続できない場合は、[青（別の方法を試す）] ボタンを押して、画面の表示内容に従って操作してください。

それでも改善しない場合は、以下の操作をお試しください。

- 無線ブロードバンドルーターの電源コードを抜き差しする。
- 無線ブロードバンドルーターの設定を変更する。（操作方法は接続する機器の説明書などでご確認ください）
- [青（別の方法を試す）] ボタンを押して無線接続を完了したときは、モニターとチューナー部が直接接続になっています。直接接続で改善される場合は、無線ブロードバンドルーターとの接続に問題があったこととなります。また、ネットワーク設定がされていない状態になっています。次のどちらかのネットワークの接続と設定を行ってください。
 - ネットワークの接続方法を **L A Nケーブルでルーターと接続**に変更してください。
 - ネットワークの接続方法を**無線L A Nアクセスポイントと接続**にする場合、11a cまたは11n（5 GHz）で接続してください。

 → ネットワーク > ネットワークに接続する

 → ネットワーク > ネットワークを利用するための接続設定をする

- より詳細な解決方法を確認したい場合は、[赤（チューナー部との接続診断）] ボタンを押すと、表示されたQRコードから接続診断結果に応じた解決方法が確認できます。
- ご使用になるインターネットサービスによってはIPアドレスが各機器に個別に割り当てられないことがあります。その場合、モニターとチューナー部の接続ができなくなりますが、有線L A Nケーブルを外して接続設定をやり直すことで、チューナー部との接続が改善されることがあります。詳細は、インターネットサービス事業者までお問い合わせください。

映像がときどき途切れる、映像にノイズが入る

ご家庭での本機接続環境やインターネット環境により、映像が静止画になったり、映像にノイズが入る可能性があります。ご家庭の環境に応じて以下の対応を行ってください。

■ モニターとチューナー部が直接接続の場合

- モニターとチューナー部をできるだけ近づけてください。
- モニターとチューナー部をリセットしてください。

 → いろいろな機能 > お買い上げ時の設定に戻す > 設定をリセットする

■ 無線ブロードバンドルーター（無線アクセスポイント）接続の場合

- 2.4 GHz の無線 LAN 使用時は、11a 或は 11n（5 GHz）の無線 LAN に変更してください。

設定方法については、 取扱説明書をご覧ください。

- モニターと無線ブロードバンドルーター、またはチューナー部と無線ブロードバンドルーターをできるだけ近づけてください。
- ネットワークの接続方法を [LAN ケーブルでルーターと接続](#) に変更してください。

 → ネットワーク > ネットワークに接続する

 → ネットワーク > ネットワークを利用するための接続設定をする

- チューナー部をリセットしてください。

 → いろいろな機能 > お買い上げ時の設定に戻す > 設定をリセットする

- それでも改善しない場合は、以下の操作をお試しください。
 - 無線ブロードバンドルーターの電源コードを抜き差しする。
 - 無線ブロードバンドルーターの設定を見直す。（操作方法は接続する機器の説明書などでご確認ください）

■ モニターとチューナー部の接続診断について

映像が途切れるなど、モニターとチューナー部の無線接続状態が悪いときに接続状態を診断し、表示された QR コードから接続診断結果に応じた解決方法が確認できます。

 → ネットワーク > ネットワークを利用するための接続設定をする > モニターとチューナー部の接続診断をする

■ 受信レベルや映像伝送レベルを確認するには

- [ネットワーク状態](#)の[詳細情報](#)画面で電波状態（受信レベル）の表示本数が4つ以上（受信レベル30以上）点灯していることが、安定した受信状態の目安です。3つ以下、または通信の途切れなどが発生する場合は、チューナー部や無線ブロードバンドルーター（無線アクセスポイント）の位置や角度を調節して通信状態が良くなるかをお確かめください。それでも改善できない場合は有線で接続し、ネットワーク設定を再度行ってください。


電波状態（受信レベル）を確認するには

1. [メニュー] ボタンを押して[設定](#)を選び、[決定] ボタンを押す
 2. [ネットワーク設定](#) > [ネットワーク状態](#)を選び、[決定] ボタンを押す
 3. [詳細情報](#)を選び、[決定] ボタンを押す
- 受信レベルと映像伝送レベルは[無線電波状態](#)の画面で確認できます。
[無線電波状態](#)を確認するには
 1. テレビ放送を視聴中に [サブメニュー] ボタンを押す
 2. [視聴オプション](#)を選び、[決定] ボタンを押す
 3. [無線電波状態](#)を選び、[決定] ボタンを押す
 - 受信レベルは電波の強さを表し、映像伝送レベルは電波の品質（S / N）を表します。

■ モニターの無線と映像品質の設定について

チューナー部からモニターに映像を送信するときに、映像が高画質なほど（4 K D R や D R の録画モードで録画した番組など）、電波の通信状態によって映像が途切れたり、停止する可能性があります。

モニターの無線と映像品質の設定を設定すると、チューナー部から映像を送信する際に、画質を落として送信しやすくすることができます。

 → テレビを見る > テレビ放送を見るための準備をする > 無線と映像品質の設定や無線電波状態の通知を設定する

電波が届きにくい場合は、自動または無線優先に設定することで、映像の途切れなどを抑えることができます。

- お買い上げ時の設定は自動です。
- テレビ視聴やチューナー部に記録された番組の再生時に有効です。

モニターとチューナー部を無線方式 1 1 a c や 1 1 n（5 GHz）対応の無線ブロードバンドルーター経由で接続しているときに、接続が切れて映像が途切れる

- 無線ブロードバンドルーターの無線方式を 1 1 a c または 1 1 n（5 GHz）に設定していますか？

詳しくは無線ブロードバンドルーターの取扱説明書をご覧ください。

 → ネットワーク > ネットワークを利用するための接続設定をする > 手動で無線 LAN 接続設定をする

- 1 1 n（2.4 GHz）の設定で、電子レンジやデジタルコードレス電話機などを同時にご使用の場合は、接続が切れて映像が途切れることがあります。
 - 無線ブロードバンドルーターの無線方式を 1 1 a c または 1 1 n（5 GHz）に設定してください。

テレビ放送（共通）の映像が乱れる、画面表示がおかしい

不具合のお問い合わせの前に、以下の記載をご確認ください。

それでも不具合が解消しない場合は、お客様サポートまでお問い合わせください。


映像が揺れる・映像が不鮮明・色模様が出る・色が消える

- アンテナやアンテナ線が劣化または破損、断線をしていませんか？
- アンテナ線は正しく接続されていますか？

 → [テレビを見る](#) > [テレビ放送を見るための準備をする](#) > [アンテナ線を接続する](#)

- モニターとチューナー部の無線接続が不安定な場合があります。無線状態（受信レベルや映像伝送レベル）を確認してください。

確認方法については、以下をご参照ください。

 → [困ったときは / よくあるご質問 / English Guide > 故障かな！？の前にご確認ください](#) > [チューナー部との接続ができない、映像がときどき途切れる、映像にノイズが入る](#)

DVDレコーダーなどの録画機器で選局すると、一瞬黒い帯が出る

- チャンネルを切り換えたときに発生するノイズによるものです。

画面の上下に映像のない部分ができる

- 16：9より横長の映像ソフト（シネマビジョンサイズのソフトなど）のときは、画面の下や上下に映像のない部分ができることがあります。

ズームにすると画面の上下が欠ける

- 画面の位置調整がずれていませんか？
 - 画面の位置を調整してください。
垂直の位置やサイズの微調整をするには
 1. [メニュー] ボタンを押して[設定](#)を選び、[決定] ボタンを押す
 2. [映像調整](#) > [画面の設定](#)を選び、[決定] ボタンを押す
 3. [垂直位置／サイズ](#)を選び、[決定] ボタンを押したあと、垂直の位置やサイズを微調整する

ダウンロードを行ったら、受信できなくなった

- ダウンロードの内容によっては、各種設定が工場出荷時の設定値に戻る場合があります。
再度設置設定を行ってください。

チャンネル番号が画面から消えない

- [画面表示] ボタンで、画面表示が出る状態にいませんか？
 - 再度、[画面表示] ボタンを押してください。
外部入力を選んでいるときは、外部機器からの映像が入力されないと消えます。

地上デジタル放送が映らない、映像が乱れる

不具合のお問い合わせの前に、以下の記載をご確認ください。

それでも不具合が解消しない場合は、お客様サポートまでお問い合わせください。

地上デジタル放送が受信できない

- UHFアンテナは地上デジタル放送の送信局に向いていますか？
 - 従来の地上アナログ放送の送信局と方向が違う地域があります。
- 地上デジタル放送が受信できるUHFアンテナをご使用ですか？
 - 従来のアナログ放送用のUHFアンテナは、視聴地域の特定チャンネルに対応している場合があり、地上デジタル放送用のUHFアンテナやデジタル対応のブースターおよび混合器などが必要な場合があります。
 - アンテナや受信設備の改善で解消することもあります。お買い上げの販売店にご相談ください。
- 地上デジタル放送で、**初期スキャン**または**再スキャン**してください。
 1. [メニュー] ボタンを押して**設定**を選び、[決定] ボタンを押す
 2. **機器設定** > **設置設定** > **チャンネル設定** > **地上デジタル**を選び、[決定] ボタンを押す
 3. **初期スキャン**または**再スキャン**を選び、[決定] ボタンを押す

初期スキャン：

お住まいの地域を設定し直して、自動で受信可能なチャンネルを設定します。今までの設定はすべてリセットされます。

再スキャン：

お住まいの地域設定はそのまま、自動で受信可能なチャンネルを追加したり、変更になったチャンネルを更新します。

映像や音声がでない（または、ときどき出なくなる）

映像が静止する（または、ときどき静止する）

- UHFアンテナの向きが、風や振動により変わっていませんか？
またはアンテナ線の劣化などはありませんか？
 - **受信設定**の**地上**で、アンテナレベルの信号品質が受信可能レベル（44以上が目安）に達しているかご確認ください。
アンテナレベルの信号品質の確認は、[サブメニュー] ボタンからでも可能です。
(アンテナ入力レベルはチャンネルによって異なります。またアンテナシステムの条件などにより変動する場合がありますので、**信号品質**が目安の数値以上に余裕を取ることをおすすめします)
アンテナレベルの信号品質を確認するには
 1. テレビ放送視聴中に [サブメニュー] ボタンを押す

2. 視聴オプションを選び、[決定] ボタンを押す
 3. アンテナレベルを選び、[決定] ボタンを押したあと、信号品質を確認する
- アンテナや受信設備の改善で解消することもあります。お買い上げの販売店にご相談ください。

衛星デジタル放送（BS4K・110度CS4K、BS, 110度CS）が映らない、映像が乱れる

不具合のお問い合わせの前に、以下の記載をご確認ください。

それでも不具合が解消しない場合は、お客様サポートまでお問い合わせください。

映像が出ない

- アンテナ線は正しく接続されていますか？

 → [テレビを見る](#) > [テレビ放送を見るための準備をする](#) > [アンテナ線を接続する](#)

- [受信設定](#)は、正しく設定されていますか？

- アンテナの設置など受信環境が変わったときに設定します。

設定を確認するには

1. [メニュー] ボタンを押して[設定](#)を選び、[決定] ボタンを押す
2. [機器設定](#) > [設置設定](#)を選び、[決定] ボタンを押す
3. [受信設定](#)を選び、[決定] ボタンを押したあと、設定内容を確認する

画質や音質が少し悪くなった

- 降雨対応放送になっていませんか？

- 雨の影響により、衛星からの電波が弱くなると、本機は電波が弱くても受信可能な降雨対応放送に切り換えます。

降雨対応放送は、画質・音質が少し悪くなります。

天候が回復すれば、元の画質や音質に戻ります。

BS4K・110度CS4K放送が受信できない

- 「SHマーク」が表示された機器など、4K放送に対応した機器が正しく接続されているか確認してください。
- 4K放送非対応の録画機器を経由して、アンテナケーブルをチューナー部に接続していませんか？
 - 直接接続するか、分配器（別売品）を使って、4K放送の信号を直接チューナー部に入力してください。

- BS・110度CSアンテナを左旋円偏波対応のアンテナに交換した場合は、[かんたん設置設定](#)をやり直し、受信チャンネルを再設定してください。

[かんたん設置設定](#)をやり直すには

1. [メニュー] ボタンを押して[設定](#)を選び、[決定] ボタンを押す
2. [機器設定](#) > [かんたん設置設定](#)を選び、[決定] ボタンを押す
3. 画面の表示内容に従って設定する

- 接続や設置方法については、 [取扱説明書](#)をご覧ください。

110度CSデジタル放送が受信できない

- ビデオデッキなどを経由して、衛星アンテナケーブルを本機に接続していませんか？
 - 直接接続するか、110度CS対応の分配器（別売品）などをご使用ください。
 - BSデジタル放送より高性能の、110度CS対応のアンテナやブースター、ケーブルなどが必要です。
-

映像や音声が出ない（または、ときどき出なくなる）

映像が静止する（または、ときどき静止する）

- アンテナの向きが、風や振動により変わっていませんか？
またはアンテナ線の劣化などはありませんか？
 - [受信設定の衛星](#)でアンテナレベルの信号品質が受信可能レベル（54以上が目安）に達しているかご確認ください。また[受信設定](#)で[信号品質](#)が最大になる角度にアンテナを調整してください。
アンテナレベルの信号品質の確認は、[サブメニュー] ボタンからでも可能です。
アンテナレベルの信号品質を確認するには
 1. テレビ放送視聴中に[サブメニュー] ボタンを押す
 2. [視聴オプション](#)を選び、[決定] ボタンを押す
 3. [アンテナレベル](#)を選び、[決定] ボタンを押したあと、[信号品質](#)を確認する
 - アンテナや受信設備の改善で解消することもあります。お買い上げの販売店にご相談ください。
 - 着雪（アンテナ）、雨、雷雲などによる電波の減衰や、強風時のアンテナの揺れなどが考えられます。
 - 衛星デジタル放送は、雨や雷、雪などに弱く、一時的に映像や音声が止まったり、全く受信できなくなることがあります。天候の回復を待ってください。
-

特定のチャンネルの映像や音声が出ない（または、ときどき出なくなる）

- 衛星デジタル放送に対応していないアンテナケーブルや分配器、分波器などを使用していませんか？
 - PHSデジタルコードレス電話機や携帯電話機などの影響を受け、映像や音声が出なくなることがあります。
 - アンテナや受信設備の改善で解消することもあります。お買い上げの販売店にご相談ください。
-

有料放送の視聴ができない

- 有料放送を視聴するための手続きはされていますか？
 - A C A S 番号をご確認の上、受信契約先へお問い合わせください。
A C A S 番号を確認するには
 1. [メニュー] ボタンを押して設定を選び、[決定] ボタンを押す
 2. 機器設定 > システム設定を選び、[決定] ボタンを押す
 3. A C A S チップを選び、[決定] ボタンを押す

デジタル放送（共通）が映らない、字幕が出ない



不具合のお問い合わせの前に、以下の記載をご確認ください。

それでも不具合が解消しない場合は、お客様サポートまでお問い合わせください。

すべてのデジタル放送が映らない

- A C A Sチップが故障していないか確認してください。
A C A Sチップテストを行うには
 1. [メニュー] ボタンを押して[設定](#)を選び、[決定] ボタンを押す
 2. [機器設定](#) > [設置設定](#)を選び、[決定] ボタンを押す
 3. [A C A Sチップテスト](#)を選び、[決定] ボタンを押す
 - [異常が検出されました](#)。というメッセージが表示された場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
 - [正しく終了しました](#)。というメッセージが表示された場合は、接続や設定をご確認ください。

リモコンの数字ボタンで選局できない

- 選局時に[このボタンにチャンネルは設定されていません](#)というメッセージが表示された場合は、放送切換ボタンを押してから、再度、数字ボタンを押してください。
 → [テレビを見る](#) > [テレビ放送を見る](#) > [テレビ放送を選局する](#)
- リモコンの数字ボタンに放送局が設定（割り当て）されていますか？
 → [いろいろな機能](#) > [地域やチャンネルなど設置に関する設定をする](#) > [設置設定をする](#)

字幕や文字スーパーが出ない

- [字幕の設定](#)の[字幕](#)や[文字スーパー](#)が[オフ](#)に設定されていませんか？
 - [オン](#)にしてください。
設定を確認するには
 1. [メニュー] ボタンを押して[設定](#)を選び、[決定] ボタンを押す
 2. [機器設定](#) > [表示の設定](#) > [字幕の設定](#)を選び、[決定] ボタンを押す
 3. [字幕](#)または[文字スーパー](#)を選び、[決定] ボタンを押す
- [字幕言語](#)または[文字スーパー言語](#)を選び、[決定] ボタンを押すと、設定内容が確認できます
- 字幕や文字スーパーのある番組を選局していますか？
 - 字幕は、[字幕](#)のアイコンが表示されている番組で表示されます。
- 字幕の言語の設定は正しいですか？
 - 設定した言語のみ表示されます。

音声がおかしい

不具合のお問い合わせの前に、以下の記載をご確認ください。

映像音声テストまたはチューナー部の診断で本機に異常があるか確認できます。



困ったときは / よくあるご質問 / English Guide > サポート情報 > ヘルプ機能を使う

それでも不具合が解消しない場合は、お客様サポートまでお問い合わせください。

音質が悪い・大音量のとき、音声がひずむ

- 音声の設定は設定画面の[音声調整](#)から変更することができます。
また、変更した設定は[標準に戻す](#)で出荷設定に戻すこともできます。
設定を標準に戻すには
 1. [メニュー] ボタンを押して[設定](#)を選び、[決定] ボタンを押す
 2. [音声調整](#) > [標準に戻す](#)を選び、[決定] ボタンを押す
 3. 確認画面で[はい](#)を選び、[決定] ボタンを押す
- 音声がひずむ場合は、[サラウンド](#)の設定を[オフ](#)にしてください。
- 音声調整設定の[バス](#) / [トレブル](#)なども調整してください。

本機に登録（ペアリング）した、Bluetoothオーディオ機器（ヘッドホンやイヤホンなど）の音声が途切れる

- Bluetoothオーディオ機器（ヘッドホンやイヤホンなど）を2台同時に接続している場合は、[音声ビットレート](#)を[低](#)に設定すると改善される場合があります。
設定を変更するには
 1. [メニュー] ボタンを押して[設定](#)を選び、[決定] ボタンを押す
 2. [機器設定](#) > [Bluetooth 設定](#) > [Bluetooth 送信モード設定](#)を選び、[決定] ボタンを押す
 3. [音声ビットレート](#)を選び、[低](#)に設定する
- [デュアルオーディオ](#)を[オフ](#)に設定し、Bluetoothオーディオ機器（ヘッドホンやイヤホンなど）を1台でご使用ください。
設定を変更するには
 1. [メニュー] ボタンを押して[設定](#)を選び、[決定] ボタンを押す
 2. [機器設定](#) > [Bluetooth 設定](#) > [Bluetooth 送信モード設定](#)を選び、[決定] ボタンを押す
 3. [デュアルオーディオ](#)を選び、[オフ](#)に設定する

本機に接続したヘッドホン / イヤホンから音声が聴こえない（聴こえにくい、雑音がある）

- ヘッドホン / イヤホン端子にプラグはしっかり差し込まれていますか？
端子の奥までしっかり差し込んでください。
- プラグが汚れていませんか？
プラグが汚れている場合は、きれいにふいてください。
- マイクなどを搭載したヘッドホン / イヤホン（4 極以上のプラグ）を接続すると音声が出ない場合があります。ステレオミニプラグ（3 極プラグ）のヘッドホン / イヤホンをご利用ください。
- **ヘッドホン端子出力をサブウーハー**に設定していませんか？
サブウーハーに設定するとヘッドホン端子から低域音声のみ出力されるため、ヘッドホンを使用すると通常の音声再生できなくなります。
設定を変更するには
 1. [メニュー] ボタンを押して**設定**を選び、[決定] ボタンを押す
 2. **音声調整** > **ヘッドホン端子出力**を選び、[決定] ボタンを押す
 3. **ヘッドホン**を選び、[決定] ボタンを押す

モニター本体から異音がする、モニター本体が熱くなる

不具合のお問い合わせの前に、以下の記載をご確認ください。

それでも不具合が解消しない場合は、お客様サポートまでお問い合わせください。

次のような場合は、故障ではありません

- モニターの電源を「切」「入」したときにスピーカーやヘッドホンから聞こえる音
-

モニターからときどき、「ピシッ」と音がする

- 画面や音声に異常がない場合、室温の変化により、キャビネットがわずかに伸縮する音です。性能その他に影響ありません。
-

モニター内部から「カチッ」と音がする

- 番組表などの情報を送受信するため、本機内部の回路が自動的に動作する音です。
 - デジタル放送を録画予約したときなど、予約に従い本機内部の回路が自動的に動作する音です。性能その他に影響ありません。
-

モニター本体のパネル面やキャビネットなどの温度が高い

- 本機をご使用中に、モニター本体のパネル面やキャビネットなど、温度が高くなる部分がありますが、性能・品質には問題ありません。

(モニター本体の通風孔はふさがないように、ご使用ください)

チューナー部本体から異音がする、チューナー部本体が熱くなる

不具合のお問い合わせの前に、以下の記載をご確認ください。

それでも不具合が解消しない場合は、お客様サポートまでお問い合わせください。

次のような場合は、故障ではありません

- チューナー部の電源を「切」「入」したときの音
 - チューナー部が以下の状態のときに、HDDの動作音が聞こえる場合があります。
 - 番組表データを受信中
 - ソフトウェア更新中
 - 録画中
 - 録画モード変換時
 - 「ピエラリンク録画待機」の「入」時
 - 「お部屋ジャンプリンク」録画一覧番組の自動更新中
 - 録画予約終了時または午前4時ごろ（1週間に1回程度）の、チューナー部の自動再起動時
- （チューナー部全体の安定性維持のため、自動的に内部点検を行っています）

チューナー部本体の温度が高い

- チューナー部をご使用中は温度が高くなりますが、性能・品質には問題ありません。チューナー部の左右および上部と背面にスペースを空けてください。
- チューナー部を毛足の長いじゅうたんなどの上に設置すると、放熱が妨げられますので、設置しないでください。（チューナー部本体の通風孔はふさがないように、ご使用ください）


温度が気になる場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

リモコンが反応しない、リモコンで操作できない、誤動作する

不具合のお問い合わせの前に、以下の記載をご確認ください。

それでも不具合が解消しない場合は、お客様サポートまでお問い合わせください。

リモコンが反応せず、操作できない

- 異なるテレビのリモコンをお使いではありませんか？
- 本機とリモコンの通信は、Bluetooth 無線技術または赤外線通信機能を使用できます。
リモコンを本体のリモコン受信部に向けないと操作できない場合は、本機のリモコンを Bluetooth で登録（ペアリング）してください。
 1. [メニュー] ボタンを押して **設定** を選び、[決定] ボタンを押す
 2. **機器設定** > **設置設定** > **リモコン設定** を選び、[決定] ボタンを押す
 3. **リモコン登録** を選び、[決定] ボタンを押したあと、画面の表示内容に従って登録（ペアリング）する
 - リモコンを本機に登録（ペアリング）している場合、本機とリモコンは Bluetooth 通信を行いますので、リモコンでの電源「入」「切」以外は、リモコンを本体のリモコン受信部に向けなくても操作できます。
 - リモコンで電源を「入」「切」するときや、リモコンを本機に登録（ペアリング）していない場合は、本機とリモコンは赤外線通信を行いますので、リモコンを本体のリモコン受信部に向けて操作してください。
 - 赤外線通信時に、リモコンが反応しない場合は、以下の内容をご確認ください。
- モニター本体側とリモコン側のリモコンモードが異なっていませんか？
以下の手順で**受信リモコンモード設定**をやり直してください。
 1. [メニュー] ボタンを押して **設定** を選び、[決定] ボタンを押す
 2. **機器設定** > **設置設定** > **リモコン設定** > **受信リモコンモード設定** を選び、[決定] ボタンを押す
 3. 画面の表示内容に従って設定する
- 障害物はありませんか？
 - リモコンとモニターの間に障害物があると、リモコン操作に反応しないことがあります。
- モニターに強い光が当たっていませんか？
 - モニターのリモコン受信部に直射日光や蛍光灯などの強い光が当たると、リモコン操作に反応しないことがあります。
- 電池が消耗していたり、電池の極性が違っていませんか？
 - 古い電池をお使いのときは、新しい電池に交換して、リモコン操作できることをご確認ください。
 - リモコンの電池については、 **取扱説明書**をご覧ください。
- 上記の内容が当てはまらない場合は、モニター本体にある [電源] ボタンを短く押したあと離して電源を切り（または、電源コードを抜き）、5 秒以上たってから、再度電源を入れて、動作をご確認ください。

- チューナー部の電源が切れない場合は、チューナー部本体にある〔電源〕ボタンを約3秒間押したままにすると強制的に電源が切れます。

(それでも電源が切れない場合は、電源コードをコンセントから抜き、約1分後再びコンセントに差し込む)

- 電源を切ったあとは、チューナー部本体にある〔電源〕ボタンを押して、電源を入れてください、そのあと、もう一度チューナー部本体にある〔電源〕ボタンを押して、電源を切ってください。

改善できない場合は、商品の点検をさせていただく必要があります。

商品の点検については、修理相談窓口にお問い合わせください。

- 上記の内容で解決できない場合は、リモコンの登録（ペアリング）を解除し、再度登録し直してください。

登録を解除、再登録するには

1. リモコンの〔音量-〕ボタンと▽ボタンを同時に3秒以上押す
2. リモコン設定のリモコン登録解除を行ったあと、リモコン登録をする

- リモコンはモニター本体のリモコン受信部に向けて操作してください。

 → [いろいろな機能 > 地域やチャンネルなど設置に関する設定をする > 設置設定をする](#)

モニターの一部メニューが操作できない

- モニターとチューナー部が正しく無線接続（ペアリング）できていないときは、一部のメニューは設定できません。

チューナー部との無線接続を正しく設定してください。

設定方法については、 [取扱説明書](#)をご覧ください。

リモコンの放送切換ボタンを押しても、放送が切り換わらない

- モニター本体の設定で、放送切換をできないようにしていませんか？

設定を確認するには

1. 〔メニュー〕ボタンを押して[設定](#)を選び、〔決定〕ボタンを押す
2. [機器設定](#) > [設置設定](#)を選び、〔決定〕ボタンを押す
3. [受信対象設定](#)を選び、〔決定〕ボタンを押したあと、設定内容を確認する

- 電池が消耗していたり、電池の極性が違っていませんか？

- リモコンの電池については、 [取扱説明書](#)をご覧ください。

チューナー部が誤動作する

- チューナー部の近くに当社製ブルーレイディスクレコーダー（ディーガ）などがあるとき、リモコンで再生などの操作をすると、チューナー部が誤動作する場合があります。

その場合は、お使いの当社製ブルーレイディスクレコーダー（ディーガ）などのリモコンモードを「モード3」以外に変更してください。


設定方法については、各機器の取扱説明書をご覧ください。

インターネットに接続できない、接続が切れる

不具合のお問い合わせの前に、以下の記載をご確認ください。

それでも不具合が解消しない場合は、お客様サポートまでお問い合わせください。

インターネットに接続できない

- ネットワークに正しく接続されていますか？
 - 接続方法については、 [取扱説明書](#)をご覧ください。
- IPアドレスやDNSが正しく設定されていますか？

ネットワークの接続状況を確認するには


 1. [メニュー] ボタンを押して[設定](#)を選び、[決定] ボタンを押す
 2. [ネットワーク設定](#) > [ネットワーク状態](#)を選び、[決定] ボタンを押す
 3. 確認したら[終了](#)を選び、[決定] ボタンを押す
 - 接続できないときは、[ヘルプ](#)を選んで [決定] ボタンを押し、表示されるメッセージの内容に応じて対策してください。
 - IPアドレス／DNS設定をリセットして設定をやり直す場合は、[設定をリセット](#)を選んで [決定] ボタンを押したあと、[再接続確認](#)を選んで [決定] ボタンを押してください。

 → [ネットワーク > ネットワークを利用するための接続設定をする > ネットワークの接続状況を確認する](#)

無線方式 11a c や 11n (5 GHz) 対応の無線ブロードバンドルーターを使用時、接続が切れて映像が途切れる

- 無線ブロードバンドルーターの無線方式を 11a c または 11n (5 GHz) に設定していますか？

詳しくは無線ブロードバンドルーターの取扱説明書をご覧ください。

 → [ネットワーク > ネットワークを利用するための接続設定をする > 手動で無線 LAN 接続設定をする](#)
- 11n (2.4 GHz) の設定で、電子レンジやデジタルコードレス電話機などを同時にご使用の場合は、接続が切れて映像が途切れることがあります。
 - 無線ブロードバンドルーターの無線方式を 11a c または 11n (5 GHz) に設定してください。

VOD（インターネット映像配信サービス）が動かない、つながら ない

不具合のお問い合わせの前に、以下の記載をご確認ください。

それでも不具合が解消しない場合は、お客様サポートまでお問い合わせください。

VOD（インターネット映像配信サービス）が動かない、つながら ない

- VOD（インターネット映像配信サービス）をご利用になるには、ブロードバンド環境が必要です。

また、VOD（インターネット映像配信サービス）の動画コンテンツをご利用になるには、光ファイバー（F T T H）などの高速回線との接続をおすすめします。

- ご利用環境や接続回線の混雑状況などにより、動画コンテンツの映像が乱れたり、映らないなどの場合があります。
- ネットワーク接続とネットワーク設定ができていることを確認してください。



→ ネットワーク > ネットワークに接続する



→ ネットワーク > ネットワークを利用するための接続設定をする

- I PアドレスやD N Sが正しく設定されていますか？

ネットワークの接続状況を確認するには

1. [メニュー] ボタンを押して**設定**を選び、[決定] ボタンを押す
2. **ネットワーク設定** > **ネットワーク状態**を選び、[決定] ボタンを押す
3. 確認したら**終了**を選び、[決定] ボタンを押す
 - 接続できないときは、**ヘルプ**を選んで [決定] ボタンを押し、表示されるメッセージの内容に応じて対策してください。

録画ができない、予約が実行されない

不具合のお問い合わせの前に、以下の記載をご確認ください。

それでも不具合が解消しない場合は、お客様サポートまでお問い合わせください。

予約が実行されない

- 録画予約したあと、本機をご使用にならないときは、リモコンで本機の電源を「切」にしてください。
-

有料放送を録画できない

- 有料放送の視聴（録画）には該当の有料放送と別途契約が必要です。なお、契約にはA C A S番号が必要です。

A C A S番号を確認するには

1. [メニュー] ボタンを押して[設定](#)を選び、[決定] ボタンを押す
2. [機器設定](#) > [システム設定](#)を選び、[決定] ボタンを押す
3. [A C A Sチップ](#)を選び、[決定] ボタンを押す

- 番組によっては録画不可の番組もあります。
 - 詳しくは、契約している放送局（会社）へお問い合わせください。

再生ができない

不具合のお問い合わせの前に、以下の記載をご確認ください。

それでも不具合が解消しない場合は、お客様サポートまでお問い合わせください。

番組の先頭から再生が始まらない

- HDDの録画番組を再生して途中で停止した場合、次回は停止した場面から再生するか、先頭から再生するか確認する画面を表示します。番組の先頭から見たい場合は、[最初から再生](#)を選んで決定してください。
-

1.3倍速で再生できない

- 4K DRモードや4K画質モードの番組は1.3倍速で再生できません。
また、録画中の番組は1.3倍速で再生できません。

番組表が出ない、表示がおかしい

不具合のお問い合わせの前に、以下の記載をご確認ください。

それでも不具合が解消しない場合は、お客様サポートまでお問い合わせください。

番組表が出ない、または8日分表示されない

- お買い上げ直後やモニターやチューナー部本体の電源を「切」にしたり、電源コードを抜いて1週間以上経過した場合は、番組データがありません。
 - 番組データの取得は、リモコンで電源「切」またはテレビ視聴中に行われます。最大約4時間かかります。
- 最新の番組データをインターネットから、より確実に取得する設定ができます。
 - 自動的に番組データを取得するには、[機器設定](#) > [設置設定](#) > [番組表設定](#) > [通信によるGガイド受信をオン](#)に設定してください。
- 次の場合、番組データを受信できませんので、ご注意ください。
(モニターやチューナー部本体の電源を「切」にしたり、電源コードを抜いているとき / デジタル放送の電波状態がよくないとき)
- 録画実行中の場合は番組データを受信できないことがあります。

何列かにわたって同じ放送局が表示される

- 番組表を表示しているときに[サブメニュー] ボタンを押して[表示内容を設定チャンネル](#)に設定すると、チャンネル設定で設定したチャンネルだけを表示できます。



- 番組表を閉じたあと、再度番組表を開くと放送局の表示は元に戻ります。チャンネル設定で設定したチャンネルだけを常に表示したいときは、[選局対象を設定チャンネル](#)に設定してください。

チャンネル設定で設定したチャンネルだけを常に表示するには


1. [メニュー] ボタンを押して[設定](#)を選び、[決定] ボタンを押す
2. [機器設定](#) > [その他の設定](#)を選び、[決定] ボタンを押す
3. [選局対象](#)を選び、[決定] ボタンを押したあと、[設定チャンネル](#)に設定する

接続した機器の映像や音声がでない、入力表示が消えない

不具合のお問い合わせの前に、以下の記載をご確認ください。

それでも不具合が解消しない場合は、お客様サポートまでお問い合わせください。

接続したHDMI対応機器の映像が出ない、乱れる

- HDMIケーブルを確実に接続してください。
 - 接続については、 取扱説明書をご覧ください。
- 一部の機器では、映像や音声がでないなど正常に動作しない場合があります。
- モニター本体の電源を「切」にして電源ランプが消えたことを確認してから、再度電源を入れてください。
接続機器の電源を「切」「入」してください。
- 接続機器の出力信号を以下に変更してください。
480p、720p、1080i、1080p (24 Hz/25 Hz/30 Hz/50 Hz/60 Hz/100 Hz/120 Hz)、2160p (24 Hz/25 Hz/30 Hz/50 Hz/60 Hz/100 Hz/120 Hz)

接続したHDMI対応機器の音声がでない

- 接続機器の音声出力をリニアPCMに設定してください。
 - 本機で対応している音声信号の種類
リニアPCM、サンプリング周波数：48 kHz/44.1 kHz/32 kHz
ドルビーオーディオ (Dolby Digital、Dolby Digital Plus)、サンプリング周波数：48 kHz/44.1 kHz/32 kHz
ドルビーオーディオ (Dolby TrueHD)、サンプリング周波数：48 kHz
- 接続した機器の音声信号に合わせて、**HDMI 音声フォーマット**の設定を確認してください。
HDMI 音声フォーマットの設定を確認するには
 1. [メニュー] ボタンを押して**設定**を選び、[決定] ボタンを押す
 2. **音声調整** > **HDMI 音声フォーマット**を選び、[決定] ボタンを押す
 3. 設定内容を確認する
- HDMI入力時のDVDオーディオで暗号化されている場合は出力されません。

HDMI端子に入力した4K映像が正しく表示されない、音声が出力されない

- **HDMI オート設定**を変更してください。
 1. HDMI入力に切り換えたあと、[メニュー] ボタンを押して**設定**を選び、[決定] ボタンを押す
 2. **機器設定** > **HDMI オート設定**を選び、[決定] ボタンを押す
 3. **モード1**または**モード2**、**モード3**を選び、設定する

接続した外部機器の映像が出ない、入力切換のとき入力が選べない

- 各端子にプラグはしっかり差し込まれていますか？
端子の奥までしっかり差し込んでください。
- [ビデオ入力表示書換／スキップ設定](#)で入力端子を[使用しない（スキップ）](#)に設定していませんか？

[ビデオ入力表示書換／スキップ設定](#)の設定を確認するには

1. [メニュー] ボタンを押して[設定](#)を選び、[決定] ボタンを押す
2. [機器設定](#) > [表示の設定](#) > [ビデオ入力表示書換／スキップ設定](#)を選び、[決定] ボタンを押す
3. 設定内容を確認する

接続した外部機器の音声が、ヘッドホン / イヤホンから聴こえない

- シアターに接続したディーガなどの機器の映像を視聴時、音声をシアターから出している場合は、本機のヘッドホン / イヤホン端子から音声を出力しません。接続しているシアターのヘッドホン / イヤホン端子に接続してお聴きください。

画面右上で[HDMI 1](#)などの入力の表示を消すことができない

- [画面表示] ボタンを数回押すと、消すことができます。
外部入力を選んでいるときは、外部機器からの映像が入力されないと消えません。

ビエラリンク（HDMI）で接続した機器が操作できない、正しく動作しない

不具合のお問い合わせの前に、以下の記載をご確認ください。

それでも不具合が解消しない場合は、お客様サポートまでお問い合わせください。

デジタルビデオカメラの電源を入れても、自動で再生画面にならない

- HDMI 2 端子に接続し直してください。
 - HDMI 1 端子に接続したときは、[入力切換] ボタンで、HDMI 1 入力に切り換えてください。
-

デジタルビデオカメラの再生画面は表示されるが、本機のリモコンで操作できない

- デジタルビデオカメラの電源を「切」「入」してみてください。
-

ビエラリンク（HDMI）が正しく動作しない


- ビエラリンク（HDMI）に対応した機器を取り換えたり、接続・設定を変更したときなどは、本機が接続されている機器を正しく認識しない場合があります。そのようなときは、HDMI ケーブルが正しく接続されていることを確認の上、以下の操作をしてください。
 1. すべての接続機器の電源を入れた状態で、モニター本体の [電源] ボタンを入れ直す。
 2. [入力切換] ボタンを押して入力を切り換え、接続・設定を変更した HDMI 入力ごとに映像を確認する。
 3. 接続した機器が操作できることを確認する。
- ビエラリンク（HDMI）に対応した機器を接続し、4 K 映像を入力した場合に HDMI 入力に切り換わらない場合は、[HDMI オート設定](#)を変更してください。
 1. HDMI 入力に切り換えたあと、[メニュー] ボタンを押して [設定](#) を選び、[決定] ボタンを押す
 2. [機器設定](#) > [HDMI オート設定](#) を選び、[決定] ボタンを押す
 3. [モード 1](#) または [モード 2](#)、[モード 3](#) を選び、設定する

お部屋ジャンプリンクで再生できない、映像が途切れる

不具合のお問い合わせの前に、以下の記載をご確認ください。

それでも不具合が解消しない場合は、お客様サポートまでお問い合わせください。

チューナー部をサーバーとして使用中に、別室のテレビなどで再生できない

- 接続や設定を確認してください。
 - [ネットワーク設定](#) > [お部屋ジャンプリンク設定](#)の[接続機器一覧](#)で、再生する機器が「許可」になっていますか。
 - 再生する機器によっては、録画中の番組や4 K画質モード（4 K 2 倍録 ～ 4 K 8 ～ 12 倍録）、3 ～ 15 倍録モードの番組は再生できません。
 - 節電待機状態でチューナー部の電源を「切」にしているときは、再生できません。
-  → [いろいろな機能](#) > [チューナー部に関する設定をする](#) > [チューナー部の初期設定をする](#)
- 他社製の機器では使用できない場合があります。
 - お部屋ジャンプリンクについて詳しくは、サポートサイト（ホームページ）をご覧ください。

 → [困ったときは / よくあるご質問 / English Guide](#) > [インターネットを通じて、サポートサイト（ホームページ）を見る](#) > [本機のサポート情報を見る](#)

チューナー部をサーバーとして使用中に、別室のテレビなどで再生できない、映像が途切れる（ルーター経由で無線接続時）

- 1 1 a c または 1 1 n（2.4 GHz / 5 GHz 同時使用可）の無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）をお選びください。1 1 a c または 1 1 n（5 GHz）でのご使用を推奨します。
 - 電子レンジやデジタルコードレス電話など、2.4 GHz の電波を使用する機器を同時にご使用の場合、通信が途切れることがあります。また、暗号化方式は「AES」にしてください。
- [ネットワーク状態](#)の[詳細情報](#)画面で電波状態（受信レベル）の表示本数が4つ以上（受信レベル30以上）点灯していることが、安定した受信状態の目安です。3つ以下、または通信の途切れなどが発生する場合は、チューナー部や無線ブロードバンドルーター（無線アクセスポイント）の位置や角度を調節して通信状態が良くなるかをお確かめください。それでも改善できない場合は有線で接続し、ネットワーク設定を再度行ってください。

電波状態（受信レベル）を確認するには

1. [メニュー] ボタンを押して[設定](#)を選び、[決定] ボタンを押す
 2. [ネットワーク設定](#) > [ネットワーク状態](#)を選び、[決定] ボタンを押す
 3. [詳細情報](#)を選び、[決定] ボタンを押す
- 節電待機状態でチューナー部の電源を「切」にしているときは、再生できません。

 → [いろいろな機能](#) > [チューナー部に関する設定をする](#) > [チューナー部の初期設定をする](#)

- お部屋ジャンプリンクについて詳しくは、サポートサイト（ホームページ）をご覧ください。



困ったときは / よくあるご質問 / English Guide > インターネットを通じて、サポートサイト（ホームページ）を見る > 本機のサポート情報を見る

録画や編集ができない、再生映像が乱れる

不具合のお問い合わせの前に、以下の記載をご確認ください。

それでも不具合が解消しない場合は、お客様サポートまでお問い合わせください。

録画できない

- 録画禁止の番組ではありませんか？
 - 番組内容でご確認ください。
 - HDDの残量が少なくなっていないですか？
 - 不要になった番組を消去してください。
 - ラジオ放送は録画できません。
 - 番組内容でご確認ください。
-

録画予約が実行されない

- 録画予約したあと、本機をご使用にならないときは、リモコンで本機の電源を「切」にしてください。
-

録画番組を消去できない

- プロテクト設定した番組ではありませんか？
 - プロテクト設定を変更してください。
- プロテクト設定を変更するには
1. [録画一覧] ボタンを押す
 2. 設定を変更したい録画番組を選び、[サブメニュー] ボタンを押す
 3. **プロテクト設定変更**を選び、[決定] ボタンを押す
-

録画番組の一部、またはすべてが消えた

- 録画中または再生中に停電になったり、電源プラグが抜けるなどで電源が切れると、番組が消えたり、HDDが使えなくなったりすることがあります。
-

データ放送の録画ができない

- 本機では録画できません。
-

再生していると途中で映像が乱れたり、ノイズが出たりする

- 天候などにより電波の悪い状態で録画した番組を再生した場合に発生することがあ

ります。

- アスペクト比（映像の横縦比）や解像度の異なる場面のつなぎ目では、一瞬画像が乱れたり、黒い画面になったりする場合があります。
- 番組と番組のつなぎ目部分など、正しい画面が出るまで静止画になったり、モザイク状のノイズが出たりする場合があります。
- シーンの切り換わりで、映像や音声が切れる場合があります。
- モニターとチューナー部の無線接続が不安定な場合があります。無線状態（受信レベルや映像伝送レベル）を確認してください。

確認方法については、以下をご参照ください。



困ったときは / よくあるご質問 / English Guide > 故障かな！？の前にご確認ください > チューナー部との接続ができない、映像がときどき途切れる、映像にノイズが入る

ダビングできない

- 本機はディーガにまとめてダビングできるお引越しダビングでのみダビングを行うことができます。
 - お引越しダビングで4 K DRや4 K画質モードで録画した番組をダビングする場合は、4 K DRや4 K画質モードに対応している機器（ディーガ）が必要です。
- 対応しているディーガはネットにつながっていますか？
- コピー禁止やコピー制限のかかっている番組、プロテクト設定された番組はダビングできません。
- ディーガの状態（録画や再生をしているときなど）によっては、ダビングできない場合があります。
- ダビング中にディーガ側で録画などの操作をすると、ダビングが失敗する場合があります。

チューナー部に接続したU S B機器が動作しない、認識しない

不具合のお問い合わせの前に、以下の記載をご確認ください。

それでも不具合が解消しない場合は、お客様サポートまでお問い合わせください。

自動バックアップが動作しない

- チューナー部に、複数のU S B機器を接続していませんか？
 - 自動バックアップ用のU S B H D D以外を取り外してください。
- 写真／動画の自動バックアップ機能をオフに設定していませんか？
写真／動画の自動バックアップ機能の設定を確認するには
 1. [メニュー] ボタンを押して設定を選び、[決定] ボタンを押す
 2. 機器設定 > 写真／動画の自動バックアップ機能を選び、[決定] ボタンを押す
 3. 設定内容を確認する
- 自動バックアップ用のU S B H D Dは、チューナー部背面のU S B端子（H D D対応）バックアップ用に接続してください。
- 自動バックアップ用として使うために、U S B H D Dをフォーマットし、本機に登録する必要があります。
- 自動バックアップは、リモコンで本機の電源を「切」にしているときに動作します。

チューナー部にU S B機器を接続しても写真や動画の取り込み用の確認画面が表示されない

- チューナー部に、複数のU S B機器を接続していませんか？
 - 接続しているU S B機器をすべて取り外したあと、再度取り込み用のU S B機器を接続してください。
- 取り込み用のU S B機器は、チューナー部前面のU S B端子（取込用）に接続してください。

電源ランプが点灯しない

不具合のお問い合わせの前に、以下の記載をご確認ください。

それでも不具合が解消しない場合は、お客様サポートまでお問い合わせください。

電源ランプが点灯しない

- 電源ランプ表示を常時消灯またはリモコンで電源「切」時のみ点灯に設定していませんか？
 - 常時点灯に設定してください。
電源ランプ表示の設定を変更するには
 1. [メニュー] ボタンを押して設定を選び、[決定] ボタンを押す
 2. 機器設定 > その他の設定 > 電源ランプ表示を選び、[決定] ボタンを押す
 3. 常時点灯を選び、[決定] ボタンを押す

よくあるご質問（Q & A集）

画面の明るさや画質を調整する方法がわからない

お問い合わせの前に、以下の記載をご確認ください。

それでも解消しない場合は、お客様サポートまでお問い合わせください。

以下の操作で、明るさや画質を調整できます

- 画質（映像モード）を設定する。
ご覧になる番組や外部入力の映像に合わせて、見やすい画質が選べます。
 1. [メニュー] ボタンを押して[設定](#)を選び、[決定] ボタンを押す
 2. [映像調整](#) > [映像モード](#)を選び、[決定] ボタンを押す
 3. お好みの映像モードを選び、[決定] ボタンを押す
 - [オート AI](#)を選択すると、ご覧になる番組などに合わせて自動で画質を調整します。
- 周囲の環境光に応じた見やすい画面にする。
 1. [メニュー] ボタンを押して[設定](#)を選び、[決定] ボタンを押す
 2. [映像調整](#) > [環境光センサー設定](#)を選び、[決定] ボタンを押す
 3. [明るさ連動](#)または[色温度連動](#)を選び、[決定] ボタンを押す
 4. [オン](#)を選び、[決定] ボタンを押す

画面モード（表示サイズ）の切り換え操作がわからない

お問い合わせの前に、以下の記載をご確認ください。

それでも解消しない場合は、お客様サポートまでお問い合わせください。

以下の操作で、画面モード（表示サイズ）の切り換えができます


1. [メニュー] ボタンを押して **設定** を選び、[決定] ボタンを押す
2. **映像調整** > **画面の設定** > **画面モード** を選び、[決定] ボタンを押す
3. お好みの画面モードを選び、[決定] ボタンを押す
 - **オート** を選択すると、放送や入力信号に応じて、最適な画面モードに自動で切り換わります。

接続した機器の映像や音声がでない

お問い合わせの前に、以下の記載をご確認ください。

それでも解消しない場合は、お客様サポートまでお問い合わせください。

接続したHDMI対応機器の映像が出ない、乱れる

- HDMIケーブルを確実に接続してください。
 - 接続方法については、 取扱説明書をご覧ください。
 - 一部の機器では、映像や音声がでないなど正常に動作しない場合があります。
 - モニター本体の電源を「切」にして電源ランプが消えたことを確認してから、再度電源を入れてください。
接続機器の電源を「切」「入」してください。
 - 接続機器の出力信号を以下に変更してください。
480p、720p、1080i、1080p（24 Hz/25 Hz/30 Hz/50 Hz/60 Hz/100 Hz/120 Hz）、2160p（24 Hz/25 Hz/30 Hz/50 Hz/60 Hz/100 Hz/120 Hz）
-

接続した外部機器の映像が出ない、入力切換のとき入力を選べない

- 各端子にプラグはしっかり差し込まれていますか？
端子の奥までしっかり差し込んでください。
 - [ビデオ入力表示書換／スキップ設定](#)で入力端子を[使用しない（スキップ）](#)に設定していませんか？
[ビデオ入力表示書換／スキップ設定](#)の設定を確認・変更するには
 1. [メニュー] ボタンを押して[設定](#)を選び、[決定] ボタンを押す
 2. [機器設定](#) > [表示の設定](#) > [ビデオ入力表示書換／スキップ設定](#)を選び、[決定] ボタンを押す
 3. 設定内容を確認して[使用しない（スキップ）](#)以外の表示を選び、[決定] ボタンを押す
-

HDMI端子に入力した4K映像が正しく表示されない、音声が出ない

- [HDMIオート設定](#)を変更してください。
 1. HDMI入力に切り換えたあと、[メニュー] ボタンを押して[設定](#)を選び、[決定] ボタンを押す
 2. [機器設定](#) > [HDMIオート設定](#)を選び、[決定] ボタンを押す
 3. [モード1](#) または [モード2](#)、[モード3](#) を選び、設定する
-

接続したHDMI対応機器の音声がでない

- 接続機器の音声出力をリニアPCMに設定してください。

- 本機で対応している音声信号の種類
リニアPCM、サンプリング周波数：48 kHz/44.1 kHz/32 kHz
ドルビーオーディオ（Dolby Digital、Dolby Digital Plus）、サンプリング周波数：48 kHz/44.1 kHz/32 kHz
ドルビーオーディオ（Dolby TrueHD）、サンプリング周波数：48 kHz
- 接続した機器の音声信号に合わせて、**HDMI 音声フォーマット**の設定を確認してください。

HDMI 音声フォーマットの設定を確認するには

1. [メニュー] ボタンを押して**設定**を選び、[決定] ボタンを押す
2. **音声調整** > **HDMI 音声フォーマット**を選び、[決定] ボタンを押す
3. 設定内容を確認する

字幕を表示したい／字幕を消したい

お問い合わせの前に、以下の記載をご確認ください。

それでも解消しない場合は、お客様サポートまでお問い合わせください。

以下の操作で、字幕を表示したり、消したりすることができます

1. [メニュー] ボタンを押して設定を選び、[決定] ボタンを押す
2. 機器設定 > 表示の設定を選び、[決定] ボタンを押す
3. 字幕の設定 > 字幕を選び、[決定] ボタンを押す
4. オン / オフを選び、[決定] ボタンを押す
 - [メニュー] ボタンを押したあと字幕を選び、△ または ▽ ボタンで字幕のオン / オフを切り換えることもできます。

番組表の表示やチャンネル切換、設定方法がわからない

お問い合わせの前に、以下の記載をご確認ください。

それでも解消しない場合は、お客様サポートまでお問い合わせください。

番組表が出ない、または8日分表示されない

- お買い上げ直後やモニターやチューナー部本体の電源を「切」にしたり、電源コードを抜いて1週間以上経過した場合は、番組データがありません。
 - 番組データの取得は、リモコンで電源「切」またはテレビ視聴中に行われます。最大約4時間かかります。
 - 最新の番組データをインターネットから、より確実に取得する設定ができます。
 - 自動的に番組データを取得するには、[機器設定](#) > [設置設定](#) > [番組表設定](#) > [通信によるGガイド受信をオン](#)に設定してください。
 - 次の場合、番組データを受信できませんので、ご注意ください。
(モニターやチューナー部本体の電源を「切」にしたり、電源コードを抜いているとき／デジタル放送の電波状態がよくないとき)
 - 録画実行中の場合は番組データを受信できないことがあります。
-

何列かにわたって同じ放送局が表示される

- 番組表を表示しているときに[サブメニュー] ボタンを押して[表示内容を設定チャンネル](#)に設定すると、チャンネル設定で設定したチャンネルだけを表示できます。
- 番組表を閉じたあと、再度番組表を開くと放送局の表示は元に戻ります。チャンネル設定で設定したチャンネルだけを常に表示したいときは、[選局対象を設定チャンネル](#)に設定してください。

チャンネル設定で設定したチャンネルだけを常に表示するには

1. [メニュー] ボタンを押して[設定](#)を選び、[決定] ボタンを押す
2. [機器設定](#) > [その他の設定](#)を選び、[決定] ボタンを押す
3. [選局対象](#)を選び、[決定] ボタンを押したあと、[設定チャンネル](#)に設定する

インターネットに接続できない

お問い合わせの前に、以下の記載をご確認ください。

それでも解消しない場合は、お客様サポートまでお問い合わせください。

ネットワークに正しく接続されていますか？

- 接続方法については、👉📖 取扱説明書をご覧ください。
-

IPアドレスやDNSが正しく設定されていますか？

- ネットワークの接続状況を確認するには
 1. [メニュー] ボタンを押して[設定](#)を選び、[決定] ボタンを押す
 2. [ネットワーク設定](#) > [ネットワーク状態](#)を選び、[決定] ボタンを押す
 3. 確認したら[終了](#)を選び、[決定] ボタンを押す
 - 接続できないときは、[ヘルプ](#)を選んで[決定] ボタンを押し、表示されるメッセージの内容に応じて対策してください。

ビエラリンク（HDMI）で接続した機器が操作できない、正しく動作しない

お問い合わせの前に、以下の記載をご確認ください。

それでも解消しない場合は、お客様サポートまでお問い合わせください。

デジタルビデオカメラの電源を入れても、自動で再生画面にならない

- HDMI 2 端子に接続し直してください。
 - HDMI 1 端子に接続したときは、[入力切換] ボタンで、HDMI 1 入力に切り換えてください。
-

デジタルビデオカメラの再生画面は表示されるが、本機のリモコンで操作できない

- デジタルビデオカメラの電源を「切」「入」してみてください。
-

本機のリモコン操作でディーガに録画できない

- ディーガのチャンネル設定が合っているか確認してください。
設定については、ディーガの取扱説明書をご覧ください。
-

ビエラリンク（HDMI）が正しく動作しない

- ビエラリンク（HDMI）に対応した機器を取り換えたり、接続・設定を変更したときなどは、本機が接続されている機器を正しく認識しない場合があります。そのようなときは、HDMI ケーブルが正しく接続されていることを確認の上、以下の操作をしてください。
 1. すべての接続機器の電源を入れた状態で、モニターやチューナー部本体の [電源] ボタンを入れ直す。
 2. [入力切換] ボタンを押して入力を切り換え、接続・設定を変更した HDMI 入力ごとに映像を確認する。
 3. 接続した機器が操作できることを確認する。
- ビエラリンク（HDMI）に対応した機器を接続し、4K 映像を入力した場合に HDMI 入力に切り換わらない場合は、[HDMI オート設定](#)を変更してください。
 1. HDMI 入力に切り換えたあと、[メニュー] ボタンを押して [設定](#) を選び、[決定] ボタンを押す
 2. [機器設定](#) > [HDMI オート設定](#) を選び、[決定] ボタンを押す
 3. [モード 1](#) または [モード 2](#)、[モード 3](#) を選び、設定する

お部屋ジャンプリンクの仕様や対応機器について知りたい

お問い合わせの前に、以下の記載をご確認ください。

それでも解消しない場合は、お客様サポートまでお問い合わせください。

お部屋ジャンプリンクでどんなことができるのですか？

- 本機とお部屋ジャンプリンクに対応したディーガや本機以外のビエラをLANで接続、設定すると、本機のリモコンで以下の操作ができます。
 - ディーガのハードディスクに記録された映像や写真の再生（ディーガのハードディスクに保存された音楽の再生はできません）
 - 本機以外のビエラのハードディスクに記録された録画番組の再生
 - ディーガや本機以外のビエラで受信しているデジタル放送の視聴
- 対応機器（ディーガ、ビエラ）や再生できるコンテンツなどお部屋ジャンプリンクについては、サポートサイト（ホームページ）をご覧ください。



→ 困ったときは / よくあるご質問 / English Guide > インターネットを通じて、サポートサイト（ホームページ）を見る > 本機のサポート情報を見る


お部屋ジャンプリンクに対応した機器には、何がありますか？

- 当社製のレコーダー（ディーガ）、テレビ（ビエラ）などがあります。
対応機器（ディーガ、ビエラ）や再生できるコンテンツなどお部屋ジャンプリンクについては、サポートサイト（ホームページ）をご覧ください。



→ 困ったときは / よくあるご質問 / English Guide > インターネットを通じて、サポートサイト（ホームページ）を見る > 本機のサポート情報を見る

お部屋ジャンプリンクに対応した機器はどのように接続するのですか？

- 有線（LANケーブル）または無線LANで機器を接続します。
接続については、 取扱説明書をご覧ください。
- ネットワークを使用するための設定が必要です。
ディーガ側での設定については、ディーガの取扱説明書をご覧ください。
ネットワーク設定をするには
 1. [メニュー] ボタンを押して**設定**を選び、[決定] ボタンを押す
 2. **ネットワーク設定** > **ネットワーク接続**を選び、[決定] ボタンを押す
 3. **かんたん設定**を選び、[決定] ボタンを押したあと、画面の表示内容に従って設定する

有料放送の視聴やB-CASカードについて

お問い合わせの前に、以下の記載をご確認ください。

それでも解消しない場合は、お客様サポートまでお問い合わせください。

有料放送が視聴できなくなった

- ACAS番号をご確認の上、受信契約先へお問い合わせください。
ACAS番号を確認するには
 1. [メニュー] ボタンを押して**設定**を選び、[決定] ボタンを押す
 2. **機器設定** > **システム設定**を選び、[決定] ボタンを押す
 3. **ACASチップ**を選び、[決定] ボタンを押す
-

B-CASカード挿入口が無い、B-CASカードが同梱されていない

- ACASチップを内蔵した機器には、B-CASカード挿入口はありません。また、B-CASカードも同梱しておりません。
- B-CASカード相当の機能が、ACASチップとして本機に内蔵されております。

本体の電源ボタンで本機を操作する方法がわからない

お問い合わせの前に、以下の記載をご確認ください。

それでも解消しない場合は、お客様サポートまでお問い合わせください。

以下の操作で、音量を調節したり、チャンネルや入力を切り換えることができます

1. 本体の〔電源〕 ボタンを約 2 秒押す
 - 画面に操作ガイドが表示されます。
 - 本体の〔電源〕 ボタンを短く押したあと離すと、電源が切れますのでご注意ください。
2. 操作ガイド表示中に再度、本体の〔電源〕 ボタンを押して操作を選ぶ
 - 本体の〔電源〕 ボタンを押すたびに項目が切り換わりますので、画面を見ながら操作してください。
3. 本体の〔電源〕 ボタンを約 2 秒押す
 - 選択した操作が実行されます。
 - 入力切換を選択した場合は、入力切換画面表示中に再度、本体の〔電源〕 ボタンを短く押して切り換える入力を選び、本体の〔電源〕 ボタンを約 2 秒押します。

同時操作について

録画／録画予約中の同時操作

録画状態			再生	HDD の編集※1
放送 / 入力	録画先	録画モード	HDDの番組	
BS4K CS4K	HDD (1 番組録画)	4K DR、4K 画質モード (4K 2 倍録～4K 8～12 倍録)	○	○
地上 D BS CS	HDD (1 番組録画)	DR、3～15 倍録	○	○
	HDD (2 番組録画)		○	○

(○：できる ×：できない)

- HDDの残量が少なくなると、同時操作はできなくなることがあります。

※1：実行できる編集については以下をご覧ください。



→ [メディアプレーヤー > 録画した番組を再生・編集する](#)

本機を操作中のお部屋ジャンプリンクの同時操作

	クライアント側の操作(ビデオを見る)
4KDR モード、4K 画質モードの番組を再生中	×
4K 放送を視聴中	×
ハイビジョン(2K)放送の番組を再生中	○
ハイビジョン(2K)放送を視聴中	○
HDD へ放送番組を 1 番組録画中	○
HDD へ放送番組を 2 番組録画中	○ ^{*1}

(○：できる ×：できない)

- 本機の状態によってはお部屋ジャンプリンクができない場合があります。
- 4K 放送を 4K DR モードまたは 4K 画質モードで録画した番組は、お部屋ジャンプリンクで配信できません。
- 放送中の番組を見ることはできません。

※ 1：本機側で番組の再生が始まると、お部屋ジャンプリンクはできない場合があります。

音声出力について

デジタル出力される音声信号と設定について

デジタル出力の設定により、HDMI 2 端子（eARC / ARC対応）から出力される音声信号（フォーマット）は以下のようになります。

入力	入力音声フォーマット	出力音声フォーマット	
		Bitstream	PCM
録画番組再生	4 K 放送（4 K DR、4 K 画質モード） (5.1ch)	ダウンミックス 2ch PCM	ダウンミックス 2ch PCM
	4 K 放送（4 K DR、4 K 画質モード） (2ch)	2ch PCM	2ch PCM
	ハイビジョン放送 (DR、3～15 倍録) (5.1ch)	オリジナルの 音声で出力	ダウンミックス 2ch PCM
	ハイビジョン放送 (DR、3～15 倍録) (2ch)	オリジナルの 音声で出力	2ch PCM

- 表内の ch（チャンネル数）は最大チャンネル数を表示しています。

チューナー部の表示窓について

こんな表示が出たら

表示窓の表示文字	調べるところ・原因・対策
0 : 0 0	<ul style="list-style-type: none"> ・ 停電や電源コードをコンセントから抜き差ししたあと、点滅します。 ・ デジタル放送が受信できる場合、電源を入れると自動的に時刻を合わせます。 ・ 時刻が表示されていない場合は、アンテナケーブルの接続を確認してください。
DL 1 / 5	<ul style="list-style-type: none"> ・ オンエアダウンロードによる更新の実行中です。表示が消えるまで、操作することはできません。 故障の原因となりますので、絶対に電源コードを抜かないでください。 (1 / 5などはダウンロードの進行状況です)
HDMI	<ul style="list-style-type: none"> ・ HDMI 認証中です。 表示が切り換わらない場合、本機やテレビ、アンプ(スピーカー)などHDMIで接続している機器の電源を「切」「入」してください。 それでも切り換わらない場合は、HDMI ケーブルを抜き差ししてください。
MENU	<ul style="list-style-type: none"> ・ チューナー部の設定画面などを表示中です。
PLEASE WAIT	<ul style="list-style-type: none"> ・ 終了処理中です。「BYE」が表示されたあと、電源が切れます。 ・ 停電または動作中に電源コードが抜けたことによる復旧動作中にも表示されます。表示が消えれば使えます。
PROG FULL	<ul style="list-style-type: none"> ・ 録画予約が128件登録されています。不要な予約を消してください。
UPD 1 / 5	<ul style="list-style-type: none"> ・ ネットワークからのダウンロードによる更新の実行中です。表示が消えるまで、操作することはできません。 故障の原因となりますので、絶対に電源コードを抜かないでください。 (1 / 5などは更新の進行状況です)
U50 ※1	<ul style="list-style-type: none"> ・ アンテナ電源の異常です。アンテナケーブル内で芯線と編組線が接触(タッチ)していないか確認してください。
U59 ※1	<ul style="list-style-type: none"> ・ チューナー部の内部温度が上昇しています。安全のため動作停止中です。 表示が消えるまで(約30分間)お待ちください。できるだけ風通しのよいところに設置してください。 ・ 背面の内部冷却用ファンや側面の吸気孔の周りを空けてください。
U61 ※1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 録画中などに、異常が確認されたため、チューナー部の動作を正常に戻すための復旧動作中です。表示が消えれば使えます。消えない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
F99 ※1	<ul style="list-style-type: none"> ・ チューナー部が正常に動作しません。チューナー部の[電源]ボタンを押し、電源を「切」「入」してください。それでも症状が変わらない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
F00 ※1、※2 H00 ※1、※2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 異常が発生しました。(「F」または「H」以降の数字は、チューナー部の状態によって変わります) チューナー部の[電源]ボタンを3秒以上押して電源を切ったあと、再び電源を入れてください。

※1：上記の数値表示は、チューナー部の症状を表すサービス番号です。

※2：数字の00は例です。

- ・ 上記の操作をしても表示が消えない場合、お買い上げの販売店または修理相談窓口へ修理を依頼してください。なお、修理のご依頼の際には、「サービス番号、F99」などとお知らせください。

インターネットを通じて、サポートサイト（ホームページ）を見る

本機のサポート情報を見る

インターネットを通じて、本機の使い方などのサポート情報をご覧ください。

- 本機のサポート情報は以下のアドレスからご確認ください。

<https://panasonic.com/jp/support/tv/>

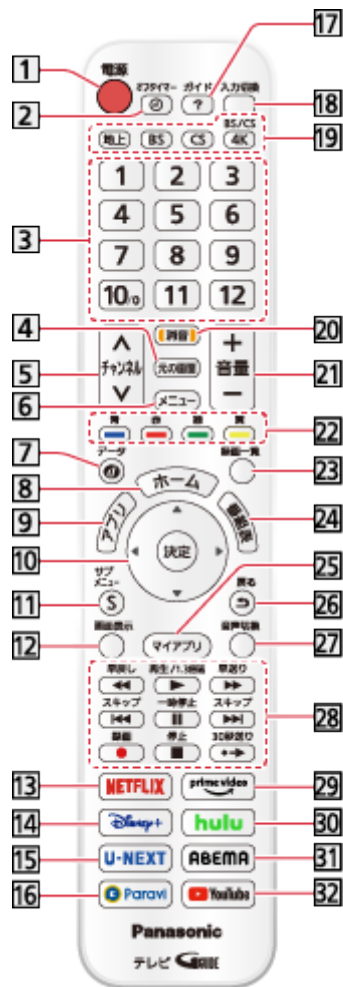


= お知らせ =

- 本機では取扱説明書やビエラ操作ガイド（PDF形式）を閲覧したり、ダウンロードすることはできません。
お手持ちのパソコンなどでご覧ください。
- サポートサイト（ホームページ）の動作確認情報や品番別サポート情報も併せてご覧ください。
- サポートサイト（ホームページ）の内容は予告なく変更する場合があります。

English Guide

Remote Control



- 1** Switches TV On or Off (Standby).
- 2** Sets the time for the TV to automatically turn off. (Press the button to select the time.)
- 3** Selects a channel directly.
Inputs characters.
- 4** Returns to the broadcasting screen.
- 5** Selects a channel in order.
- 6** Displays the menu.
Displays the model number of this TV.
(Select **Main Menu** and press [**決定**] button to access. Displayed on the lower left of the screen.)
- 7** Accesses the broadcast data service / Hybridcast.
- 8** Displays the home screen.
- 9** Displays the applications list.
- 10** Makes selections, adjustments and choices on the screen.
 - Press [**△**, **▽**, **◀**, **▶**] button to select an item.
 - Press [**決定**] button to enter. (To the next screen)
- 11** Displays the sub menu.
- 12** Displays the title of the program, etc.
- 13** Accesses Netflix service directly.*
- 14** Accesses Disney+ service directly.*
- 15** Accesses U-NEXT service directly.*
- 16** Accesses Paravi service directly.*
- 17** Displays the electronic operating instructions built into the TV.
- 18** Switches to external input.
(DIGA, DVD player, etc.)
- 19** Switches broadcast services.
- 20** Use this button to temporarily mute the sound. (Press again to cancel.)

21 Adjusts the volume. (Volume bar appears at the bottom of the screen.)

22 Used for the selection and operation of various functions. (colored buttons)

23 Displays the recorded program list.

24 Displays the electronic program guide.

25 Assigns a favorite application. When pressing this button for the first time, the setting screen will be displayed.

Follow the setting screen to assign a favorite application.

26 Returns to the previous screen.

27 Switches audio to bilingual broadcast, etc.

28 Used for basic recording and playback operations.

29 Accesses Prime Video service directly.*

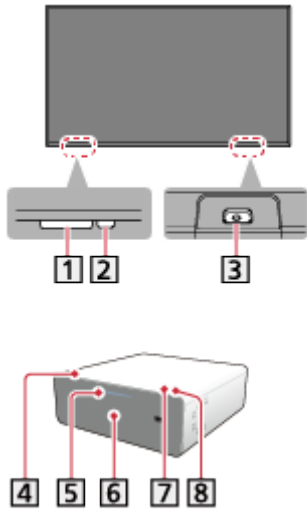
30 Accesses Hulu service directly.*

31 Accesses ABEMA service directly.*

32 Accesses YouTube service directly.*

*: A broadband network environment is required.

Indicator / Control panel



1 Remote control signal receiver (for infrared communication)

- Face the remote control at this part to control when switching the TV On or Off, or when controlling when the remote control has not been registered (paired).

Ambient sensor

Automatically adjusts the brightness and white balance depending on the ambient lighting condition when [Auto Brightness] and [Auto White Balance] (Picture > Ambient Sensor Settings) are set to [On].

2 Power indicator

Lights green: On

Depending on the ambient brightness, adjusts the brightness of LED to easy-to-view levels automatically.

Blinks green: The TV is starting up.

Lights red: Standby

Lights orange:

Standby with some functions*

Panel maintenance in progress.

No light: Off

- Blinks when the power indicator is on and the infrared signal is received from the remote control.

*: While the power-on timer is running, etc.

3 Main power On / Off button

Press the button to turn the power on.

Release the button after pressing lightly to turn the power off.

Perform the following procedure while this unit is turned on to adjust the volume, switch an input or channel.

1. Press and hold [電源 (Main power)] for approx. 2 seconds.
 - The button operation guide is displayed on the screen.

2. Press [電源 (Main power)] slightly again to select the operation while the button operation guide is displayed.
 - The item is switched each time pressing [電源 (Main power)]. Follow the on-screen instructions to select the item,
3. Press and hold [電源 (Main power)] for approx. 2 seconds.
 - The selected operation is executed.
 - When the **input** is selected, press [電源 (Main power)] slightly again to select an input for switching while the input selection screen is displayed, press and hold [電源 (Main power)] for approx. 2 seconds.

4 Switches the tuner off (standby) / on.

It is not normally necessary to use the power button. Only press to turn on the tuner when changing the default settings on the tuner, for example.

5 LED

Blinks green (slowly):

Power is turning on, power is turning off.

Blinks blue:

Loading pictures / videos.

On standby for connecting after pressing [リンク] button.

When setting **LEDの明るさ (チューナー部)** (after pressing [メニュー] button, **設定 > 機器設定 > その他の設定**)

Blinks red:

For about 3 minutes before scheduled recording of a program, or when recording is not possible.

Lights red: Recording

6 Display window*

Shows the clock if the AC cable is connected. You should normally use the unit with the clock displayed.

*: While you are either putting the tuner into the power saving mode or performing setup operations for the tuner, messages such as [SETUP] and [MENU] are displayed. The LED also lights green.

After completing the settings, press the power button on the tuner to show the clock again.

7 Imports pictures and videos.

8 It is not normally necessary to use the link button, but follow the instructions on the monitor if the tuner cannot connect wirelessly with the monitor.

Changing language for on-screen display

You can change the language (English or Japanese) with the following steps.

- Some texts are displayed in Japanese even after setting.
- 1. Display the menu with [メニュー] button.
- 2. Select **Main Menu** (when the current setting is Japanese : 設定) and press [決定] button to access.
- 3. Select **Setup** (when the current setting is Japanese : 機器設定) and press [決定] button to access.
- 4. Select **言語 / Language** and press [決定] button to access.
- 5. Select **OSD Language** (when the current setting is Japanese : OSD 言語) and press [決定] button to access.
- 6. Select the language and press [決定] button to store.